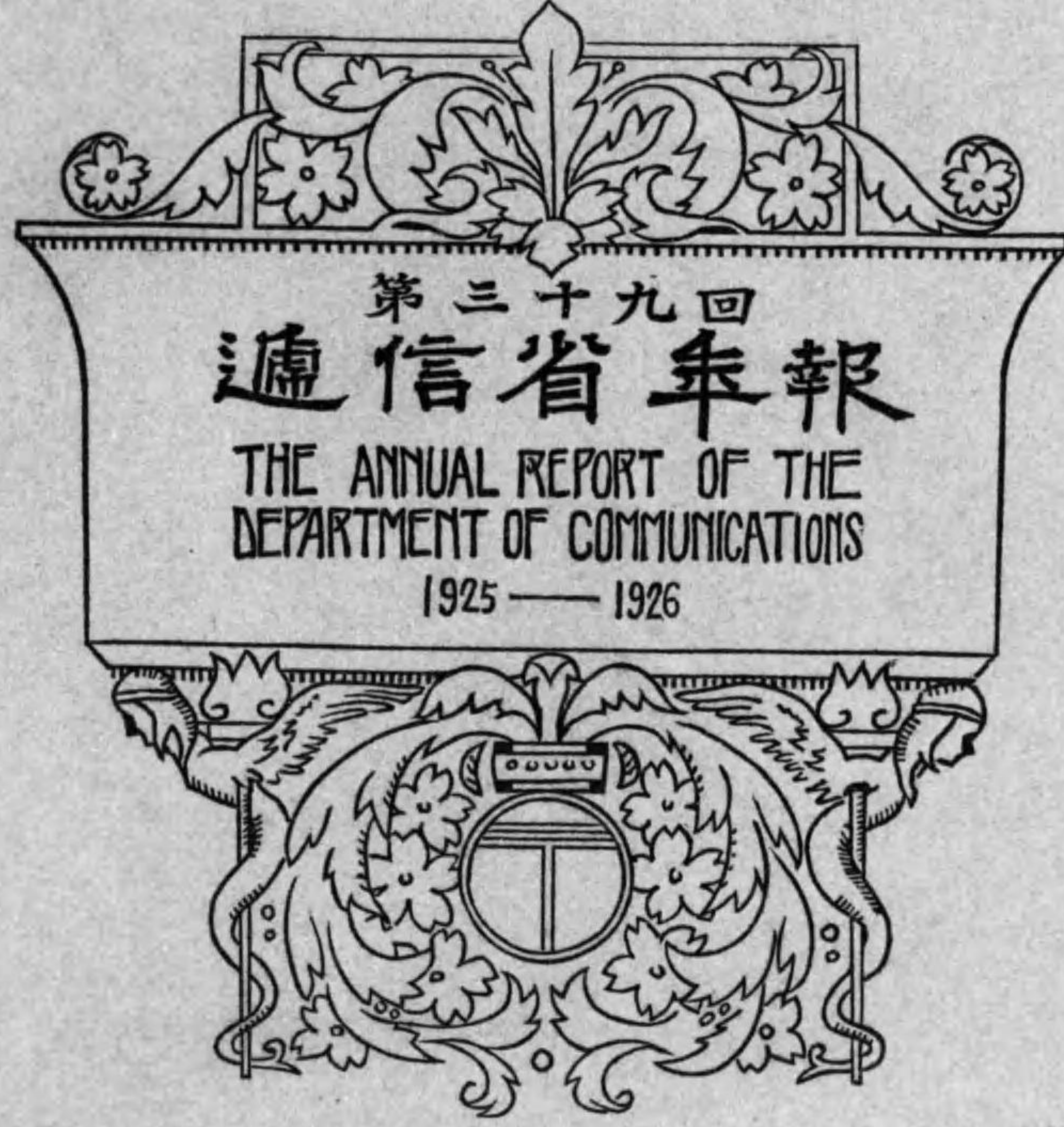
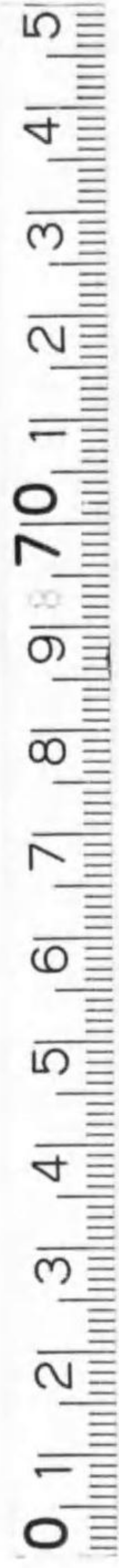
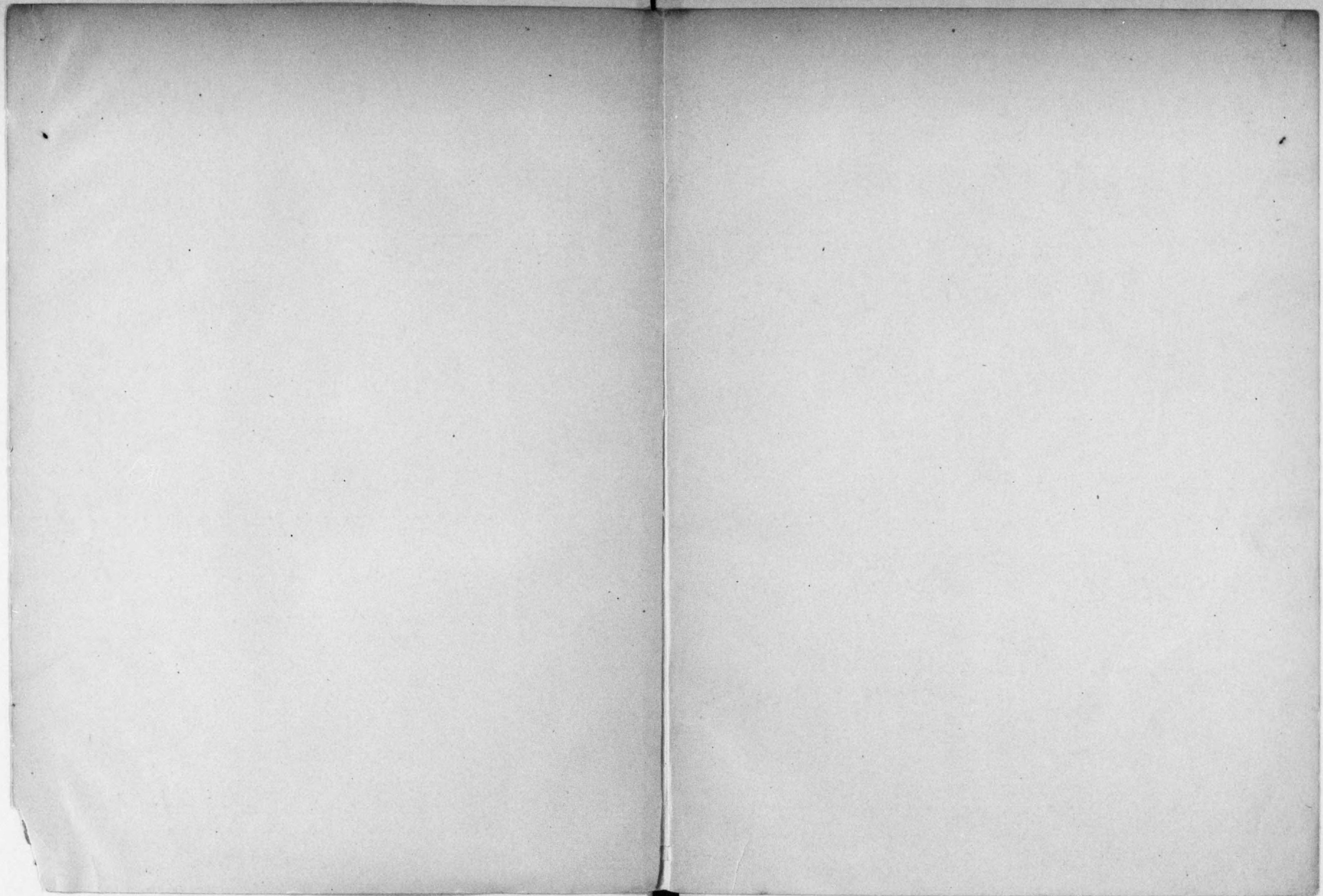




始





緒 言

本書ハ遞信事業ノ狀況ヲ通覽スルノ便ニ供スル爲主トシテ大正十四年度(若ハ大正十四年中)ノ本省事務ノ概要ヲ蒐録シタルモノトス而シテ計數ニ關スル詳細ハ關係各局ニ於テ發刊セル下記印刷物ヲ參照アリタシ

昭和二年十二月

遞信大臣官房文書課

記

通信統計要覽	郵務、電務、工務三局共編
電氣事業要覽	電氣局
海事摘要	管船局
貯金局統計年報	貯金局
簡易保險局統計年報	簡易保險局

14.9
77x

主計の支辨ニ對シテハ、豫算ヲ提議シ、榮事計數ハ書本
ノ附録ニ對シテハ、中華國十五大、華北十五大、華東十五大
縣報ニ對シテハ、豫算ヲ提議シ、榮事計數ハ書本
ノ附録ニ對シテハ、中華國十五大、華北十五大、華東十五大

縣書文報官以大計總

目次
CONTENTS

圖表
Diagrams

電話加入者數累年比較
府縣別電話加入者數

第一編 總說
Chapter 1. General Remarks

遞信省沿革略誌1

第一章 法 規11
Section 1. Laws and Regulations

第二章 官 制11
Section 2. Government Organizations etc.

第三章 遞 信 公 報13
Section 3. Official Gazette

遞信公報發行數(自大正六年度至昭和元年度)13

第四章 職 員14
Section 4. Personnel

遞信省所屬職員(自大正五年度至同十四年度)15

休 職16

外國留學及出張16

第五章 遞信官吏練習所16
Section 5. Training School of Communication

Officials

學校教練ノ實施16

學生異動及現員(自大正五年度至同十四年度)17

入學志願者及合格者(自大正五年度至同十四年度)18

第六章 共 濟 組 合19
Section 6. Mutual Aid Association

事 業 成 績(自大正六年度至昭和元年度)19

第七章 遞 信 博 物 館20
Section 7. Communication Museum

陳列品ノ縱覽20

陳列品ノ増加20

陳列品ノ貸出及出品20

圖案意匠20

器具器械ノ研究及試作20

郵便車室、郵便船室ノ設備改善20

第八章 遞信事業ノ狀況20
Section 8. Condition of Communications

内地遞信事業概括表

第九章 會 議21
Section 9. Conference

第十章 歲 入 及 歲 出22
Section 10. Revenue and Expenditure

歲入歲出豫算及決算額(大正十四年度)23

歲入歲出決算額(自大正五年度至同十四年度)25

第十一章 財 產26
Section 11. Property

土 地 面 積(自大正五年度至同十四年度)26

建 物 面 積(同 上)27

船 舶(同 上)28

第二編 通信

Chapter 2. Communications

郵務、電務、工務各局沿革略誌.....29

第一章 郵便電信及電話局所.....53

Section 1. Post, Telegraph and Telephone Offices

郵便局所開廢.....53

電信及電話局所開廢.....54

郵便電信電話局所數(自大正六年度至昭和元年度).....55

郵便電信及電話局所取扱事務別(自大正五年度至同十四年度).....57

郵便切手、收入印紙賣捌所、郵便函及郵便私書函(自大正六年度至昭和元年度).....59

第二章 郵便電信及電話局職員.....60

Section 2. Personnel at Post, Telegraph and Telephone Offices

郵便電信及電話局職員(自大正五年度至同十四年度).....60

第三章 郵便業務ニ關スル施設.....61

Section 3. Institutions for Postal Services

選舉無料郵便規則等制定.....61

飛行郵便開始.....62

官制改正ニ伴フ諸規程改正.....62

郵便物速達地域中追加.....62

十三錢郵便切手發行.....62

警入通信日附印使用.....62

暫定郵便切手廢止.....63

郵便葉書樣式改正.....63

萬國郵便聯合葉書樣式改正.....63

郵便業務運行狀況調査.....63

郵便試驗通信施行.....64

「ストックホルム」萬國郵便條約及約定ノ實施竝ニ之ニ伴フ諸法規ノ改正.....64

外國通常郵便料金ノ引下.....64

露領薩哈噠宛外國通常郵便物送達再開.....64

軍艦閉囊交換.....64

桑港紐育間飛行機遞送郵便物ノ範圍擴張及料金ノ引下.....64

本邦及「フィンランド」國間ニ代金引換通常郵便物交換開始.....65

別配達通常郵便物交換開始.....65

不能配達小包ノ取扱方改正.....65

外國來小包郵便物ニ信書包有ノ場合ニ於ケル處理方規定.....65

支那宛小包郵便物ニ送狀添付.....65

米國發誤送小包ノ處理方協定.....65

亞細亞露西亞宛小包ノ送達開始.....66

遞信部内從業員會規程制定.....66

郵便專修生講習.....66

郵便現業員ノ能率調査研究.....66

郵便線路圖ノ改刷.....66

鐵道軌道、鐵索、水路及自動車等ノ利用.....67

紀念郵便切手並紀念繪葉書ノ發行.....67

特殊通信日附印使用.....67

第四章 郵便線路.....69

Section 4. Mail Routes

内地郵便線路(自大正五年度至昭和元年度).....69

第五章 郵便物數.....70

Section 5. Number of Mail Matters

第七章 電信線路、電報氣送管及障礙竝機械.....85

Section 7. Telegraph Lines, Pneumatic Tubes, Faults and Apparatus

内地電信線路(自大正六年度至昭和元年度).....85

電報氣送管所在地別(大正十四年度末).....86

内地電信障礙度數及時數(自大正六年度至昭和元年度).....88

内地郵便電信機械及電池數(同上).....90

第八章 電報通數.....92

Section 8. Number of Telegrams

内地郵便電信局取扱電報通數(自大正六年度至昭和元年度).....92

在支那本邦同(同上).....94

第九章 電話業務ニ關スル施設.....95

Section 9. Institutions for Telephone Services

電話特別開通規則制定.....95

電話規則、特設電話規則等改正.....95

自動交換實施ニ伴フ電話規則改正.....95

私設電信規則中改正.....96

官廳用電信電話規則中改正.....96

市外專用電話施設命令書ニ對スル特例.....96

短期豫約通話取扱.....96

放送無線電話及聽取無線電話ノ機器裝置

ニ關スル制限緩和.....96

聽取無線電話施設特許料低下.....97

東京放送局假設備放送許可.....97

東京放送局聽取料金引下.....97

市外電話回線ノ増設、變更及改良.....97

電話特別開通.....99

内地郵便局取扱通常郵便物數(自大正六年度至昭和元年度).....70

同 引受特殊通常郵便物數(同上).....72

同 小包郵便物數(同上).....74

通常郵便物不能還付數(同上).....76

小包郵便物不能還付數(同上).....77

特殊取扱通常郵便物亡失毀損數(同上).....78

小包郵便物亡失毀損數(同上).....79

第六章 電信業務ニ關スル施設.....80

Section 6. Institutions for Telegraph Services

萬國電信會議及其ノ決定事項實施.....80

日米間有線及無線經由電報料金統一.....81

對外放送無線電報取扱業務開始.....81

無線電報取扱制度改正.....81

放送無線電話及聽取無線電話ノ機器裝置

ニ關スル制限緩和.....81

私設無線電信使用電波長制限並目的外

使用範圍擴張.....82

無線電信ニ依リ中央標準時放送.....82

内地南洋間無線連絡時間擴張.....82

北樺太「オハ」發著無線電報特別取扱開始.....82

鹿兒島無線電信局設置.....82

新潟無線電信取扱所設置.....83

電信協會管理無線講習所別科卒業生無

試驗檢定資格認定.....83

小型漁船無線通信從事者養生計畫助成.....83

電報配達人勞働能率調査開始.....83

電信回線ノ増設、變更及改善.....83

第十章 電話線路障碍及機械100

Section 10. Telephone Routes, Faults and Apparatuses

内地電話線路里程(自大正六年度至昭和元年度)100

内地市内電話障碍度數(自大正五年度至同十四年度)102

内地市外電話障碍度數及時數(同上)104

内地郵便電信電話局所用電話機械及電池數(同上)104

第十一章 電話加入者及電話通話數108

Section 11. Number of Telephone Subscribers and Messages

内地電話加入者(自大正六年度至昭和元年度)108

内地電話通話數(同上)108

第三編 郵便爲替及貯金

Chapter 3. Postal Money Order and Postal Savings

貯金局沿革略誌109

第一章 郵便爲替業務ニ關スル施設123

Section 1. Institutions for Postal Money Order

「ストックホルム」締結郵便爲替約定及郵便振替約定ノ實施並之ニ伴フ諸法規ノ改正123

芬蘭國ト通常郵便爲替ノ直接交換開始123

阿弗利加洲「タンガンイカ」地方ト郵便爲替交換開始123

「ハンガリー」國向郵便爲替ノ振出開始123

郵便爲替受拂高(自大正五年度至同十四年度)124

第二章 郵便貯金業務ニ關スル施設125

Section 2. Institutions for Postal Savings

未確認貯金通帳ノ引上及即時拂等停止125

臨時郵便貯金及郵便爲替確認規則改正125

郵便貯金規則中改正125

郵便貯金預拂及現況(自大正五年度至同十四年度)126

郵便貯金地方別(大正十四年度)128

郵便貯金現在預ケ人及金額職業別(大正十四年度末)131

第三章 證券業務ニ關スル施設131

Section 3. Institutions for Public Bonds

證券購入、保管、交付事務開始131

無集配三等郵便局ニ於テ復興貯蓄債券賣出開始131

保管證券(自大正五年度至同十四年度)132

第四章 郵便振替貯金業務ニ關スル施設132

Section 4. Institutions for Postal Check and Transfer

郵便振替貯金拂込書雛形改正132

郵便振替貯金口座加入者及受拂高(自大正五年度至同十四年度)133

第五章 年金恩給業務ニ關スル施設133

Section 5. Institutions for Annuity and Pension

年金恩給支給事務取扱區域ノ擴張133

年金恩給給與金拂渡高(自大正五年度至同十四年度)134

第四篇 簡易生命保險

Chapter 4. Post Office Life Insurance

簡易保險局沿革略誌135

第一章 簡易生命保險業務ニ關スル施設139

Section 1. Institutions for Post Office Life Insurance Services

保險金最高制限額ノ引上139

被保險者ニ對スル保健施設139

事業ノ普及宣傳139

第二章 保險事業成績140

Section 2. Summary of Post Office Life Insurance Business

事業成績(自大正五年度至同十四年度)140

同地方別(大正十四年度)142

被保險者職業別(大正十二年度末)146

第三章 審査會147

Section 3. Meeting of Investigation

審査會ノ審査147

審査會ノ審査狀況147

第四章 積立金ノ運用147

Section 4. Investment of the Fund

積立金ノ運用範圍147

積立金運用狀況147

積立金貸付狀況148

積立金府縣別貸付狀況150

第五編 電氣

Chapter 5. Electrical Undertakings

電氣局沿革略誌151

電氣試験所沿革略誌157

第一章 電氣事業ニ關スル施設161

Section 1. Institutions for Electrical Undertakings

電氣事業法施行規則中改正161

電氣工作物規程改正161

電氣供給規程届出規則中改正162

電氣事業ノ許可認可及其他ノ處分163

第二章 電氣事業數及發電力數165

Section 2. Number of Electrical Undertakings and Kilowatt Capacities

電氣事業數原動力別(自大正五年度至同十四年度)165

電氣事業用發電力數原動力別(同上)166

第三章 電氣事業用線路、線條、軌道及車輛167

Section 3. Electric Line, Track and Car

電氣事業用線路及線條(自大正五年度至同十四年度)167

電氣鐵道事業者軌道及車輛(同上)168

第四章 電燈及電力169

Section 4. Electric Lamp and Power

電氣供給事業ノ電燈數(自大正五年度至同十四年度)169

同電力數(同上)170

用途別電動機箇數及馬力數(大正十四年末)171

第五章 資本及收支172

Section 5. Capital, Revenue and Expenditure

電氣供給事業者、資本金、社債及積立金(自大正五年至同十四年)172

電氣供給收入、支出及益金(自大正五年至同十四年)173

第六章 電氣事業主任技術者174

Section 6. Chief Electrical Engineer

電氣事業主任技術者資格檢定申請人及合格者(自大正六年度至昭和元年度)174

電氣事業主任技術者數(自大正六年至同十五年)176

第七章 電氣事故177

Section 7. Obstacles

電氣事業故障數(大正十四年).....177

感電死傷數(同上).....178

第八章 電氣試驗179

Section 8. Electro-Technical Inspection

研究及調査.....179

第一部.....179

第二部.....179

第三部.....180

第四部及平磯出張所.....181

第五部.....181

試作課.....182

發明及考案.....182

電氣用品試驗數(自大正五年度至同十四年度).....183

電氣計器檢定數(同上).....184

第六編 海 事

Chapter 6. Maritime Affairs

管船局沿革略誌.....185

燈臺局沿革略誌.....195

第一章 海事業務ニ關スル施設.....203

Section 1. Institutions relating to Maritime Affairs

海上衝突豫防法中改正.....203

關東州ニ行ハル、命令ニ依ル日本船
船.....203

支那ニ於ケル帝國法人ノ所有船舶等
ニ關スル法律制定.....203

支那ニ於ケル帝國法人ノ所有スル船
船等ニ關スル法律ノ施行.....203

船舶法施行細則中改正.....204

船體札規則中改正.....204

船舶検査規程中改正.....204

佛蘭西ニ航行スル日本船舶.....204

日濠間船舶滿載吃水線證書互認取極.....204

船舶職員法施行細則中改正.....204

海員法ノ事務ヲ行フ市町村長ノ追加.....204

船舶検査執行地ノ指定及變更.....205

學校ノ認定.....205

第二章 船 舶206

Section 2. Shipping

登簿船異動(自大正五年度至同十四年度).....206

船舶現在數(同上).....209

登簿船積量及年齡別(同上).....210

造船所及造船(自大正六年度至同十四年度).....211

検査船舶(自大正五年度至同十四年度).....212

遭難船舶(同上).....213

遭難船舶遭難地方別(大正十四年).....214

遭難船舶月別(同上).....218

遭難船死傷人員及遭難種類別(自大正五年度至同十四年度).....219

遭難救助者(自大正六年度至同十五年度).....220

第三章 船燈信號器及救命具製造人
及請賣人.....221

Section 3. Number of Licensed Manufacturers
and Resalesmen of Ship's Lights,
Signals and Life Saving Apparatus

船燈信號器救命具免許製造人及認可請賣
人(自大正九年度至昭和元年度).....221

第四章 船 員222

Section 4. Mariners

船員手帖受有者(自大正六年度至昭和元年度).....222

海技免狀受有者(同上).....223

同 種類別(同上).....224

第五章 水 先 人225

Section 5. Pilot

水先人免狀受有者水先區別(自大正五
年度至同十四年度).....225

第六章 海 員 審 判226

Section 6. Marine Court of Inquiry

高等海員審判所取扱件數及人員(自大正
六年度至昭和元年度).....226

地方海員審判所取扱件數及人員(同上).....228

第七章 船員職業紹介230

Section 7. Finding employment for seamen

求人數及求職者數對照(大正十四年中).....230

第八章 開港場ト船舶ノ出入231

Section 8. Vessels Entered or Cleared at
Open Ports

開港港則施行各港出入船舶(自大正五
年度至同十四年度).....231

第九章 航 路 標 識232

Section 9. Light-Houses, Buoys Beacons, etc.

航路標識數(自大正五年度至同十四年度).....232

航路標識種類別(大正十四年末).....233

燈臺構造及其ノ高光達距離(自大正五年度至同十四年度).....234

第十章 命 令 航 路235

Section 10. Subsidized Lines

遞信省命令航路.....235

地方廳命令航路.....239

第十一章 保護會社及團體245

Section 11. Subsidized Concern

日本郵船株式會社營業概況.....245

大阪商船株式會社營業概況.....246

東洋汽船株式會社營業概況.....247

日清汽船株式會社營業概況.....247

南洋郵船株式會社營業概況.....249

北日本汽船株式會社營業概況.....249

近海郵船株式會社營業概況.....249

原田汽船株式會社營業概況.....250

朝鮮郵船株式會社營業概況.....250

栗林商船株式會社營業概況.....250

各汽船會社營業狀況一覽.....251

日本海員液濟會事業成績.....252

帝國水難救濟會事業成績.....253

第七編 航 空

Chapter 7. Civil Aviation

航空局沿革略誌.....255

第一章 航空業務ニ關スル施設.....257

Section 1. Institutions relating to Civil
Aeronautical Service

飛行機操縦士ノ養成.....257

航空機々關士ノ養成.....257

飛行機操縦士ノ試験.....257

飛行機ノ検査.....258

飛行機ノ貸下及拂下.....258

航空事業ニ對スル保護獎勵.....259

定期航空獎勵金ノ下付.....259

命令定期航空狀況.....259

航空機維持費獎勵金ノ支給.....259

露國飛行家日露間連絡飛行ノ援助259
 朝日新聞社主催訪歐飛行機援助259
 民間飛行機數(自大正十年度
 至同十四年度)261
 飛行機操縦士免狀受有者數(同上)261

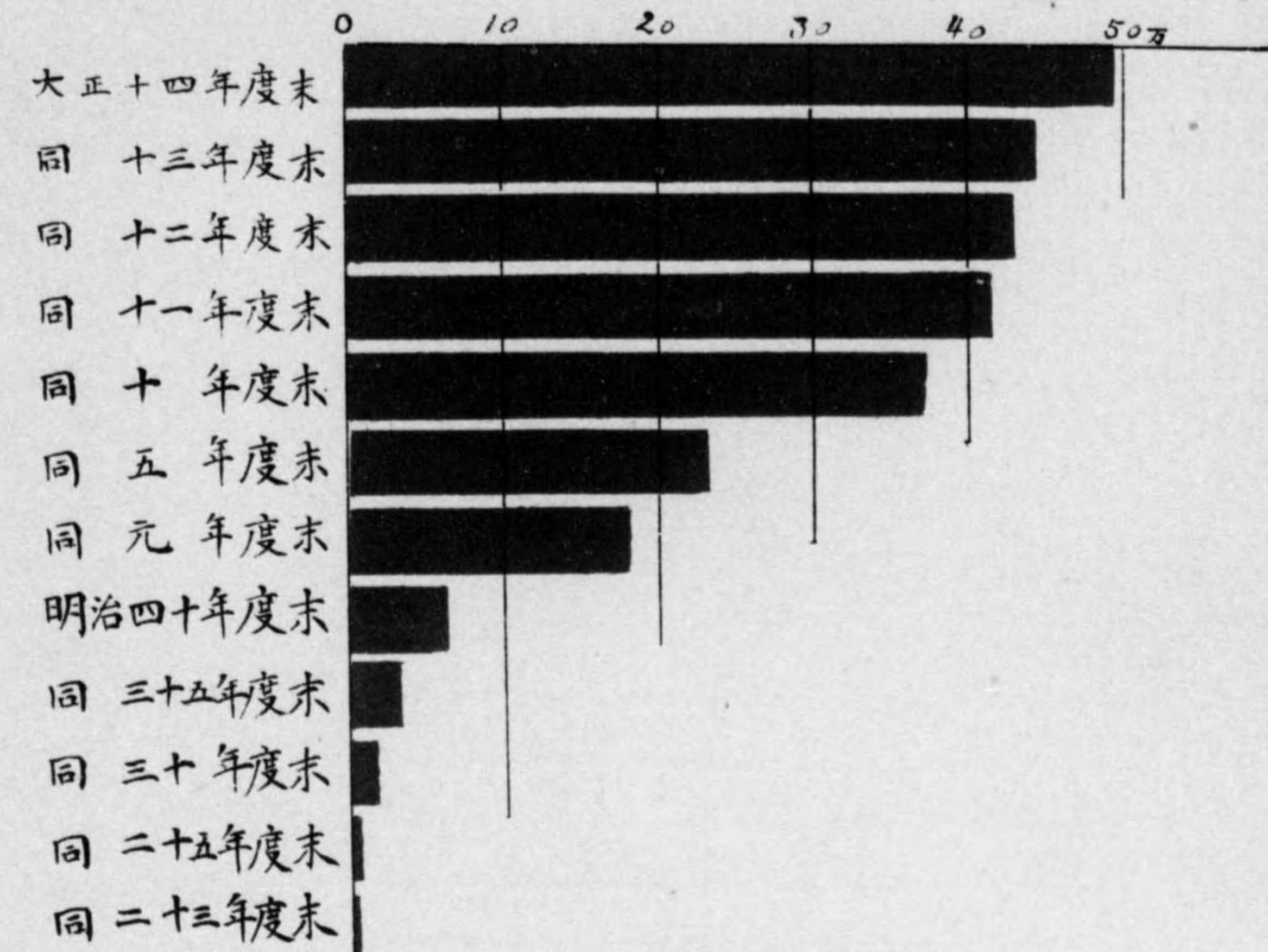
第八編 臺灣、樺太、朝鮮、關東廳
 管內及南洋通信事項

Chapter 8. Communications in Formosa,
 Saghalien, Chosen, The Kwan-
 ting Province and South Seas

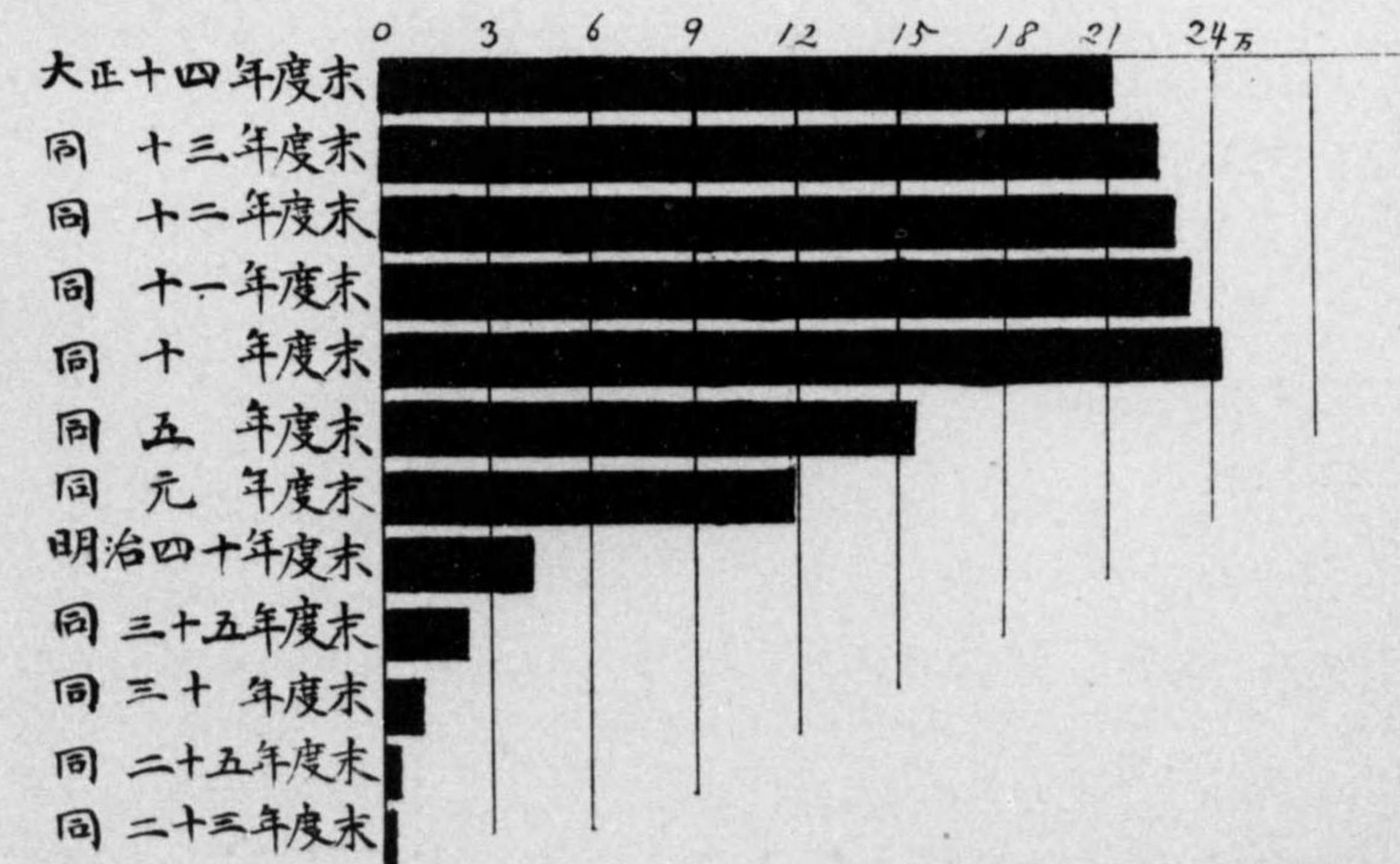
郵 便(大正十四年度)263
 電 信(同上)263
 電 話(同上)264
 爲替、貯金及振替貯金(同上)264
 年金恩給及保管證券(同上)265

圖 表
 DIAGRAMS

電話加入者



電話加入申込者



備考 電話制度 明治二十三年度ノ創設ナリ

遞信省沿革略誌

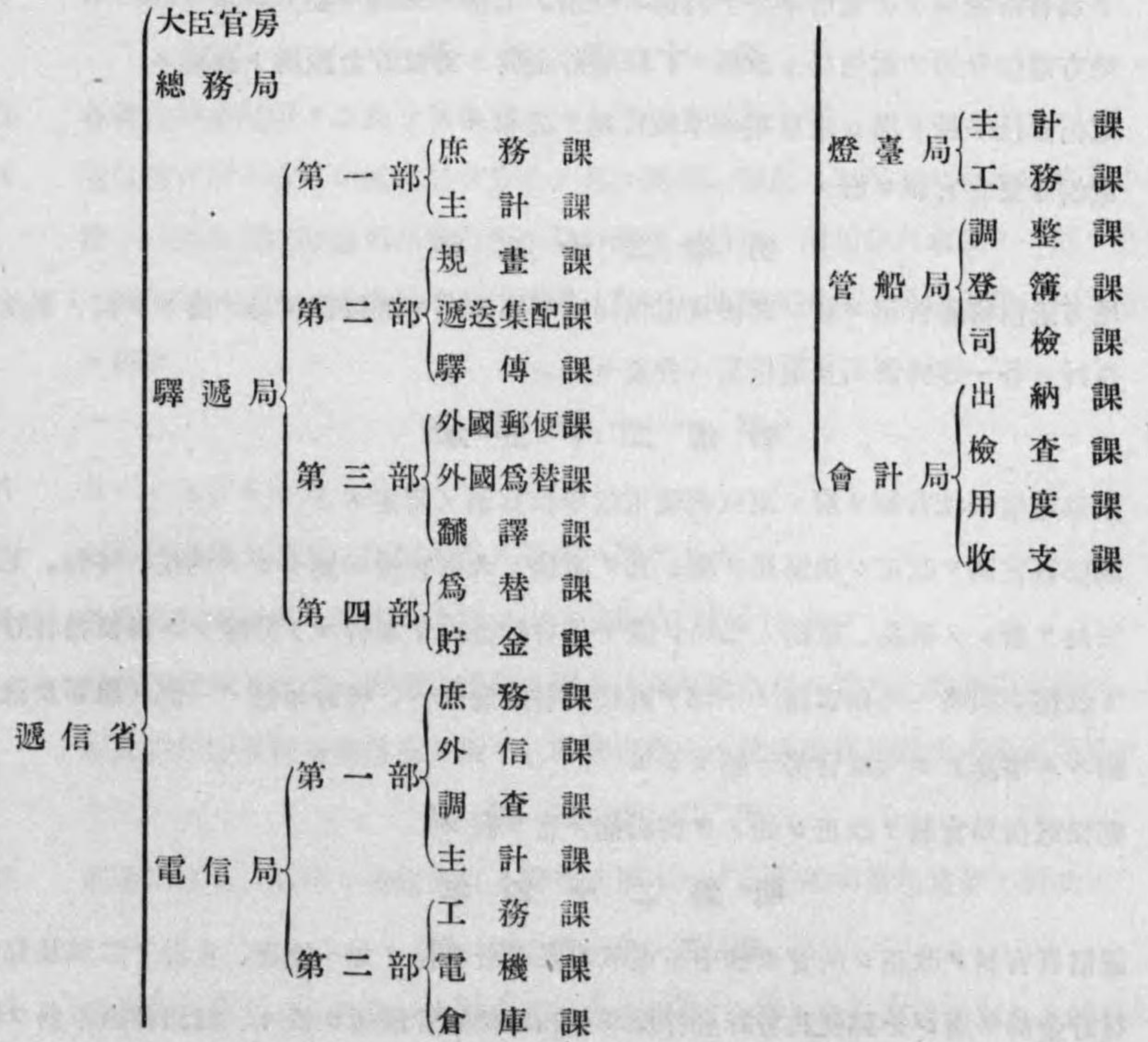
本省各局及所屬所ニ關スル沿革略誌ニ就テハ關係各編ニ譲リ、今立省後ニ於ケル主ナル官制其ノ他ノ沿革ヲ摘録スレハ次ノ如シ

明治十八年

十二月 二十二日遞信省ヲ創立シ農商務省ヨリ驛遞、管船ノ兩事務ヲ、工部省ヨリ電信、燈臺ノ兩事務ヲ承繼シ本省ヲ東京一置キ假之ヲ驛遞、電信、燈臺、管船、會計、庶務ノ六局ニ分ツ而シテ驛遞、電信、燈臺、管船ノ各局ハ本省構外ナリシヲ以テ之ヲ外局ト謂ヒ庶務、會計ノ二局ハ構内ニアリシヲ以テ之ヲ内局ト稱セリ

明治十九年

二月 遞信省官制ヲ公布シ遞信大臣ハ驛遞、電信、燈臺、浮標、船舶及海員ニ關スル事務ヲ管理シ大臣官房及總務局ノ外驛遞、電信、燈臺、管船、會計ノ六局ヲ置カル而シテ當時ニ於ケル所屬各局分課次ノ如シ



- 三月 地方遞信官署官制ヲ公布シ地方郵便電信ノ事務ヲ管理スル爲須要ノ地ニ遞信管理局ヲ置キ遞信大臣ノ管轄ニ屬セシム而シテ遞信管理局ハ七月一日ヨリ開局ス
- 四月 本省ヲ東京木挽町八丁目一番地ニ設置シ在來ノ電信局舎ヲ流用シテ之ニ充ツ
- 同 二十六日ヨリ遞信公報ヲ發行シ遞信事務ニ關係アル勅令、閣令及本省ノ令達、告示ハ總テ公報ヲ以テ下達ス
- 同 商船學校及電信修技學校官制ヲ定メ遞信大臣ノ管理ニ屬セシム
- 八月 電信建築官制ヲ公布ス
- 十一月 地方郵便局及電信分局ハ土地ノ情況ニヨリ之ヲ合併シテ郵便電信局ト爲スノ方針ヲ定ム

明治二十年

- 二月 八日付ヲ以テ卍字形ヲ遞信省全般ノ徽章ト定ム
- 三月 遞信省官制ヲ改正シ驛遞、電信ノ二局ヲ廢シテ内信、外信、工務、爲替貯金ノ四局ヲ置キ郵便事務ヲ内信、外信ノ二局ニ、爲替事務ヲ外信、爲替貯金ノ二局ニ、貯金事務ヲ爲替貯金局ニ、電信事務ヲ内信、外信、工務ノ三局ニ屬セシム
- 三月 地方電信分局ヲ電信局ト改稱シ、驛遞貯金所ヲ郵便貯金預所ト改稱ス
- 五月 電信修技學校ヲ廢シ東京電信學校官制ヲ公布ス
- 六月 電信建築官制ヲ廢ス

明治二十二年

- 七月 地方遞信官署官制ヲ廢シ郵便及電信局官制ヲ公布シ遞信管理局ヲ廢シテ其ノ事務 本省并ニ各一等郵便局及電信局ニ分屬セシム

明治二十三年

- 三月 東京電信學校官制ヲ廢シ東京郵便電信學校官制ヲ制定ス
- 六月 遞信省官制ヲ改正シ總務局ヲ廢シ其ノ事務ヲ大臣官房ニ屬セシメ内信、外信、工務ノ三局ヲ廢シテ郵務、電務ノ二局ヲ置キ爲替貯金局ヲ本省ヨリ分離シテ郵便爲替貯金局ト改稱シ同時ニ外信事務ノ一部ヲ郵便爲替貯金局ニ、會計事務ノ一部(豫算及決算ニ關スル事務)ヲ大臣官房ニ屬セシム
- 七月 郵便電信局官制ヲ改正シ始メテ書記補ノ官ヲ置ク

明治二十四年

- 七月 遞信省官制ヲ改正シ所管事務中へ電氣事業監督事務ヲ加ヘ燈臺、會計ノ二局及郵便爲替貯金局ヲ廢シテ郵便爲替貯金管理所及航路標識管理所ヲ置キ、航路標識事務ヲ管船

局及航路標識管理所ニ、會計事務ヲ大臣官房ニ、郵便爲替貯金事務ヲ郵務局及郵便爲替貯金管理所ニ屬セシメ又船舶司檢所ヲ管船局ヨリ、電話交換局ヲ電務局ヨリ分離シテ各々之ヲ獨立セシメ、電信建築事務ヲ亦電務局ヨリ分離シテ別ニ電信建築署ヲ置ク

明治二十五年

- 七月 遞信省官制ヲ改正シ所屬事務中へ鐵道ヲ加ヘ、内務省所轄ノ鐵道應轉シテ遞信省ニ屬ス
- 同 遞信省官制ヲ改正シ郵務局管掌事務中へ小包郵便ヲ加フ

明治二十六年

- 十月 遞信省官制ヲ改正シ所管事務中へ水陸運輸ノ監督ヲ加ヘ郵務、電務ノ二局ヲ合セテ通信局トナシ鐵道應轉ヲ鐵道局ト改稱シテ本省中ノ一局トシ、電信建築署ヲ廢シテ其ノ事務ヲ遞信大臣ノ指定シタル一等郵便電信局ニ屬セシム

明治二十九年

- 四月 海員審判所官制ヲ制定ス
- 十月 在外郵便電信局、郵便局官制ヲ公布シ遞信大臣ノ管理ニ屬セシム

明治三十年

- 四月 各省官制通則中ヲ改正シ參事官ハ一人ヲ限リ勅任トス
- 八月 遞信省官制ヲ改正シ通信局ヲ分テテ再ヒ郵務、電務ノ二局トシ、大臣官房中財務、調度ノ二課及電信燈臺用品製造所事務并鐵道、通信、兩局會計事務ノ一部ヲ分離シテ新ニ監査局ヲ置キ、鐵道局事務中作業ニ關スル事務ヲ分離シテ本省以外別ニ鐵道作業局ヲ置ク

明治三十一年

- 五月 月ノ十九日日本省炎上ス
- 七月 港務局官制ヲ制定シ遞信大臣ノ管理ニ屬セシム
- 十月 各省官制通則中ヲ改正シ次官ノ次ニ參與官(勅任)ヲ加フ
- 同 遞信省官制ヲ改正シ郵務、電務ヲ廢シテ再ヒ通信局ヲ置キ、監査局ヲ廢シ、官房會計課及電信燈臺用品製造所ヲ置キ、所管事務中ニ北海道官設鐵道ノ監督事務ヲ加フ

明治三十二年

- 六月 海事局官制ヲ公布シ遞信大臣ノ管理ニ屬セシメ、船舶司檢所官制ヲ廢止ス

明治三十三年

- 四月 各省官制通則中ヲ改正シ大臣官房事務中職員、文書及會計事務ヲ割キテ總務局ヲ置キ、

次官ヲ總務長官トシ參與官ヲ廢シテ官房長ヲ置ク

明治三十五年

三月 港務局官制ヲ廢止ス

六月 二十日萬國郵便聯合加盟二十五年紀念祝典ヲ東京ニ開ク

同 從來ノ郵便器具陳列所ヲ郵便博物館ト稱シ翌月ヨリ一般公衆ノ縦覽ニ供ス

明治三十六年

三月 通信官署官制ヲ公布シ郵便及電信局官制、在外郵便電信局、郵便局官制及電話交換局官制ヲ廢止ス

同 三十一日日本省新築落成ス

十二月 各省官制通則中ヲ改正シ總務局ヲ廢シ新ニ經理局ヲ置キ總務局事務中文書課事務ヲ大臣官房ニ屬セシメ同時ニ總務長官ヲ改メテ次官トナシ官房長ヲ廢ス

同 通信官署官制中ヲ改正シ郵便爲替貯金管理所ヲ通信官署中ニ包含セシムルト同時ニ該管理所官制ヲ廢止ス

明治三十八年

三月 遞信省官制ヲ改正シ所管事務中北海道官設鐵道ノ監督ヲ廢ス

同 東京郵便電信學校ヲ廢止シ通信官吏練習所ヲ設ク

七月 朝鮮通信事業ヲ帝國政府ニ引繼キ内地ト共通ノ通信制度ヲ布ク

明治三十九年

五月 臨時鐵道國有準備局官制ヲ制定シ遞信大臣ノ管理ニ屬ス

明治四十年

一月 二十二日日本省再ヒ火災ニ罹リシヲ以テ麴町區吳服橋内ニ假廳舍ヲ急造シ同舍内ニテ事務ヲ處理ス

三月 帝國鐵道廳官制ヲ公布シ遞信大臣ノ管理ニ屬セシメ同時ニ鐵道作業局官制ハ之ヲ廢止ス

明治四十一年

五月 萬國電信會議ヲ里斯本ニ開催本邦委員參列ス

十月 鐵道局所掌事務ノ中へ軌道ニ關スル事項ヲ加フ

十二月 遞信省官制ヲ改正シ所管事項中官設鐵道ノ管理及私設鐵道ノ監督ヲ廢シ鐵道局ヲ削ル(鐵道局ハ鐵道院トシテ内閣ニ直屬ス)

同 鐵道院官制公布ト共ニ帝國鐵道廳官制ハ廢止サル

明治四十二年

七月 遞信省官制ヲ「遞信大臣ハ郵便、小包郵便、電信、電話及航路標識ヲ管理シ發電水力ニ關スル事務ヲ掌リ電氣、造船、水陸運輸ニ關スル事業及航路、船舶、海員ヲ監督ス」ト改メ、通信局所掌事務中郵便爲替、郵便貯金及電氣事業ノ監督ニ關スル事項ヲ削リ電氣局ヲ新設シテ電氣事業ニ關スル事項ヲ掌ラシメ又電氣局ニ電氣試驗所ヲ置キ電氣試驗ニ關スル事項ヲ掌ラシム

七月 郵便貯金局官制ヲ公布シ通信官署官制中郵便爲替貯金管理所ヲ廢止ス

同 臨時鐵道國有準備局官制ヲ廢止ス

同 通信官署職員共濟組合ヲ設ク

十月 萬國郵便聯合紀念碑落成式ヲ「ベルン」ニ舉行シ本邦官吏參列ス

十一月 通信官吏練習所ヲ遞信官吏練習所ト改稱シ大臣官房ノ一所トス

明治四十三年

三月 郵便貯金局所管事務中へ年金恩給ノ給與ニ關スル事項ヲ加フ

同 遞信管理局官制ヲ設ケ監督及現業事務ヲ掌ラシム

同 郵便博物館ヲ遞信博物館トシテ大臣官房ニ屬セシム

同 三十一日新築中ノ本省落成ス

四月 遞信省内ニ臨時發電水力調査局ヲ設置ス

明治四十四年

一月 遞信省内ニ郵便保險年金制度調査會ヲ置ク

明治四十五年

大正元年

一月 遞信選獎規程ヲ制定シ主トシテ現業吏員、傭人ニシテ勤勞及功績アル者ニ對シ旌表スルコトトシ二月ヨリ施行ス

五月 十三日 大正天皇東宮ニ在セシトキ本省ニ行啓アラセラル

大正二年

六月 遞信省官制ヲ改正シ經理局ヲ廢シ大臣官房ノ一課トス

同 爲替貯金局官制ヲ公布シテ郵便貯金局官制ハ之ヲ廢止ス

同 臨時發電水力調査局ヲ廢止ス

同 地方遞信官署官制ヲ公布シ遞信管理局官制ヲ廢止シ從來ノ十三遞信管理局ヲ五遞信局ニ改ム

大正三年

十月 各省官制通則中ヲ改正シ各省ニ參政官、副參政官ヲ置ク

大正四年

二月 爲替貯金局所管事務中へ各官廳ノ徵收スル歳入金ノ受入及歳出金ノ繰替拂渡ニ關スル事項ヲ加フ

大正五年

三月 遞信省官制ヲ改正シ電信燈臺用品製造所ヲ廢止シ經理課ニ製機係ヲ置キ同製造所作業ノ一部ヲ承繼ス

四月 本省内ニ簡易生命保險事務準備委員會ヲ設ク

七月 遞信省官制ヲ改正シ管船局ニ船用品検査所ヲ設置ス

同 爲替貯金局所管事務中へ簡易生命保險ヲ加フ

大正六年

二月 遞信省臨時調査局官制ヲ制定シ電氣及海事ニ關スル調査事務ヲ掌ラシム（大正九年五月同局官制廢止）

九月 戰時船舶管理局官制ヲ制定シ戰時船舶ニ關スル事務ヲ掌ラシム（大正九年五月同局官制廢止）

十一月 三等郵便局又ハ三等電信局ニハ各局一人ヲ限リ通信手ヲ置クコトヲ得セシム

大正七年

六月 遞信省官制中ヲ改正シ遞信監察事務ヲ掌ラシムル爲大臣官房ニ監察課ヲ設ク

同 電氣試験所官制ヲ制定シ電氣局ヨリ分離シ遞信大臣ノ管理ニ屬セシム

大正八年

五月 遞信省官制ヲ改正シ本省ニ再ヒ經理局ヲ設置ス

同 地方遞信官署官制中ヲ改正シ遞信局ヲ七局トシ別ニ遞信大臣ハ郵便局ヲ指定シ區域ヲ定メテ現業監察ノ事務ヲ掌ラシム

大正九年

五月 各省官制通則中ヲ改正シ參政官、副參政官ヲ廢シ各省一人ヲ限リ勅任參事官ヲ置クコトヲ得セシム

同 遞信部内臨時職員設置制ヲ公布ス

同 海事委員會官制ヲ公布シ遞信大臣ノ監督ニ屬セシム

九月 通信官署現業員共濟組合ヲ遞信部内職員共濟組合ト改正シ救助ノ種目ヲ増シ三等郵便局員モ之ニ加入セシムルコトトシ十一月ヨリ施行ス

十月 貯金局及簡易保險局官制ヲ公布シ爲替貯金局官制ヲ廢止ス

同 臨時電信電話建設局官制ヲ公布ス

同 萬國郵便會議ヲ西班牙馬德里ニ開催本邦委員參列ス

大正十年

四月 二十日通信事業創始五十年紀念祝賀會ヲ開催ス

十月 遞信官吏練習所技術補習科規程ヲ制定ス

十二月 遞信省官制中ヲ改正シ所管事務中ニ空中ノ運輸ニ關スル事項ヲ加フ

大正十一年

一月 遞信部内職員共濟組合診察所規程ヲ設ケ組合員ノ傷痍又ハ疾病ノ診察治療ヲ爲ス

二月 遞信官吏練習所規則中ヲ改正シ行政科ヲ第一部行政科ニ、電信科ヲ第二部行政科ニ改ム

同 遞信官吏練習所專修科規程ヲ制定ス

十二月 遞信部内職員共濟組合規則中ヲ改正シ傷痍給與金ノ額ヲ増加ス

大正十二年

四月 遞信省官制中ヲ改正シ所管事務中空中ノ運輸ニ關スル事項ヲ削除ス

同 陸軍省所轄ノ航空局轉シテ遞信省ニ屬ス

同 三等郵便局及三等電信局ニハ各一人ニ限ラレル通信手ヲ二人置クコトヲ得セシム

同 遞信博物館ヲ麴町區富士見町五丁目ニ移轉ス

八月 三等郵便局長及三等電信局長ニシテ引續キ二十五年以上在職シ事務練熟ノ者ハ特ニ之ヲ奏任官ノ待遇トナスノ途ヲ開ク

九月 遞信部内職員共濟組合財産管理規程ヲ制定ス

同 未曾有ノ震火災ノ爲本省、臨時電信電話建設局、貯金局、簡易保險局、電氣試験所及高等海員審判所燒失セシニ付假事務所ヲ下記ノ通開設セリ

- 本 省 } ……東京驛前東京中央郵便局内
- 臨時電信電話建設局 } ……東京驛前東京中央郵便局内
- 貯 金 局 } ……麻布區富士見町内閣統計局内
- 簡 易 保 險 局 } ……芝區芝浦日出町分室内
- 電 氣 試 驗 所 } ……芝區芝浦埋立地同所分室内

十月 遞信部内職員共濟組合積立金貸付規程ヲ制定シ震災ニ伴フ組合員ノ保護救済ニ勉ム

大正十三年

- 四月 大震火災ノ際部内従事員ニシテ身命ヲ賭シ其ノ職責ヲ全フシタル者或ハ多數人命救助ニ從事シタルモノ等ノ内特ニ一般ノ儀表トナスヘキ者ヲ表彰ス
- 五月 十一日新築假廳舎竣工ニ付本省ハ麴町區大手町ニ移轉ス
- 七月 部内現業員ノ衛生及保健ニ關スル状態ヲ調査シ之カ施設ニ關スル事項ヲ審議スル爲現業員保健調査會ヲ設ク
- 八月 各省官制通則中ヲ改正シ政務次官、參與官ヲ加ヘ參事官ヲ削ル
- 八月 遞信局官制並通信官署官制ヲ制定シ地方遞信官署官制ヲ廢止ス
- 同 遞信省分課規程中ヲ改正シ、大臣官房ニ保健課ヲ新設ス
- 同 萬國郵便會議ヲ瑞典國「ストックホルム」ニ開催本邦委員參列ス
- 十月 遞信部内職員共濟組合規則中ヲ改正シ組合加入六ヶ月未滿ノモノニモ給與金ヲ與フルノ途ヲ開ク
- 十一月 遞信省官制中ヲ改正シ所管事務中「發電水力ニ關スル事務」ヲ「發電水力及航空ニ關スル事務」ニ改メ航空局ヲ本省中ニ加フ
- 同 行政整理ニ伴ヒ中央官廳ニ於テ十一課二所、地方部局ニ於テハ課ヲ減少シタルカ本省ニ於ケル分課ノ廢止併合又ハ改正シタルモノ下記ノ如シ

廢止	}	大臣官房監察課	併合並改正	通信局外國郵便課、外國電信課ヲ併セテ外信課トス
		電氣局水力課		航空局第一課、第二課、第三課ヲ監理課、技術課トス
		管船局調査課		各課間ノ事務ノ分合ヲ行フト共ニ經理局調度課ヲ
		同 登錄課		需品課ニ改ム
		經理局製機課		

其ノ他臨時電信電話建設局第四課及同局東京大阪以外ノ五出張所ノ材料課ヲ廢止ス

- 同 遞信省分課規程中ヲ改正シ大臣官房ニ業務監察並事務審査委員ヲ置ク

大正十四年

- 四月 商船學校ヲ文部省ニ移管ス
- 五月 遞信省官制中ヲ改正シ所管事務中ニ「日本無線電信株式會社ニ關スル事項」ヲ加ヘ通信局ヲ廢シテ郵務、電務、工務ノ三局ヲ置キ臨時電信電話建設局官制ヲ廢止ス而シテ本官制改正後ニ於ケル本省各局分課次ノ如シ



- 九月 萬國電信會議ヲ佛國巴里ニ開催本邦委員參列ス
- 同 遞信部内職員共濟組合規則中ヲ改正シ救濟金請求期間ヲ延長ス
- 同 航路標識管理所ヲ廢シ燈臺局ヲ置ク

大正十五年

昭和元年

- 一月 遞信部内從業員會規程ヲ制定ス
- 四月 勞働爭議調停法公布(大正十五年七月一日ヨリ施行)
- 六月 遞信官吏練習所特別科規程ヲ制定ス
- 同 勞働爭議調停法施行令ヲ公布ス(大正十五年七月一日ヨリ施行)
- 十二月 遞信部内共濟組合規則中ヲ改正シ救濟金中ニ特療給與金ヲ加ヘ廢疾年金ノ給與額等ヲ増額シ甲種特別組合員ノ制ヲ設ク

總 說
GENERAL REMARKS

第一編 總 說

CHAPTER 1. GENERAL REMARKS

第一章 法 規

Section 1. Laws and Regulations

本年度中當省主管事項ニ關シ公布セラレタル法規類ハ法律8件、勅令31件、條約5件、省令85件、告示2,128件、公達1,081件ニシテ之ヲ前年度ニ比スレバ法律3件、勅令2件、條約2件、省令17件、告示273件ヲ増加シ公達85件ヲ減少セリ而シテ其ノ公布ニ係ル法規類中主ナルモノハ内容ニ關シテハ之ヲ關係各篇ニ於テ絮說セリ

第二章 官 制

Section 2. Government Organisations etc.

本年度中ニ於ケル官制及俸給令等ノ改正ニシテ當省職員ニ關係アルモノ次ノ如シ
 大正十四年四月勅令第一一五號ヲ以テ行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官シタル者等ニ支給スル特別ノ賜金又ハ手當ニ關スル件ヲ公布シ公布ノ日ヨリ施行セラル
 大正十四年五月勅令第一八三號ヲ以テ遞信省官制中ヲ改正シ所管事項中ニ日本無線電信株式會社ニ關スル事項ヲ加ヘ通信局ヲ郵務局、電務局、工務局ノ三局ニ改メ書記官1人ヲ減員シ技師1人(以上孰レモ專任)ヲ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル
 同月勅令第一八四號ヲ以テ遞信部内臨時職員設置制中ヲ次ノ如ク改正シ公布ノ日ヨリ施行セラル
 第一條 (遞信省ニ左ノ職員ヲ増置ス)ニ次ノ二號ヲ加フ

1. 電信及電話建設事務ニ従事スル者	}	書記官專任	4人
		事務官專任	3人
		技師專任	7人
		<small>内4人ヲ勤任トナスコトヲ得</small>	
		屬專任	75人
4. 郵便局々舎其他ノ震災復舊及新營事務ニ従事スル者	}	技手專任	284人
		技師專任	2人
		屬事任	2人

第四條 (遞信局ニ左ノ職員ヲ増置ス)ニ次ノ一號ヲ加フ

- 技手 專任 5人
- 書記官 專任 3人
- 事務官 專任 7人
- 1. 電信及電話建設ノ事務ニ従事スル者
 - 技師 專任 20人
 - 書記 專任 84人
 - 技手 專任 293人

第六條第一條第一號並第四條第一號第三號(電信電話復舊ノ事務ニ従事スル者)及第四號(郵便貯金原簿其他ノ復舊及整理ノ事務ニ従事スル者)ノ職員ハ當該年度豫算ノ範圍内ニ於テ各所定ノ定員以内ヲ置クモノトス

而シテ本令發布ト共ニ臨時電信電話建設局官制ハ之ヲ廢止セラル

同月勅令第一八五號ヲ以テ遞信局官制中ヲ改正シ技師3人書記1人(以上孰レモ專任)ヲ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

大正十四年九月勅令第二七七號ヲ以テ貯金局官制中ヲ改正シ書記12人書記補21人(以上孰レモ專任)ヲ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月勅令第二七八號ヲ以テ簡易保險局官制中ヲ改正シ書記官1人書記70人技手2人書記補108人(以上孰レモ專任)ヲ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月勅令第二七九號ヲ以テ電氣試驗所官制中ヲ改正シ技師1人書記1人技手9人(以上孰レモ專任)ヲ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月勅令第二八〇號ヲ以テ遞信局官制中ヲ改正シ技師4人書記114人技手123人書記補68人(以上孰レモ專任)ヲ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月勅令第二八一號ヲ以テ通信官署官制中ヲ改正シ通信書記144人通信技手45人通信書記補341人(以上孰レモ專任)ヲ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月勅令第二八二號ヲ以テ燈臺局官制ヲ制定シ燈臺局ハ遞信大臣ノ管理ニ屬シ燈臺其ノ他ノ航路標識ノ工事、保守及用品ノ作業ニ關スル事務ヲ掌ラシメ下記ノ職員ヲ置キ公布ノ日ヨリ施行セラル

局長(勅任又ハ奏任)技師專任5人奏任書記專任13人判任技手專任20人判任看守判任

而シテ本令公布ト共ニ航路標識管理所官制ハ之ヲ廢止セラル

第三章 遞信公報

Section 3. Official gazette.

遞信公報發行數

Number of Official gazette issued.

種別 Description 年次 Year	發行回数 Times	發行部數 No.	印刷頁數 Pages	印刷費 (円) Expence (yen)	平均一部ニ付 One Copy Average	
					頁數 Page	印刷費(銭) Expence(sen)
昭和 元 年 度 1926-27	298	4,946,744	28,623,852	57,248	6.2	1.16
大正 十 四 年 度 1925-26	296	4,790,869	24,654,056	49,308	5.1	1.03
十 三 年 度 1924-25 (自十三年五月五日 至十四年三月三十一日)	268	4,279,731	20,937,830	41,876	4.9	0.98
十 二 年 度 1923-24 (自十二年四月二日 至同 八月三十一日)	128	1,934,696	9,702,943	19,806	5.0	1.24
十 一 年 度 1922-23	298	4,525,031	20,404,654	58,809	6.5	1.30
十 年 度 1921-22	297	4,411,696	29,370,234	58,740	6.6	1.33
九 年 度 1920-21	298	4,074,866	22,138,422	44,443	5.8	1.09
八 年 度 1919-20	296	3,944,297	21,004,144	21,004	5.3	0.53
七 年 度 1918-19	300	3,695,461	17,302,376	17,302	4.6	0.47
六 年 度 1917-18	293	3,436,490	15,232,598	11,424	4.4	0.33

第四章
Section 4.
遞信省
Officials,

種別 Description	親任 Shinin Rank	勅任 Chokunin Rank	奏任 Sonin Rank	判任 Hannin Rank		
				男 Male	女 Female	計 Total
大臣官房 Minister's Secretariate	1	3	14	78	-	78
郵務總局 Directorate General of Posts	-	1	10	53	-	53
電報總局 Directorate General of Telegraphs and Telephones	-	1	7	69	1	70
電氣總局 Directorate General of Telegraph and Telephone Engineering	-	4	47	192	-	192
電氣總局 Directorate General of Electric Exploitation	-	2	20	38	-	38
海軍總局 Directorate General of Mercantile Marines	-	3	17	33	-	33
航空總局 Civil Aviation Bureau	-	1	9	10	-	10
經理總局 Directorate General of Accounts and Supplies	-	2	20	186	1	187
計	1	17	144	659	2	661
貯蓄總局 Directorate General of postal Money Orders and Savings Bank	-	1	24	1,293	427	1,720
簡易保險局 Bureau of Post Office Life Insurance	-	1	12	985	114	1,099
電氣試驗所 Electro Technical Laboratory	-	1	15	82	-	82
燈臺局 Lighthouse Bureau	-	1	5	431	-	431
海員審判所 Marine Court Inquiry	-	-	19	6	-	6
遞信總局 Directorate of Communication	-	7	174	3,245	50	3,295
郵便電信電話局 Post Telegraph and Telephone Office	-	-	119	21,863	1,339	23,202
合計 Grand Total	1	28	512	28,564	1,932	30,496
大正十三年度末 March 31, 1925	1	30	521	27,525	1,819	29,344
十二年度末 March 31, 1924	1	31	563	27,878	1,825	29,703
十一年度末 March 31, 1923	1	29	575	27,136	1,758	28,894
十年度末 March 31, 1922	1	29	556	26,481	1,669	28,150
九年度末 March 31, 1921	1	29	501	22,863	1,148	24,011
八年度末 March 31, 1920	1	23	448	17,881	531	18,412
七年度末 March 31, 1919	1	19	411	15,639	371	16,010
六年度末 March 31, 1918	1	16	374	14,849	259	15,108
五年度末 March 31, 1917	1	16	346	14,474	220	14,694

備考 1. 本表ニハ嘱託員及臨時雇傭人ヲ包含セス
Note. This list excludes non official Staffs and those employed Temporarily.
2. 大正十年度末並大正十一度末人員ハ資料焼失ニ付各九月末ヲ掲ス
The date of the figures on 31st, March 19 2 and 1923 were destroyed by fire and so sum up the ea h

職員
Personnel.
所屬職員
Employees etc.

大正十四年度末
March 31, 1926

通信手 (判任待遇) Post office clerk (Ranking as a Hannin Official)			雇員 (high Class) Employee (high Class)			傭人 (low Class) Employee (low Class)			合計 Grand Total
男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	
-	-	-	91	9	100	7	-	7	203
-	-	-	31	7	38	-	-	-	102
-	-	-	78	54	132	-	-	-	210
-	-	-	101	15	116	292	-	292	651
-	-	-	44	2	46	1	-	1	107
-	-	-	29	2	31	8	2	10	94
-	-	-	27	-	27	3	-	3	50
-	-	-	391	28	419	489	40	529	1,157
-	-	-	792	117	909	800	42	842	2,574
-	-	-	2,156	2,696	4,852	405	252	657	7,254
-	-	-	1,656	593	2,249	192	17	209	3,570
-	-	-	569	22	591	181	25	206	895
-	-	-	23	6	29	175	1	176	642
-	-	-	1	-	1	1	-	1	27
-	-	-	3,094	601	3,695	9,350	181	9,531	16,702
1,731	21	1,752	30,255	32,966	63,221	54,597	704	55,301	143,595
1,731	21	1,752	38,546	37,001	75,547	65,701	1,222	66,923	175,259
1,482	7	1,489	37,200	34,621	71,821	62,932	1,058	63,990	167,196
1,539	10	1,549	37,916	34,277	72,193	62,887	972	63,859	167,899
937	2	939	37,165	34,762	71,927	63,022	996	64,018	166,383
1,012	-	1,012	36,974	33,212	70,186	61,862	793	62,655	162,589
832	-	832	33,529	29,541	63,070	56,811	643	57,454	145,898
365	-	365	30,274	25,215	55,489	49,849	600	50,449	125,187
335	-	335	27,094	22,906	50,000	47,838	458	48,296	115,072
202	-	202	25,884	18,777	44,661	45,396	377	45,773	106,135
-	-	-	25,163	17,048	42,211	44,882	342	45,224	102,486

figures on 30 th September 1922 and 1923.

休職 本省所屬官吏ニシテ本年度末現在ニ於ケル休職者ハ奏任官1人判任官76人（内三等郵便局長31人）ナリ

外國留學及出張

外國留學者

大正十四年度末

官職名	人員	在留國	研究科目	留學期間
遞信技師	1	獨逸及米國	遞信事業	一ケ年
遞信局事務官	1	英 國	同	同
遞信省事務官	1	瑞西、佛蘭西、加奈太	同	同
遞信局事務官	1	獨逸、米國	同	同
遞信技師	1	英國、米國	電信電話事業	同

外國出張者

大正十四年度末

官職名	人員	出張國名	調査事項
遞信局技師	1	米 國	電信電話事業
同	1	英 國	同
通信事務官	1	同	電話事業
遞信技手	1	同	電信電話事業

第五章 遞信官吏練習所

Section 5. Training School of Communication Officials

本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

學校教練ノ實施 學生ノ心身ヲ鍛練シ團體的精神ヲ涵養シ質實剛健ノ氣風ヲ作興シ其ノ資質ヲ向上セシメ他日遞信事業ニ從事スルニ際シ充分其ノ能力ヲ發揮セシムカタメ大正十四年七月勅令第246號ニ基キ同年十月一日ヨリ學校教練ヲ實施セリ

遞信官吏練習所學生異動及現員

Number of Students of the Training School of Communication Officials

大正十四年度
1925-26

種別 Description	學科 Course	第一部行政科 Administration	第二部行政科 Telegraph	技術科 Technique	無線通信科 Radio Communication	合計 Total
前年度ヨリ繰越在學 Being at school since the Preceding fiscal year		94	81	144	-	319
入學 Admittance		52	36	104	46	238
入學取消 Withdrawal of Admittance		3	-	8	3	14
退學 Leaving		5	1	13	5	24
死亡 Death		2	-	1	2	5
卒業 Graduation		42	40	88	-	170
年度末現員 At the end of the fiscal year 1925-26		94	76	138	36	344
大正十三年度 1924-25		94	81	144	-	319
十二年度 1923-24		104	87	214	-	405
十一年度 1922-23		56	43	120	-	219
十年度 1921-22		104	48	219	-	371
九年度 1920-21		88	39	156	-	283
八年度 1919-20		85	42	150	-	277
七年度 1918-19		74	51	133	-	258
六年度 1917-18		71	42	106	-	219
五年度 1916-17		70	50	96	-	216

備考 本表ノ外大正十二年度末ニ於テ專修科外國郵便科16名同無線電信通信科44名計60名アリ

遞信官吏練習所入學志願者及合格者

Applicants and Successors for Admittance to the

Training School of Communication Officials

大正十四年度

1925-26

學科 Course	種別 Description	部		依託 Entrusted	合計 Total
		內 Those in the Service	外 Those not in the Service		
第一行政科 Administration	入學志願者	112	642	48	802
	合格者	8	40	4	52
第二行政科 Telegraph	入學志願者	147	-	7	154
	合格者	36	-	-	36
技術科 Technique	入學志願者	75	382	27	484
	合格者	20	77	7	104
無線通信科 Radio Communication	入學志願者	30	172	13	215
	合格者	7	33	6	46
合計 Total	入學志願者	364	1,196	95	1,655
	合格者	71	150	17	238
大正					
十三年度 1924-22	入學志願者	559	1,116	94	1,769
	合格者	43	96	11	150
十二年度 1923-24	入學志願者	588	936	79	1,603
	合格者	81	100	43	224
十一年度 1922-23	入學志願者	464	923	77	1,464
	合格者	72	142	13	227
十年度 1921-22	入學志願者	408	1,046	61	1,515
	合格者	73	191	12	276
九年度 1920-21	入學志願者	232	396	29	657
	合格者	74	96	10	180
八年度 1919-20	入學志願者	150	213	25	388
	合格者	77	97	13	187
七年度 1918-19	入學志願者	212	249	29	490
	合格者	92	78	14	184
六年度 1917-18	入學志願者	337	508	31	876
	合格者	68	84	6	158
五年度 1916-17	入學志願者	330	633	44	1,007
	合格者	61	72	8	146

第六章 共濟組合

Section 6. Mutual Aid Association

共濟組合事業成績

Mutual Aid Association

種別 Description	年次 Year	昭和	大正	十三年度	十二年度	十一年度	
		元年度 1926-27	十四年度 1925-26	1924-25	1923-24	1922-23	
年度末現在組合員 Actual Number of Associates at the end of the fiscal year		144,443	137,212	129,459	128,455	125,370	
救濟金給與件數 Number of times, relief funds given		55,111	53,600	63,572	42,498	45,363	
收 Revenue	入	組合員掛金 Instalment	2,912,030	2,672,935	2,511,027	1,365,548	2,254,767
		政府補助金 Subsidy	2,274,645	2,212,750	1,817,070	1,076,747	1,768,058
		預金利息 Interest	1,144,223	917,700	683,078	422,306	339,305
		雜收入 Miscellaneous	271,463	226,642	181,889	84,017	78,911
		合計 Total	6,602,361	6,030,027	5,193,064	2,948,618	4,441,041
支 Payment	出	給與金 Relief	2,633,185	2,242,343	2,786,757	1,314,319	1,251,246
		雜費 Miscellaneous	287,030	168,662	160,975	106,770	76,981
		赤字 Deficit	6	13	-	-	-
合計 Total	2,920,221	2,406,018	2,947,732	1,421,089	1,328,227		
種別 Description	年次 Year	十年度	九年度	八年度	七年度	六年度	
		1921-22	1920-21	1919-20	1918-19	1917-18	
年度末現在組合員 Actual Number of Associates at the end of the fiscal year		116,548	107,163	47,296	42,611	37,871	
救濟金給與件數 Number of times, relief funds given		36,638	22,945	21,807	22,495	20,176	
收 Revenue	入	組合員掛金 Instalment	1,887,500	700,991	244,078	211,783	188,082
		政府補助金 Subsidy	1,458,753	460,422	161,906	139,784	125,965
		預金利息 Interest	101,783	71,638	77,001	75,752	73,024
		雜收入 Miscellaneous	43,626	33,744	8,620	55	-
		合計 Total	3,491,662	1,266,795	491,605	427,374	387,071
支 Payment	出	給與金 Relief	685,182	338,368	302,709	376,052	304,446
		雜費 Miscellaneous	27,796	6,809	9,813	1,880	1,467
		赤字 Deficit	-	-	-	-	71
合計 Total	712,978	345,177	312,522	377,932	305,984		

備考 大正十二年度分ハ震災ノ爲書類焼失ニ付九月一日以降ノモノヲ掲ク
Note. The date of the figures on from 1st, April to 31st, August 1923 were destroyed by fire and so sum up the figures on from 1st, September 1923 on wards

第七章 遞信博物館

Section 7. Communication Museum

本年度中施行シタル主ナル事項次ノ如シ

陳列品ノ縦覽

本年度内ニ於テハ事業周知ニ關スル特別展覽會ヲ開催スル機會ヲ得ルニ至ラサリシモ各地博覽會、展覽會等ニ對シテハ各種圖表類及陳列品ヲ貸與又ハ出品ノ上事業ノ周知ニ努メタリ就中臺灣、關東、朝鮮等殖民地開催ノ展覽會ニ對シテハ特ニ意ヲ注キ之カ爲メ調製セル各種圖表ハ極メテ多數ニシテ其ノ出品員數モ從來ニ比シ夥シキ多數ニ上レリ尙陳列所來觀者ハ15,389人ニシテ團體見學ハ女子高等師範附屬其ノ他多數ノ小學校深川及第一實科等ノ各高等女學校、各地ノ商業學校、遞信、鐵道等ノ講習生及中野電信隊將校學生其ノ他多數ニ上レリ

陳列品ノ増加

本年度ニ於テ増加セル陳列品ハ萬國總理局ヨリ送付ノ郵便切手類1,402 其ノ他公衆ヨリ寄贈ヲ受ケタルモノ、飛行機、模型、船舶ニ關スル史料等31點ナリトス

陳列品ノ貸出及出品

本年度中當館陳列品ニシテ貸出及出品シタル主ナル展覽會等次ノ如シ
大阪電氣大博覽會、東京及名古屋ノ電氣文化展覽會、姫路全國產業博覽會、熊本及大牛田國產共進會、東京、大阪、栃木、石川各府縣ノ統計展覽會、名古屋、福岡、高知ノ各能率展覽會、東京、大阪各包裝荷造展覽會、北九州博覽會、函館青森間貨車航送展覽會、臺灣始政三十年紀念展覽會、大連勸業博覽會、朝鮮交通展覽會、宇和島、秋田各文化及教育展覽會、岡山奉仕會及通信展覽會、東京市旗ノ展覽會、「ラヂオ」展覽會、訪歐飛行完成紀念展覽會等ナリトス

圖案意匠

二錢、六錢及十錢郵便切手ノ意匠圖案、大阪電氣大博覽會、陸軍特別大演習等各紀念特殊日附印ノ圖案、伊國コモ國際電信電話博覽會出品圖表類ノ意匠圖案其ノ他各種展覽會等ノ出品圖表類ノ作製ヲ爲セリ

器具器械ノ研究及試作

稅印消印機ノ研究、押印機二種ノ研究及試作、行囊封緘錠ノ研究及製作其ノ他器具器械ノ設計仕様及製圖57點ニシテ押印機一種及封緘錠ハ何レモ特許ヲ得タリ

郵便車室、郵便船室ノ設備改善

郵便車室及郵便船室ノ改造及諸設備改善、私設鐵道郵便車ノ新設等設計施行シタルモノ27件ナリトス

第八章 遞信事業ノ狀況

Section 8. Condition of Communications

Table with multiple columns and rows, containing faint text and numbers, likely a continuation of the report or a separate data table.

遞信事業概括表 (其ノ一)

Item of Inland business

(No. 1)

遞信局 Direction of Commu- nications	管轄地方 Prefecture	面積 (平方キロ メートル) Area (Km ²)	人口 Population	郵便電信電話取扱局所(大正十四年) 度末現在 Post, Telegraph and Telephone Office (March 31, 1926)				郵便物 No. of Mails 數 (大正十四年度) (1925-26)						電報通數(大正十四年度) Telegram-dealt (1925-26)			電 話 加 入 者 (大正十四年 度末現在) Telephone Subscrib- ers (March 31, 1926)
				郵 便 Post	電 信 Telegraph	電話交換 Telephone Exchange	電話通話 Telephone Message	普通 Ordinary			小包 Parcels			發 信 Despatch	著 信 Arrival	人口百 二 付發信 Despatch per 100 of population	
								引 受 Acceptance	配 達 Delivery	人口一 二 付引受 Acceptance per Capita	引 受 Acceptance	配 達 Delivery	人口十 二 付引受 Acceptance per Capita				
札幌 Sapporo	北海道 Hokkaido	94,785.48	2,498,679	567	(口 554 7)	128	312	176,525,323	197,545,760	70.6	2,937,929	4,237,245	11.8	5,808,497	5,797,466	23.3	25,157
仙臺 Sendai	青森 Aomori	9,631.01	812,977	129	91	20	37	32,776,755	38,635,322	40.3	455,574	695,677	5.6	1,041,017	1,038,341	12.8	3,489
	岩手 Iwate	15,235.52	900,984	156	107	17	42	31,051,070	39,110,341	34.5	422,555	718,769	4.7	854,707	918,429	9.5	2,727
	宮城 Miyagi	7,286.93	1,044,036	167	108	32	64	58,340,806	63,084,714	55.9	664,452	852,412	6.4	1,061,927	1,197,670	10.2	5,676
	秋田 Akita	11,699.79	936,408	161	112	29	66	42,752,776	51,316,683	45.7	464,902	711,001	5.0	784,940	815,184	8.4	3,884
	山形 Yamagata	9,331.18	1,027,297	177	102	32	83	39,934,821	49,570,643	38.9	498,803	692,717	4.9	725,312	758,519	7.1	4,583
	福島 Fukushima	13,720.45	1,437,596	244	168	48	117	63,256,407	78,304,841	44.0	683,122	993,857	4.8	995,133	1,095,379	6.9	7,021
	新潟 Niigata	12,594.67	1,849,807	315	218	68	167	77,664,637	90,555,085	42.0	1,170,906	1,420,193	6.3	1,401,465	1,449,806	7.6	11,044
	計 Total	79,499.55	8,009,105	1,349	(口 908 2)	246	576	345,777,272	410,577,629	43.2	4,360,314	6,084,626	5.4	6,864,501	7,273,328	8.6	38,424
東京 Tokyo	茨城 Ibaraki	6,100.22	1,409,092	191	100	41	75	58,886,174	67,406,955	41.8	502,189	886,126	3.6	695,857	870,732	4.9	4,298
	栃木 Tochigi	6,448.64	1,090,428	116	73	39	58	43,365,805	49,188,457	39.8	452,096	653,567	4.2	530,893	559,467	4.9	5,745
	群馬 Gunma	6,315.38	1,118,858	99	69	34	60	47,762,415	54,558,658	42.7	437,265	750,375	3.9	570,774	597,559	5.1	4,862
	埼玉 Saitama	3,803.64	1,394,461	86	61	40	52	44,938,988	52,442,428	32.2	373,987	570,331	2.7	486,297	563,981	3.5	5,097
	千葉 Chiba	5,078.87	1,399,257	176	131	52	98	60,571,116	69,975,576	43.3	473,886	855,068	3.4	748,728	1,102,537	5.4	5,408
	東京 Tokyo	2,142.35	4,485,144	444	164	41	123	874,242,443	646,961,076	194.9	12,822,809	6,803,361	28.6	9,352,756	8,765,184	20.9	89,909
	神奈川 Kanagawa	2,351.65	1,416,792	(※ 150 7)	82	41	72	95,712,546	104,413,610	67.6	1,007,704	1,290,821	7.1	1,819,697	1,650,673	12.8	16,106
山梨 Yamanashi	4,454.82	600,675	89	60	19	44	37,976,032	37,925,592	63.2	321,333	400,144	5.4	390,498	427,714	6.5	2,965	
静岡 Shizuoka	7,786.80	1,671,217	240	186	70	140	105,552,137	122,269,332	63.2	958,254	1,301,176	5.7	1,576,852	1,933,123	9.4	11,092	
	計 Total	44,482.37	14,585,924	(※ 1,591 7)	(口 1,211 285)	377	722	1,369,007,656	1,205,141,684	93.9	17,349,523	13,510,969	11.9	16,172,352	16,470,970	11.1	145,482
富山 Toyama	富山 Toyama	4,257.40	749,243	100	71	35	55	33,965,808	40,264,004	45.3	484,112	489,371	6.5	757,826	778,861	10.1	5,541
	石川 Ishikawa	4,197.56	750,854	126	95	32	72	43,667,900	42,394,687	58.2	544,726	617,485	7.3	791,123	787,587	10.5	6,705
	福井 Fukui	4,018.64	507,800	102	76	28	58	33,965,808	40,264,004	45.3	484,112	489,371	6.5	757,826	778,861	10.1	5,541

Kanagawa	山梨	4,454.82	600,675	89	60	19	44	37,976,032	37,925,592	63.2	321,333	400,144	5.4	390,498	427,714	65	2,963
	Yamanashi	7,786.80	1,671,217	240	186	70	140	105,552,137	122,269,332	63.2	958,254	1,301,176	5.7	1,576,852	1,933,123	94	11,092
計 Total		44,482.37	14,585,924	(※ 1,591 7)	(□ 1,211 285)	377	722	1,369,007,656	1,205,141,684	93.9	17,349,523	13,510,969	11.9	16,172,352	16,470,970	111	145,482
名古屋 Nagoya	富山	4,257.40	749,243	100	71	35	55	33,965,808	40,264,004	45.3	484,112	489,371	6.5	757,826	778,861	101	5,541
	石川	4,197.56	750,854	126	95	32	72	43,667,900	42,394,687	58.2	544,726	617,485	7.3	791,123	787,587	105	6,705
	福井	4,018.64	597,899	102	76	18	51	29,843,164	36,333,141	49.9	368,596	515,869	6.2	678,992	736,077	114	4,118
	長野	13,557.57	1,629,217	290	220	72	177	93,639,057	104,480,598	57.5	871,006	1,276,841	5.4	1,279,421	1,358,103	79	11,701
	岐阜	10,462.50	1,132,557	194	109	62	98	53,180,128	65,493,290	47.0	733,732	945,254	6.5	742,851	803,737	66	6,214
	愛知	5,055.11	2,319,494	241	166	84	125	158,219,487	157,799,024	68.2	2,336,961	1,701,083	10.1	2,433,881	2,469,948	105	26,291
	三重	5,902.13	1,107,692	200	141	37	85	49,870,261	59,422,786	54.0	671,014	848,273	6.1	1,000,236	1,118,047	90	6,500
	計 Total	47,250.91	8,286,956	1,253	(□ 879 1)	340	663	462,385,805	506,187,530	55.8	6,010,147	6,394,176	7.3	7,684,330	8,052,360	93	67,070
大阪 Osaka	滋賀	4,030.67	662,412	120	98	68	92	39,047,129	44,321,112	58.9	402,681	537,905	6.1	474,544	499,278	72	4,049
	京都	4,558.62	1,406,382	216	147	74	133	159,216,285	151,603,743	113.2	3,629,613	2,145,866	25.8	1,923,917	1,868,916	137	25,090
	大阪	1,781.13	3,059,502	234	136	53	116	453,930,661	380,407,021	148.4	6,653,788	3,266,339	21.8	6,477,196	6,106,861	212	61,353
	兵庫	8,427.19	2,454,679	302	254	105	204	212,192,302	215,200,830	86.4	2,184,630	2,465,754	9.0	4,078,055	4,226,750	166	31,178
	奈良	3,730.22	583,828	103	91	40	66	39,009,019	43,214,171	66.8	447,900	430,224	7.7	470,827	524,410	81	3,787
	和歌山	4,732.76	787,511	143	112	37	90	52,146,473	58,710,723	66.2	529,419	686,054	6.7	724,702	862,180	92	6,050
	徳島	4,135.40	639,814	122	81	44	69	35,001,178	37,874,838	50.7	449,492	495,183	6.5	501,485	573,972	73	2,700
	高知	7,088.11	687,478	135	90	44	74	29,862,097	36,968,939	43.4	463,997	543,292	6.8	773,614	862,482	113	2,758
計 Total	38,484.10	10,331,606	1,375	(□ 1,286 277)	465	844	1,020,405,144	968,301,377	98.8	14,761,520	10,570,617	14.3	15,424,340	15,524,849	149	136,965	
広島 Hiroshima	鳥取	3,500.25	472,230	78	67	25	43	29,330,004	31,462,469	62.1	208,575	331,340	4.4	458,775	508,346	97	3,128
	島根	6,618.15	722,402	179	144	44	130	38,465,305	44,457,467	53.2	490,852	635,765	6.8	685,486	754,259	95	2,813
	岡山	7,018.86	1,238,447	226	163	64	129	73,528,428	82,663,173	59.4	737,779	980,198	6.0	998,154	1,067,671	81	7,816
	広島	8,447.71	1,617,680	269	177	57	127	130,152,504	134,285,332	80.5	1,492,175	1,465,768	9.2	1,741,300	1,826,763	108	10,279
	山口	6,086.80	1,094,544	(※ 232 5)	182	44	115	86,455,619	86,665,193	79.0	797,637	1,060,512	7.3	1,764,053	1,849,655	161	7,520
	香川	1,845.44	700,308	86	53	18	41	38,290,144	40,909,803	54.7	403,893	437,161	5.8	562,270	590,528	80	3,105
	愛媛	5,699.05	1,096,366	176	128	42	102	61,388,817	72,862,894	56.0	670,925	877,547	6.1	1,048,068	1,153,788	96	5,497
	計 Total	39,216.26	6,941,977	(※ 1,246 5)	(□ 923 9)	294	687	457,610,821	493,306,331	65.9	4,801,836	5,788,291	6.9	7,258,106	7,751,010	105	40,158
熊本 Kumamoto	福岡	4,922.31	2,301,668	283	225	71	205	139,110,545	146,646,596	60.4	1,673,746	1,950,328	7.3	2,964,573	2,918,520	129	16,157
	佐賀	2,443.57	684,831	117	96	25	67	29,342,903	34,908,504	42.8	368,781	489,206	5.4	591,890	627,970	86	2,890
	長崎	4,116.43	1,163,945	216	161	24	91	61,663,648	74,311,609	53.0	798,364	958,447	6.9	1,696,436	1,779,370	146	5,612
	熊本	7,432.52	1,296,086	185	144	39	77	61,955,068	62,895,828	47.8	803,875	917,435	6.2	1,105,844	1,104,837	85	5,527
	大分	6,227.16	915,136	154	126	26	75	51,397,273	57,154,313	56.2	503,372	766,046	5.5	974,847	1,015,202	107	4,388
	宮崎	7,738.53	691,094	113	83	16	44	26,846,728	34,054,120	33.8	293,084	470,596	4.2	597,526	635,844	87	1,976
	鹿児島	9,009.59	1,472,193	213	174	26	83	54,720,322	65,663,975	37.2	768,769	921,794	5.2	1,439,250	1,469,616	98	4,534
	沖縄	2,312.63	557,622	43	15	2	5	9,661,770	13,476,954	17.3	110,296	165,647	2.0	313,465	318,896	56	453
計 Total	44,202.74	9,082,575	1,324	(□ 1,035 11)	229	647	434,698,257	489,111,899	47.9	5,320,287	6,639,499	5.9	9,683,831	9,870,255	107	41,537	
總計 Grand Total	387,921.41	59,736,822	(※ 8,705 12)	(□ 6,796 592)	2,079	4,451	4,266,410,278 6,540,330	4,270,172,210	71.4	55,541,556	53,225,423	9.3	69,108,612	70,885,775	116	494,793	

備考 1. 電信取扱無線電信 592 局中ニハ船内設置ノモノ 570 局ヲ包含ス
 2. ※印ハ船内局 □印無線局トス
 3. 郵便物数中ノ×印ハ集金郵便
 4. 電報總計中ニハ船舶無線局所取扱數發信 212,655 著信 145,537 ヲ含ム
 5. 括弧内ノ數字ハ内譯ナリ

Note. 1. 570 Wireless telegraph offices on board ships are included in the table.
 2. ※ on Board a ship. □ Wireless telegraph office.
 3. × Collection of money.
 4. 212,655 Telegrams despatched by and 145,537 arrived at wireless telegraph offices on board ships are included.
 5. The figures in the parentheses are items.

逓信事業概括表 (其ノ二)
Item of Inland business (No. 2)

逓信局 Direction of Commu- nications	管轄地方 Prefecture	郵便爲替(内國) (大正十四年度) Postal Money orders (1925-1926)					郵便貯金 (大正十四年度末現在) Postal Savings (March 31, 1925)				郵便振替 貯金加入者 (大正十四年 度末現在) Subscribers of Postal Check and Transfer (March 31, 1926)	簡易保險(大正十四年度末現在) Post office Life Insurance Business (March 31, 1926)		電氣事業 Electrical Undertakings (官營及自家 用ヲ含マズ) (大正十四年末現在) Undertakings			登簿船舶 (大正十四年末現在) Registered Vessels	
		出 Issued		拂 Paid		人口百=付 振出口數 Issued per 100 of Populat ou	預ケ人 Depositors	金額 Amount	平均一人 ノ金額 Amounts of Deposit per Capita	人口百=預ケ人 付預ケ人 Depositors per 100 of Population		契約件數 No. of Contracts	人口千=對ス ル契約件數 Contracts per 1,000 of Population	事業數			船數 No.	總噸數 Gross Tonnage
		口 No.	金額 Amount	口 No.	金額 Amount									開業 In Operation	未開業 Under Co- nstruction	計 Total		
札幌 Sapporo	北海道 Hokkaido	2,722,963	78,524,446	2,077,604	70,674,852	109	1,357,888	52,252,361	38.48	54	12,379	447,631	179.1	141	1	42	562	77,892
仙台 Sendai	青森 Aomori	422,797	10,629,060	382,645	10,979,830	52	293,054	6,200,357	21.16	36	1,197	92,509	113.8	16	1	17	17	1,056
	岩手 Iwate	420,443	9,866,059	296,578	7,377,676	47	328,746	7,383,697	22.46	36	1,543	80,163	89.0	18	—	18	21	1,748
	宮城 Miyagi	460,877	11,291,212	519,040	13,838,471	44	575,338	12,506,623	21.74	55	2,754	119,443	114.4	14	—	14	76	2,634
	秋田 Akita	439,899	10,291,255	388,429	9,541,820	47	367,788	7,672,666	20.86	39	1,453	83,918	89.6	16	—	16	62	921
	山形 Yamagata	413,378	10,316,440	366,634	8,615,999	40	436,800	9,641,370	22.07	43	2,053	135,047	131.5	16	3	19	15	323
	福島 Fukushima	595,967	13,441,423	507,900	11,457,364	42	635,889	17,669,326	27.79	44	3,011	185,709	129.2	36	—	36	36	469
	新潟 Niigata	734,991	18,785,067	775,343	20,923,233	40	582,957	20,093,565	34.47	32	3,795	283,448	153.2	26	3	29	59	20,958
	計 Total	3,488,352	84,620,516	3,236,569	82,733,393	44	3,220,572	81,167,604	25.20	40	15,806	980,237	122.4	142	7	149	286	28,109
東京 Tokyo	茨城 Ibaraki	421,960	10,707,198	390,413	9,624,683	30	491,060	19,422,242	39.31	35	2,107	108,206	76.8	15	4	19	15	220
	栃木 Tochigi	334,264	8,614,468	336,814	8,158,352	31	297,098	12,660,971	42.62	27	1,465	122,864	112.7	12	1	13	—	—
	群馬 Gunma	344,069	9,238,601	287,174	8,331,168	31	359,150	13,758,360	38.31	32	1,593	137,875	123.2	32	3	35	—	—
	埼玉 Saitama	272,056	8,137,548	272,879	7,283,349	20	344,064	23,993,714	69.74	25	2,084	138,136	99.1	10	—	10	9	104
	千葉 Chiba	435,827	11,441,267	482,895	12,413,404	31	483,617	27,184,181	56.21	35	2,611	122,979	88.0	13	1	14	85	1,918
	東京 Tokyo	3,627,667	84,309,360	5,293,931	115,482,417	81	2,100,210	172,697,466	83.23	47	34,552	899,070	200.5	21	4	25	704	860,086
	神奈川 Kanagawa	801,015	19,518,953	572,161	15,386,726	57	591,229	46,219,493	78.18	42	3,010	166,078	117.2	14	2	16	280	177,541
	山梨 Yamanashi	194,649	5,895,829	205,929	5,881,016	32	153,455	3,672,080	23.93	26	1,393	48,971	81.5	14	—	14	—	—
	静岡 Shizuoka	672,039	17,770,718	678,083	17,697,052	40	526,272	12,903,711	24.52	31	4,012	207,144	123.9	25	2	27	92	7,748
		計 Total	7,103,546	175,633,942	8,525,279	200,258,167	49	5,349,155	332,512,218	62.16	37	52,827	1,951,323	133.8	156	17	173	1,185
富山 Toyama	富山 Toyama	280,742	8,663,137	321,763	12,084,266	37	285,834	5,377,532	18.81	38	2,906	145,883	194.7	23	1	24	83	9,483
	石川 Ishikawa	284,443	7,034,101	350,432	9,722,079	38	337,612	13,439,095	39.81	45	3,499	142,884	190.3	16	—	16	136	21,485
	福井 Fukui	223,520	5,770,366	258,650	6,701,885	37	376,340	20,600,487	54.76	62	2,206	132,266	222.1	—	—	—	—	—

神 奈 川 Kanagawa 山 梨 Yamanashi 靜 岡 Shizuoka 計 Total	194,649	5,895,829	205,929	5,881,016	32	153,455	3,672,080	23.93	26	1,393	48,971	81.5	14	—	14	—	—	
	672,039	17,770,718	678,083	17,697,052	40	526,272	12,903,711	24.52	31	4,012	207,144	123.9	25	2	27	92	7,748	
	7,103,546	175,633,942	8,525,279	200,258,167	49	5,349,155	332,512,218	62.16	37	52,827	1,951,323	133.8	156	17	173	1,185	1,047,617	
名 古 屋 Nagoya	富 山 Toyama	280,742	8,663,137	321,763	12,084,266	37	285,834	5,377,532	18.81	38	2,906	145,883	194.7	23	1	24	83	9,483
	石 川 Ishikawa	284,443	7,034,101	350,432	9,722,079	38	337,612	13,439,095	39.81	45	3,499	142,884	190.3	16	—	16	136	21,485
	福 井 Fukui	223,520	5,770,366	258,650	6,701,885	37	376,340	20,609,487	54.76	63	2,396	133,366	223.1	14	3	17	14	11,526
	長 野 Nagano	698,986	18,757,754	594,178	14,388,008	43	780,982	22,796,625	29.19	48	5,611	242,182	148.6	29	4	33	—	—
	岐 阜 Gifu	443,801	10,328,468	358,185	8,512,478	39	539,357	19,112,636	35.44	48	3,793	159,295	140.7	67	4	71	1	19
	愛 知 Aichi	879,029	20,989,156	1,038,451	23,493,053	38	1,053,623	65,101,531	61.79	45	11,282	392,420	169.2	30	2	32	268	5,072
	三 重 Miye	450,378	10,848,031	442,040	10,984,737	41	606,296	19,983,736	32.96	55	4,334	206,856	186.7	9	1	10	75	3,060
	計 Total	3,260,899	82,391,013	3,359,699	85,886,506	39	3,980,044	166,420,642	41.81	48	33,821	1,422,886	171.7	188	15	203	577	50,645
大 阪 Osaka	滋 賀 Shiga	223,919	5,688,003	256,911	5,354,390	34	425,654	12,157,711	28.56	64	2,391	112,803	170.3	5	1	6	47	2,737
	京 都 Kyoto	799,054	18,207,342	1,215,179	25,803,774	57	903,669	46,108,256	51.02	64	8,733	296,125	210.6	9	3	12	24	26,005
	大 阪 Osaka	1,994,390	47,038,882	2,126,702	54,707,604	65	1,613,413	74,265,629	46.03	53	22,776	426,605	139.4	14	3	17	603	45,013
	兵 庫 Hyogo	1,493,593	39,349,367	1,215,305	31,323,861	61	1,163,575	44,591,793	38.32	47	10,020	254,762	103.8	22	7	29	1,091	1,537,906
	奈 良 Nara	203,277	6,824,604	264,975	7,068,393	35	416,105	17,267,214	41.50	71	3,472	65,167	111.6	10	2	12	—	—
	和 歌 山 Wakayama	322,023	9,343,386	332,286	8,891,060	41	368,041	13,377,115	36.35	47	3,608	82,345	104.6	14	2	10	417	18,133
	德 島 Tokushima	240,954	6,519,858	313,473	8,276,851	35	372,726	21,063,324	56.51	54	1,956	75,648	109.7	5	—	5	119	4,636
	高 知 Kochi	335,613	10,133,936	381,472	10,885,638	49	263,194	12,279,641	46.66	38	958	61,397	89.3	14	—	14	62	14,122
	計 Total	5,612,823	143,105,428	6,106,303	152,371,571	54	5,526,377	241,110,683	43.63	53	53,914	1,374,852	133.1	93	18	111	2,363	2,088,552
	廣 島 Hiroshima	島 取 Iottori	207,562	5,062,303	204,115	5,395,906	44	178,223	3,919,419	21.99	38	1,448	59,863	126.8	8	—	8	64
島 根 Shimane		364,169	9,442,210	387,350	11,720,501	50	444,981	11,234,638	25.25	62	2,692	95,325	132.0	9	2	11	26	2,278
岡 山 Okayama		520,867	12,690,674	495,878	12,947,567	42	548,876	16,619,599	30.28	44	4,312	157,991	127.6	11	—	11	104	1,848
廣 島 Hiroshima		827,330	21,055,863	979,152	25,152,687	51	1,020,699	40,064,115	39.25	63	7,096	280,490	173.4	8	2	10	400	62,422
山 口 Yamaguchi		686,474	18,669,459	611,174	16,456,440	63	636,416	25,638,789	40.29	58	6,249	157,541	143.9	5	4	9	328	53,163
香 川 Kagawa		239,790	7,258,388	337,302	8,853,398	34	391,262	16,504,518	42.18	56	1,772	99,890	142.6	12	1	13	83	1,722
愛 媛 Ehime		457,105	12,113,624	485,788	12,156,204	42	359,699	7,267,992	20.21	33	2,346	124,505	113.6	8	1	9	161	51,032
計 Total		3,303,297	86,292,521	3,500,759	92,682,703	48	3,580,156	121,249,070	33.87	52	25,915	975,605	140.5	61	10	71	1,166	175,114
熊 本 Kumamoto	福 岡 Fukuoka	1,363,350	32,795,349	1,176,997	30,160,736	59	1,349,803	48,175,886	35.69	59	8,356	358,783	155.9	13	3	16	314	35,343
	佐 賀 Saga	333,989	8,493,701	379,405	8,530,011	49	304,601	5,931,793	19.47	44	2,138	74,673	109.0	3	—	3	30	989
	長 崎 Nagasaki	761,754	20,767,817	795,898	23,322,285	65	540,301	14,023,462	25.95	43	3,633	166,122	142.7	20	2	22	429	34,340
	熊 本 Kumamoto	570,107	15,347,021	621,235	16,705,230	44	534,513	19,507,012	36.49	41	2,694	151,918	117.2	12	—	12	23	2,482
	大 分 Oita	456,214	12,166,824	434,013	12,665,068	50	346,980	13,504,473	38.92	38	2,600	111,526	121.9	19	—	19	3	136
	宮 崎 Miyazaki	339,652	8,228,459	279,092	8,001,000	49	246,280	4,291,051	17.42	36	759	66,799	96.7	5	1	6	194	2,382
	鹿 兒 島 Kagoshima	652,707	18,044,582	762,285	21,748,243	44	657,917	11,067,455	16.82	45	1,651	127,086	86.3	13	2	15	81	1,439
	沖 繩 Okinawa	96,166	3,157,384	145,156	4,074,082	17	110,943	853,055	7.69	20	98	21,825	39.1	3	—	3	110	1,901
	計 Total	4,573,939	119,001,137	4,594,081	125,206,655	50	4,991,338	117,354,187	28.68	45	21,929	1,078,732	118.8	88	8	96	1,184	79,012
總 計 Grand Total	30,065,819	769,569,003	31,404,294	809,813,847	50	27,105,530	1,112,066,765	41.03	45	216,591	8,231,266	137.8	769	76	845	7,323	3,546,941	

備 考 1. 電氣事業者ニシテ其ノ設備ニ地方以上ニ亘ルモノハ主タル地方ヲ計上ス

Note. 1. An electrical undertaking having its equipments in two or more provinces is accounted only in which the main exists.

第九章 會議

Section 9. Conference

逓信局長會議

各逓信局長ヲ召集シ大正十四年五月五日ヨリ同月十二日迄本省會議室ニ就テ第九回逓信局長會議ヲ開會ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

指示事項	20件	諮問事項	2件
協議事項	22件		

各逓信局長ヲ召集シ大正十四年九月十四、十五兩日本省會議室ニ於テ第十回逓信局長會議ヲ開會ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

指示事項	6件	會議事項	1件
------	----	------	----

電信局課長會議

大正十四年十一月一日ヨリ施行セラルル改正電報規則ノ實施ニ付協議ヲナス爲全國電信局課長ヲ召集シ大正十四年十月十二日ヨリ三日間本省會議室ニ於テ電信局課長會議ヲ開會ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

諮問事項	3件	協議事項	9件
打合事項	77件		

電話局課長會議

各中央電話局長、各郵便、電信、電話局ノ課長並各逓信局電話事務主任及機械主任ヲ召集シ大正十五年三月十八日ヨリ四日間電話局課長會議ヲ開會ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

協議事項	9件	打合事項	2件
------	----	------	----

工務課長會議

各逓信局工務課長ヲ召集シ大正十四年十月五日ヨリ同月十日迄本省會議室ニ於テ工務課長會議ヲ開會ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

協議事項	4件	打合事項	數件
------	----	------	----

電氣課長會議

各逓信局電氣課長ヲ召集シ大正十四年六月廿日ヨリ三日間本省會議室ニ於テ電氣課長會議ヲ開

會ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

協議事項 4件 打合事項 數件

海事官會議

各遞信局海事部長並技術官ヲ召集シ大正十四年七月六日ヨリ同月十日迄本省會議室ニ於テ海事官會議ヲ開會ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

諮同事項 5件 協議事項 13件

貯金支局庶務課長會議

各貯金支局庶務課長ヲ召集シ大正十四年八月十二日ヨリ四日間本省會議室ニ於テ庶務課長會議ヲ開會ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

協議事項 25件

貯金支局長會議

郵便貯金事業創始五十年紀念祝賀會準備ノ爲各貯金支局長ヲ召集シ大正十四年十一月九日ヨリ三日間本省會議室ニ於テ協議會ヲ開催セリ

保險課長會議

各遞信局保險課長ヲ召集シ大正十五年三月二十九日ヨリ五日間本省會議室ニ於テ保險課長會議ヲ開會ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

協議事項 5件 各局提出事項 91件

第十章 歲入及歲出 Section 10. Revenue and Expenditure

大正十四年度一般會計豫算トシテ第五十回帝國議會ニ提出シタル歲入ハ經常部(印紙收入ヲ除ク) 204,386,884 圓臨時部 207,383 圓計 204,594,267 圓歲出經常部 243,919,459 圓臨時部 95,785,956 圓計 339,705,415 圓ニシテ之ニ追加豫算經常部 2,015,023 圓臨時部 1,116,210 圓計 13,131,233 圓ヲ加ヘ總額 352,836,648 圓ナリトス其他第一豫備金支出 24,840 圓第二豫備金及國庫剩餘金支出 694,936 圓アリ又特別會計簡易生命保險歲入 56,923,115 圓歲出 23,158,542 圓ナリトス而シテ之ガ内譯ヲ示セバ次表ノ如シ

歲入歲出豫算決算額

Estimates and Settlement of Annual Receipts and Expenditure

大正十四年度 1925-26

Table with columns: 科 (Category), Item, 目 (Sub-item), 豫算 (Estimates), 決算 (Settlement). Rows include Revenue (印紙收入, 郵便電信及電話收入, etc.) and Expenditure (Main Office, Direction of Communications, etc.).

(續) 歲入歲出豫算決算額
(Continued) Estimates and Settlement of
Annual Receipts and Expenditure

大正十四年度
1925-26

科	Item	目	豫算 Estimates	決算 Settlement	
歲出 Expenditure	臨時部 Contingent	電話交換擴張費 Expansion of Telephone Exchange	37,000,000	32,431,367	
		電信擴張及改良費 Telegraphic Extension and Betterment	2,000,000	1,739,413	
		無線電信施設費 Institutions of Wireless Telegraph	1,000,000	938,223	
		船舶試驗渠設置費 Establishment of Experimental Tank	60,000	173,869	
		造船鐵材調查費 Expenditure for the recognition of exemption from Customs duty on ship-building materials	50,339	49,758	
		貯金獎勵費 Encouragement of Savings	80,000	354,928	
		臨時外國行諸費 Extraordinary Expenses for Foreign Travels	44,412	44,411	
		無線電話施設費 Institution of Radio	19,000	25,938	
		器具機械設備費 Utensils and Machines	21,000	14,535	
		震災復舊及新營費 Restoration expenditures for services damaged by earthquake-fire and new services expenditures	46,941,256	35,711,341	
		在勤手當其他臨時加給 Service and other extraordinary allowance	7,660	19,151	
		退職特別賜金 Special retiring allowances	64,925	39,001	
		臨時恩給事務取扱費 Expenditures for extraordinary pension business	9,119	9,119	
		訪歐飛行贊助費 Funds in aid of the aerial flying to Europe	22,000	20,317	
		日本無線電信株式會社設立準備費 Expenditures for the establishment to the Japan Wireless Telegraph Company	30,000	29,079	
		災害 Calamities	700,000	855,601	
		郵便貯金局所外預入取扱費 Expenditures for deposit acceptance outside post offices	46,071	45,433	
		露國飛行家訪日飛行贊助費 Funds in aid of the aerial flying to Japan of Russian aviators	-	4,202	
		合計	Total	96,902,166	81,122,878
		總計	Grand Total	352,836,648	335,840,114
特別會計 Special Account	同	簡易生命保險歲入 Revenue of post Office Life Insurance	56,923,115	66,227,760	
		歲出 Expenditure	23,158,542	19,993,462	

歲入歲出決算額
The Settled Accounts of the
Revenue and Expenditure

年次 Year	經常部 Ordinary	臨時部 Contingent	計 Total
大正十四年度 1925-26	歲入 Revenue 301,970,174	歲出 Expenditure 692,905	302,663,079
十三年度 1924-25	歲入 Revenue 263,199,923	歲出 Expenditure 248,748,214	263,444,642
十二年度 1923-24	歲入 Revenue 236,239,076	歲出 Expenditure 207,270,386	236,531,937
十一年度 1922-23	歲入 Revenue 249,637,616	歲出 Expenditure 207,799,495	249,837,118
十年度 1921-22	歲入 Revenue 242,070,156	歲出 Expenditure 192,634,958	242,291,150
九年度 1920-21	歲入 Revenue 223,156,216	歲出 Expenditure 144,929,444	223,369,256
八年度 1919-20	歲入 Revenue 231,817,804	歲出 Expenditure 89,292,439	232,052,545
七年度 1918-19	歲入 Revenue 171,672,610	歲出 Expenditure 81,199,394	171,954,241
六年度 1917-18	歲入 Revenue 143,334,182	歲出 Expenditure 73,017,625	143,482,257
五年度 1916-17	歲入 Revenue 114,688,192	歲出 Expenditure 67,871,056	114,875,546
			83,565,287

第十一章 財產

Section 11. Property

土地面積

Area of Land

部局 Section	本省 Main Office	貯金局 D. G. of P. Money Orders and Savings Bank	簡易保險局 Bureau of Post Office Life Insurance	内地地方 通信官署 Local Communication Offices	在支那郵 便電信局 Post Tele- graph Offices in China	燈臺局 Light house Bureau	各航路 標識 Nautical Marks	合計 Total
年度末 At the 31st March of:	平方メートル	平方メートル	平方メートル	平方メートル	平方メートル	平方メートル	平方メートル	平方メートル
大正十四年度 1926	199,428	21,127	22,344	1,307,820	3,808	17,230	2,570,404	4,142,161
十三年度 1925	198,658	21,127	22,344	1,481,265	3,811	20,889	2,478,632	4,226,726
十二年度 1924	193,789	21,104	22,344	1,246,170	3,811	20,889	2,480,364	3,988,471
十一年度 1923	196,241	21,107	-	870,289	9,236	21,260	2,576,816	3,694,943
十年度 1922	196,509	21,107	-	819,426	9,236	21,260	2,525,237	3,592,775
九年度 1921	192,013	16,413	-	776,748	9,236	21,260	2,479,805	3,495,475
八年度 1920	148,926	13,058	-	702,880	9,236	21,260	2,453,174	3,348,534
七年度 1919	130,334	11,405	-	634,014	9,236	21,260	2,355,501	3,161,750
六年度 1918	128,830	11,405	-	629,991	10,893	21,260	2,278,526	3,080,905
五年度 1917	128,826	10,499	-	623,564	10,893	21,260	2,230,734	3,025,776

建物面積

Area of Buildings

大正十四年度末
March 31, 1926

部局 Section	本省 Main Office	貯金局 D. G. of P. Money Orders & Savings Bank	簡易保險局 Bureau of Post Office Life Insurance	地方通信 官署 Local Communi- cation Office	在支那郵 便電信局 Post Tele- graph Office in China	燈臺局 Light- house Bureau	各航路 標識 Nautical Marks	合計 Total
事務所 Office Part	53,230	25,719	13,296	283,921	2,655	678	502	380,001
住宅 Dwelling Part	2,942	271	69	29,795	149	192	22,945	56,363
倉庫 Store Part	12,023	291	-	12,846	132	274	3,230	28,796
雜屋 Miscellaneous Part	39,726	3,570	1,289	229,237	453	1,607	9,412	285,294
合計 Total	107,921	29,851	14,654	555,799	3,389	2,651	36,089	750,354
大正 三年度 March 31, 1925	103,432	29,332	4,238	551,958	3,362	2,760	34,770	729,852
十二年 March 31, 1924	63,848	28,959	69	516,966	3,362	36,916		650,120
十一年 March 31, 1923	90,952	29,633	-	521,578	7,170	43,451		692,784
十年 March 31, 1922	108,549	10,460	-	483,475	7,220	9,669	39,570	658,943
九年 March 31, 1921	106,883	10,066	-	446,404	7,220	9,636	39,413	619,622
八年 March 31, 1920	99,756	9,385	-	417,799	7,151	9,616	39,107	582,814
七年 March 31, 1919	92,959	9,345	-	390,020	7,213	9,593	38,195	547,325
六年 March 31, 1918	91,699	8,373	-	373,525	6,360	9,620	37,005	526,582
五年 March 31, 1917	91,309	8,378	-	372,910	6,493	10,020	37,065	526,175

船 隻

Shipping

大正十四年度末
March 31, 1926

種 別 Description	部 局 Section	本 省 Main Office	地 方 遞 信 官 署 Local Communication Office	燈 臺 局 Light house Bureau	各 航 路 標 識 Nautical Marks	合 計 Total
汽 船 Steamer	船 數 No. 總 噸 數 Gross Tonnage	4 11,236	30 402	6 2,460		40 14,098
帆 船 Sailing Vesseles	船 數 No. 總 噸 數 Gross Tonnage	-	-	-		-
端 舟 Bont	舟 數 No. 總 噸 數 Gross Tonnage	20	78	51		149
合 計 Total	船 數 No. 總 噸 數 Gross Tonnage	24 11,236	108 402	57 2,460		189 14,098
大 正 十 三 年 度 末 March 31, 1925	船 數 No. 總 噸 數 Gross Tonnage	24 11,236	110 402	53 2,460		212 17,559
十 二 年 度 末 March 31, 1924	船 數 No. 總 噸 數 Gross Tonnage	4 11,236	126 398	54 2,464		209 17,559
十 一 年 度 末 March 31, 1923	船 數 No. 總 噸 數 Gross Tonnage	5 11,236	142 443	56 2,464		231 17,620
十 年 度 末 March 31, 1922	船 數 No. 總 噸 數 Gross Tonnage	21 7,633	147 496	16 2,360	48 92	273 14,037
九 年 度 末 March 31, 1921	船 數 No. 總 噸 數 Gross Tonnage	21 7,633	140 480	16 2,360	48 92	265 14,021
八 年 度 末 March 31, 1920	船 數 No. 總 噸 數 Gross Tonnage	20 7,633	128 466	16 2,360	46 92	249 14,007
七 年 度 末 March 31, 1919	船 數 No. 總 噸 數 Gross Tonnage	20 7,633	114 435	15 2,356	46 92	232 14,009
六 年 度 末 March 31, 1918	船 數 No. 總 噸 數 Gross Tonnage	20 7,633	74 424	15 2,358	45 92	212 14,000
五 年 度 末 March 31, 1917	船 數 No. 總 噸 數 Gross Tonnage	20 7,633	72 416	15 2,363	45 100	196 14,009

通 信
COMMUNICATIONS

郵務、電務、工務各局沿革略誌

郵務、電務、工務ノ三局ハ孰レモ元通信局ノ一分課ナリシカ大正十四年五月逓信省官制改正ノ結果夫々本省内ノ一局トナリタルモノニシテ内郵務、電務兩局ノ如キハ從來屢々離合ヲ繰返シテ今日ニ至レリ而シテ右三局ノ所掌事項ハ通信事務運行上相互密接ノ關係ヲ有スルモノナルヲ以テ本沿革ニ於テモ特ニ三局ヲ分掲セス而シテ郵便、電信事務ニ至リテハ其ノ濫觴ヲ遠クニ發スト雖制度トシテ之ヲ認メラレタルハ電信ニ在リテハ明治二年、郵便ニ於テハ明治四年トス爾後幾多ノ所管廳省等ノ變遷ヲ經テ今日ニ至レルカ以下年ヲ逐フテ之カ沿革中主ナルモノヲ摘録スレバ次ノ如シ

明治元年

- 一月 三職ノ職制分課ヲ定メラレ諸國水陸運輸驛路ノ事務ハ内國事務總督ノ所管ニ屬ス
- 二月 改メテ八局ヲ置キ上記ノ事務ハ内國事務局ノ所管ニ屬ス
- 閏四月 内國事務局ヲ廢シテ會計官ヲ置キ七司ヲ管シ驛遞司其ノ一ニ屬ス
- 七月 各地飛脚賃錢ノ制ヲ定ム
- 九月 驛遞規則ヲ定メ驛遞ノ法ハ驛遞司之ヲ裁定シ府藩縣之ヲ遵守シ驛郷ノ組替、訴訟請願、各驛ノ配置等凡テ驛遞司ノ管理ニ屬セシム
- 十月 車駕東遷ニ際シ驛遞司ヲ東京(七月江戸ヲ東京ト改稱)ニ置ク
- 同 諸官司ノ發スル公狀、諸荷物ハ一切各驛傳馬所ニ於テ遞傳セシメ驛遞官吏一名ヲ出シテ監督セシム

明治二年

- 四月 民部官ヲ置カレ驛遞司ハ其ノ所管ニ屬ス
- 七月 官ヲ改メ省トナシ民部省廢セラレ驛遞司ハ民部大藏省ニ屬ス
- 八月 驛遞司ヲ驛遞寮ニ改ム
- 同 始メテ電信事業開設ノ事ニ著手セルモ事草創ニ係リ所管廳ヲ建ツルニ至ラス假ニ燈臺事務ニ附屬シテ外務省ノ管理ニ屬セシカ翌月燈臺事務ノ大藏省ニ移サルハニ及ヒ電信事務モ亦之ニ屬ス
- 同 横濱燈明臺役所及同港裁判所間ニ電信線ヲ架設シテ指字機ヲ裝置シ專ラ官用通信ノ用ニ供ス
- 同 神奈川縣ヲシテ横濱裁判所、東京運上所間電信線建築事務ヲ處理セシメ横濱裁判所内ニ傳信機役所ヲ置ク
- 九月 傳信機取扱規則(十三項ヨリ成ル)ヲ設ク
- 同 東京横濱間ニ電信線ヲ架設ス

- 十月 東京運上所内ニ傳信機役所ヲ置ク
十一月 傳信機ニ關スル七項ヲ規定シテ各省及近傍府縣内ニ布告ス
十二月 傳信機役所ヲ傳信局ト改稱ス

明治三年

- 四月 歐文通信ノ取扱ヲ開始ス
七月 民部大藏省ヲ民部省及大藏省ニ分ツニ方リ、驛遞及電信事務ハ民部省ニ屬シ省中四司(土木、驛遞、鑛山、通商)六掛(聽訟、社寺、鐵道、傳信機、燈臺、横須賀製鐵所)ヲ置キ電信ニ對シテハ始メテ傳信機ノ名アルニ至ル然レトモ實際ハ尙舊例ニヨリ燈臺掛ニ於テ之ヲ處理セリ
八月 大阪、神戸間ニ電信線ヲ架設シ大阪川口、神戸大手町ニ傳信局ヲ置キ事務ヲ開始ス
同 大北電信會社ニ上海長崎間及浦鹽長崎間ノ兩海底線ヲ長崎ニ陸揚シ及長崎横濱間ニ海底線ヲ布設スルコトヲ許可シ丁抹公使ト之ニ關スル條約ヲ交換ス(長崎横濱間ハ起工ニ至ラス明治十五年其ノ許可ヲ廢止ス)
閏十月 工部省ヲ置キ電信事務ハ同省ニ屬ス
同 兵庫縣ニ於テ日曜日其ノ他公休日ヲ廢シテ公衆ノ利便ヲ圖リ十一月五日ヨリ年中晝夜ノ別ナク電信ヲ取扱ヒ午後七時ヨリ午前七時ニ至ル間ハ料金ヲ倍課シ且公用通信ノ無料ヲ改メテ一般通信料ノ半額ヲ徵スルコトヲ令ス
十二月 郵便開設ニ關シテ十二藩六縣ニ令シ東海道品川ヨリ大津ニ至リ、城州伏見ヨリ河洲守口ニ至ル管内各驛皆書狀集函及切手賣捌所ヲ設ケシム

明治四年

- 一月 飛脚便法ヲ設ケ公私通信ヲシテ自在ナラシムルコトヲ令シ三月以降東京ヨリ大阪ニ至ル三十九時間飛脚ヲ廢シ東海道各驛四五里四方各村及勢州、美濃路モ右幸便ヲ以テ達スルコトトシ諸官省發公信モ亦定費ヲ以テ賃錢切手ヲ購買シ發送スルコトトス
二月 書狀賃錢切手四十八文、百文、二百文、五百文ノ四種發行ニ付各管内便宜ノ地及資産アル者ヲ選ヒテ切手ノ發賣ヲ命シ、百文ニ付四文ノ手数料ヲ給スルコトトス
同 郵便差出方心得及時間賃錢表ヲ布告ス
三月 東京大阪間ニ新式郵便ヲ實施シ兩地ニ郵便役所ヲ設ク
四月 民部省ヨリ電信事務ノ繼承ヲ完了ス依テ工部省ニ傳信掛ヲ置ク
五月 官用傳信機稅則ヲ定メ公信ト雖有料トス
六月 上海長崎間海底線成リ海外ト通信ヲ開始ス

- 七月 民部省廢セラレテ驛遞司ハ大藏省ニ屬シ翌八月驛遞寮ト改稱ス
同 八月ニ涉リ横濱、神戸、長崎、函館、新潟ノ五港ヘ郵便役所ヲ設ケ其ノ賃錢表ヲ發行ス
八月 工務省官制ヲ定メ電信寮ヲ置ク
同 大阪以西ノ書狀發行法ヲ定ム
同 東京長崎間(三百五十七里)陸線架設ノ工ヲ起ス
十月 モールス印字機始メテ渡來ス

明治五年

- 三月 増補郵便規則(四年十一月制定)ヲ頒布ス、其ノ要旨ハ書狀ノ外新聞雜誌、書籍見本、書留郵便ノ差出方ヲ定メ、官廳宛公益ニ關スル建白書又ハ願書等開封ノモノハ無料トシ、貨幣封入書狀、危險物等ヲ郵便禁制品トシ、外國郵便差出ノ手續等ヲ定メタルコト等ナリ
同 東京市内ニ一日三回ノ郵便集配ヲ開ク
四月 傳信局ヲ電信局ト改稱シ西京ニモ電信局ヲ開ク
同 東京長崎間通信料ヲ定ム
五月 東京横濱間ニ一日五回往復便ヲ開キ且郵便切手ヲ貼付セサル書狀ノ遞送ヲ營業トスルヲ禁シ郵便ヲ政府ノ專掌ニ屬セシム
六月 金子入書狀遞送規則ヲ發布シテ東京横濱間ニ實施ス
七月 國內(後志磨振ヲ除ク)本支道ノ別ナク縣廳所在地及港、津、市、驛等公私用務繁多ノ地ニ凡テ信書ノ遞送ヲナサシム
同 海外音信内地傳送料額ヲ定ム
八月 赤間關海峡ニ一線ヲ沈設ス之ヲ第一線海底線トス
九月 十錢、二十錢及三十錢郵便切手ヲ發行ス
同 東京府内各局音信料額ヲ定ム
同 一般私線ノ架設ヲ許ササルコトトス
十一月 各府縣ニ告諭シ電報ハ創業ノ際工事多端通信停滯ノ虞ナシトセサルニ付中間局ニ於テ通信杜絶シタルトキハ郵便ヲ以テ送達スヘク其ノ延滞ニ對シテハ損害賠償ノ責ニ任サセルコトヲ明カニス

明治六年

- 二月 東京長崎間架線ノ工竣ハリ沿道ノ地ニ順次電信局ヲ開ク
三月 四錢郵便切手ヲ發行ス

- 四月 郵便役所ヲ分チテ一等乃至四等トス
 同 郵便賃錢ノ稱呼ヲ廢シテ郵便稅ト改稱シ量目等一ノ信書ハ里程ノ遠近ニ係ハラス均一郵便稅トス、但シ市内郵便、地方郵便、市外増稅ハ尙舊ニ依ル
 五月 東京長崎間各電信局ヲ事務ノ繁閑ニヨリ一等乃至三等ニ分ツ
 同 信書遞送ノ業務ハ擧テ驛遞頭ノ特任ニ歸シ茲ニ本邦郵便制度始メテ定マル
 同 同文電報ノ取扱ヲ開始ス
 八月 大日本政府電信取扱規則ヲ制定シ、通信ノ方法順序ヲ示シ、語字及符號ノ計算並郵便配達、返信料前納、報知依頼、校正、符號各電報ノ種別ヲ明カニス
 十二月 郵便葉書、封皮、帶紙ヲ發行シ其ノ用方規則ヲ頒布ス

明治七年

- 一月 驛遞寮ハ内務省所管トナル
 同 六錢郵便切手ヲ發行ス
 二月 飛信遞送規則ヲ制定シ非常ノ通信ニ限リテ用フルコトトス
 同 海外電信料ヲ改正ス
 三月 琉球ニ郵便局ヲ開ク
 六月 北米合衆國ト郵便交換條約ヲ締結シ八年一月ヨリ實施ス
 八月 電信私線規則ヲ定メ官線ナキ地ニ私線ノ架設ヲ許シ之ニ關スル條項ヲ規定ス
 九月 日本帝國電信條例ヲ制定シ電信ニ關スル諸般罰則等ヲ規定ス
 十二月 在本邦米國郵便局ヲ撤退ス

明治八年

- 一月 米國トノ郵便交換條約ヲ實施ス
 同 郵便役所ヲ郵便局ト改稱シ且同一市内ニ數個ノ郵便局アルモノハ其ノ一局ヲ本局トシ其ノ他ハ總テ分局トシ郵便局又ハ分局ト隔絶セル土地ニ郵便受取所ヲ設置ス
 十月 電信各局ノ閉閉時限ヲ一定シ午前六時ヨリ午後十時マテトス

明治九年

- 一月 局待電報ノ制ヲ定ム
 三月 追尾電報ノ制ヲ定ム
 四月 上海ニ本邦郵便局ヲ開キ芝罘、鎮江等八港ニ郵便受取所ヲ設置ス
 六月 火災報ヲ一定シ出火ニ關スル揭示ヲナスコトトス
 九月 五厘郵便切手及一錢通常葉書ヲ發行ス

- 十二月 朝鮮釜山ニ本邦郵便局ヲ設置ス

明治十年

- 一月 各省諸寮ヲ廢シテ局ヲ設クルコトトナリ驛遞寮、電信寮ヲ驛遞局又ハ電信局ニ改メ地方電信局ハ之ヲ電信分局ト改稱ス
 二月 萬國聯合郵便條約ニ加盟シ六月ヨリ之ヲ實施ス
 六月 外國郵便葉書ヲ發行ス
 十一月 八錢郵便切手ヲ發行ス

明治十一年

- 三月 東京木挽町ニ電信中央局ヲ設置シテ全國電信ノ中心トシ二十五日電信開業式ヲ舉行ス
 同 海外通信ハ萬國電信公法ニヨリ取扱フコトトス
 同 内國和文通信ハ住所姓名等ノ數字ヲ音信文ニ通算シテ其ノ料金ヲ徵スルコトトナル(十一月住所姓名ヲ一通五錢ニ改ム)
 五月 佛國巴里ニ開催ノ萬國郵便聯合會議ニ本邦委員ヲ出席セシメ六月其ノ決議ニ係ル萬國聯合郵便條約ニ加盟シ翌年四月ヨリ之ヲ實施ス

明治十二年

- 一月 萬國電信條例ニ加盟調印ヲ了ス
 四月 倫敦ニ開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
 五月 電信取扱規則ヲ改定シ七月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ秘密ヲ嚴守シ安寧秩序ヲ害スル電報ノ取扱ヲ禁シ、通信上ノ責任ヲ明ニシ、取扱ヲ便利ニシテ改追尾電報ヲ設ケ、至急電報ノ制ヲ開キ、照夜、受信報知電報ノ稱ヲ定メ、同文電報ヲ連名電報トシタルコト等トス
 六月 二錢葉書、五十錢郵便切手及三錢萬國郵便聯合葉書ヲ發行ス
 七月 著信電報ハ凡テ炭酸紙ヲ以テ謄寫スルコトトス
 十二月 在本邦英國郵便局ヲ撤去セシメ同時ニ英領香港郵政廳ト小包交換條約ヲ締結シ翌年一月ヨリ實施ス
 同 工部省製機掛ニ於テ始メテ「モールス」印字機十臺ヲ製出ス

明治十三年

- 三月 在本邦佛國郵便局ヲ撤去セシム茲ニ於テ本邦郵便事業ハ擧ケテ我ガ統管ニ歸ス
 同 地震報知方法ヲ設ケ横濱、東京近傍十四局ニ達示シテ之ニ依ラシム
 五月 朝鮮元山津ニ本邦郵便局ヲ開設ス

十月 海外ニ發スル電報文中ニ邦語ヲ用フルコトヲ認ム

明治十四年

四月 農商務省ヲ置カレ驛遞局ハ其ノ所管ニ屬ス

七月 郵便支局ノ制ヲ設ク(十六年五月廢ス)

八月 清國芝罘、鎮江等八ヶ所ニ設置セル本邦郵便受取所ハ收支償ハス且取扱人其ノ人ヲ得難キニ依リ悉ク之ヲ閉鎖ス

同 地方人民ヨリ興業費及局舎等ヲ獻納シ電信置局ヲ請願スルトキハ必要ト認ムルモノハ之ヲ許可ス

明治十五年

六月 電信取扱規則ヲ改正シ、島嶼配達ノ制ヲ加へ、内國至急官報料金ヲ通常信ノ二倍トシ閉局時限後ト雖之カ取扱ヲナサシメ其ノ他諸般ノ事項ヲ改正ス

十月 海底線保護萬國會議ニ我在佛公使館員ヲ參列セシム

十一月 郵便條例ヲ制定シ從來ノ諸法規ヲ統一改正シテ郵便物ヲ第一種乃至第四種ニ分チ郵便料額ヲ全國均一トス

明治十六年

一月 五錢郵便切手ヲ發行ス

三月 朝鮮ト日朝間海底線布設ニ關スル條約ヲ締結ス

同 驛遞區編制法ヲ定メ全國ヲ劃シテ驛遞區トシ、驛遞區ヲ劃シテ郵便區トス而シテ每驛遞區ニ一驛遞出張局ヲ設ケ、每郵便區ニ郵便局ヲ置キ驛遞出張局ヲシテ其ノ驛遞區内ノ郵便局ヲ管理シ、郵便局ヲシテ其ノ郵便區内ノ郵便受取所及切手賣下所ヲ管理セシム

十月 海底線保護萬國聯合會議ニ再ヒ在佛公使館員ヲ參列セシム

十一月 大阪梅田電信分局ヲ西部電信中央局トシ大阪以西各分局ニ發著スル音信ノ繼送ヲ掌ラシム

明治十七年

六月 郵便徽章ヲ定ム

十二月 電信披閱手續ヲ設ケ犯罪事件檢察上ノ必要ニ應セシム

明治十八年

一月 二錢内國郵便往復葉書及六錢萬國郵便聯合往復端書ヲ發行ス

三月 葡國里斯本府ニ開催ノ萬國郵便聯合會議ニ本邦委員ヲ參列セシメ其ノ決議ニ依ル追加

條約ニ同盟シ翌年四月ヨリ實施ス

五月 電信條例ヲ改正シ電信取扱規則ヲ改定ス、其ノ要旨ハ專掌ノ趣旨ヲ明ニシ、料金ヲ均一ニシ、住所氏名料ヲ廢シ、受取證書ヲ差出スノ方法ヲ設ケ、連名電報ヲ同文電報トシ、受信電報ノ稱ヲ定メ、尋問改正手續ヲ明ニシ、閱覽正寫ノ方法ヲ創メ、電信切手ヲ發行シタルコト等トス

七月 電信機施設法ヲ定メ電信建築ニ關スル方法ヲ明ニス

八月 柏林ニ開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム

十二月 遞信省創設セラレ驛遞局ハ農商務省ヨリ、電信局ハ工務省ヨリ移ルニ及ヒ郵便電信事務ハ遞信省ノ所管トナル

明治十九年

二月 遞信省官制ヲ公布シ六局ヲ置キ驛遞、電信二局其ノ内ニ含マル

同 郵便條例ヲ改正シ流動或ハ腐敗シ易キ物品等ノ郵送ノ禁ヲ寬ニス

三月 地方遞信官署官制ヲ公布シ郵便電信事業管理ノ爲須要ノ地下記十三ヶ所ニ遞信管理局ヲ置キ又地方郵便電信ノ事務ヲ掌理スル爲郵便局及電信分局ヲ置キ遞信管理局ノ管理ニ屬セシメ、郵便局及電信分局ヲ各一等、二等、三等トス
東京、大阪、岡山、赤間關、仙臺、金澤、名古屋、熊本、松江、函館、福島、丸龜、新潟

五月 海底線保護萬國聯合會議ニ三度在佛公使館員ヲ參列セシム

八月 電信建築官官制ヲ公布シ電機ノ施設及修築ノ工事ヲ處理スル爲遞信管理區ヲ分チ電信局長ノ管理ニ屬セシム

明治二十年

三月 官制改正ノ結果驛遞、電信ノ二局ヲ廢シ内信、外信、工務、爲替貯金ノ四局ヲ設ケ内國郵便、内國電信ノ事務ハ内信局、外國郵便、外國電信、外國爲替ノ事務ハ外信局、電信工事ニ關スル事務ハ工務局ニ於テ分掌ス

同 郵便電信業務ノ聯帶セル郵便ハ之ヲ免稅トシ電報ハ局報トス

六月 電信建築官官制ヲ廢止ス

十月 英國ト書狀郵便ヲ以テ交換スル商品見本ノ重量及積量ノ制限ニ關スル約定ヲ締結シ翌年六月ヨリ實施ス

明治二十一年

三月 二十五錢及一圓郵便切手ヲ發行ス

- 四月 三等郵便局長採用規則ヲ定ム
五月 新ニ改進尾電報ノ方法ヲ設ク
十二月 電話通信手續ヲ設ケ翌年一月ヨリ試験ヲ兼ネ東京熱海兩電信局間ニ於テ電話通信ヲ開ク

明治二十二年

- 一月 電話取扱心得ヲ設ケ東京熱海間ノ電話ニ使用セシム
三月 電信電話線私設條規ヲ定メ、出願ノ手續、工事起竣ノ報告、公私兩線ノ關係等ヲ規定ス
四月 地方部局ニ訓示シテ通信秘密ノ保護ヲ嚴ニシ公衆ニ接スルニ親切丁寧ヲ以テシ又取扱上不都合アル場合何人ニテモ本省ニ申告セシムルノ途ヲ開ク
七月 地方遞信官署官制ヲ廢シ郵便及電信局官制ヲ公布シ遞信管理局ヲ廢シ郵便電信局、郵便局、電信局ヲ各一等、二等、三等トシ、一等局ハ各指定区域内各局業務ノ監督ヲ兼スルコトトシ九月一日ヨリ施行ス
八月 郵便條例ヲ改正シ第三種ニ屬スル定時印刷物ノ郵税ヲ半減シ、第四種ニ屬スル書籍、圖書、見本、雛形等ノ重量ヲ増加シ且農産物種子ヲ第四種ニ編入シ各其ノ郵税ノ割合ヲ輕減ス
十一月 電報受付時限ヲ改定シ十一月十日ハ午前六時ヨリ午後十時迄トス
十二月 電信切手ノ使用ヲ翌年二月限リ禁止スルコトトス

明治二十三年

- 三月 本省各局、郵便及電信局並爲替貯金局、出納所ニ於テ相互ニ往復スル公務ノ内地郵便及電信ヲ郵便事務又ハ局報トシテ取扱ハシム
四月 電話交換規則ヲ定メ電話通信ノ手續順序ヨリ電話器使用料金及其ノ方法等ヲ明ニシ電話交換加入ノ申込ヲ爲サシム
五月 巴里開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
六月 遞信省官制ヲ改正シ内信、外信、工務ノ三局ヲ廢シテ郵務、電務ノ二局ヲ置キ郵便ニ關スル事務ハ郵務局、電信ニ關スル事務ハ電務局ニテ掌ル
八月 電信電話建築條例ヲ制定シ電信電話ノ建築ニ就キ民有土地營造物供用等ノ場合損害賠償及補償評定等ノ事ヲ規定ス
同 電報局渡規則ヲ定メ局渡證票ヲ交付シ電信局所ニ就キ電報ヲ受取ラシムル事トシ十月ヨリ施行ス
九月 英領加奈陀ト小包郵便交換條約ヲ締結シ十月ヨリ實施ス

- 十二月 東京横濱兩市ニ電話交換ヲ開始ス

明治二十四年

- 四月 埃國維也納ニ於ケル萬國郵便會議ニ委員ヲ派遣シ其ノ決議事項ヲ翌年七月ヨリ實施ス
同 大北電信會社ヨリ肥前呼子、對島巖原間ノ海底線ヲ買收シ之ニ關聯シテ壹岐、對島ニ發著スル電報料ヲ内地ト同一ニシ釜山迄ノ電報料ヲ低減ス
六月 訴訟書類特別送達ノ手續ヲ定ム
七月 遞信省官制ヲ改正シ電務局ニ於テハ電信ノ外電話及電氣事業監督ニ關スル事項ヲ掌ル
同 電信建築署官制ヲ公布シ東京外五ヶ所ニ電信建築署ヲ設ク
同 電話交換局官制ヲ公布シ電話交換ノ業務ヲ執行ス
同 萬國電信條例ニ附隨シ各國適宜ニ規定スルヲ得ル事項ニ關シ本邦ニ於テ施行スヘキ規定ヲ公示ス、本文ナキ電報ヲ認メ、句讀點ノ類ヲ傳送セサルコト、無絨配達ヲ認メサルコト、至急私報及返信料前納ニ關スル規則ノ全部ヲ施行スルコト等ヲ主ナルモノトス

明治二十五年

- 二月 第三種郵便物認可規則ヲ定ム
三月 配達證明郵便ノ制ヲ設ク
五月 三錢郵便切手ヲ發行ス
六月 小包郵便法ヲ公布シ十月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ種類ヲ通常及價格登記ノ二種トシ、郵便料ハ遞送距離ト重量トニ依リテ區別シ、郵便區ノ市外ニ配達スルモノハ別ニ料金ヲ加徴スルコト等ナリ
十月 特別氣象電報ノ制ヲ設ク

明治二十六年

- 三月 大阪神戸ニ電話交換ヲ開始ス
六月 本邦發萬國郵便聯合外諸國宛郵便物ノ税率ヲ改定シテ凡テ同一稅額トス
十月 官制ヲ改正シ郵務、電務ノ二局ヲ合セテ通信局トス
同 郵便及電信局官制ヲ改正シ郵便及電信局ヲ分テ一等郵便電信局、二等郵便電信局、二等郵便局、二等電信局、三等郵便電信局及三等郵便局トシ、一等郵便電信局ハ管内各局ノ監督ヲ兼スルコトトシ次ノ各地ニ之ヲ置ク
東京、大阪、京都、横濱、神戸、長崎、札幌、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、宇都宮、長野、青森、金澤、多度津、鹿兒島

- 十月 電話交換局ニ支局ヲ設置シ得ルコトトス
同 第三種及第四種郵便物自體及上封ニ筆書シ得ル事項ヲ定ム

明治二十七年

- 六月 軍事郵便ニ關スル規定ヲ設ケ戰時若ハ時變ニ際シ軍隊、軍艦、軍衙、其ノ他軍人軍屬ヨリ發スル郵便物ハ軍事郵便物トシテ無料トシ是等ニ對シテ宛テタモノハ完納稅郵便物ニ限ルコトトス
九月 特別警報氣象電報ノ制ヲ設ク
十二月 獨逸ト小包郵便交換約定ノ件ヲ公布シ翌年一月ヨリ實施ス

明治二十八年

- 三月 第五種郵便物ヲ設ケ第四種中農産物種子ヲ以テ之ニ充テ料率ヲ低減ス
十二月 臺灣、威海衛各野戰局ニ軍事郵便物ノ外平時完納稅郵便物ノ取扱ヲ開始ス

明治二十九年

- 四月 臺灣ニ郵便、電信、爲替貯金等ニ關スル規定ヲ施行ス
同 小包郵便料ヲ改正シ市外加徴料ヲ廢シ、容積制限ヲ擴メ、料金ノ基準タル里程階級ヲ減シ百里以上ハ均一率ヲ採用ス
六月 プタベスト開催萬國電信會議ニ委員ヲ參列セシメ其ノ決議事項ハ翌年七月ヨリ施行ス
九月 代金引換小包ノ制ヲ設ク
同 英國ト締結セル小包郵便交換ニ關スル約定ヲ公布ス
十月 鹿兒島、那霸間固定軍用電信ヲ公衆電信用ニ供スルコトトス
同 在外郵便電信局、郵便局官制ヲ公布ス

明治三十年

- 五月 米國華盛頓ニ開催ノ萬國郵便會議ニ委員ヲ參列セシメ其ノ決議事項ハ明治三十二年一月ヨリ施行ノコトトス
六月 外國新聞電報規則ヲ制定シ料金ヲ低減ス
八月 官制ヲ改正シ通信局ヲ郵務、電務ノ二局ニ分ツ
同 郵便及電信局官制ヲ改正シ郵便及電信局ヲ分テテ一等郵便電信局、二等郵便電信局、二等郵便局、二等電信局、三等郵便電信局、三等郵便局、三等電信局トシ一等郵便電信局ノ管轄區内各局ノ監督ヲ兼スルモノトシ次ノ十八局ヲ置ク
東京、大阪、京都、横濱、神戸、長崎、札幌、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、宇都宮、長野、青森、金澤、多度津、鹿兒島

- 十月 諸國宛郵便稅率ヲ改正ス
十一月 在韓國本邦郵便局ト本邦トノ間及在韓本邦局相互間ノ郵便稅ハ内國郵便稅率ニ依ル旨ヲ明ニス
十二月 電話交換規則ヲ改正シ、加入期ヲ短縮シ、加入權讓渡ニ關スル事項ヲ規定シテ手續ヲ鄭重ニシ、急設ノモノハ讓渡ヲ禁シ加入登記料ヲ徵收シ、料金ヲ高メ別ニ電話依託電報規則ヲ制定ス

明治三十一年

- 二月 電話交換規則ヲ改正シ官廳ノミナラス公署其ノ他公益ニ關スルモノニ對シテハ特別架設ヲ認メ、使用料ヲ改正シ現金納付ヲ原則トスルコトニ改ム
三月 萬國郵便聯合四錢端書及同八錢往復端書ヲ發行ス
四月 電話加入申込讓渡ヲ許可スルコトトス
八月 佛國トノ價格表記小包郵便物交換條約ヲ公布ス
十月 官制ヲ改正シ郵務局、電務局ヲ廢シテ再ヒ通信局ヲ置ク

明治三十二年

- 一月 電話依託電報用語ノ制限ヲ廢シ、依託料額ヲ改正シ、電話交換規則中長距離電話ニ關スル事項ヲ追加ス
二月 郵便條例ヲ改正シ郵便物容積制限ヲ寬ニシ、第一種及第二種郵便物料金ヲ引上ケ、第一種ハ單位當重量ヲ増加シ、葉書ノ紙質ヲ改良シ四月一日ヨリ施行ス
三月 郵便切手ノ賣下ヲナス局所ニ於テハ收入印紙ノ賣下ヲモ爲スコトニ定メラル
同 加入登記料並市内外電話料金ヲ改正ス
同 内國電信料金ヲ引上ケテ一音信ノ字數ヲ増加シ、發信人氏名ヲ有料字數ニ算入スルコトトシ、市内電報同文電報、追尾電報等ノ料金ヲ改正シ、受信人連記ヲ禁シテ一名ニ限ルコトトシ四月一日ヨリ施行ス
五月 郵便博物館ヲ遞信省構内ニ置ク
同 一錢五厘葉書ヲ發行ス
同 固定軍用電信公衆通信取扱規則ヲ制定ス
十月 三錢往復葉書ヲ發行ス

明治三十三年

- 三月 郵便法、電信法及鐵道船舶郵便法ヲ發布シ、韓國發及韓國宛小包ノ規定ヲ設ク
八月 電話呼出規程ヲ制定シ加入者又ハ電話所ニ來ル者ヨリ電話所所在地ノ者ヲ呼出シ對話

スルコトヲ得セシム

- 九月 郵便規則ヲ制定シ郵便法實施ニ伴ヒ十月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ郵便禁制品ノ種類ヲ改正シ、價格表記トナスヘキ物件ノ種類ヲ限定シ、私製葉書ヲ認メ、業務用書類ヲ設ケ、通常郵便ニモ價格表記及代金引換ノ制ヲ認メ、現金取立ニ關スル規定ヲ設ケ、損害賠償ノ標準ヲ定メタルコト等トス
- 同 鐵道船舶郵便規則ヲ制定シ鐵道船舶郵便法實施ニ伴ヒ十月一日ヨリ施行ス、同法ハ鐵道及船舶運送業者ノ郵便物運送ニ關スル諸般ノ事項ヲ規定スル所アリ、本則ハ之ニ關聯シ是等ノ郵便物運送ノ爲ニスル設備、運送料金等ヲ定ム
- 同 外國郵便規則ヲ定メ十月一日ヨリ施行シ之ニ關聯シテ名宛變更及取戻ニ關スル事項代金引換交換局名、代金引換書留取立制限額等ヲ告示ス
- 同 郵便局所收入印紙賣下規則、郵便切手類賣下規則及第三種郵便物認可規則ヲ定メ十月一日ヨリ施行ス
- 同 電報規則ヲ制定シ電信法實施ニ伴ヒ十月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ官報及局報ノ範圍ヲ改正シ、局報ノ發送ヲ制限シ、本文ナキ電報ヲ認メ、無絨配達ノ制ヲ設ケ、直配達區域ヲ擴張シ、在韓本邦局相互間ノ電報ハ內國電報ニ準セシムルコト等トス
- 同 私設電信規則、私設電信ニ依ル公衆通信取扱規則、官廳用電信電話規程ヲ制定シ略號登記料、配達先登記料、局渡料ノ金額及其ノ納付手續ヲ定メ及本邦ト韓國本邦局所間直發著電報取扱規則ヲ改正シ各十月一日ヨリ施行ス
- 同 自働電話ノ設備ニ伴ヒ其ノ通話料ノ差入方及通話方法制限ニ關スル事項ヲ定メ又官廳ニ對スル加入區域外加入ノ制ヲ設ク
- 十月 郵便法、電信法及鐵道船舶郵便法ヲ臺灣ニ施行ス
- 同 三錢封緘葉書、同往復葉書及一錢五厘郵便切手ヲ發行ス
- 同 電信法ハ一定ノ條項ヲ除キ無線電信ニ準用スルノ件ヲ定ム
- 十二月 年賀郵便ノ特別取扱ヲ開始ス

明治三十四年

- 一月 集合電報規則ヲ定メ在清本邦軍人軍屬ト本國親戚知己トノ間ニ往復スル電報ニ便シ二月ヨリ施行ス
- 十二月 郵便物包裝規則ヲ定メ價格表記其ノ他郵便物ノ包裝ヲ完全ナラシムコトヲ期シ、價格表記郵便物封皮及同封緘紙ヲ發行ス

明治三十五年

- 七月 特設電話加入規則ヲ制定シ加入區域外ニ在ル電話所所在地及其ノ附近ニ在ル者ハ通話ニ必要ナル一切ノ設備及維持費等ヲ負擔シ電話ニ加入シ得ルノ途ヲ開ク
- 九月 集合電報規則ヲ廢止シ、從來內地臺灣間ニ發著スル私報ハ至急報ニ限リタルヲ通常報ヲモ取扱フコトトシ料金ヲ定メ翌年一月ヨリ施行ス
- 十二月 華盛頓ニ於テ締結シタル價格表記書狀及箱物交換約定並小包郵便物交換條約ニ加盟シタル結果外國通常郵便ハ相當表記金額ヲ保險シテ貴重品及有價證券等ヲ外國ニ郵送スルノ途ヲ開キ、小包條約ハ文明諸國(英國及其ノ殖民地ヲ除ク)ハ概ネ加盟セルヲ以テ其ノ送受スル小包郵便物ハ相當料金ニ依リ直接適當ノ線路ヲ選擇シ得ルコトトナレリ
- 同 小包郵便料金ノ遠近均一ノ制ヲ改メ同一郵便區内ニ發著スルモノハ量目ニ係ハラステニ低料トシ、同時ニ日清韓三國相互間ニ發著スル小包料金ヲ改定シ翌年一月ヨリ施行ス

明治三十六年

- 三月 遞信官署官制ヲ公布シ通信官署ハ通信管理局、郵便局、電信局、電話局及鐵道郵便局トシ郵便局ハ一等、二等、三等トシ郵便、爲替、貯金事務ノ外電信、電話事務ヲ、電信局ハ電信ノ外電話事務ヲ兼掌スルヲ得而シテ通信管理局ハ東京及大阪ノ二局トシ一等郵便局ハ次ノ十六局トシテ管理事務ヲ兼掌ス
- 京都、横濱、神戸、長崎、札幌、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、宇都宮、長野、青森、金澤、高松、鹿兒島
- 而シテ上記通信官署官制公布ト共ニ郵便及電信局官制、在外郵便電信局、郵便局官制及電話交換局官制ハ之ヲ廢止ス
- 同 新ニ特定三等郵便局ノ制ヲ設ク
- 同 町村ノ請願電信施設ノ件ヲ定メ創業費全部及維持費一部ヲ負擔シテ局所ヲ新設スルノ途ヲ開キ四月一日ヨリ施行ス
- 七月 日清郵便約定同小包郵便約定ヲ實施シ清國內何レノ地ニ宛ツル通常郵便物モ内地ト同一料金ヲ以テスルノ便ヲ得又清國ヨリ發スル郵便物ヲ各國ニ媒介遞送シ且清國輸出入ノ小包郵便ニ對シ關稅ノ賦課ヲ受クルコトヲ承認ス
- 十一月 取扱時間外電報ノ制ヲ設ク
- 十二月 通信管理局ヲ廢シテ東京及大阪郵便局ニ改メ鐵道郵便局ヲ廢シ郵便爲替貯金管理所ヲ通信官署ニ加フ

十二月 私製葉書製式規則ヲ定ム

明治三十七年

二月 軍事郵便ノ取扱ヲ開始ス

三月 俘虜郵便ノ制ヲ設ク

七月 米國ト小包交換條約ヲ締結シ翌月一日ヨリ實施ス

明治三十八年

四月 郵便電信受取所及郵便受取所ヲ郵便局ニ改定シ從來官設ノモノハ二等局ニ、受負ノモノハ三等局トス

同 特設電話規則ヲ制定ス

六月 通信日附印規程ヲ定メ各種日附印ヲ統一シ其ノ製式ヲ改ム

七月 朝鮮通信事業ヲ帝國政府ニ引繼キ内地ト共通ノ通信制度ヲ布クニ至ル

十二月 鑛業特設電話ノ制ヲ設ク

明治三十九年

四月 羅馬開催萬國郵便會議ニ本邦委員ヲ參列セシメ其ノ決議事項ハ翌年十月ヨリ實施ス

五月 樺太ト本邦各地間ニ公衆通信ヲ開ク

六月 電話規則ヲ制定シテ電話料金ヲ低減シ、至急通話ノ制ヲ設ケ、新ニ共同線加入及連接加入ノ方法ヲ設ケ申込ノ不正變更ヲ禁ス

七月 郵便葉書表面ノ輪廓及注意文ヲ除去ス

八月 東京グワム島間ニ、翌月佐世保大連間ニ何レモ海底線通信ヲ開始ス

同 關東都督府内ニ於ケル郵便、電信及電話ノ業務ニ關シテハ内地各通信法規ノ規定ヲ準用スルコトトス

十月 伯林開催ノ國際無線電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム

十一月 年賀郵便規則ヲ制定シ十二月十五日ヨリ二十九日迄年賀郵便トシテ差出シタルモノノ特別取扱方ヲ定ム

十二月 新聞電報規則ヲ制定シ新聞掲載ノ爲ニスル電報料金ヲ半減ス

明治四十年

二月 請願電信規則ヲ改定シテ維持費ノ免除及輕減ノ途ヲ開ク

三月 郵便法及郵便規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ命令ヲ以テ郵便料ヲ低減シ得ルコトトシ小包郵便物ノ重量制限ヲ寬ニシ、無封書狀ノ料金ヲ特定シ、繪葉書ノ下部ニ通信文記載ヲ認メ、小包ニ普通取扱ノ方法ヲ設ケ、代金引換及現金取立制限金額ヲ高メ、廣告郵便

ノ制ヲ設ケ、無料郵便ハ一般ニ通信事務ト表記スルモノトシタルコト等ニシテ四月一日ヨリ實施セリ

四月 郵便法其ノ他通信法規ヲ樺太ニ施行ス

五月 内國郵便及外國郵便切手帖ヲ發行ス

同 印刷シタル無封書狀及第三種以外ノ定時刊行物ヲ約束郵便トナシ得ルコトトシ低料郵送ノ途ヲ開キ、新聞電報豫約及料金後納ノ方法ヲ設ク

六月 電話開通用物件ヲ無償ニテ提供スル場合ニ於テハ優先開通ノ途ヲ開ク

八月 豫約新聞電話規則ヲ制定施行ス

九月 船舶通報規則ヲ定メ通過報及信號報ノ取扱ヲ開始ス

同 地方廳ニ於テ警察用電話ヲ無償ニテ引渡シタル場合ニ於テハ該線ニ依ル電話料ニ限リ半減スルコトトス

十月 國際返信切手券ヲ發行ス

明治四十一年

二月 五圓及拾圓郵便切手ヲ發行ス

同 引受時刻證明郵便ノ制ヲ設ケ四月一日ヨリ施行ス

四月 無線電報規則ヲ定メ五月一日ヨリ施行ス

同 豫約新聞電話規則ヲ改正シ長距離ニ限リタル制限ヲ撤シ利用範圍ヲ擴ム

五月 里斯本開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム

同 電話規則ヲ改正シテ寄附金受理ノ途ヲ開キ物件受理ニ代フ

八月 豫約新聞電報規則ヲ制定シ在來個個ニ申請者ニ命令シタルヲ一律ニ取扱フコトトス

九月 郵便切手類記號規則ヲ制定シ切手類多數使用者ノ保管出納ニ便ス

同 特設電話規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ加入區域ヲ制定シ、加入申請ヲ一等局長ニ於テ認可シ、加入設備ヲ通信官署ノ名ニ於テナスコト等ナリ

十月 通信官署ト海軍艦船間ノ無線電信ニ依リ發受スル電報ニ無線電報規則ヲ準用ス

十一月 郵便函製式ヲ改正シ鐵製朱塗トス

十二月 鑛業特設電話規則ヲ改正シ一定ノ場合私設電信電話ヲ施設シ得ルコトトス

明治四十二年

三月 氣象通知電報規則ヲ制定シ公衆ノ請求ニ基キ中央氣象臺又ハ測候所ニ於テ公示スル事項ヲ電信局所ニ於テ取扱フコトトス

五月 地方廳引繼電話ノ通話料減額ヲ他ノ電話線ニ依リ連絡スル通話區域ノ通話ニモ及ホシ

- 優先接續等ノ特例ヲ開ク
- 五月 電話至急開通規則ヲ制定シ特ニ指定スル土地(六大都市ヲ指定ス)ニ於テ一定ノ料金ヲ納ムルトキハ加入申込登記順番ニ係ハラズ年度内ニ開通ヲナスコトトス
- 六月 新聞電報ヲ内地、臺灣、樺太相互間ニ及ホスコトトス
- 七月 通信官署官制中郵便爲替貯金管理所ヲ削ラレタル結果從來通信局ノ管掌シタル内外郵便爲替、郵便貯金及附帶業務ノ規制、監督事務ヲ貯金局ニ移ス
- 十月 繪葉書ハ紙質ニ限リタルヲ改メテ寫眞又ハ織物、木、羽類ノ貼付ヲ認メ其ノ重量及製作上ノ標準ヲ明示ス
- 十一月 特許審判書類特別取扱ノ制ヲ設ク
- 同 市内特別郵便ノ制ヲ定メ同一郵便区内ニ多數發信スルモノノ爲ニ特ニ低料取扱ヲ爲スコトトス
- 十二月 東京神田兩局間ニ氣送管ニ依ル電報送受ヲ開始ス

明治四十三年

- 一月 通貨以外ノ貴重品ヲ書留郵便物トシテ差出シ得ルコトトス
- 三月 遞信管理局官制ヲ設ケ遞信管理局ヲ東京、大阪、横濱、神戸、長崎、札幌、長野、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、金澤ニ置キ監督及現業事務ヲ掌リ又通信官署官制ヲ改正シ通信官署ヲ郵便局、電信局及電話局トシ郵便局ヲ分テ一等、二等、三等トシ電信局及電話局ヲ分テ一等、二等トス
- 同 郵便切手其ノ他證票徽章類取締方ヲ規定シ切手類偽造、變造、通信日附印類似ノモノ、遞信省徽章ノ濫用等ヲ取締ルコトトス
- 四月 清韓郵便規則ヲ制定施行ス
- 五月 航行中ノ船舶無線電信局及艦船ト中央氣象臺間ニ氣象報ノ交換ヲ開始ス
- 同 電話規則ヲ改正シ長距離電話料ヲ低減シ夜間通話ノ制ヲ設ク
- 九月 同報電信ヲ創始シ東京局及東京株式取引所間ニ施設ス
- 十月 郵便法其ノ他各通信法規ヲ朝鮮ニ施行ス
- 十一月 内容證明郵便ノ取扱ヲ開始ス
- 同 内地、朝鮮、樺太、滿洲相互間電報料ヲ低減シ、日清電報規則及日清無線電報規則ヲ制定施行ス

明治四十四年

- 二月 速達郵便ノ制ヲ設ケテ東京市内及東京横濱間ニ施行シ、四月大阪市内及大阪、神戸、

- 京都相互間ニ施行ス
- 十月 現金取立郵便ヲ集金郵便ト改稱シ、取立證券ノ種類ヲ増加シ、料金ヲ改正シ尙集金郵便振替貯金拂込規則ヲ設ケ取立金ヲ振替貯金口座ニ拂込ミ得ルコトトス
- 十二月 内國郵便用切手帖ヲ改メ三錢、一錢五厘各別冊トシ價格ヲ切手料金ト同シクス

明治四十五年 大正元年

- 四月 官公署ヨリ發スル無封書狀ニシテ特ニ多數ナルモノハ約束郵便トシテ低料郵送ノ方法ヲ設ク
- 同 市内専用電話規則ヲ施行シ政府ノ施設スル電話線ヲ個人ニ専用セシムルノ方法ヲ設ク
- 五月 乗客宛電報及停車場揭示電報ノ特別取扱ヲ開始ス
- 六月 帝國船舶ト米國觀測所トノ間ニ氣象電報ヲ交換スルコトトス
- 同 倫敦開催ノ國際無線電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十一月 水底線不通等ニ因ル場合陸上相互間無線電信ノ媒介ニ依リ無線電報トシテ取扱ノ方法ヲ設ク

大正二年

- 二月 電話規則ヲ改正シ電話番號簿及機械移轉ニ關スル事項並制裁規定等ヲ改ム
- 六月 地方遞信官署官制ヲ公布シテ遞信管理局官制及通信官署官制ヲ廢止シ、地方遞信官署ヲ遞信局、郵便局、電信局及電話局トシ、遞信局ヲ次ノ五ヶ所ニ置ク而シテ郵便局以下ノ等級及其ノ所掌事務ハ従前ノ例ニ依ル
- 東部(東京市)西部(大阪市)北部(仙臺市)九州(熊本市)北海道(札幌區)尙下記各地ニ分掌局ヲ置キ管理事務ヲ分掌セシム
- 長野、新潟(以上東部遞信局所管)名古屋、金澤、廣島(以上西部遞信局所管)
- 七月 銚子無線電信局ニ於テ中央氣象臺ト直接電線ノ連絡ヲ圖リ自動的ニ中央標準時ヲ航行中ノ船舶ニ發信スルコトトス

大正三年

- 二月 官公署ニ對シ電話加入區域外加入ヲ認ム
- 五月 電信法規ヲ無線電話ニ準用スルコト、短期豫約新聞電話ノ方法ヲ設ク
- 八月 軍事郵便ノ取扱ヲ開始ス
- 十月 電話通話規則ヲ制定シ定時通話、通話取消料ノ方法ヲ設ケ、夜間通話ヲ非加入者ニ及ホシ、豫約取引所電話ノ制ヲ設ケ十二月ヨリ施行ス
- 十二月 書留郵便物ニ對シ代金引換ノ取扱ヲナシ得ルコトトシ又其ノ引換代金ヲ直チニ差出人

ノ振替貯金口座ニ拂込ミ得ルコトトス

- 十二月 集金郵便トシテ取扱フ證券ノ種類ヲ増加シ、委託料金ヲ加徴シ、委託用紙ノ私製ヲ認メ、取立期間ヲ短縮ス
- 同 交通不便ノ地ニ宛テタル年賀郵便ハ十二月五日ヨリ其ノ引受ヲ開始スルコトトス
- 同 銚子、富貴角及大連灣海岸局ヲシテ中央氣象臺ヨリ發スル暴風雨警報ヲ無線電信ヲ以テ英文ニヨリ發信スルコトトス

大 正 四 年

- 一月 長崎上海間海底線工事完成ニ付本線ニ依リ日支間和文電報取扱ヲ開始ス
- 三月 配達日時指定電報ノ制ヲ設ク
- 同 代金引換郵便物居宅引換及取立金居宅拂ノ制度ヲ開始シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 六月 無線電信法ヲ制定シ十月ヨリ實施ス、其ノ要旨ハ陸上無線施設ハ最少限度ニ於テ之ヲ認メ、船舶内ニ於ケルモノハ可成便宜ヲ附與シ、私設無線電信ヲ公衆又ハ軍事ニ使用シ又ハ軍事等ノ必要ニ基キ私設設備ヲ制限撤廢スルコト、無線電信電話ニ使用スル爲政府ハ船舶ノ一部ヲ使用スルコト等トス尙之ニ關聯シテ諸規則ノ制定及改廢アリ
- 同 本邦ト露領勘察加間ニ無線電信ニ依ル通信ヲ開始ス
- 八月 豫約新聞電報ヲ臺灣及樺太ニ施行ス
- 十一月 御大禮ニ關シテ御舉行地タル京都及其ノ附近ニ於テ速達郵便、官報號外特別取扱、電報特別取扱、郵便局所ノ臨時増置、電信回線ノ臨時施設等諸般ノ措置ヲ爲セリ
- 十二月 請願通信施設ニ關スル件ヲ公布シテ明治三十六年町村請願電信施設ノ件ヲ廢止セリ其ノ要旨ハ請願事項ヲ次ノ如クニ擴メ町村ノミナラス個人ノ請願ヲモ認メ維持費ヲ前納トシタルコト等トス
- 無集配局新設、無線電信局新設、自働電話所新設、電信事務開始、無線電信事務開始、電報配達事務開始、電話通話事務開始、電話呼出事務開始
- 同 日支郵便規則ヲ改正シ小包郵便物ニシテ再輸出スルモノハ其ノ旨表示スルコトトシ及其ノ小包郵便料金ヲ改正シ翌年一月ヨリ施行ス

大 正 五 年

- 二月 電話郵便規則ヲ制定シ加入者ヨリ非加入者へ又ハ非加入者相互間ノ通信ヲ媒介スルコトトシ三月ヨリ施行ス
- 三月 郵便法ヲ改正シ八月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ信書送達ノ營業禁止條項中法人代表者ニ關スル事項ヲ明定シ、無料郵便物ノ範圍ヲ改定シ、賠償及諸般制裁規定ヲ明ニシタル

コト等トス

- 三月 鐵道船舶郵便法ヲ改正シ八月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ運送方法、賃率、制裁規定ノ改正等トス
- 同 電信法ヲ改正シ八月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ配達又ハ交付スルコトヲ得サル電報ハ電信官署ニ保管スルニ止ムルコト、無線電信ニ關スル通信ヲ無料トナシ得ルコト及諸般制裁規定ニ關スル改正等トス
- 同 電話規則ヲ改正シ使用料階級五種ヲ六種トシ加入者數ヲ以テ其ノ區別ノ標準トシ四月ヨリ施行ス
- 四月 地方遞信官署官制ヲ改正シ電信局等級ヲ一等、二等、三等トス
- 五月 間送電報ノ制度ヲ施行シ夜間閑散時低料ヲ以テ一定ノ局ニテ之カ取扱ヲ開始ス
- 七月 帝國占領南洋ヤップ島海軍電信所ニ公衆通信ノ取扱ヲ開始ス
- 十二月 青島守備軍管内ト帝國電信系トノ間及守備軍管内相互間ニ發著スル電報ハ日支電報規則又ハ同無線電報規則ニ依ルコトトス

大 正 六 年

- 三月 無線電信ニ依ル海軍艦船發著電報ノ託送取扱ヲ定メ四月ヨリ施行ス
- 四月 配達日時指定電報ノ取扱範圍ヲ擴張ス
- 同 電話ニ依ル火災報知制度ヲ新設シテ東京市内ニ施行ス
- 五月 盲人用點字ノ無封書狀及印刷物ニ對シ料金ノ割合ヲ低減ス
- 十月 特設電話規則ヲ改正シ十一月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ同一邸宅内ニ限リ施設シタルモノヲ交換線ニ接續シ得ルコト、維持料ヲ線路町程ニ依ルコトニ改メタルコト、不用ニ歸シタル線路ヲ豫備トシテ存置スルコト等トス

大 正 七 年

- 三月 郵便規則ヲ改正シ四月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ通貨ヲ價格表記ト爲サスシテ差出シタル者ニ對スル不足料金額ヲ定メ、無封書狀ノ約束郵便差出ノ條件ヲ變更シ、繪葉書表面通信文記載欄ヲ擴張シ、閉囊配達ノ方法ヲ認メタルコト等トス
- 四月 郵便受付時間ヲ改正シ比較的閑散ナル局ニアリテハ之ヲ短縮ス
- 同 帝國占領南洋諸島ニ無線電報ノ取扱ヲ開始ス
- 六月 内地青島守備軍管内間ニ豫約無線電報取扱ヲ開始ス
- 同 電話規則及電話至急開通規則ヲ改正シテ申込取消及其ノ至急開通申請受理方法等ニ關スル事項ヲ改ム

大 正 八 年

- 三月 警句入通信日附印ヲ主要局ニ於テ使用ス
 四月 小包郵便料金ヲ改正シ及切手別納郵便ノ制ヲ設ク
 同 電話規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ區域外加入ヲ一般ニ擴メ、増設電話施設ノ範圍ヲ擴張シ、私設電話取締ノ途ヲ設ケタルコト等トス
 五月 地方遞信官署官制ヲ改正シ遞信局ヲ東京、名古屋、大阪、廣島、熊本、仙臺、札幌ノ七局トシ別ニ遞信大臣ハ郵便局ヲ指定シ區域ヲ定メテ現業監察ノ事務ヲ掌ラシム
 八月 參拾錢郵便切手ヲ發行ス
 十月 約束郵便物及切手別納郵便物ヲ年賀郵便トシテ差出シ得ルコトトス

大 正 九 年

- 三月 各種電話料金ヲ改正シ、東京、大阪等六大都市ニ度数制ヲ實施ス
 四月 消防電話ノ制ヲ設ク
 五月 各種電報料金ヲ改正シ八月ヨリ施行ス
 六月 電話至急開通規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ至急開通申込ニ加入申込登記ヲ要セサルコト、至急開通受理方法ヲ變更シタルコト等トス
 九月 馬德里開催萬國郵便會議、華盛頓開催國際通信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
 十月 私書函使用ニ關スル規定ヲ改正シ利用ニ便ス
 十一月 官應用無線電信及無線電話規則ヲ制定ス

大 正 十 年

- 四月 二十日通信事業創始五十年紀念祝典ヲ東京ニ開催シ勤績者、優良三等局及功績者ヲ表彰シ、通信事業殉難者ノ追悼法要ヲ營ム
 同 遞信講習所規則ヲ制定シ從事員ノ素質能率ノ向上ヲ圖ル
 同 無線電信法中ヲ改正シ航空機ニ施設スル無線電信及無線電話ニ關スル事項ヲ設ク
 七月 始メテ通信官署從事員狀勢調査ヲ施行ス
 同 封緘葉書様式ヲ改正ス
 九月 分課規程中ヲ改正シ從來ノ外信課ヲ外國郵便、外國電信ノ二課トシ調査課ヲ設置ス
 十二月 新ニ外國郵便規則、外國郵便爲替規則ヲ制定シ各種料金ヲ増額シ、特許審判及審査書類特別取扱郵便規則ヲ制定シ何レモ翌年一月一日ヨリ施行ス
 同 電信監督機ニ依ル監査規程ヲ設ケ通信能率ノ向上ヲ企圖ス
 同 西班牙國馬德里ニ於テ萬國郵便條約、同價格表記書狀及箱物交換約定並小包郵便物交

換條約ヲ締結シ翌年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

大 正 十 一 年

- 一月 八錢萬國郵便聯合葉書及拾六錢萬國郵便聯合葉書ヲ發行ス
 四月 電信現業檢定規程、郵便局監査規程ヲ制定ス
 七月 南洋廳ニ於ケル郵便及電信ノ業務ニ關シテハ内地各通信法規ノ規定ヲ準用スルコトトス
 九月 陸軍動員令電報取扱規程、海軍充員令電報取扱規程ヲ制定ス
 十月 北滿州方面軍事郵便物取扱ヲ廢止ス
 同 海軍電報取扱規約ヲ定ム
 十一月 内地朝鮮間豫約新聞電報ノ取扱ヲ開始ス
 同 在支那國帝國郵便官署區内ニ於テ使用スル二錢葉書、四錢往復葉書及四錢封緘葉書ノ發行ヲ中止ス
 十二月 野戰郵便局ニ關スル規定ヲ軍事郵便局ニ準用ノ件ヲ廢止ス
 同 青島守備軍管內發著郵便物ノ取扱ヲ廢止ス
 同 本年限リ在支那本邦郵便局所ヲ廢止ス

大 正 十 二 年

- 一月 上海、芝罘ニ一等電信局ヲ設置ス
 二月 約束郵便取扱承認規則ヲ制定シ、電話便規則ヲ廢止ス
 同 殖民地宛代金引換郵便物ノ居宅引換ノ取扱ヲ廢止ス
 三月 新ニ郵便切手類及收入印紙賣捌規則ヲ設ク
 四月 大阪無線電信局ヲ設置ス
 同 價格表記郵便物封皮一枚壹錢ヲ貳錢ニ改メ一日ヨリ實施ス
 六月 電話至急開通規則ヲ新ニ制定ス
 十月 郵便切手類及收入印紙買受代金延納規則ヲ制定シ大正十二年度末迄之ヲ施行ス
 同 震災ニヨル應急用トシテ五厘、一錢五厘、二錢、三錢、四錢、五錢、八錢、十錢、二十錢ノ各種暫定郵便切手ヲ發行ス
 十一月 年賀郵便物ノ特別取扱ヲ中止ス
 同 震災ニヨリ應急用トシテ通常葉書及往復葉書ヲ發行ス
 同 臨時市内特設電話規則ヲ設ク
 十二月 放送用私設無線電話規則ヲ制定ス

大正十三年

- 四月 放送無線電報規則ヲ制定ス
 同 市内電話通話一度ノ料金二錢ヲ三錢ニ改メ、市外電話一通話時分五分ヲ三分ニ改ム
 七月 漁船級私設無線電信通信従事者資格ヲ制定ス
 八月 瑞典國「ストックホルム」ニ開催ノ第八回萬國郵便會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
 十一月 年賀郵便物ノ特別取扱ヲ再開ス
 同 東京放送局ノ設立ヲ許可ス之レ本邦ニ於ケル放送無線局ノ嚆矢トス
 同 行政整理ノ爲調査課ヲ廢止シ外國郵便課、外國電信課ヲ併合シテ外信課トナシ東京、大阪兩遞信局ノ都市課ヲ廢止ス

大正十四年

- 三月 書留郵便料金七錢ヲ十錢ニ改メ四月一日ヨリ實施ス
 四月 震災ニヨル應急用トシテ發行セル暫定郵便切手ヲ廢止ス
 同 日本無線電信株式會社法ヲ公布ス
 五月 遞信省官制ヲ改正シ通信局ヲ廢シテ郵務、電務、工務ノ三局ヲ置キ郵便及陸運ノ監督ニ關スル事務ハ郵務局、電信電話並日本無線電信株式會社ニ關スル事務ハ電務局、電信電話ノ建設及保存ノ工事ニ關スル事務ハ工務局ニテ掌ル而シテ本改正ニ伴ヒ臨時電信電話建設局官制ハ之ヲ廢止セララル
 同 通常葉書、往復葉書及封緘葉書ノ様式ヲ改正ス
 同 電話特別開通規則ヲ制定ス
 六月 西比利亞方面トノ軍事郵便物取扱ヲ廢止ス
 八月 新聞電報認可規則ヲ制定ス
 九月 十三錢郵便切手ヲ發行ス
 同 「ストックホルム」締結ノ英國郵便條約、同價格表記書狀及箱物交換約定並ニ小包郵便物交換條約ヲ公布ス
 同 佛國巴里ニ開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシメ其ノ決定事項ハ十一月一日ヨリ實施スルコトトス
 十月 萬國郵便聯合往復葉書ノ様式ヲ改正ス
 同 外國通常郵便料金ヲ引下グ
 十一月 外國電報帝國電信系内分送規則ヲ廢止ス
 十二月 萬國郵便聯合葉書及萬國聯合往復葉書ノ様式ヲ改正ス

大正十五年

昭和元年

- 一月 遞信部内従業員會規程ヲ制定ス
 二月 選舉無料郵便規則、選舉無料郵便物特別取扱規程等ヲ制定ス
 四月 岸壁又ハ棧橋ニ繫留スル船舶ト陸上トノ間ノ電話連絡制度ヲ制定施行ス
 同 飛行郵便ヲ開始ス
 九月 郵便取扱所規則ヲ制定ス
 十月 外國電報規則ヲ改定シ翌十一月一日ヨリ施行ス
 十二月 「クリスマス」及新年祝賀特別外國電報規則ヲ制定ス

第二編 通 信

Chapter 2. Communications

第一章 郵便電信及電話局所

Section 1. Post, Telegraph and Telephone Offices

郵便電信及電話局所ニ關シ本年度中施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

A. 郵便局所開廢

1. 一等郵便局分室設置 長野郵便局權堂分室ヲ設置ス
2. 郵便局等級改定 七尾特定三等郵便局ヲ二等郵便局ニ改定ス
3. 二等郵便局及分室開設 目黒二等郵便局ヲ設置シ市岡郵便局電氣博覽會内臨時分室(期間
自大正十五年三月二十日
至同 年五月三十一日)及西野田郵便局千船分室ヲ開設ス
4. 三等郵便局開廢 西多久、大傘田東新町、粕川、御園、仙臺大學病院内、東平田、新合、榮、
洗足、柿島、三方原、刈野、東蘆屋、前橋諏訪町、仙臺北六番町、岩永、松島驛前、小村井、
君谷、橘、下蛇窪、中新田驛前、境川、岡本、安足間、新大久保驛前、下平井、丸ノ内ビル
ヂング内、長岡四郎丸、夏井、神島、小杉三ヶ、杉並東山谷、井田、阿佐ヶ谷、大畑、水戸
曲尺午町、宇奈月、大阪ビルヂング内、大井原、椎名、小宮地、田野浦、緑岡、吉野、大里
柳、西成櫻通、高松、村木澤、川東、三河島花ノ木、西新井、富ヶ谷、市西、上御影、福岡
箕島、白江、函館高砂町、瀧ノ川三軒家、上竹、眞瀬、佐世保高天町、濱松海老塚ノ無集配
三等郵便局ヲ開設シニツ屋、梓衝、豊羽鑛山、奥尻鑛山ノ無集配三等郵便局ヲ廢止セリ

5. 臨時郵便局分室及出張所設置

期 日	局 所 名	位 置	事 由
14 3, 10 5, 8	熊本局共進會内出張所	熊本市花畑町共進會第一會場内	國產共進會開催ノ爲
" 4, 15 4, 16	山口局臨時出張所	山口縣山口町公會堂	全國産業組合大會開催ノ爲
" 5, 6 10, 31	大沼局大沼公園出張所	渡島國大沼公園内	遊覽者ノ利便ヲ圖ル爲
" 5, 24	鹽釜局臨時出張所	宮城縣鹽釜町字尾島	第二高等學校短艇競漕大會開催ノ爲
" 5, 15 5, 21	京都局大宮御所内臨時出張所	京都市大宮御所内	皇太子殿下御駐泊ノ爲
" 7, 14	江田島局分室	江田島海軍兵學校内	攝政宮殿下行啓ノ爲
" 7, 28 8, 12	鳥取局臨時出張所	釧路市大樂毛市街	馬匹共進會開催ノ爲
14 8, 8	稚内局臨時出張所	稚内町埠頭驛前	皇太子殿下御寄港ノ爲
" 8, 22 8, 27	新舞鶴局臨時出張所	新舞鶴町五條海岸	聯合艦隊入港ノ爲
" 9, 11 11, 3	岐阜局共進會内臨時出張所	岐阜市美江寺町共進會第一會場内	銀婚式奉祝國產共進會開催ノ爲
" 9, 16 9, 30	横須賀局臨時出張所	軍港逸見波止場	聯合艦隊入港ノ爲
" 10, 3 10, 7	米子局臨時出張所	米子町林産共進會々場内	林産共進會開催ノ爲

期日	局所名	位置	事由
10.10 10.16	山口局臨時出張所	山口町蓄産共進會々場内	畜産共進會開催ノ爲
10.28 11.3	青山局第一臨時出張所 第二臨時出張所	明治神宮外苑競技場内	競技會開催ノ爲

B. 電信及電話局所開廢

1. 一等電信局分室設置 盤城無線電信局分室トシテ原町送信所ヲ設置ス
2. 一等電話局分室開廢 東京中央電話局茅場町分局ヲ開設シ京都中央電話局中分局及東京中央電話局濱町分局ヲ廢止ス
3. 二等電信局並分室開廢 日本橋本町電信局、鹿兒島無線電信局並全局分室トシテ吉野送信所ヲ開設シ大成丸無線電信局ヲ廢止ス
4. 電信取扱所開廢 上石見、津和野、石地、有壁、生保内、桑川、川添、大樂毛、中愛別、問寒別、幕別、萬字炭山、舍熊ノ各普通電信取扱所稚内、新潟ノ各陸上無線所並日州丸、照國丸、甲子丸、蒼鷹丸、扇洋丸、第二福井丸、花咲丸、園部丸、大成丸、新高丸、あるたい丸、湖北丸、主基丸、讚岐丸、廣安丸、摩耶丸、八雲丸、立神丸、第二英丸、武昌丸、大球丸、第十平榮丸、一陽丸、第十一平榮丸、神州丸、第二日清丸、生駒丸、さんとす丸、京都丸、白頭山丸、熊本丸、第五雲海丸、榮福丸、玄武丸、初鷹丸、五洋丸、第二雲海丸、高雄山丸、射水丸、八郎丸、伏木丸、嵩山丸、大松丸、得撫丸、廬山丸ノ各船舶無線電信取扱所ヲ開設シ東下關、伊豫西條、幌内太、土別、美深、七尾、女滿別、山部、金山、穂積、本納、長篠、三河一ノ宮ノ各普通電信取扱所並=明地丸、來福丸、江蘇丸、讚岐丸、波斯丸、浙江丸、滿州丸、神戸丸、西班牙丸、天鳥丸、魁丸、園部丸、博愛丸、宗像丸、蓬來丸ノ各船舶無線電信取扱所ヲ廢止セリ
5. 電話所開廢 楠橋、芳野浦、俱知安、中山田ノ各鑛業特設電話所ヲ開設シ伊万里炭鑛、金田炭坑、太良、豐羽、北平、猪位金、多久ノ各鑛業特設電話所ヲ廢止セリ
6. 臨時電話通話所並交換所廢止 東京中央電話局臨時蠣殻町三丁目、濱町、日本橋箱崎町、葎町、濱町一丁目、深川扇橋、京橋南鞘町、八丁堀仲町、京橋横町、越前堀、京橋桶町、京橋月島、築地魚市場、森下、佐賀町、冬木町、深川木場町、深川平野町、本所菊川町、富岡門前町、深川東元町、深川西大工町、深川數矢町、深川洲崎、本所徳右衛門町、深川黒江町、京橋木村木町、京橋南小田原町、京橋中ノ橋、京橋湊橋、松枝町、池ノ端、上野、下谷竹町、下谷金杉、下谷根岸、下谷仲御徒町、下谷車坂町、神田榮町、神田千代田町、東福田町、神田鍋町、神田猿樂町、神田鍛冶町、神田柳原、神田多町、神田淡路町、神田連雀町、日本橋本銀町、神田美士代町、神田錦町、秋葉原、松住町、横濱中央電話局臨時太田町、千若町、横濱青木町、横濱三井物産、壽町、梅ヶ枝町、神奈川、山下町ノ各臨時電話交換所並=東京中央電話局臨時烏森、四谷見附、濱松町、二長町、月島、横濱中央電話局臨時新港、元町、平沼町、南太田町、反町ノ各臨時電話通話所ヲ廢止セリ

郵便電信電話局所數
Number of Post, Telegraph and Telephone Offices

種別 Detached Office	郵便局 Post Office											電信局 Telegraph Office				
	一 等 First Class			二 等 Second Class			三 等 Third Class			郵便 取扱 所 Station (post)	合計 Grand Total	一 等 First Class				
	集 配 Delivery	無集配 Non Delivery		集 配 Delivery	無集配 Non Delivery		特 定 Special	集 配 Delivery	無集配 Non Delivery			普通 Ordinary	無線 Radio tele- graph Office			
		鐵道 Travel- ling Post Office	郵船 Travel- ing and Sea Post Office		普通 Ordinary	鐵道 Travel- ling Post Office			計 Total	計 Total	計 Total					
昭和 元 年度 1927	66	4	-	70	169	30	4	203	61	4,575	3,875	8,511	132	8,916	3	3
大正 十 四 年 度 1926	66	4	-	70	163	29	4	196	62	4,530	3,847	8,439	-	8,705	3	3
十 三 年 度 1925	66	4	-	70	161	29	4	194	63	4,476	3,830	8,369	-	8,633	3	3
十 二 年 度 1924	67	4	1	72	151	27	3	181	68	4,477	3,748	8,293	-	8,546	3	3
十 一 年 度 1923	67	4	1	72	142	26	3	171	76	4,476	3,682	8,234	-	8,477	3	2
十 年 度 1922	67 △出張所4	4	1	72 △出張所4	118 9(※12)	25	3	146 9	93	4,441	3,455	7,989	-	8,207 △出張所4	3	2
九 年 度 1921	65 △出張所4	4	1	70 △出張所4	107 10(※11)	24	3	134 10	101	4,401	3,296	7,798	-	8,002 △出張所4	2	2
八 年 度 1920	65 △出張所4	3	1	69 △出張所4	102 10(※11)	24	4	130 10	103	4,342	3,233	7,678	-	7,877 △出張所4	2	1
七 年 度 1919	57 △出張所4	3	1	61 △出張所4	104 10(※11)	24	4	132 10	105	4,335	3,100	7,546	-	7,739 △出張所4	2	1
六 年 度 1918	55 △出張所4	3	1	59 △出張所4	103 10(※10)	24	4	131 10	108	4,325	3,000	7,433	-	7,623 △出張所4	2	1

(續) 郵便電信及電話局所取扱事務別
(Continued) Number of Post, Telegraph and
Telephone offices Classified by Services

種 別 Description	郵 便 Post	電 信 Telegraph	電 話 Telephone	
			交 換 Exchange	通 話 Message
大正三年度末 March 31, 1925	8,633	△ 6,720 ₂	1,993	3,963
十二年度末 March 31, 1924	8,546	△ 6,572 ₂	1,954	3,928
十一年度末 March 31, 1923	8,477	△ 6,461 ₂	1,861	3,756
十年度末 March 31, 1922	△ 8,207 ₁₉ △出張所 4	△ 6,241 ₂	1,688	3,525
九年度末 March 31, 1921	△ 8,002 ₁₉ △出張所 4	△ 5,961 ₂	1,486	3,235
八年度末 March 31, 1920	△ 7,877 ₁₉ △出張所 4	△ 5,777 ₂	1,330	3,021
七年度末 March 31, 1919	△ 7,739 ₂₁ △出張所 4	△ 5,649 ₂	1,294	2,889
六年度末 March 31, 1918	△ 7,623 ₂₀ △出張所 4	△ 5,463 ₂	1,241	2,759
五年度末 March 31, 1917	△ 7,506 ₂₀ △出張所 4	△ 5,327 ₂	1,185	2,620

備考 △印ハ在支本省所轄局所
Note. The mark △sh. ws Japanese offices in China.

郵便切手、収入印紙賣捌所、郵便函及郵便私書函
Postage and Revenue Stamp Sale Agencies and Post Boxes

種 別 Description	郵 便 切 手 賣 捌 所 Postage Stamp sale agency	收 入 印 紙 賣 捌 所 Revenue stamp sale agency	郵 便 函 Post Box			私 書 函 Private Box	
			柱 函 Pillar Box	掛 函 Receptacle	合 計 Total	設 備 數 Arranged	貸 與 數 Used
昭和元年度末 March 31, 1927	(* 65,217 181)	647	△ 19,029 87	(* 50,617 195) (△ 177)	(* 69,646 195) (△ 264)	11,806	8,087
大正十四年度末 March 31, 1926	(* 64,467 137) (△ 2)	703	△ 18,516 80	(* 50,442 79) (△ 165)	(* 68,958 79) (△ 245)	10,785	7,662
十三年度末 March 31, 1925	(* 63,392 121) (△ 2)	721	△ 17,769 75	(* 49,565 62) (△ 126)	(* 67,334 62) (△ 201)	10,704	7,553
十二年度末 March 31, 1924	(* 62,219 143)	755	△ 16,647 65	(* 48,955 97) (△ 117)	(* 65,602 97) (△ 182)	9,461	6,761
十一年度末 March 31, 1923	(* 62,019 41)	813	△ 16,567 43	(* 49,116 92) (△ 102)	(* 65,683 92) (△ 145)	9,097	6,546
十年度末 March 31, 1922	(* 61,395 35)	858	△ 15,717 44	(* 49,185 82) (△ 96)	(* 64,902 82) (△ 140)	7,757	5,838
九年度末 March 31, 1921	(* 60,850 27)	1,008	△ 15,284 35	(* 48,502 71) (△ 71)	(* 63,786 71) (△ 106)	6,935	4,957
八年度末 March 31, 1920	(* 59,965 47)	1,102	△ 14,836 33	(* 48,553 67) (△ 32)	(* 63,389 67) (△ 65)	5,846	4,389
七年度末 March 31, 1919	(* 59,531 41)	1,158	△ 14,948 28	(* 47,744 62) (△ 29)	(* 62,692 62) (△ 57)	5,219	3,589
六年度末 March 31, 1918	(* 59,413 49)	1,113	△ 15,110 26	(* 47,436 45) (△ 37)	(* 62,546 45) (△ 63)	4,868	2,798

備考 1. * 船内 △私設
2. 括弧内ノ數字ハ内課ナリ
Note. * On board ships △Private The figures in the parenthesis are items

第二章 郵便電信及電話局職員
Section 2. Personnel at Post, Telegraph and Telephone Offices

郵便電信及電話局職員
Personnel at Post, Telegraph and Telephone Offices
大正十四年度末
March 31, 1926

種 別 Description	一 等 局 First Class	二 等 局 Second Class	三 等 局 Third Class				總 計 Grand Total
			特 定 Special	集 配 Delivery	無 集 配 Non-Delivery	計 Total	
奏 任 Sonin Rank	(△ 117 2)	-	-	-	-	-	(△ 117 2)
判 任 Hannin Rank	男 Male	(△ 12,389 36)	62	4,530	3,847	8,439	(△ 20,828 36)
	女 Female	1,170	160	-	-	-	1,330
	計 Total	(△ 13,719 36)	62	4,530	3,847	8,439	(△ 22,158 36)
通 信 手 Post office clerk	男 Male	-	111	1,555	65	1,731	1,731
	女 Female	-	-	13	8	21	21
	計 Total	-	111	1,568	73	1,752	1,752
雇 員 (High class) Employee	男 Male	(△ 6,863 14)	4,685	1,093	13,395	4,355	18,843 (△ 30,391 14)
	女 Female	15,948	3,735	1,193	8,006	4,245	13,444
	計 Total	(△ 22,811 14)	8,420	2,286	21,401	8,600	32,287 (△ 63,518 14)
備 人 (Low class) Employee	男 Male	(△ 10,826 42)	12,300	1,562	28,796	1,125	31,483 (△ 54,609 42)
	女 Female	483	195	14	-	-	14
	計 Total	(△ 11,309 42)	12,495	1,576	28,796	1,125	31,497 (△ 55,301 42)
總 計 Grand Total	(△ 68,871 94)		4,035	56,295	13,645	73,975	(△ 142,846 94)
大正 三 年 度 末 March 31, 1925	(△ 65,897 94)		3,925	54,862	13,158	71,945	(△ 137,742 94)
十 二 年 度 末 March 31, 1924	(△ 64,224 93)		4,280	54,768	12,758	71,806	(△ 136,030 93)
十 一 年 度 末 March 31, 1923	(△ 65,874 98)		4,946	54,008	12,450	71,404	(△ 137,278 98)

(續) 郵便電信及電話局職員
(Continued)
Personnel at Post, Telegraph and Telephone Offices

種 別 Description	一 等 局 First Class	二 等 局 Second Class	三 等 局 Third Class			總 計 Grand Total
			特 定 Special	集 配 Delivery	無 集 配 Non-Delivery	
大正 十 年 度 末 March 31, 1922	(△ 43,062 299)	(△ 18,586 62 4)	6,193	52,898	11,704	70,795 (△ 132,443 361 4)
九 年 度 末 March 31, 1921	(△ 38,409 248)	(△ 15,685 94 4)	6,147	51,289	10,213	67,649 (△ 121,743 342 4)
八 年 度 末 March 31, 1920	(△ 30,461 237)	(△ 11,671 84 4)	5,169	48,318	10,301	63,788 (△ 105,920 321 4)
七 年 度 末 March 31, 1919	(△ 27,108 203)	(△ 11,607 81 4)	4,727	45,767	9,632	60,126 (△ 98,841 284 4)
六 年 度 末 March 31, 1918	(△ 22,500 196)	(△ 10,337 76 4)	4,523	44,839	9,077	58,439 (△ 91,276 272 4)
五 年 度 末 March 31, 1917	(△ 21,012 178)	(△ 10,239 80 4)	4,418	44,049	8,608	57,075 (△ 88,326 258 4)

備 考 1. 表中△印ハ在支那本省所轄局員ニシテ□ハ鐵道省書記ヨリノ兼任トス
Note. The mark △ shows officials etc. at Japanese Post offices in China, and the abbreviation "□" shows officials of Department of Railways who have additional post in the Department of Communications.
2. 本表ニハ囑託員及臨時雇員ヲ算入セス
This table excludes non-official staffs and those employed temporarily.
3. 括弧内ノ數字ハ内課ナリ
The figures in the parenthesis are items.

第三章 郵便業務ニ關スル施設
Section 3. Institutions for Postal Services

郵便業務ニ關シ本年度中施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

選舉無料郵便規則等制定 衆議院議員選舉法改正ノ結果議員候補者又ハ推薦届出者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ選舉區内ニ在ル選舉人ニ對シ選舉運動ノ爲ニスル通常郵便物ヲ選舉人一人ニ付一通ヲ限リ無料ヲ以テ差出シ得ルコト、ナリタルニ付大正十五年二月省令第四號公達第八七號

ヲ以テ選舉無料郵便規則及選舉無料郵便物特別取扱規程ヲ制定セリ

飛行郵便開始 軌近航空運輸事業ノ發達著シク本邦ニ於テモ定期ニ航空スルノ途ヲ開カレタルニ付郵便物モ本航空路ニ依リ遞送スルコト、シ下記ノ航空路ニ對シ飛行郵便ノ取扱ヲ開始セリ之我國ニ於ケル飛行郵便制度ノ嚆矢トス而シテ遞送回數ハ各線トモ一週兩端地發三回宛トシ取扱郵便物ハ料金完納ノ書狀及葉書ニシテ「飛行」ト朱書セルモノニ限リ尙飛行郵便利用ニ關スル公衆注意ヲ喚起スル爲飛行郵便取扱局及全區内無集配局並切手印紙賣捌所掲出用トシテ「ポスター」ヲ調製シ關係局ヘ配付セリ

東 京	大 阪 線	大正十四年四月二十日ヨリ開始
大 阪	福 岡 線	
大 阪	今 治 線	大正十四年五月二十日ヨリ開始

官制改正ニ伴フ諸規程改正 遞信省官制改正ニ伴ヒ通信局ハ郵務、電務、工務ノ三局トナリタルニ付下記ノ規程中關係ノ事項ヲ夫々改正シ大正十四年六月二十二日ヨリ施行セリ

1. 犯罪事件處理手續
2. 無料郵便物特別取扱規程
3. 偽造變造郵便切手類官沒規程
4. 郵便行囊規程
5. 通信區畫便覽訂正規程
6. 郵便集配規程
7. 通信地圖規程
8. 郵便電信及電話官署現業傭人規程
9. 局所及事務開廢準備規程
10. 遞信局通信官署普通傭人規程
11. 業務概要報告規程
12. 通信統計材料報告規程
13. 勞銀調查規程

郵便物速達地域中追加 目黒郵便局設置ニ伴ヒ東京市内及近郊地速達地域ニ同局郵便區市内ヲ追加シ大正十四年五月十六日ヨリ施行セリ

十三錢郵便切手發行 書留料改定ニ伴ヒ公衆側及郵便官署取扱上ノ便否ヲ考量シ新規ニ十三錢切手ヲ發行シ大正十四年九月十五日ヨリ賣捌ヲ開始セリ

警句入通信日附印使用 大阪市域擴張ニ伴ヒ同市行政區名等改正セラレタルニ付郵便物發受上一

般ノ注意ヲ喚起セシムル爲大阪市内集配局ニ對シ「大阪市の區町名は變りました」ナル警句入日附印ヲ交付使用セシメタリ尙警句入日附印ヲ使用シ得ルハ一、二等局ニ限ラレタルモ大正十四年五月之ガ制限ヲ廢シ三等局ニ於テモ使用シ得ルコトニ通信日附印規程ヲ改正セリ又從來ノ警句入日附印ハ護謨製ノ關係上耐久力ニ乏シキノミナラス手押ニシテ且押捺面長方形ニ付押捺振不活潑ナルヲ以テ米國式自動押印機ニ挿入使用セシムル爲「勤儉は幸福の基」、「小包ノ包裝ハ完全に」等ノ勤儉貯蓄及郵便業務周知上ノ警句六種ノ鋼鐵製刻印ヲ調製東京、大阪、京都、神戸、横濱市内ノ主要局ヘ交付使用セシメタリ

暫定郵便切手廢止 關東地方震災後糊及「ミシン」ヲ施サ、ル九種ノ暫定切手（五厘、一錢五厘、二錢、三錢、四錢、五錢、八錢、十錢及二十錢）ヲ發行セシモ其ノ後印刷局ノ復舊ニ伴ヒ震災前ト同一切手ノ製作配給漸次潤澤トナリタルニ付右暫定切手ハ大正十四年四月三十日限り廢止セリ

郵便葉書様式改正 關東地方震災直後小形ニシテ且表面ニ宛所欄ヲ設ケタル通常葉書及往復葉書ヲ發行セシモ大正十四年五月一日ヨリ右通常葉書及往復葉書ノ外封緘葉書ヲモ様式ヲ改正シ從前ノモノ賣切次第之ヲ賣捌クコト、セリ尙葉書様式改正ニ伴ヒ郵便規則ヲモ改正シ表面記載事項ヲ凡テ震災前ト同一ニセリ

萬國郵便聯合葉書様式改正 大正十四年十月一日ヨリ外國郵便料金改定ニ伴ヒ通常葉書ハ六錢往復葉書ハ十二錢ニ低減シタルニ付新規ノ萬國郵便聯合葉書ヲ發行スヘキ處料金決定後餘日ナカリシ爲不止得應急策トシテ本省在庫ニ係ル在來ノ八錢通常葉書及十六錢往復葉書ノ料額印面ヲ相當補正ノ上賣捌キシガ其ノ後新ニ表面中央ニ横線ヲ畫シ宛所欄ヲ設ケタル改正様式ノモノ印刷出來タルニ付大正十四年十二月省令第九五號ヲ以テ公布大正十四年十二月二十五日ヨリ之カ賣捌ヲナセリ

郵便業務運行狀況調査 郵便事業改善資料ヲ得ムカ爲全國的ニ下記事項ノ調査ヲナセリ

1. 郵便物誤區分數
2. 窓口ニ於ケル公衆待合時間
3. 郵便物亡失數
4. 郵便物毀損狀況
5. 遞送集配欠便狀況
6. 遞送便ノ不結束狀況
7. 集配便ノ不結束狀況
8. 郵便物委託配達件數

9. 試験通信
10. 申告件数
11. 通弊事故

郵便試験通信施行 東京市内及其ノ近郊局ニ於ケル郵便物疏通状態調査ノ爲普通々常郵便物及速達通常郵便物ノ試験通信ヲ施行シ業務改善ノ資ニ供セリ

「ストックホルム」萬國郵便條約及約定ノ實施並ニ之ニ伴フ諸法規ノ改正 一九二四年（大正十三年）八月二十八日「ストックホルム」ニ於テ締結ノ萬國郵便條約、價格表記書狀及箱物約定、小包郵便約定並各其ノ施行規則ハ大正十四年十月一日ヨリ實施セラレタルカ右條約及約定等ハ從來ノモノニ比シ條文ノ整理、配別等其編纂方法根本的ニ改正セラレタルノミナラス其ノ内容ニモ多クノ重要ナル改正ヲ見タル爲之カ研究翻譯及新舊條約類對照討議上ニ尠ナカラサル手數ヲ要シ漸クニシテ大正十四年九月二十六日其ノ公布ヲ見ルニ至レリ而シテ右條約類ノ實施ニ伴ヒ關係諸法規類ノ大改正ヲ行ヒタリ

外國通常郵便料金ノ引下 我外國通常郵便料金ハ大正十年末ニ締結セラレタル馬德里萬國郵便條約ニ基キ大正十一年一月ヨリ實施セラレタルモノナルガ其ノ急激ナル引上ニ對シテハ非難ノ聲高カリシノミナラズ我對外貿易ノ發展ヲ阻害スルコト尠カラストシ屢々料金引下ノ請願ニ接セリ然ルニ遇々「ストックホルム」萬國郵便會議ニ於テ馬德里條約ニ依ル料金ヲ以テ高キニ失ストナシ其ノ引下ニ關シ各種ノ提案アリ結局之ヲ低減シ大体ニ於テ羅馬條約當時ノ郵便料ヲ以テ原則的料金ト定メ之ヲ六割増又ハ二割減トスルノ自由ヲ各國ニ認ムルコト、ナリタルヲ以テ本邦ニ於テハ右原則的料金ヲ採用スルコト、シ大正十四年九月省令第六四號ヲ以テ公布同年十月一日ヨリ實施シ以テ對外貿易ノ發展助長ニ資セリ

露領薩哈噠宛外國通常郵便物送達再開 尼港事件ニ伴フ我軍ノ露領薩哈噠保障占領以來同地方ニ於テハ露國郵便局閉鎖セラレ我野戰郵便局ノミ設置アリシ爲外國郵便物送達停止中ナリシ處大正十四年一月日露國ノ國交恢復ノ結果同年五月右野戰局撤廢後久シカラズシテ露國郵便局ノ再開ヲ見タルヲ以テ同年六月六日同地方宛外國通常郵便物ノ送達ヲ再開セリ

軍艦閉囊交換 海軍省ノ要求ニ依リ萬國郵便條約ノ各項ニ基キテ軍艦閉囊交換ヲ開始シ名宛又ハ差立各艦ノ將校及乗組員ニ發着スル郵便物ノ遞送上遺憾ナキヲ期シタリ

桑港紐育間飛行機遞送郵便物ノ範圍擴張及料金ノ引下

1. 從來桑港紐育間飛行便ニ搭載スル本邦發郵便物ハ單ニ普通書狀ニ限ラレタルモ斯クテハ該便利用ノ効果甚ダ尠キニ鑑ミ米國郵政廳ト數次ノ照覆ヲ重ネ書留書狀ヲモ之ニ搭載セシムルコト、シ大正十四年四月二十一日以降之ヲ實施セリ

2. 桑港紐育間飛行郵便料ハ一區間毎ニ拾六錢ニシテ稍高額ニ失スルノ嫌アリシカ米國ニ於テハ之ヲ一區拾貳錢、二區貳拾八錢、三區四拾四錢ニ低減スル旨通知ニ接シタルニ付本邦發飛行郵便物ノ料金ヲ右ニ基キ相當改正シ大正十四年十月十七日以降實施セリ

本邦及「フィンランド」國間ニ代金引替通常郵便物交換開始 大正十四年五月一日ヨリ本邦及「フィンランド」國間ニ通常郵便爲替ノ直接交換開始セラレタルヲ以テ代金引換業務施行方ニ關シ「フィンランド」國郵政廳ト協議ヲ遂ケ兩國間ニ代金引換通常郵便物交換ヲ開始セリ

別配達通常郵便物交換開始 「エストニヤ」國「ドミニカ」共和國及「オーストラリヤ」聯邦ニ於テハ外國來通常郵便物ノ別配達業務ヲ施行スルコト、ナリタル旨萬國郵便聯合總理局ヨリ通知アリタルニ付右諸國郵政廳トノ間ニ協議ヲ遂ゲ本邦及右諸國間ニ別配達通常郵便物交換方々開始セリ

不能配達小包ノ取扱方改正 米國以外ノ外國小包ガ不能配達トナリタル場合ニハ當該小包ヲ郵便局ニ留置キ其ノ處分方ヲ差出人ニ問合セタル上回答ヲ待テ處理スル成規ナリシ處之カ取扱ヲ簡捷ニスル爲處分方照會ノ方法ヲ廢止シ差出人ノ豫告ニ依リテ小包ノ處分ヲ爲スコト又豫告ナキモノニ付テハ一定ノ期間後差出國ニ返送スルコトニ前年度來各國ト交渉シ海峽殖民地本邦間ノ小包條約ヲ初トシ漸次關係條約規定ヲ改正セリ

外國來小包郵便物ニ信書包有ノ場合ニ於ケル處理方規定 外國來小包郵便物ニシテ信書ヲ包有スルモノヲ發見シタル場合ハ名宛國カ差出人ヲ處分シ得サル限リ小包ヲ其ノ儘差出國ニ返送スベキ定メナルモ「ストックホルム」小包約定ハ之ニ對スル一ノ除外例トシテ簡易ナル通信の文書又ハ單一一通ノ書狀ヲ包有スルノ故ヲ以テ小包ヲ差出人ニ返送スルヲ得ストノ規定ヲ設ケタリ依ツテ本邦ニ於テモ大正十四年九月省令第六四號ヲ以テ外國郵便規則ヲ改正シ前記ノ如キ小包ヲ外國ヨリ受取リタル場合ハ小包ヲ名宛人ニ送達スルト共ニ在中ノ信書ニ付テハ料金不納ノ通常郵便ノ例ニ依リ料金ヲ徵收スルコト、シ英國其ノ他諸國トノ間ニ締結セル特別條約ニ依リ本邦ニ到着スル小包ニ付テモ聯合小包同様ノ取扱ヲ爲スコト、シ同年十月一日ヨリ實施セリ

支那宛小包郵便物ニ送狀添付 從來支那宛小包郵便物ニハ送狀ヲ添付セザリシ處大正十四年十月「ストックホルム」小包郵便約定ノ實施ト共ニ支那宛小包ニ同約定ノ定ムル送狀ヲ添付スルコト、ナレリ、右ハ聯合ノ約定中不能配達小包ノ取扱ニ關スル規定ノ改正ニ依リ總テノ小包ノ差出人ヲシテ差出ノ際送狀ノ裏面ニ不能配達ノ場合ニ於ケル處分方ヲ記載セシムルコト、ナリタル爲ニシテ尙支那ニ於テモ大正十五年四月以降本邦宛小包ニ同様ノ送狀ヲ添付スルコト、ナレリ

米國發誤送小包ノ處理方協定 米國發支那宛小包ヲ本邦ニ誤送シ來リタル場合ハ日米間小包郵便條約カ第三國宛小包ノ繼越遞送ヲ規定セサルヲ以テ更ニ名宛地ニ再送スルコトナク之ヲ差出元ニ

返送すべき處事實日支間ハ疆域相接シ地名ノ稱呼類似セルモノアルノミナラズ從前支那ニハ日本業務モ併存シタル關係上米國側ニ於テハ彼是相混同シ支那宛ノモノヲ本邦ニ誤送越スノミナラス本邦宛ノモノヲ支那ニ誤送スルモノモアルニ付相互ノ名宛人及差出人ノ利便ヲ計リ支那郵政廳ト協議シテ當分ノ内此等誤送小包ヲ相互ニ轉送料ヲ追徴スルコトナク其ノ正當名宛地ニ轉送スルト共ニ一方誤送ノ防遏方米國郵政廳ニ交渉シタリ米國郵政廳ハ當廳ノ意ヲ諒シ誤送ノ防止ニ付適當ノ措置ヲ爲スコトヲ約セリ因ニ米支間ノ小包條約モ日米間同様第三國繼越ニ關スル規定ナシ

亞細亞露西亞宛小包ノ送達開始 大正十四年一月日露間ノ國交恢復以來當省ハ露國郵政廳ニ對シ再三小包ノ直接交換再開ヲ促セルモ露國ハ之ニ對シ何等ノ同等ヲ爲サズ而カモ露國ハ「ストックホルム」小包約定ニ署名セルノミナラス日本以外ノ他ノ隣接諸國(「エストニア」、芬蘭等ノ分身國ヲ除ク)トモ小包ノ交換ヲ再開セザル點ヨリ見レバ本邦ノ要求ヲモ容易ニ容ルヘクモ非スト觀察セラル然ルニ一方露國ハ其ノ分身國タル「エストニア」、芬蘭等トハ小包ノ交換ヲ爲シ更ニ此等諸國ヲ通シテ西歐諸國トモ小包ノ發著ヲ爲シ居レルニ鑑ミ本邦ニ於テモ直接交換再開ノ見込立タサル今日假令迂回線ナリト雖道ヲ開キ置クノ要アリト認メ英國及「エストニア」經由亞細亞露西亞宛小包ノ送達線路ヲ開始シ大正十五年三月遞信省告示第三九七號ヲ以テ料金其ノ他ヲ告示セリ

遞信部內從業員會規程制定 遞信部內一般從業員ニ對シ意思發表ノ機關ヲ認メ且ツ上下意思ノ疏通ヲ一層滑カナラシムルト共ニ併セテ從業員ノ團體力其ノ自治共助ノ精神ニヨリ共同福利ノ増進、相互ノ親睦、修養及業務ノ改善ニ關スル各種ノ施設ヲ爲スコトヲ公ニ認メムカ爲「遞信部內從業員會規程」ヲ制定シ大正十五年一月二十日ヨリ施行セリ

郵便專修生講習 本年度ニ於テモ東京及大阪兩遞信局ニ於テ郵便專修生一年ヲ通シ各八十名(講習期間六ヶ月)ニ對シ郵便業務上須要ナル科目ヲ講習セシメ以テ能率ノ向上ヲ企圖セリ

郵便現業員ノ能率調査研究 事業成績ノ向上ヲ期スル爲ニハ其ノ事業ノ構成要素タル從業員ノ能率調査ヲ最モ緊要トス而シテ之ガ方法トシテハ從業員各個ノ特性、能力、勤務及訓練ノ方法、適性考査等ヲ精細ニ調査研究シ然ル後標準作業方式ト適材適所ノ配置トヲ決定セサル可カラズ然ルニ從來從業員ノ能率調査ニ關シテハ是等科學的ニ研究セラレタルモノナカリシヲ以テ大正十四年十二月以降專門家ヲ聘シ調査研究セシメ以テ從業員ノ能率増進ニ資セリ

郵便線路圖ノ改刷 郵便線路圖ハ大正十二年一月調製シタルモ關東大震火災ノタメ餘部皆無トナリタルト其ノ後郵便局及郵便線路等ノ開廢變更等ニヨリ著シク異動ヲ來シタルヲ以テ大正十五年一月現在ヲ以テ改刷ヲ爲シ四月之ガ配付ヲ了シタリ尙本期ヨリハ線路圖中ニ航空圖京濱附近

圖及京阪神附近圖ヲ増補セリ

鐵道軌道、鐵索、水路及自働車等ノ利用 本年度ニ於テモ國有鐵道、私設鐵道等ニシテ新線回通又ハ延長シタルモノ或ハ自働車營業者中基礎確實ニシテ運轉時間正確ナルモノ其他汽船、發動船、飛行艇ハ可成之ヲ郵便物遞送上ニ利用シ以テ郵便物ノ速達ト確實ヲ期シ併セテ勞務ノ輕減ヲ圖レリ

紀念郵便切手並紀念繪葉書發行 大婚二十五年紀念トシテ下記紀念郵便切手並紀念繪葉書ヲ發行シ大正十四年五月十日ヨリ之ガ賣捌ヲ爲セリ

郵便切手



中央ニ菊花御紋章ヲ置キ圓内ニ松樹松喰雙鶴及大婚後二十五年ニ相當セル意ヲ表示スル爲二十五箇ノ星ヲ描キ圓周外ノ四圍ニ古代菊花模様ヲ附シ目出度サヲ壽キ奉レリ

壹錢五厘 刷色 紫色 金額ハ各相當額ヲ記ス
八錢 刷色 赤黃色



上部中央ニ菊花御紋章ヲ置キ舞謠セル風凰及瑞雲ヲ描キテ祝意ヲ表シ餘白ヲ銀婚式ニ因シテ銀色トセリ

參錢 刷色 赭黃色 金額ハ各相當額ヲ記ス
二十錢 刷色 橄欖色

繪葉書

二枚ヲ以テ一組トナス而シテ其ノ意匠ハ下記ノ如シ

- 一ハ兩陛下ノ尊影ヲ菊花雙輪ノ内ニ謹寫シ奉リ配スルニ古代菊花模様ヲ以テシ地色ハ銀婚式ニ因ミ銀色トス
- 一ハ皇室無窮ノ瑞祥ヲ表ハシ兩陛下ノ尊影及皇城ハ絹地ニ印刷シ金色ノ輪廓及菊花ハ之ヲ浮出シトス

特殊紀念通信日附印

A. 大婚二十五年紀念



中央=天長地久ノ文字ヲ古纂ニヨリテ現ハシ左右=鴛鴦ヲ描キテ長
樂未央ノ聖壽ヲ祝福シ奉ルノ意ヲ表セリ

使用局 集配郵便局及無集配二等郵便局
使用期日 大正十四年五月十日
使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受消印ニ使用ス但シ
書狀ハ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル使用當日及其ノ後三日
間料金完納ノ郵便繪葉書ニ對シ紀念消印ノ需ニ應ス

B. 陸軍特別大演習紀念



大演習地方ノ歴史的關係ト地理的關係ヲ聯想スル爲有名ナル伊達政
宗ノ兜ニ松島ノ名勝五大堂ヲ描キ之ニ飛行機ト星ヲ配シテ戰術ノ進
歩ト陸軍ノ大演習ヲ表現シタルモノナリ

使用局 陸軍特別大演習大本營内郵便局、仙臺郵便局
使用期日 大正十四年十月二十三日
使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ書狀
ハ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル使用當日
及其ノ後三日間料金完納ノ郵便繪葉書ニ對シ紀念消印ノ需ニ應ス

C. 電氣大博覽會紀念



本博覽會中ノ最高建築物ニシテ最モ壯觀ヲ極ムル水昌塔ヲ中央ニ收
メ其ノ下ニ電氣大博覽會ノ「マーク」ヲ又其ノ上部ニ電氣ヲ意味セル
電光ヲ描キ之ニ月桂樹ヲ配シテ祝福ノ意ヲ表ハシタルモノナリ

使用局 電氣大博覽會場内市岡郵便局臨時分室
使用期日 大正十五年三月二十日ヨリ同年五月三十一日迄
使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ書狀
ハ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル使用期間中料金完納ノ郵便
繪葉書ニ對シ紀念消印ノ需ニ應ス

第四章 郵便線路

Section 4. Mail Routes

内地郵便線路

Inland Mail Routes

種別 Class	陸 上 Land キロメートル(Km)				水 上 Waterways キロメートル(Km)				
	通常道路 Road	鐵道線路 Railway	面積百平方軒ニ付 Per square (Km ²)		海 Sea	河 上 River	湖 上 Lake	計 Total	
			通常道路 Road	鐵道線路 Railway					
昭和 元 年度 1927	27,509	20,139	7		5	(注) 20,127 (10,869)	230	126	20,483
大正 十四年度 1926	△ 27,075 134	16,337	7		4	18,871 (10,186)	232	134	19,237
十三年度 1925	△ 27,416 82	15,367	7		4	18,087 (9,765)	98	134	18,319
十二年度 1924	△ 27,251 67	14,979	7		4	19,844 (10,712)	145	263	20,252
十一年度 1923	△ 35,094 55	18,596	9		5	22,472 (12,131)	330	94	22,896
十年度 1922	△ 30,495 55	13,954	8		4	34,988 (18,887)	220	263	35,471
九年度 1921	△ 30,912 55	13,482	8		4	31,721 (17,123)	169	263	32,153
八年度 1920	△ 30,004 55	13,105	8		3	31,984 (17,265)	216	153	32,353
七年度 1919	△ 31,650 55	12,791	8		3	33,547 (18,109)	161	94	33,802
六年度 1918	△ 32,160 20	12,422	8		3	34,167 (18,444)	161	94	34,422
五年度 1917	△ 32,369 20	12,010	8		3	35,491 (19,158)	161	82	35,734

備考 △印ハ鐵索道路ニシテ内課ナリ
Note: △Iron-rope ways included in the above figures

第五章 郵.
Section 5. Number
内地郵便局
取 扱 通 常
Number of Ordinary Mails

種 別 Description	年 次 Year	昭和	大正	十三年	十二年
		元 1926-27	四年度 1925-26	年度 1924-25	年度 1923-24
有 料 Charged	書 狀 Letter	952,495,707	△ 1,030,399,470 162,355,311	△ 994,404,807 155,468,262	△ 889,606,645 136,218,553
	通 常 Single	2,025,209,319	2,189,025,117	2,110,791,355	1,906,835,420
	往 復 With reply paid	33,136,986	36,230,910	34,990,110	31,133,085
	封 緘 Letter card	28,898,534	30,978,506	29,584,347	25,988,257
	私 製 Private	341,003,710	369,128,874	354,109,639	318,009,718
	計 Total	2,428,247,549	2,625,363,407	2,529,475,451	2,281,966,480
	新 聞 雜 誌 Newspaper & Periodical	300,159,449	318,620,525	309,696,572	285,154,455
	書 籍 類 Book	96,713,765	103,437,755	102,554,194	93,062,778
	業 務 用 書 類 Commercial Paper	57,411,756	61,194,803	55,647,863	51,744,960
	見 本 及 雛 形 Sample and Pattern of Merchandise	11,174,100	11,787,667	11,336,150	10,083,429
農 產 物 種 子 Agricultural Products	6,935,648	7,324,545	7,092,000	6,403,900	
合 計 Total	3,853,137,974	4,158,128,172	4,010,207,037 19,565,211	3,618,022,647 21,598,083	
無 料 Free	× 121,054,649	× 108,282,106 44,801	× 109,825,915 37,869	× 92,067,323 42,072	
總 計 Grand Total	× 3,974,192,623	× 4,266,410,278 20,954,554	× 4,120,032,952 19,603,080	× 3,710,089,970 21,640,155	
人口十ニ對スル物數 Acceptance per 10 of Population		665	714	697	634
配 達 Delivery	× 3,906,474,525	× 4,270,172,210 29,555,318	× 4,159,786,493 26,465,098	× 3,759,491,246 30,021,159	
上掲ノ外引受 Acceptance except the above	集 金 郵 便 Collection of cash 廣告 郵 便 (有 料) Advertisement mail (Charged)	7,630,137	6,540,330	6,684,810	5,941,599
			60,053,123	64,037,811	

備 考 △ハ無封書狀×印ハ外國郵便ニシテ孰レモ内譯ナリ
Note: △Unsealed × Foreign Mails, Both are items.

便 物 數
of Mail Matter
郵 便 物 數
at Inland Post Offices

十一年度 1922-23	十年度 1921-22	九年度 1920-21	八年度 1919-20	七年度 1918-19	六年度 1917-18
△ 980,356,037 147,275,850	△ 977,232,229 177,218,280	△ 928,616,258 135,523,764	△ 804,717,502 120,398,494	△ 629,405,078 81,216,903	△ 516,323,159 65,052,169
2,128,156,744	2,021,456,862	1,967,136,719	1,700,872,778	1,442,823,165	1,238,948,125
33,966,004	33,106,711	34,530,713	28,635,317	20,953,306	16,376,769
27,654,699	32,717,221	27,476,051	22,778,093	15,580,663	10,235,481
347,246,470	354,436,559	343,079,337	278,543,543	221,084,242	168,771,711
2,537,023,917	2,441,717,353	2,372,222,820	2,030,829,731	1,700,441,376	1,434,332,086
326,985,130	294,844,478	258,423,397	262,273,476	242,306,180	228,364,956
104,102,341	91,530,320	87,626,324	96,969,598	71,724,778	61,640,342
55,912,772	70,108,330	50,125,228	44,254,582	30,892,694	24,565,154
11,033,722	12,463,703	9,653,748	9,111,237	6,715,803	5,458,923
7,087,648	7,010,833	6,312,065	5,857,224	4,835,378	3,866,737
4,022,501,567 20,328,436	3,894,907,246 22,416,065	3,712,979,840 21,779,164	3,254,013,350 20,618,249	2,686,321,287 18,049,287	2,274,551,357 16,699,286
× 104,456,463 144,487	× 97,862,619 141,246	× 93,140,352 208,781	× 95,687,453 271,456	× 89,073,274 534,990	× 81,391,524 639,766
× 4,126,958,030 20,472,923	× 3,992,769,865 22,557,311	× 3,806,120,192 21,987,945	× 3,349,700,803 20,889,705	× 2,775,394,561 18,584,277	× 2,355,942,881 17,339,052
716	704	680	595	488	421
× 4,094,816,657 21,212,831	× 3,989,309,281 20,737,754	× 3,820,552,746 18,698,407	× 3,318,297,820 17,040,905	× 2,775,116,476 15,044,474	× 2,355,277,050 13,781,026
8,921,213	8,589,960	7,012,680	7,228,439	7,259,657	6,351,331
81,850,412	57,508,954	42,202,448	37,204,662	27,374,490	36,082,484

前掲郵便物数中特殊ノ取扱ヲナシタルモノ次表ノ如シ(續)
Mails with Special treatment Among the before-mentioned are as follows:

内地郵便局 引受特殊
取 扱
Ordinary Mails with Special Treatment

種別 Description 年次 Year	留 置 Registration	價格表記 Declaration of value	代金引換 Cash-on-delivery	別 配 達 Special delivery	引受時刻證明 (有 料) Certificate of time of posting (Charged)	配 達 證 明 Delivery certificate
昭和 元 年 度 1926-27	53,407,054	2,020,498	716,187	206,694	2,571	2,286,155
大正 十 四 年 度 1925-26	57,366,271	1,965,053	818,974	198,391	2,661	2,170,910
十 三 年 度 1924-25	57,471,768	1,871,948	921,635	176,835	3,077	2,023,468
十 二 年 度 1923-24	51,671,726	1,913,055	660,654	163,917	2,946	1,768,506
十 一 年 度 1922-23	51,148,633	1,997,981	691,007	191,688	3,488	1,810,738
十 年 度 1921-22	48,886,142	1,912,592	680,294	187,163	4,649	1,746,557
九 年 度 1920-21	44,501,426	1,883,276	574,531	171,366	5,967	1,584,805
八 年 度 1919-20	41,871,770	2,050,376	405,426	156,231	11,807	1,333,045
七 年 度 1918-19	33,382,342	1,962,218	64,361	110,657	16,223	884,574
六 年 度 1917-18	28,773,536	1,849,574	31,643	99,345	16,184	708,755

備 考 留置郵便物ハ配達セシモノヲ掲ク

Note. Number of mails of post-restant shows those delivered.

通常郵便物数

Accepted at Inland Post Offices

内容証明 Certification of letters documents	留 置 Post restante	訴訟書類 Special service of judicial documents	速達郵便 Quick delivery	特許審判書類 Documents of patents	約 束 郵 便 Contract mail	市内特別郵便 Special urban mail	切手別納郵便 Mail without stamps affixed
958,556	636,686	1,483,201	4,127,066	-	221,733,652	81,095,571	227,518,853
904,986	621,431	1,386,904	3,958,195	-	203,131,894	74,712,454	222,607,616
835,326	466,016	1,313,303	3,942,725	12	208,989,047	54,926,242	230,122,808
744,095	488,132	1,144,944	2,377,435	1,761	167,882,916	40,231,639	155,857,741
699,481	478,862	982,341	3,076,805	4,489	170,505,777	42,112,781	102,897,813
608,018	461,404	843,618	2,578,666	2,098	153,531,023	36,610,833	86,753,987
578,776	466,716	724,028	2,021,655	1,635	169,090,892	32,997,969	76,612,586
382,902	504,227	659,208	1,797,101	2,896	142,598,630	25,416,731	39,016,617
358,337	502,693	703,473	1,104,842	2,162	128,296,294	19,382,462	-
333,370	436,064	827,792	812,391	2,120	119,416,359	20,912,406	-

内地郵便局
取 扱 小 包
Number of Parcels at

種 別 Description	年 次 Year	昭和	大正	十 三 年 度	十 二 年 度
		元 年 度 1926-27	四 年 度 1925-26	1924-25	1923-24
引 受 Acceptance	有 料 Charged	55,964,225	53,311,919	50,725,669	46,478,074
	無 料 Free	2,294,419	2,229,637	2,143,457	1,979,865
	計 Total	58,258,644	* 55,541,556 476,746	* 52,869,126 446,491	* 48,457,939 340,504
人 口 十 = 對 ス ル 物 數 Acceptance per 10 of population		9.7	9.3	8.9	8.3
前 掲 中 再 掲 Items of the abovementi- oned	留 置 Registration	25,117,738	24,274,334	23,533,966	21,108,695
	價 格 表 記 Declaration of value	7,137	7,808	7,259	7,505
	代 金 引 換 Cash-on-delivery	7,459,572	6,990,419	6,530,267	5,989,625
	別 配 達 Special delivery	16,393	17,911	16,180	14,257
	配 達 證 明 Delivery certificate	242,990	242,129	205,370	147,102
	留 置 Post restante	63,417	62,288	53,621	55,115
	速 達 郵 便 Quick delivery	157,039	126,072	111,489	93,701
配 達 Delivery	55,852,079	* 53,225,423 274,123	* 50,710,656 308,376	* 46,486,998 354,299	

備 考 1. * 印ハ外國郵便ニシテ内課ナリ
Note. 1. The mark * Shows Foreign parcel included.

2. 留置ハ配達セシモノヲ掲ク
2. Post restante shows those delivered

郵 便 物 數
Inland Post Offices

十 一 年 度 1922-23	十 年 度 1921-22	九 年 度 1920-21	八 年 度 1919-20	七 年 度 1918-19	六 年 度 1917-18
49,235,316	46,694,494	41,246,850	39,150,788	38,192,432	31,588,029
2,120,675	2,064,359	1,936,022	1,998,641	1,832,008	1,497,528
* 51,355,991 288,239	* 48,758,853 230,269	* 43,182,872 314,796	* 41,149,429 362,577	* 40,024,440 702,275	* 33,085,557 1,152,657
8.9	8.6	7.7	7.3	7.4	5.9
22,406,794	20,855,726	18,161,295	15,706,908	13,980,684	10,745,509
15,641	18,910	18,488	22,606	38,418	73,486
6,354,250	5,927,396	5,286,413	4,977,406	4,345,814	3,357,174
15,858	16,747	14,555	13,485	12,778	13,161
161,869	162,842	181,417	139,563	123,800	111,223
66,004	66,204	68,560	68,204	83,466	60,733
143,347	122,408	94,925	84,993	79,055	62,120
* 48,743,252 279,566	* 45,890,304 321,424	* 40,419,739 283,957	* 38,401,002 270,839	* 37,068,400 225,718	* 30,449,903 193,523

通常郵便物不能還付數

Disposition of irregularities of the Ordinary mails

種別 Description	箇數 No.			左箇數中 Disposed			配達郵便物一 萬箇=對スル 不能配達還付 No. of the impossible compared with 10,000 delivered	外國郵便 Foreign Mails	
	前年度越高 Carried over from preceeding year	本年度分 In the present year	合計 Total	配達還付 Delivered returned	不能配達 還付 The im- possible to deliver or to return	處分未済 Not yet disposed with		外國へ 返還 Returned to	外國ヨリ 返還 Returned from
昭和 元 年 度 1926-27	369,912 (△ 277)	753,442 (△ 4,669)	1,123,354 (△ 4,946)	127,211 (△ 4,240)	840,219 (△ 493)	155,924 (△ 213)	2.16	88,619	107,462
大正 十 四 年 度 1925-26	354,741 (△ 316)	987,216 (△ 4,001)	1,341,957 (△ 4,317)	128,050 (△ 3,494)	843,995 (△ 546)	369,912 (△ 277)	1.98	139,897	106,684
十 三 年 度 1924-25	233,086 (△ 365)	1,016,143 (△ 3,592)	1,249,229 (△ 3,957)	131,642 (△ 3,105)	762,846 (△ 536)	354,741 (△ 316)	1.83	144,167	111,434
十 二 年 度 1923-24	395,986 (△ 246)	1,262,990 (△ 4,552)	1,658,776 (△ 4,798)	550,213 (△ 3,781)	875,477 (△ 652)	233,086 (△ 365)	2.33	98,022	?
十 一 年 度 1922-23	381,451 (△ 232)	1,935,801 (△ 4,320)	2,317,252 (△ 4,552)	1,072,688 (△ 3,740)	848,778 (△ 566)	395,786 (△ 246)	2.07	92,791	?
十 年 度 1921-22	332,081 (△ 304)	1,071,959 (△ 5,279)	1,404,040 (△ 5,583)	166,409 (△ 4,749)	856,180 (△ 602)	381,451 (△ 232)	2.15	82,478	?
九 年 度 1920-21	295,533 (△ 353)	985,272 (△ 5,537)	1,280,805 (△ 5,890)	167,669 (△ 4,914)	781,055 (△ 672)	332,081 (△ 304)	2.04	129,779	170,529
八 年 度 1919-20	261,925 (△ 692)	770,353 (△ 4,857)	1,032,278 (△ 5,549)	92,167 (△ 4,699)	644,578 (△ 497)	295,533 (△ 353)	1.93	55,607	5,233
七 年 度 1918-19	198,630 (△ 569)	679,588 (△ 3,747)	878,218 (△ 4,316)	65,664 (△ 3,252)	550,629 (△ 372)	261,925 (△ 692)	1.98	49,572	63,796
六 年 度 1917-18	128,596 (△ 107)	528,962 (△ 3,505)	657,558 (△ 3,672)	64,745 (△ 2,753)	394,183 (△ 350)	198,630 (△ 569)	1.67	62,472	65,421

備考 1. △印ハ書留及價格表記トス又外國郵便ニ關スルモノハ再掲ナリ
Note. △ Registered or with declared value. The figures of foreign mails are reproduced.
2. 括弧中ノ數字ハ内課ナリ
The figures in the parenthesis are items.

小包郵便物不能還付數

Disposition of irregularities of Parcels

種別 Description	箇數 No.			左箇數中 Disposed			配達小包十萬 箇=對スル不 能配達還付 No. of the impossible compared with 100,000 delivered	外國小包 Foreign parcels	
	前年度越高 Carried over from the preceeding year	本年度分 In the present year	合計 Total	配達還付 Delivered or returned	不能配達 還付 The im- possible to deliver or to return	處分未済 Not yet disposed with		外國へ 返還 Returned to	外國ヨリ 返還 Returned from
昭和 元 年 度 1926-27	2,242 (△ 415)	11,130 (△ 5,283)	13,372 (△ 5,698)	5,765 (△ 5,262)	4,730 (△ 215)	2,877 (△ 221)	8.47	2,095	5,291
大正 十 四 年 度 1925-26	2,767 (△ 404)	9,867 (△ 4,773)	12,634 (△ 5,177)	4,847 (△ 4,342)	5,545 (△ 420)	2,242 (△ 415)	10.42	2,229	4,612
十 三 年 度 1924-25	2,505 (△ 221)	10,477 (△ 3,905)	12,982 (△ 4,186)	4,069 (△ 3,387)	6,146 (△ 395)	2,767 (△ 404)	12.12	2,663	3,600
十 二 年 度 1923-24	4,079 (△ 276)	11,568 (△ 3,819)	15,647 (△ 4,095)	4,426 (△ 3,554)	8,716 (△ 320)	2,505 (△ 221)	18.75	1,651	3,456
十 一 年 度 1922-23	4,697 (△ 261)	9,223 (△ 1,400)	13,920 (△ 1,661)	2,137 (△ 1,132)	7,704 (△ 253)	4,079 (△ 276)	15.81	1,371	1,156
十 年 度 1921-22	4,379 (△ 243)	11,343 (△ 1,618)	15,722 (△ 1,861)	2,475 (△ 1,131)	8,550 (△ 469)	4,697 (△ 261)	18.62	1,459	-
九 年 度 1920-21	6,360 (△ 1,646)	12,904 (△ 2,273)	19,264 (△ 3,919)	3,115 (△ 1,813)	11,770 (△ 1,863)	4,379 (△ 243)	28.91	1,559	1,910
八 年 度 1919-20	6,566 (△ 861)	18,022 (△ 6,411)	24,588 (△ 7,272)	6,859 (△ 5,256)	11,369 (△ 370)	6,360 (△ 1,646)	29.60	852	1,413
七 年 度 1918-19	2,988 (△ 334)	13,338 (△ 1,451)	16,326 (△ 1,785)	2,317 (△ 788)	7,443 (△ 136)	6,566 (△ 861)	19.85	436	1,201
六 年 度 1917-18	2,749 (△ 1,007)	9,744 (△ 3,454)	12,493 (△ 4,461)	5,329 (△ 4,028)	4,176 (△ 99)	2,988 (△ 334)	13.56	288	3,301

備考 1. △印ハ書留及價格表記トス又外國郵便ニ關スルモノハ再掲ナリ
Note. △ Registered or with declared value. The figures of foreign Parcels are reproduced.
2. 括弧内ノ數字ハ内課ナリ
The figures in the parenthesis are items.

特殊取扱通常郵便物亡失毀損數

Irregularities of the Ordinary mails of special Service

種別 Description 年次 Year	前年度 越過 Carried over from the preceding year	本年度 年分 In the pres- ent year	合計 Total	同 上 中						處分 未済 Not yet dispo- sed with	郵便物 十萬箇 ニ對シ 亡失毀 損 Rate in 100,000 mails	
				亡 Lose			毀 損 Damage					
				賠償 Compensated	不賠償 Uncom- pen- sated	求償權 消滅 Lapse of the claim	賠償 Compensated	不賠償 Uncom- pen- sated	求償權 消滅 Lapse of the claim			
				箇數 No.	金額 Amount 円 Yen		箇數 No.	金額 Amount 円 Yen				
昭和 元 年 度 1926-27	153	274	427	184	3,436	203	-	-	-	-	40	0.46
大正 十 四 年 度 1925-26	106	437	543	201	3,407,770	188	-	-	-	-	153	0.74
十 三 年 度 1924-25	223	376	599	316	3,615,860	165	9	3	50,000	-	106	0.63
十 二 年 度 1923-24	111	530	641	214	3,165,610	176	25	2	30,000	1	223	1.00
十 一 年 度 1922-23	229	399	628	268	4,329,300	213	29	4	40,000	3	111	0.75
十 年 度 1921-22	189	796	985	408	5,975,190	288	59	-	-	1	229	1.56
九 年 度 1920-21	200	869	1,069	616	6,707,900	219	43	-	-	-	189	1.86
八 年 度 1919-20	182	420	602	236	2,730,460	148	18	-	-	-	200	0.95
七 年 度 1918-19	145	388	533	262	3,408,580	71	15	-	-	3	182	1.11
六 年 度 1917-18	109	261	370	105	906,070	77	43	-	-	-	145	0.85

小包郵便物亡失毀損數

Irregularities of Parcels

種別 Description 年次 Year	前年度 越過 Carried over from the preceding year	本年度 年分 In the pres- ent year	合計 Total	同 上 中						處分 未済 Not yet dispo- sed with	引受小 包十萬 箇ニ對 シ亡失 毀損 Rate in 100,000 parcels accepted	
				亡 Lose			毀 損 Damage					
				賠償 Compensated	不賠償 Uncom- pen- sated	求償權 消滅 Lapse of the claim	賠償 Compensated	不賠償 Uncom- pen- sated	求償權 消滅 Lapse of the claim			
				箇數 No.	金額 Amount 円 Yen		箇數 No.	金額 Amount 円 Yen				
昭和 元 年 度 1926-27	81	303	384	253	928,730	40	-	-	-	-	91	1.21
大正 十 四 年 度 1925-26	66	343	409	279	1,109,510	49	-	-	-	-	81	1.39
十 三 年 度 1924-25	62	703	765	408	2,095,500	265	12	10	48,600	4	66	2.99
十 二 年 度 1923-24	152	468	620	399	1,424,258	133	26	-	-	-	62	2.22
十 一 年 度 1922-23	187	801	988	690	2,724,110	134	12	-	-	-	152	3.59
十 年 度 1921-22	189	769	958	637	2,279,000	121	13	-	-	-	187	3.65
九 年 度 1920-21	142	819	959	671	4,168,360	92	7	-	-	-	189	4.46
八 年 度 1919-20	67	463	530	341	1,383,930	39	6	2	45,100	-	142	1.12
七 年 度 1918-19	60	212	272	180	793,070	24	1	-	-	-	67	1.55
六 年 度 1917-18	31	221	252	142	715,200	30	20	-	-	-	60	2.01

第六章 電信業務ニ關スル施設

Section 6. Institutions for Telegraph Services

電信業務ニ關シ本年度中施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

萬國電信會議及其ノ決定事項實施 萬國電信會議ハ 1908年「リスボン」ニ於テ開催ノ第十回會議ノ決議ニ依リ次回會議ヲ 1.912年佛國巴里ニ於テ開催スヘキ豫定ナリシ處歐洲大戰其他ノ事情ニ依リ延期中ナリシカ愈々 1926年(大正十四年)九月巴里ニ於テ開催スルコト、ナリ本邦ヨリモ委員ヲ參列セシメタリ而シテ參加國ハ五大強國其他七十三箇國ニシテ之ニ電信及無線電信會社ヲ加ヘ其數百餘ニ達シ現行國際業務規則ノ改正ニ付審議ヲ重ネタル結果大体下記事項ノ修正又ハ追加ヲナシ大正十四年十一月一日ヨリ之ヲ實施スヘキコトヲ決定セリ

記

1. 電報料金ノ値上 現行電報料金ハ各國ノ電信事業ニ關スル諸經費ノ増嵩其ノ他ノ理由ニ依リ値上ヲ行フノ必要アルコトハ既ニ大勢ノ決スル處ニシテ歐洲諸國ノ基本首尾料及中繼料ニ對シ大体五割以内ノ値上ヲナシ改正料金ハ特ニ大正十五年四月一日ヨリ之ヲ實施スルコトトセリ
尙特殊取扱ニ關スル附屬料金ハ大体现行ノ倍額ニ値上セリ
2. 電報用語ニ關スル規定ノ改正 電報用語ニ關スル現行規定ハ之カ適用上困難多ク現狀ニ適合セサルヲ以テ審議ノ結果別ニ調査委員會ヲ設ケ慎重審議セシムルコトトシ右決定迄現行ノ儘据置ノコトトシ、普通語トシテ使用シ得ル國語ニ付テハ新ニ「エスペランド」語ヲ追加セリ
3. 固定地點間ニ於ケル無線連絡及放送電報ノ取扱ニ關スル規定追加 近時各國間ニ於ケル陸上無線連絡及放送電報ノ取扱漸時普及ノ處現行規則ニ於テハ右ニ關シ何等規定スル所ナカリシヲ以テ新ニ規定ヲ設ケ技術上ノ點ハ無線電信條約及同業務規則ニ讓リ其他ハ大体有線電信ノ規定ニ依ルコトトシ之ヲ業務規則中ニ規定セリ
4. 後廻電報ノ規定追加 通常電報料金ノ半額ヲ以テ取扱フ後廻電報ノ制度ハ從來關係主管廳間ノ協定ニ依リ行ハレ居タリシモ一般ニ之ヲ認ムルコトトシ大体现行取扱方法ヲ其儘業務規則ニ規定トシテ挿入セリ尙後廻電報ニ使用シ得ル國語ハ佛語及發著國ノ國語ナリシカ右ノ外更ニ一箇國語ニ限リ發著信國ニテ必要ト認ムル國語ヲ指定シ之ヲ使用シ得ルコトトセリ
5. 諮問委員會ノ設置 國際電信通信ノ技術及運用上ノ問題ヲ審議シ之カ進歩發達ヲ圖ル目的

ヲ以テ諮問委員會ヲ設ケ隨時ニ之ヲ開催シ希望國ハ之ニ參加シ得ルコトトセリ

以上ノ外電報傳送順序、料金精算方法、新聞電報ノ取扱等ニ對シ幾分ノ修正ヲ加ヘタリ

日米間有線及無線經由電報料金統一 從來日米間電報料金ハ海底線經由ノ場合ト無線經由ノ場合トノ間ニ差異アリ即チ海底線經由ノ場合ハ無線經由ノ場合ヨリモ高額ナリシカ海底電信會社ト協定ノ上大正十五年一月一日ヨリ海底線經由(小笠原線、上海馬尼刺、香港馬尼刺及歐羅巴經由)ノ料金ハ總テ無線經由ノ場合ト同額ニ低減セリ右ノ結果日米間電報ハ經過線路ノ如何ニ不拘其料金同額トナリ一般電報利用者ニ於テ同額料金ニテ其ノ希望スル線路ヲ選擇シ得ルコトトナレリ

對外放送無線電報取扱業務開始 無線電信ニ依ル情報ノ放送ハ諸外國ニ於テ夙ニ實施シ居ル處ニシテ我國ニ於テモ其ノ必要ヲ認メタルヲ以テ磐城無線電信局及東京無線電信局ニ於ケル一般通信ニ支障ヲ及ボササルコトヲ條件トシテ右業務ヲ開始スルコトトシ關係諸法規ヲ制定ノ上大正十四年六月ヨリ之ヲ實施セリ而シテ現在ニ於ケル放送電報ノ利用狀況下記ノ如シ

放 送 局	回 數 及 語 數	利 用 者	
磐 城 無 線 局	全	一 日 一 回 約 二 百 語	東 方 通 信 社
		上	日 本 電 報 通 信 社
東 京 無 線 局	全	一 日 一 回 約 三 百 語	帝 國 通 信 社
		上	東 方 通 信 社

無線電報取扱制度改正 無線電信ノ科學ノ進歩及利用範圍ノ擴張ニ伴ヒ曩ニ制定セル無線電報取扱ニ關スル諸規定ハ實際ニ適合セサルニ至リタルノミナラス關係規定ハ多數ノ單行規定ヨリ構成セラレ又ハ法規系統錯雜セルモノアリ一般現業局ニ於ケル之カ運用上不便尠カラサルモノアリタルニ依リ大正十四年八月省令第五一號ヲ以テ無線電報規則五九箇條及同年九月公達第七二六號ヲ以テ無線電報取扱規程一七一箇條ヲ制定シ規定ノ形式及内容ヲ一新セルカ之カ爲メ部内ハ勿論一般公衆ノ蒙ル利便蓋シ多大ナルベシ

放送無線電話及聴取無線電話ノ機器裝置ニ關スル制限緩和 放送無線電話ノ普及發達ノ實情ニ適セシムル爲メ大正十四年四月省令第二三號ヲ以テ放送用私設無線電話規則中使用電力及裝置、聴取無線電話ノ機器及裝置並ニ聴取施設出願書式ニ關シ下記要領ノ改正ヲナシ五月一日ヨリ實施セリ

記

一、送話裝置ニ關スルモノ

(イ) 最大限電力ヲ空中線電力ニ計算スルコト、シ長距離用ハ一「キロ」短距離用ハ百五十「ワット」以内トス

(ロ) 空中線ノ固有波長ニ關スル制限ヲ撤廢シ單ニ他ノ線路ニ障礙ヲ及ボスカ如キ誘導ヲ生ゼシメサルコトヲ條件トス

二、聴取無線電話施設出願手續ニ關スルモノ

(イ) 船舶ニ於テ聴取施設スル場合ノ手續ヲ簡易ナラシム

(ロ) 工事設計ノ記載様式ヲ簡畧ナラシム

(ハ) 從來ハ電氣試験所ノ型式證明アルモノニ限リ使用セシムルモノナリシモ規定ノ範圍内ニ於テ遞信局長ノ許可ヲ得タル機器ニ對シテハ凡テ施設シ得ルコト、セリ

私設無線電信使用電波長制限並ニ目的外使用範圍擴張 漁船ニ施設シタル無線電信ハ其ノ施設目的タル漁業用電信以外ニハ使用シ得サリシ爲メ漁船監督官廳無線電信ト交信シ得ス不便尠カラサルニ鑑ミ大正十四年六月省令第四一號ヲ以テ私設無線電信規則ヲ改正シ漁船ニ施設シタル無線電信ト漁船監督官廳無線電信ト交信スル場合ハ施設目的外使用トシテ通信シ得ルコト、シ其ノ交信ニ際シ使用スヘキ電波長ヲ特定シ同年六月三十日ヨリ實施セリ

無線電信ニ依リ中央標準時放送 從來東京天文臺觀測ノ中央標準時ハ東京及銚子兩無線電信局ヨリ午後九時放送セシ處海上各艦船及全國測候所等ノ便利ヲ計ル爲メ日曜及祭日ヲ除キ晝間午前十一時ニモ放送スルコト、シ大正十四年六月十日ヨリ實施セリ

内地南洋間無線連絡時間擴張 東京無線電信局ニ於ケル對「バラオ」無線連絡ハ常ニバラオ側空電ノ爲メ受信不良ニシテ疏通良好ナラサリシニ鑑ミ交信時間ヲ擴張シ大正十四年七月十五日ヨリ實施セシメタル處疏通頗ル良好トナレリ

北樺太「オハ」發着無線電報特別取扱開始 日露協定成立ニ伴ヒ北樺太引渡後同方面ニ於ケル軍用無線電信ニ依ル公衆通信取扱廢止ノ處日露間國際通信未開始ノ爲メ同方面ヘノ通信杜絶シタルニ付曩ニ海軍省及樺太廳ト協定セル株式會社北辰會施設「オハ」無線電信ニ依ル無線連絡ヲ活用シ同無線ト落石又ハ大泊無線ヲ經由シ海軍省又ハ北辰會ニ發受スル電報ヲ一般託送電報ノ例ニ依リ取扱方通達セリ尙本件電報差出先ハ當初東京中央電信局ニ限ラレタルモ頼信人ノ便宜ヲ計ル爲メ大正十四年七月二十九日ヨリ小樽及函館局ニ差出スモノモ同様取扱フコト、セリ

鹿兒島無線電信局設置 那覇方面諸島トノ通信連絡上鹿兒島ニ無線局設置ノ必要ハ豫テヨリ之レヲ認メタルモ經費ノ都合上之カ實施ヲ見サリシカ海底電信ノ狀況ニ鑑ミ無線連絡ノ要急迫セルモノアリ前年度來工ヲ急キシカ諸般ノ準備完了セルヲ以テ二等電信局及其ノ分室ヲ設置シ本年度初頭ヨリ事務ヲ開始セリ

新潟無線電信取扱所設置 日本海方面ニ於ケル海岸局分布稀薄ナルニ鑑ミ新潟測候所官廳用無線電信ヲ供用シ一日四時間公衆通信ヲ取扱ハシメ同方面船舶無線通信ノ不便ヲ緩和スルコト、シ大正十四年九月一日ヨリ事務ヲ開始セリ

電信協會管理無線講習所別科卒業生無試験檢定資格認定 私設無線電信通信従事者資格檢定規則第五條ニ依リ大正十四年十一月十二日以降電信協會管理無線電信講習所別科ヲ卒業シタル者ハ第一級以下ノ無試験銓衡檢定ヲ受クルコトヲ得ルモノト認定セリ

小型漁船無線通信従事者養成計畫助成 近時五十噸内外ノ漁船ニ無線電信ヲ施設セムトスル氣運ニ在ル處之カ通信従事者ハ現行規定ニ依ル漁船級ノ如キ専門ノ無線技手ヲ採用シ難ク無線通信ノ傍ラ漁業ニモ従事シ得ルカ如キ特殊従事者ヲ必要トスルノ實況ニアルヲ以テ電信協會ト協議シ同會ヲシテ日本水産會委託燒津漁業組合ニ屬スル漁村青年十名ヲ養成セシムルコト、シ電信協會ニ對シ右養成計畫及本年度豫算追加方認可セリ

電報配達人労働能率調査開始 電報配達人ノ適性並負荷スヘキ量等ニ付テハ從來經驗的ナル大体ノ標準ニヨリ實施シ來リタルモ文化ノ發達今日ノ如キニ於テハ如此推斷的、非能率的方法ハ許サルヘキニ非ス故ニ科學的根據ニ基ク適格者ヲ求メ合理的負荷ノ方法並ニ量ヲ究明シ事業ノ進歩確立ヲ期スル目的ヲ以テ特ニ豫算ヲ差繰リ之ガ調査ヲ開始セリ

電信回線ノ増設變更及改善 本年度ニ於テモ電信回線上ニ於ケル電報ノ輻湊ヲ救済シ通信ノ正確ト速達トヲ保持セムカ爲メ回線ヲ増設シ通信疏通能率ノ向上ヲ計ランタメ通信方式ノ變更ヲ行ヒ又ハ單線式ヲ複線式ニ改善シテ誘導妨害ヲ防遏シ通信ノ安固ヲ計リタルカ其ノ主ナルモノ次ノ如シ

一、増設

増設區間	増設回線數	増設里程	救済回線數	備考
奈良丹波市及三輪八木間	1	4 ^里 13 ^町 8 ^里	3	
東京田端及上野田端間	1	2 ^町 14 ^町 18 ^町	1	
下關室津間及朝鮮海峽	1	7 ^町 15 ^町 5 ^町 111 ^里 26 ^里	2	内地朝鮮間連絡線一回線増加ス

本表ノ外一般電信事務並ニ請願通信施設ニ依ル電信事務開始ニ伴フ回線増設數ハ五十八回線延長里程百四十三里餘ニ達セリ

二、通信方式ノ變更

回線名	在來ノ通信方式	變更後ノ通信方式	備考
静岡大阪線	音響二重	音響四重	
東京宇都ノ宮線	全上	全上	
東京栃木線	交直流 重單信双信法	音響單信	
横濱三ノ宮線	莫爾斯二重	音響二重	

三、電話機装置單線式電信回線中複線式ニ改善シタルモノ福野津澤線外十一回線ニ達セリ

四、樺太連絡線ノ改善

五、臨時施設トシテ電信回線ヲ構成シ通信ノ速達ヲ計リタルモノ次ノ如シ

イ、攝政宮殿下京都大阪兩府下行啓京都大宮御所御駐泊アラセラレタルニ付其ノ間東京ト大宮御所内京都局臨時出張所間直通線構成(大正十四年五月)

ロ、攝政宮殿下江田島海軍兵學校卒業式ニ御臺臨ニ付東京江田島間直通線構成(大正十四年七月)

ハ、攝政宮殿下樺太行啓アラセラレタルニ付東京豊原間、東京大泊間、東京真岡間等ノ直通線ヲ構成(大正十四年八月)

ニ、宮城縣下ニ於テ陸軍特別大演習舉行攝政宮殿下御統裁アラセラレタルニ付東京及仙臺ノ兩局ト臨時大本營内局及御野立所附近臨時出張所間ニ直通線構成(大正十四年十月)

ホ、天理教祖四十年祭舉行ニ伴フ通信輻湊救済ノ爲メ右期間内大阪奈良一番線ヲ丹波市迄延長スルノ外通信方式ヲ臨時變更ス(大正十五年一月)

第七章 電信線路、電報氣送管及障礙並機械

Section 7. Telegraph Lines, Pneumatic Tubes, Faults and Apparatus.

内地電信線路

Number of Length of Inland Telegraph Lines.

種別 Class	陸上線 Land lines キロメートル Km				地下線 Underground Lines キロメートル(Km)		合計 Total キロメートル(Km)		百平方軒ニ付 Per 100 Square (Km ²)		水底線 Submarine Cables キロメートル(Km)	
	架空裸線 Aerial lines		架空ケーブル * Over head Cables		線路 Routes	心線 Cores	線路 Routes	線路 Routes	線路 Routes	線路 Routes	線路 Routes	心線 Cores
	線路 Routes	線路 Lines	線路 Routes	線路 Cores								
昭和 元年度 1927	35,586	230,955	51	14,035	255	35,052	35,892	280,042	9	73	15,314	18,123
大正 十四年度 1926	35,444	230,382	39	10,698	181	24,541	35,664	265,621	9	66	15,810	16,906
十三年度 1925	35,455	230,264	59	8,832	153	18,368	35,667	257,464	9	66	13,824	16,078
十二年度 1924	35,557	228,716	31	5,691	110	12,453	35,698	246,860	9	64	13,329	15,579
十一年度 1923	34,925	222,075	27	4,461	114	10,140	35,066	236,676	9	61	13,282	15,395
十年度 1922	34,214	210,518	15	2,557	75	5,738	34,304	218,813	9	56	11,990	13,670
九年度 1921	32,953	197,028	15	1,975	68	5,569	33,036	204,572	8	53	11,966	13,639
八年度 1920	32,560	189,177	8	1,579	68	5,015	32,636	195,770	8	50	11,837	13,184
七年度 1919	32,360	181,904	8	1,504	59	4,681	32,427	188,089	8	48	11,377	12,720
六年度 1918	32,140	175,031	8	1,366	51	4,406	32,199	180,803	8	47	9,645	10,925

備考 架空「ケーブル」中架空裸線ニ添架シタル部分ノ線路ハ計上セズ
Note. * Exclusive of parts of cables laid along with aerial lines.

電報氣送
Pneumatic

所	在	Section laid down with Pneumatic Tubes
舊東京中央電信局	舊日本橋原備所間	Between Old Tokyo Central Telegraph office
新東京中央電信局内		New Tokyo Central Telegraph office
舊東京中央電信局	株式取引所間	Between Tokyo Central Telegraph office
同	神田郵便局間	" "
同	京橋郵便局間	" "
同	深川郵便局間	" "
同	駿河町郵便局間	" "
舊逓信省構内郵便局	京橋郵便局間	" Old Teishinsho konai Post office
舊東京中央電信局	新東京中央電信局間	" Old Tokyo Central Telegraph office
同	東京米穀取引所間	" "
新東京中央電信局	本所郵便局間	" New Tokyo Central Telegraph office
同	兩國郵便局間	" "
同	深川郵便局間	" "
同	小傳馬町郵便局間	" "
同	日本橋通郵便局間	" "
同	下谷郵便局間	" "
同	京橋郵便局間	" "
同	銀座郵便局間	" "
同	芝郵便局間	" "
同	新橋郵便局間	" "
同	葵町郵便局間	" "
同	富士見町郵便局間	" "
同	牛込郵便局間	" "
同	本郷郵便局間	" "
同	淺草郵便局間	" "
同	日本橋郵便局間	" "
同	東京米穀取引所間	" "
同	東京株式取引所間	" "
同	東京中央郵便局間	" "
同	舊東京中央電信局間	" "
大阪中央電信局	北濱郵便局間	" Osaka Central Telegraph office
同	川口郵便局間	" "
同	梅田郵便局間	" "
神戸三宮郵便局	神戸中央郵便局間	" Kobe Sannomiya post office
同	兵庫郵便局間	" "
總計		Total

管所在地別
Tubes

大正十四年度末
March 31, 1926

地	管ノ内徑 センチメートル(Cm)	管路	直長 メートル(m)	延長 メートル(m)
Old Nihonbashi Electric moter Station	15.2-30.4	6-12	2	434.2
	"	"	"	78.2
Tokyo Stock Exchange	5.7	2½	"	148.5
Kanda Post office	"	"	"	1,933.3
Kyobashi Post office	"	"	"	179.1
Fukagawa Post office	"	"	"	1,502.1
Surugacho Post office	"	"	"	785.5
Kyobashi post office	"	"	"	608.4
New Tokyo Central Telegraph office	7.6	3	"	48.8
Tokyo Rice Exchange	"	"	"	512.7
Honjyo Post office	5.7	2½	"	1,391.2
Ryogoku Post Office	"	"	"	1,015.5
Fukagawa Post Office	"	"	"	461.2
Kodenmachi Post Office	"	"	"	330.0
Nihonbashi Post Office	"	"	"	415.2
Shitaya Post office	"	"	"	1,636.1
Kyobashi Post office	"	"	"	2,006.1
Ginza post Office	"	"	"	1,032.1
Shiba post office	"	"	"	2,842.7
Shinbashi Post Office	"	"	"	1,032.7
Aoicho Post office	"	"	"	1,911.5
Fujimicho post office	"	"	"	692.1
Ushigome post office	"	"	"	692.1
Hongo post office	"	"	"	490.6
Asakusa Post office	7.6	3	"	3,335.8
Nihonbashi Post Office	"	"	4	2,033.0
Tokyo Rice Exchange	"	"	2	570.9
Tokyo Stock Exchange	"	"	"	769.1
Tokyo Central post office	"	"	"	365.5
Old Tokyo Central Telegraph office	"	"	"	115.2
Kitahama Post Office	5.7	2½	"	1,117.3
Kawaguchi Post office	7.6	3	"	223.8
Umeda Post office	5.7	2½	"	1,509.1
Kobe Central Post office	7.6	3	"	1,243.0
Hyogo Post Office	"	"	"	3,390.6
			72	35,392.7
				75,851.8

內地電信障礙
Frequencies and Hours of

種別 Description	年次 Year	和曆元	大正	十三年度	十二年度	
		1926-27	1925-26	1924-25	1923-24	
陸上及地下線 Land and Under-ground Lines	混線 Contacts	度數 Frequency	7,598	6,777	6,950	5,791
		時數 Hour	59,387	51,052	49,172	47,464
	地氣 Earth	度數 Frequency	5,656	5,751	4,911	4,795
		時數 Hour	43,572	32,952	36,606	40,103
	斷線 Disconnection	度數 Frequency	2,923	2,947	3,383	2,995
		時數 Hour	15,814	17,785	18,871	15,966
	漏電 Leakage	度數 Frequency	1,541	1,885	1,997	1,732
		時數 Hour	57,854	56,345	42,198	44,560
	其他 Others	度數 Frequency	800	791	619	269
		時數 Hour	2,139	2,077	1,681	1,417
	合計 Total	度數 Frequency	18,518	18,151	17,861	15,552
		時數 Hour	178,766	160,211	148,529	149,510
水底線 Submarine Cables	度數 Frequency	45	42	64	71	
	時數 Hour	51,727	52,531	79,917	175,043	

度數及時數
Faults of Inland Telegraph.

十一年度 1922-23	十年度 1921-22	九年度 1920-21	八年度 1919-20	七年度 1918-19	六年度 1917-18
4,442	5,227	4,345	4,939	3,567	3,523
40,028	44,019	46,475	51,482	37,771	33,953
3,900	5,236	4,366	4,034	3,677	3,042
34,213	43,989	41,563	38,578	43,650	30,655
2,193	3,673	2,889	2,953	2,670	2,276
16,099	27,324	23,632	23,202	23,410	15,813
1,611	941	1,365	1,507	2,059	1,044
47,578	29,562	42,447	52,494	71,474	32,092
151	692	268	444	625	338
2,055	3,653	2,156	2,462	3,364	1,606
12,297	15,769	13,233	13,877	12,598	10,223
139,973	148,547	156,273	168,218	179,669	114,119
?	44	34	21	42	37
?	99,798	84,020	36,031	108,262	36,844

內地郵便 電信機
電信局所用

Number of Telegraph apparatuses and Batteries

種別 Description	年度末 At the 31st March of:-				
	昭和元 1927	大正十四年度 1926	十三年度 1925	十二年度 1924	
電信機械 Apparatuses	現字機 Ink writer	249	346	477	694
	單 Simplex 信				
	二 Duplex (D. C) 重	4	4	6	7
	音響機 Sunder	5,146	5,144	5,002	4,588
	單 Simplex 信				
	二 Duplex 重	455	443	426	432
	四 Quadruplex 重	-	-	-	-
	重 Single and Duplex combined System 信	144	129	105	108
	又形中繼 Forked Repeater	-	-	-	-
	自動報時機 Automatic Time Switch	67	61	67	60
	交直雙 Duplex (A. C. & D. C) 信	48	46	37	25
	交直四 Quadruplex (A. C. & D. C) 重	116	119	123	93
	無線式有線 Wired Wireless	4	4	4	4
	現波機 Undulators and Siphon recorders	-	-	-	-
	單 Simplex 信				
二 Duplex 重	4	4	4	4	
單 Single Automatic 信	11	11	11	11	
二 Duplex Automatic 重	-	-	-	-	
自動機 Automatic Teleg	140	141	136	128	
單 Simplex 信					
二 Duplex 重	2	2	2	2	
自動中繼盤 Telegraphic Repeater	25	22	22	23	
單 Simplex 信					
二 Duplex 重	100	100	100	99	
振動式高速度二重 High Speed Duplex by Vibrating Relay	10	9	8	8	
無線電信機 Wireless Sets	1,307	1,076	854	747	
電信用電話機 Telephone for Teleg. Service	2,913	2,772	2,713	3,278	
電信交換機 Telegraph Exchange Board	2	2	2	2	
電話交換機 Telephone Exchange Board	6	6	5	5	
通信監督機 Inspection Apparatuses	73	66	66	64	
合計 Total	10,826	10,507	10,170	10,392	
電池 Batteries	一 Primary 次	110,595	133,417	130,167	131,602
	二 Secondary 次	3,424	3,067	2,968	2,938
	合計 Total	114,019	136,484	133,135 19,440	134,540

備考 1. △印ハ無線電信用トス
Note. △ Used for Wireless telegraph.

械及電池數

used at Inland Post and Telegraph Offices

年度末 At the 31st March of:-					
十一年度 1923	十年度 1922	九年度 1921	八年度 1920	七年度 1919	六年度 1918
923	1,397	1,602	1,817	1,849	1,848
9	9	7	8	4	4
4,353	3,586	3,383	2,846	2,810	2,976
409	368	318	306	270	237
-	-	-	15	56	26
78	78	75	41	-	-
-	-	1	1	1	-
63	?	?	?	?	?
52	44	50	27	8	3
109	102	71	51	26	18
4	2	6	3	1	1
-	-	1	1	3	4
-	-	-	-	8	10
4	4	3	3	-	-
11	11	10	10	-	-
-	-	-	-	1	-
124	112	85	70	60	44
2	-	1	-	1	-
22	27	93	82	56	66
90	81	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
581	480	391	259	205	142
2,663	2,924	2,512	2,563	2,319	2,147
10	5	4	5	5	5
43	2	1	1	1	1
62	60	56	50	41	42
9,618	9,292	8,670	8,159	7,725	7,574
132,428	130,123	114,299	129,098	115,374	116,099
3,098	12,515	8,809	7,442	6,638	2,582
135,526	142,638 9,779	123,108 6,981	136,450 6,211	122,012 5,316	118,681 1,224

第八章 電報通數

Section 8. Number of Telegrams

内地郵便 電信局取扱 電報通數

Number of Telegrams dealt with at Inland Post and Telegraph Offices

種 別 Description	内 國 電 報 Domestic			外 國 電 報 Foreign			中 繼 電 報 Transit	
	有 料 Charged	無 料 Free	合 計 Total	有 料 Charged	無 料 Free	合 計 Total		
昭和元年度 1926-27	發 信 Despatch	59,423,634	6,726,475	66,150,109	1,164,610	115,317	1,279,927	116,328,004
	著 信 Arrival	59,543,552	8,869,745	68,413,297	1,210,597	122,044	1,332,641	
大正十四年度 1925-26	發 信 Despatch	60,229,027	7,654,402	67,883,429	1,109,944	115,239	1,225,183	116,796,804
	著 信 Arrival	60,298,108	9,322,788	69,620,896	1,142,093	122,786	1,264,879	
十三年度 1924-25	發 信 Despatch	60,850,715	8,187,376	69,038,091	1,027,328	118,840	1,146,168	116,183,199
	著 信 Arrival	60,890,421	9,418,695	70,309,116	1,060,615	130,864	1,191,479	
十二年度 1923-24	發 信 Despatch	58,439,328	8,543,879	66,983,207	968,356	137,071	1,105,427	114,673,685
	著 信 Arrival	58,914,246	10,341,994	69,256,240	1,020,811	147,419	1,168,230	
十一年度 1922-23	發 信 Despatch	60,136,002	8,609,113	68,745,115	945,331	107,067	1,061,401	116,273,534
	著 信 Arrival	60,404,810	9,647,327	70,052,137	1,004,937	121,813	1,126,750	
十年度 1921-22	發 信 Despatch	59,493,180	8,900,531	68,393,711	972,055	105,321	1,077,376	115,932,737
	著 信 Arrival	59,906,863	9,838,936	69,745,799	1,036,671	123,504	1,160,175	
九年度 1920-21	發 信 Despatch	59,041,290	9,315,356	68,356,646	905,650	123,871	1,029,521	114,273,668
	著 信 Arrival	59,942,920	10,127,053	70,069,973	990,153	132,318	1,122,471	
八年度 1919-20	發 信 Despatch	64,088,081	9,922,092	74,010,173	992,838	153,705	1,146,543	124,424,231
	著 信 Arrival	64,638,622	10,742,289	75,380,911	1,050,542	166,030	1,216,572	
七年度 1918-19	發 信 Despatch	50,821,212	7,201,680	58,022,892	792,971	110,639	903,610	98,030,838
	著 信 Arrival	51,095,996	7,845,276	58,941,272	863,548	131,858	995,406	
六年度 1917-18	發 信 Despatch	45,717,615	5,874,849	51,592,464	697,873	87,144	785,017	82,518,735
	著 信 Arrival	45,857,702	6,605,894	52,463,596	769,040	98,874	867,914	

備考 内國電報中ニハ日支電報規則ニ據リテ取扱ヒタルモノヲ包含ス
Note. Domestic Telegrams include those treated in accordance with Japan and China Teleg. Regulations.

前表中無線電信局ニ於テ取扱ヒタルモノヲ再掲スレハ次表ノ如シ
Telegrams handed at the wireless telegraph office shown in the said table is as follow:—

無線電信 電報通數

Number of Telegrams dealt with at Wireless Telegraph Offices

種 別 Description	内 國 電 報 Domestic			外 國 電 報 Foreign			
	有 料 Charged	無 料 Free	合 計 Total	有 料 Charged	無 料 Free	合 計 Total	
昭和元年度 1926-27	發 信 Despatch	196,371	36,317	232,688	25,037	7,145	32,182
	著 信 Arrival	75,191	92,356	167,547	12,226	3,966	16,192
大正十四年度 1925-26	發 信 Despatch	149,471	37,753	187,224	19,325	6,106	25,431
	著 信 Arrival	61,260	73,082	134,342	8,165	3,030	11,195
十三年度 1924-25	發 信 Despatch	148,865	36,859	185,724	19,612	8,850	28,462
	著 信 Arrival	58,155	74,761	132,916	7,866	3,814	11,680
十二年度 1923-24	發 信 Despatch	121,687	30,244	151,931	18,224	15,179	33,403
	著 信 Arrival	47,535	52,897	100,432	6,714	7,072	13,786
十一年度 1922-23	發 信 Despatch	106,967	30,098	137,065	17,818	7,006	24,824
	著 信 Arrival	47,714	61,459	109,173	6,280	4,684	10,964
十年度 1921-22	發 信 Despatch	88,715	35,002	123,717	16,611	2,769	19,380
	著 信 Arrival	42,862	50,629	93,491	5,465	2,581	8,046
九年度 1920-21	發 信 Despatch	106,932	29,799	136,731	15,817	1,852	17,669
	著 信 Arrival	67,047	32,642	99,689	4,174	1,640	5,820
八年度 1919-20	發 信 Despatch	86,702	25,691	112,393	17,429	2,777	20,206
	著 信 Arrival	36,700	23,893	60,593	3,722	1,849	5,571
七年度 1918-19	發 信 Despatch	73,157	32,845	106,002	12,064	914	12,978
	著 信 Arrival	30,150	25,551	55,701	1,949	1,045	2,994
六年度 1917-18	發 信 Despatch	47,654	32,505	80,159	8,984	1,209	10,193
	著 信 Arrival	23,169	26,312	49,481	1,267	846	2,113

在支那本邦 電報通數
電信局取扱

Number of Telegrams dealt with at Japanese Telegraph Offices in China

種別 Description	内 國 電 報 Domestic			外 國 電 報 Foreign			中 繼 電 報 Transit
	有 料 Charged	無 料 Free	合 計 Total	有 料 Charged	無 料 Free	合 計 Total	
昭和 元 年 度 1926-27	發 信 Despatch 28,629	著 信 Arrival 1,871	30,500	274,265	27,835	302,100	1
大正 十 四 年 度 1925-26	發 信 Despatch 26,247	著 信 Arrival 1,273	27,520	230,251	29,235	259,486	3
十 三 年 度 1924-25	發 信 Despatch 27,315	著 信 Arrival 2,221	29,536	185,558	26,302	211,860	1
十 二 年 度 1923-24	發 信 Despatch 22,802	著 信 Arrival 1,499	24,301	170,852	26,319	197,171	4
十 一 年 度 1922-23	發 信 Despatch 22,802	著 信 Arrival 2,183	24,985	174,192	28,262	202,455	24,007
十 年 度 1921-22	發 信 Despatch 16,356	著 信 Arrival 2,073	18,429	159,854	23,412	183,266	97
九 年 度 1920-21	發 信 Despatch 18,997	著 信 Arrival 2,518	21,515	188,062	29,597	217,659	71
八 年 度 1919-20	發 信 Despatch 18,997	著 信 Arrival 2,362	21,359	162,583	26,782	189,365	89
七 年 度 1918-19	發 信 Despatch 26,081	著 信 Arrival 1,548	27,629	145,618	27,289	172,907	6,289
六 年 度 1917-18	發 信 Despatch 26,081	著 信 Arrival 2,395	28,476	167,588	28,976	196,564	62
	發 信 Despatch 35,690	著 信 Arrival 1,662	37,352	161,396	28,797	190,193	
	發 信 Despatch 62,313	著 信 Arrival 2,652	64,965	153,468	14,780	168,248	
	發 信 Despatch 70,137	著 信 Arrival 2,053	72,190	141,900	14,864	156,764	
	發 信 Despatch 67,002	著 信 Arrival 2,330	69,332	89,967	6,672	96,639	
	發 信 Despatch 69,316	著 信 Arrival 1,572	70,888	84,515	7,881	92,396	

第九章 電話業務ニ關スル施設

Section 9. Institutions for Telephone Services

電話業務ニ關シ本年度中施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

電話特別開通規則制定 大正十三年度電話至急開通ノ實績ニ徴スルニ至急ニ開通ヲ希望スル者依然多數ナルト加入申込積滞數夥多ナルニモ拘ラス震災後財政ノ都合ニ依リ擴張資源ヲ公債ニ求めムルヲ得サルニ至リタル爲メ自給自足ノ方法即チ實費程度ノ架設費ヲ徵收スルノ方法ニ依リ大正十四年度以降五ケ年間ニ加入電話二十六万八千五百個ヲ増設シ以テ之等焦眉ノ急ニ應セントシ大正十三年秋調査ニ著手シ以來電話擴張實施並改良調査會ノ議ヲ經遂ニ大正十四年五月省令第二九號ヲ以テ本規則ノ公布ヲ見ルニ至リタルガ本規則ニ於テハ電話開通期申請ノ手續、申請受理ノ方法、設備費及其ノ納付並ニ還付及制裁等ヲ規定セルヲ以テ架設費ノ引上等ニ依リ射利的加入ヲ防遏シ得ベク且略實費ヲ徵收スルモノナルヲ以テ申請受理ノ順序開通後ノ制限等ニ關シ從來ト大ニ趣ヲ異ニセリ而シテ至急開通規則ト相違セル重要ナル點ハ下記ノ如シ

1. 六大都市ノミナラズ全國一般ニ適用スルコト、ナシタルコト
2. 設備費トシテ實費程度ノ架設費ヲ徵スルコト
3. 加入申込積滞數漸減ノ趣旨ニ依リ一定ノ制限下ニ加入申込者ニ對シ順番ニ依ル優先受理ヲ認メタルコト
4. 不受理ノ制限ヲ緩和シタルコト
5. 電話開通後ニ於テハ加入名義變更又ハ設置場所移轉ニ付制限ヲ撤廢シタルコト
6. 申請名義ヲ借レル者ニ對スル制裁ヲ緩和シ加入取消ニ止メタルコト

電話規則、特設電話規則等改正 前記電話特別開通規則制定ノ結果單獨加入トノ權衡上、共同線加入及連接加入ニ就テモ亦架設實費ヲ徵收スル爲並加入登記料ヲ現金徵收ニ改ムル必要上大正十四年九月省令第六二號、同六三號ヲ以テ電話規則及特設電話規則ヲ改正シ執レモ同年十月一日ヨリ實施セリ

自動交換實施ニ伴フ電話規則改正 本年度中ニ東京ノ一部(京橋、本所、下谷、神田及茅場町ノ各分局)及横濱ノ全部ニ自動交換方式實施ニ伴ヒ大正十四年十月一日省令第七〇號ヲ以テ電話規則中ヲ改正シ即日實施シタルカ其ノ改正主要點ハ下記ノ如シ

1. 自動式局所屬ノ連接加入ヲ廢止シタルコト
2. 同一共同線加入者相互間ノ度數料ハ基本料トシテ徵收シタルコト
3. 共同線加入者ノ度數料ハ其ノ相手ノ分ト合同計算ノ上料金納付責任者ヨリ徵收シタルコト
4. 本電話ト通話シ得ル乙種増設電話ヲ廢止シタルコト

5. 從來ノ市外長距離通話區域ヲ廢止シタルコト

6. 自働電話ヲ公衆電話ト改稱シタルコト

尙本改正ニ關聯シ特設電話規則、電話通話規則、請願通信施設規則其他各種ノ關係規定等ニ改正ヲ加ヘ孰レモ大正十四年十月一日ヨリ實施セリ

私設電信規則中改正 通信ノ連絡不便ナル土地ニ於ケル電氣工作物保安ノ通信裝置故障ノ場合ニ於ケル通信連絡ノ必要上高周波電流ニ依ル私設電話ノ制ヲ創定セムカ爲大正十四年七月省令第四四號ヲ以テ本規則中ヲ改正シ一萬「サイクル」以上ノ高周波ヲ通スルモノナルトキハ私設無線電信規則ヲ準用スルコト、セリ尙通報信號ニ依ル施設ヲ認メ私設電信規則又ハ私設無線電信規則ヲ準用スルコト、セリ

官應用電信電話規則中改正 前掲私設電話ト同様ニ電線路ニ高周波ヲ通ズル官應用電話ノ施設ヲ認ムル爲メ大正十四年七月省令第四五號ヲ以テ本規則中ヲ改正シ私設電信規則關係條文ノ準用ヲ定メ尙ホ通報信號ニ付テモ亦同様トセリ

市外專用電話施設命令書ニ對スル特例 帝國議會開會中市外專用電話ニ依ル新聞紙掲載事項ノ通信ノ便益ヲ圖ル爲メ日本電報通信社外四社ニ對シ許可命令書中代用通話ヲ爲サシムベキ條件タル一般回線三分ノ二以上通話ニ支障ナキ状態トアルヲ二分ノ一以上トシ取扱方ニ付特例ヲ開キタリ

短期豫約通話取扱 大正十四年十月仙臺遞信局管内ニ於テ施行セラレタル陸軍特別大演習及其ノ前後ニ於テ東宮殿下、山形外二縣ヘ行啓被爲在ニ伴ヒ新聞通信疎通ノ爲ニ關係局間ニ短期豫約通話ノ取扱ヲ認可セリ

放送無線電話及聴取無線電話ノ機器裝置ニ關スル制限緩和 放送無線電話ノ普及發達ノ實情ニ適セシムル爲メ大正十四年四月省令第二三號ヲ以テ放送用私設無線電話規則中使用電力及裝置聴取無線電話ノ機器及裝置並ニ聴取施設出願書式ニ關シ下記要領ノ改正ヲナシ五月一日ヨリ實施セリ

一、送話裝置ニ關スルモノ

(イ) 最大限電力ヲ空中線電力ニ計算スルコト、シ長距離用ハ一「キロ」短距離用ハ百五十「ワット」以内トス

(ロ) 空中線ノ固有波長ニ關スル制限ヲ撤廢シ單ニ他ノ線路ニ障礙ヲ及ホスカ如キ誘導ヲ生セシメサルコトヲ條件トス

二、聴取無線電話施設出願手續ニ關スルモノ

(イ) 船舶ニ於テ聴取施設スル場合ノ手續ヲ簡易ナラシム

(ロ) 工事設計ノ記載様式ヲ簡略ナラシム

(ハ) 從來ハ電氣試験所ノ型式證明アルモノニ限り使用セシムルモノナリシモ規定ノ範圍内ニ於テ遞信局長ノ許可ヲ得タル機器ニ對シテハ凡テ施設シ得ルコト、セリ

聴取無線電話施設特許料低下 放送無線電話ノ聴取無線電話施設者ハ其ノ施設特許トシテ會計年度毎ニ二圓ヲ納付スヘキ處無線電話普及ノ狀況ニ鑑ミ大正十四年七月省令第四二號ヲ以テ放送私設無線電話規則中ヲ改正シ之ヲ一圓ニ低下スルコト、シ七月十六日ヨリ實施セリ

東京放送局假設備放送許可 大正十三年十一月設立ヲ許可セラレタル社團法人東京放送局ノ放送設備ハ大正十四年六月完成ノ見込ナリシ處放送規則發布後既ニ一年有餘ヲ閱シ社會ノ無線熱甚ダ熾烈ナルモノアルニ鑑ミ本設備完成迄電力五百「キロワット」ノ假設備ニ依ル放送ヲ許可シ三月二十二日ヨリ開始セシメタリ而シテ七月六日本設備ノ工事設計及裝置場所等ノ變更ヲ許シ七月十二日ヨリ本放送ヲ開始セシメタリ

東京放送局聴取料金引下 東京放送局ノ聴取料ハ假放送中月額一圓本放送開始ト共ニ月額二圓ヲ徴收スル豫定ナリシ處假放送開始以來其ノ加入者數ノ増加豫想以上ニシテ大正十四年六月末現在ニ於テ既ニ本年度豫定額ヲ超過スルコト五千ニ及ヒ尙躍進的增加ノ趨勢ニアリテ現在収入ヲ以テ能ク其ノ維持費ヲ支辨シ得尙進シテ良好ナル「サービス」ヲ提供シ得ルモノト認メタルニ依リ公益事業ノ本質上公共ノ負擔ヲ輕減シ文化普及ヲ助長スル爲メ本放送開始後ト雖モ聴取料ヲ一圓ニ据置クヲ適當ト認メ之ヲ實行セシメタリ

市外電話回線ノ増設、變更及改良 本年度中通話ノ幅狭ヲ救済シ且市外電話區域ノ擴張ニ資センカ爲メ市外電話回線ヲ増設シ或ハ通話能率ノ向上ヲ計ル爲メ信號方式ヲ變更シタル主ナルモノ次ノ如シ

一、増設

遞信局別	増設區間	同回線數	同里程	救回線數	濟數
札幌	函館小樽札幌間外 11	實重線 10 信線 2	231 ^里 28 ^町 30 ^間		13
仙臺	新潟直江津間外 22	同上 18 5	382 6 38		26
東京	宇都宮下館間外 31	同上 31 1	123 13 52		19
名古屋	名古屋桑名間外 24	同上 20 5	195 20 9		25
大阪	大阪福知山間外 46	同上 36 11	297 20 46		31
廣島	岡山笠岡間外 18	同上 17 2	128 7 10		19
熊本	鹿兒島宮崎間外 17	同上 13 5	155 13 17		20

遞信局別	増設區間	同回線數		同里程			救濟數		
		實線	重信線	里	町	間			
東仙	京臺	東京	仙臺	重信線	1	20	25	14	2
同	上	東京	新潟	同上	1	18	25	5	2
大廣	阪島	大阪	福山	實線	1	63	27	45	2
同	上	高松	高知	同上	1	38	23	47	2
仙札	臺觀	青森	函館	同重信線	1	36	19	32	2
名大	古屋	名古屋	大阪	實線	2	102	27	34	2
同	上	名古屋	神戸	同重信線	2	120	14	12	2
同	上	大阪	四日市	同上	1	83	18	46	2
同	上	大阪	津	同上	2	80	1	4	2
同	上	大阪	松坂	實線	1	44	18	51	2
同	上	大阪	桑名	重信線	1	43	34	15	2
同	上	大阪	上野	實線	1	23	0	25	2
同	上	京都	津	同上	1	24	35	44	2
同	上	水口、龜山	四日市	同上	1	14	24	43	3
同	上	京都、彦根、米原、京都、福井線ヲ大阪へ延長				34	5	45	3
總計		198		實重信線	160	2,264	16	56	185

以上増設ノ内神戸豊岡電話線及福知山豊岡電話線ハ但馬地方震災復興ノ爲メ特ニ増設セラレ又豫而施行中ナリシ東京岡山間長距離電話「ケーブル」ノ一部分ナル名古屋京都間「ケーブル」竣工シ龜山電話中繼所ト共ニ大正十四年八月ヨリ實施セラレタルカ本邦ニ於ケル電話回線ニシテ長距離電話「ケーブル」及電話中繼器ヲ常用スルコト、ナリタルハ本施設ヲ以テ嚆矢トス又津輕海峽ニ電話用海底線ヲ沈布シテ多年朝野ノ翹望切ナリシ本土北海道間ノ電話連絡完成セリ
尙本表ノ外電話通話事務開始ニ伴ヒ増設セル電話回線數ハ八十八線延長里程四百三十六里餘又特設電話交換開始ニ伴フモノハ四十四回線延長里程二百四里餘請願通信施設ニ依ル電話通話事務開始ニ伴フモノ三十線延長里程十二里餘ニ達セリ

二、信號方式ノ變更

東京足利重信電話線外十六回線ノ「リングダウン」方式ヲ電信信號方式ニ變更ス

三、臨時施設トシテ電話回線ヲ構成シ御用通話新聞通話並ニ一般通話ノ速達ヲ計リタルモノ次ノ如シ

- イ、兩陛下日光御用邸御滞在中田母澤御用邸東京間ニ直通線構成（大正十四年自七月七日至九月二十九日）
- ロ、東宮同妃殿下葉山御用邸御駐泊中葉山御用邸東京間ニ直通線構成（大正十四年自七月十日至九月十二日）
- ハ、露國飛行機所澤著陸ノ爲メ東京所澤間直通線構成（大正十四年自九月一日至同月二日）
- ニ、所澤ニ於テ陸軍航空大演習施行ニ付東京所澤間直通線構成（大正十四年自九月二十三日至同月二十八日）
- ホ、東京小諸電話線ニ毎年七月一日ヨリ八月二十日迄輕井澤ヲ臨時接續シテ東京トノ通話ヲ便ナラシメタルトコロ特ニ九月末迄延期シタリ（大正十四年自七月一日至九月三十日）
- ヘ、宮城縣下ニ於テ陸軍特別大演習舉行
攝政宮殿下御統裁アラセラレタルニ付仙臺局ト臨時大本營局トノ間及東京仙臺ト御野立所附近臨時出張所トノ間ニ直通線ヲ臨時構成（大正十四年十月）
- ト、天理教祖四十年祭舉行ニ伴フ通話輻輳救濟ノ爲メ大阪奈良五番電話線ト奈良丹波市線トヲ連結シ大阪丹波市ノ二局接續ニ臨時變更（大正十五年自一月十二日至二月一日）

電話特別開通 電話特別開通規則ニヨリ特別開通ノ申請ヲ受付クルコト、シ此ノ旨告示セリ而シテ其ノ開通豫定數、設備費及申請數等次ノ如シ

局名	設備費	開通豫定數				申請數	豫定數ニ對スル申請數ノ割合
		公益關係	加入申込登記番ニ依ルモノ	其ノ他ノモノ	合計		
大阪中央電話局	1,300 ^円	200 ^個	2,675 ^個	2,675 ^個	5,550 ^個	10,935	1.9
京都中央電話局	1,100	60	1,120	1,120	2,300	8,345	3.6
神戸中央電話局	1,100	60	820	820	1,700	3,705	2.2
名古屋中央電話局	1,100	60	970	970	2,000	6,386	3.2
合計	4,600	380	5,585	5,585	11,550	29,371	2.5

第十章 電話線路

Section 10. Telephone Routes,

内地電話線

Length of Inland

種別 Description	陸上線 Land Lines キロメートル(Km)				地下 Under ground 線路 Routes
	架空線 Aerial Lines		架空ケーブル * Over head Cables		
	線路 Routes	線條 Lines	線路 Routes	心 Cores	
昭和元 年 度 1927	39,246	524,270	361	802,086	1,210
大正十 四 年 度 1926	36,500	492,975	271	672,542	1,033
十 三 年 度 1925	23,999	385,034	102	454,762	888
十 二 年 度 1924	22,903	361,683	82	367,217	707
十 一 年 度 1923	22,424	365,709	71	378,079	683
十 年 度 1922	19,742	338,823	71	327,057	554
九 年 度 1921	17,056	300,604	59	287,428	471
八 年 度 1920	15,622	274,075	47	260,782	444
七 年 度 1919	14,597	257,393	51	237,740	416
六 年 度 1918	13,286	242,092	31	220,394	389

備考 架空「ケーブル」中架空裸線=添架シタル部分ノ線路ハ計上セズ
Note. * Exclusive of parts of cables laid along with aerial lines.

障 碍 及 機 械

Faults and Apparatus

路 里 程

Telephone Lines

線 心 Cores	合 計 Total キロメートル(Km)		百 平 方 米 = 付 Per 100 Square (Km ²)		水 底 線 Submarine Cables キロメートル(Km)	
	線 路 Routes	線 條 Lines	線 路 Routes	線 條 Lines	線 路 Routes	心 Cores
2,158,028	40,817	3,484,384	11	912	295	3,024
1,840,355	37,804	3,005,872	10	775	185	2,089
1,470,729	24,989	2,310,525	6	596	177	1,850
1,202,662	23,693	1,931,562	6	498	177	1,909
1,182,468	23,178	1,926,256	6	497	200	1,484
905,844	20,366	1,571,724	5	405	200	1,217
806,608	17,586	1,394,639	4	360	192	1,068
717,272	16,113	1,252,129	4	323	177	939
635,566	15,065	1,130,700	4	291	177	939
589,492	13,706	1,051,979	4	271	165	876

內地市內電話

Frequencies of Faults of

種別 Description	年次	大正十四年度 1925-26	十三年度 1924-25	十二年度 1923-24	十一年度 1922-23
	Year				
交換局内 Fault in Exchange office	交換機 Exchange board	436,844	341,403	350,410	307,866
	配線盤 Distributing board	69,294	56,271	49,740	45,978
	繼電器架 Relay rack	65,559	46,256	34,506	28,164
	可熔片盤及中繼線輪架 Fuses board and Repeating coil rack	19,422	17,975	16,429	16,284
	發電裝置 Power plant	2,350	2,556	2,525	2,289
	局内及其他 Office wires etc.	60,921	62,952	43,033	38,285
	計 Total	654,390	527,413	496,649	438,866
加入者宅内 Fault in Subscriber's	電話機 Telephones	265,005	226,503	212,987	208,249
	保安器 Protective devices	32,881	28,443	26,969	22,951
	電池 Cells	28,823	29,782	31,319	33,422
	室内線 Lines	12,627	11,905	10,869	10,476
	加入者不注意及其他 Subscriber's Carelessness etc.	32,924	29,050	27,804	21,549
計 Total	372,260	325,683	309,948	296,647	
線路 Fault on Routes	架空裸線 Aerial lines	124,335	119,141	100,644	96,625
	架空ケーブル Over-head cables	14,034	10,455	8,743	10,300
	地下ケーブル Underground cables	9,988	9,175	6,736	5,091
	加入者引込線 Subscriber's leading-in	68,298	61,973	55,009	51,132
	配線箱 Distributing box	42,310	33,715	27,902	24,748
	線 Bridle wire	5,534	4,317	4,448	6,027
	其他 Others	52,489	41,041	27,021	28,118
計 Total	316,988	279,817	230,503	222,041	
合 Grand Total	計	1,343,638	1,132,913	1,037,100	957,554

障礙度數

Inland Urban Telephones

十年度 1921-22	九年度 1920-21	八年度 1919-20	七年度 1918-19	六年度 1917-18	五年度 1916-17
495,574	440,771	451,629	361,425	385,646	389,239
55,842	42,417	36,366	30,416	28,471	27,254
49,444	35,923	27,271	17,254	18,954	17,960
19,507	11,819	7,990	3,868	4,585	3,181
5,106	6,907	6,249	3,434	8,746	11,167
89,494	62,486	37,832	33,152	34,387	22,390
714,967	600,323	567,337	449,549	480,789	471,191
287,080	227,953	286,502	246,680	244,449	222,799
33,459	28,569	27,346	23,889	24,695	27,768
42,149	42,227	48,395	40,920	39,507	37,493
12,866	10,455	10,018	8,675	9,036	10,910
32,247	47,620	31,608	26,350	25,352	22,045
407,801	356,824	403,869	346,514	343,039	321,015
109,288	91,042	66,946	65,448	60,494	51,159
14,027	5,481	4,892	5,082	4,016	2,590
4,403	5,179	2,293	997	661	851
67,731	50,685	39,035	38,574	31,404	27,221
26,134	16,165	12,361	9,723	9,129	8,295
6,274	4,844	4,076	3,700	3,125	3,624
50,703	36,608	29,952	28,434	26,335	21,750
278,560	210,004	159,555	151,958	135,164	115,490
1,401,328	1,167,151	1,130,761	948,021	958,992	907,696

內地市外電話障

Frequencies and Hours of Faults

種別 Description	年次 Year	年度									
		十四年度 1925-26	十三年度 1924-25	十二年度 1923-24	十一年度 1922-23	十年度 1921-22	九年度 1920-21	八年度 1919-20	七年度 1918-19	六年度 1917-18	五年度 1916-17
混線 Contact	度數 Frequency	5,795	5,917	5,756	2,753	6,268	4,180	3,511	3,559	2,622	2,372
	時數 Hours	31,465	33,243	39,559	17,898	45,353	30,559	21,420	23,106	16,400	14,019
地氣 Earth	度數 Frequency	4,355	4,407	3,878	1,916	4,340	2,806	2,212	2,410	1,519	1,059
	時數 Hours	26,340	25,268	24,283	15,159	31,241	25,104	15,358	16,766	9,372	5,669
斷線 Disconnection	度數 Frequency	3,008	2,881	2,515	1,405	2,882	1,897	1,534	1,513	1,541	1,754
	時數 Hours	14,901	16,186	14,916	12,574	20,205	15,754	10,115	9,293	8,490	7,366

內地郵便電信電話局所用電話機

Number of Telephone Apparatuses

Post, Telegraph and

種別 Description	年度末 On March 31st of:	大正			
		十四年度 1926	十三年度 1925	十二年度 1924	
手交 Manual Tele- Phone Exchange	並列複式 Parallel Mul- tiple System	共同電池式 Common Battery System	723	633	498
		磁石式 Magneto System	119	118	121
		ランプ式 Lamp System	-	-	-
	直列複式 Series Multiple System	複線用單式 Metallic Single board	290	251	250
		共同電池式 Common Battery System	3,421	3,100	2,991
	中繼用 Trunk board	共同電池式 Common Battery System	399	382	286
		磁石式 Magneto System	6	13	6
		ランプ式 Lamp System	-	-	-
		コールインデケーター Cale Indicator Board	41	-	-
	市外線用 Toll board	大形 A	503	370	342
小形 B		1,230	1,102	1,017	
記録用 Recording board		50	35	36	
合	Total	6,787	6,004	5,547	

碍度數及時數

of Inland Suburban Telephones

種別 Description	年次 Year	年度									
		十四年度 1925-26	十三年度 1924-25	十二年度 1923-24	十一年度 1922-23	十年度 1921-22	九年度 1920-21	八年度 1919-20	七年度 1918-19	六年度 1917-18	五年度 1916-17
漏電 Leakage	度數 Frequency	91	34	60	35	77	61	43	48	20	26
	時數 Hours	781	572	1,617	372	1,879	2,296	1,652	1,667	688	468
其他 Others	度數 Frequency	604	613	604	171	456	369	338	443	308	401
	時數 Hours	2,646	2,914	3,225	1,113	2,351	1,284	1,739	1,803	1,226	1,001
合計 Total	度數 Frequency	13,853	13,852	12,813	6,280	14,023	9,313	7,638	7,973	6,010	5,612
	時數 Hours	76,133	78,183	83,600	47,116	101,029	74,997	50,284	52,635	36,176	28,523

械及電池數

and Batteries used at Inland

Telephone Offices

十一年度 1923	十年度 1922	九年度 1921	八年度 1920	七年度 1919	六年度 1918	五年度 1917
586	478	382	342	295	221	192
203	228	252	237	241	238	228
29	29	29	29	28	28	28
206	193	170	153	136	137	123
2,927	2,698	2,262	2,067	2,092	1,969	1,890
352	295	252	208	161	112	102
42	57	91	59	73	73	60
16	16	16	16	14	14	13
-	-	-	-	-	-	-
391	320	268	174	170	154	137
960	824	698	666	661	629	605
38	27	15	14	14	14	15
5,750	5,165	4,435	3,972	3,885	3,589	3,393

(續) 内地郵便電信 電話局所用 電機 話

Number of Telephone Apparatuses
Post, Telegraph and

種 別 Description	年 度 末 On March 31st of:	十 四 年 度	十 三 年 度	十 二 年 度	
		1926	1925	1924	
自 働 式 交換機 Automatic Tele- phone Exchange	A T M 式 ATM System	ラインスイッチボード (コネクタ付) Line Switch Board	269	-	-
		セレクターボード Selector Board	77	-	-
		レピーターボード Repeater Board	14	-	-
	S Q H 式 SQH System	出中継二次ラインスイッチボード Outgoing Secondary Line Switch Board	44	-	-
		一次プレセレクターボード Primary Preselector Board	120	-	-
		二次プレセレクターボード Secondary Preselector Board	12	-	-
		コネクタボード Connector Board	60	-	-
	合 計		664	-	-
		Total			
	電 話 機 Telephones	通 常 Wall set	共同電池式 Common Battery System	176,425	159,386
磁石式 Magneto System			291,545	260,048	252,722
自動式 Automatic System			21,386	-	-
卓 上 Desk set		共同電池式 Common Battery System	38,363	35,786	24,482
		磁石式 Magneto System	21,601	30,720	31,295
		自動式 Automatic System	3,023	-	-
公 衆 Public			1,760	1,755	1,377
合 計			563,922	487,695	430,332
Total					
電 池 Batteries		一 次 Primary	650,943	571,545	547,456
	二 次 Secondary	2,971	1,948	1,618	
	合 計	653,914	573,493	549,074	
Total					

械 及 電 池 數

and Batteries used at Inland
Telephone Offices

十 一 年 度	十 年 度	九 年 度	八 年 度	七 年 度	六 年 度	五 年 度
1923	1922	1921	1920	1919	1918	1917
-	-	-	-	-	-	-
158,885	129,858	108,570	75,998	69,456	57,586	46,988
263,547	243,159	221,101	201,435	203,926	194,783	186,687
-	-	-	-	-	-	-
31,770	26,585	21,734	19,204	15,241	11,024	8,742
29,309	26,516	24,930	23,428	20,422	18,046	15,397
-	-	-	-	-	-	-
1,538	1,334	1,109	1,064	1,066	1,021	1,020
485,049	427,452	377,444	321,129	310,111	282,460	258,834
580,578	551,498	506,802	438,707	444,512	428,211	406,845
1,934	2,000	1,417	856	512	477	436
582,512	553,498	508,219	439,563	445,024	428,688	407,281

第十一章 電話加入者及電話通話數

Section 11. Number of Telephone Subscribers and Messages

内地電話加入者

Number of Inland Telephone Subscribers

年次 Year	種別 Description	單獨加入	共同線加入	連接加入	合計 Total	加入申込者 Applicants for the telephone subscription
		Individual Subscription	Party Line Subscription	Extention Line Subscription		
昭和 元 年	度	538,764	9,690	4,103	552,557	202,351
大正 十 四 年	度	481,495	8,961	4,337	494,793	210,238
十 三 年	度	429,838	8,412	4,601	442,851	225,981
十 二 年	度	418,148	8,078	4,673	430,899	229,914
十 一 年	度	402,763	7,815	4,480	415,058	234,188
十 年	度	359,869	7,562	4,182	371,613	242,274
九 年	度	310,801	6,994	3,870	321,665	263,127
八 年	度	266,639	6,785	3,677	277,101	278,580
七 年	度	260,494	6,175	3,452	270,121	266,414
六 年	度	242,097	5,700	3,157	250,954	210,323

内地電話通話數

Number of Inland Telephone Messages

年次 Year	種別 Description	同一加入區域内 In the Same Subscription District			加入區域外 With Other District	
		加入者相互間 通話數(推算) Number of mes- sages between Subscribers	局所及公衆電話 ニテ通話時數 Hours of Conver- sation of Office and by Public Telephone	呼出請求件數 Requests of Call	通話時數 Hours of Conversation	呼出請求件數 Requests of Call
昭和 元 年	度	2,195,600,413	22,707,408	36,062	102,722,430	1,984,941
大正 十 四 年	度	1,866,159,780	20,102,056	42,886	86,685,649	1,988,690
十 三 年	度	1,679,537,137	9,861,145	54,989	73,861,197	1,885,581
十 二 年	度	1,671,040,060	8,107,658	39,641	62,176,928	1,852,765
十 一 年	度	1,874,832,974	7,113,111	41,905	51,813,038	1,682,605
十 年	度	1,610,266,840	12,236,244	35,536	46,860,801	1,599,573
九 年	度	1,409,278,736	10,347,212	36,899	41,861,294	1,535,651
八 年	度	1,953,095,230	7,457,279	44,998	38,614,731	1,666,013
七 年	度	1,780,115,757	7,952,177	42,297	32,971,788	1,524,022
六 年	度	1,529,092,874	5,394,676	35,372	29,251,785	1,316,435

備考 一通話時數ハ五分間トス
Note. Unit time of conversation is 5 minutes.

郵便爲替貯金
POSTAL MONEY ORDER
AND POSTAL SAVINGS

第十一章 電話加入者及電話通話數
Section 11. Number of Telephone Subscribers and Messages

内地電話加入者
Number of Inland Telephone Subscribers

年次 Year	種別 Description	單獨加入	共同線加入	連接加入	合計 Total	加入申込者 Applicants for the telephone subscription
		Individual Subscription	Party Line Subscription	Extention Line Subscription		
昭和 元 年	1926-27 度	538,764	9,690	4,103	552,557	202,351
大正 十 四 年	1925-26 度	481,495	8,961	4,337	494,793	210,238
十 三 年	1924-25 度	429,838	8,412	4,601	442,851	225,981
十 二 年	1923-24 度	418,148	8,078	4,673	430,899	229,914
十 一 年	1922-23 度	402,763	7,815	4,480	415,058	234,188
十 年	1921-22 度	359,869	7,562	4,182	371,613	242,274
九 年	1920-21 度	310,801	6,994	3,870	321,665	263,127
八 年	1919-20 度	266,639	6,785	3,677	277,101	278,580
七 年	1918-19 度	260,494	6,175	3,452	270,121	266,414
六 年	1917-18 度	242,097	5,700	3,157	250,954	210,323

内地電話通話數
Number of Inland Telephone Messages

年次 Year	種別 Description	同一加入区域内 In the Same Subscription District			加入区域外 With Other District	
		加入者相互間 通話數(推算) Number of mes- sages between Subscribers	局所及公衆電話 ニテ通話時數 Hours of Conver- sation of Office and by Public Telephone	呼出請求件數 Requests of Call	通話時數 Hours of Conversation	呼出請求件數 Requests of Call
昭和 元 年	1926-27 度	2,195,600,413	22,707,408	36,062	102,722,430	1,984,941
大正 十 四 年	1925-26 度	1,866,159,780	20,102,056	42,886	86,685,649	1,988,690
十 三 年	1924-25 度	1,679,537,137	9,861,145	54,989	73,861,197	1,885,581
十 二 年	1923-24 度	1,671,040,060	8,107,658	39,641	62,176,928	1,852,765
十 一 年	1922-23 度	1,874,832,974	7,113,111	41,905	51,813,038	1,682,605
十 年	1921-22 度	1,610,266,840	12,236,244	35,536	46,860,801	1,599,573
九 年	1920-21 度	1,409,278,736	10,347,212	36,899	41,861,294	1,535,651
八 年	1919-20 度	1,953,095,230	7,457,279	44,998	38,614,731	1,666,013
七 年	1918-19 度	1,780,115,757	7,952,177	42,297	32,971,788	1,524,022
六 年	1917-18 度	1,529,092,874	5,394,676	35,372	29,251,785	1,316,435

備考 一通話時數ハ五分間トス
Note. Unit time of conversation is 5 minutes.

郵便爲替貯金
POSTAL MONEY ORDER
AND POSTAL SAVINGS

貯金局沿革略誌

明治八年

- 一月 明治六年郵便爲替創設ノ件漸ク議ニ上リ七年九月郵便爲替規則ヲ發布シ八年一月ヨリ内務省驛遞寮ノ下ニ開始ス而シテ爲替種類ハ一種トシ證書一枚ノ金額制限ヲ參拾圓以下トシ其ノ料金ハ五圓迄參錢、拾圓迄五錢、貳拾圓迄拾錢、參拾圓迄十五錢トシ證書ノ有効期間ヲ六ヶ月トス
- 四月 貯金預規則ヲ發布シ翌月ヨリ實施ス、預金ハ一人年拾錢以上百圓迄總額五百圓迄トシ利子ハ年三分トス
- 七月 繰替爲替法ヲ設ケ資金運用ニ便ス
- 十二月 爲替振出金高ヲ局ニヨリテ制限シ三府等五十七局ハ參百圓迄其ノ他ハ參拾圓迄トス

明治九年

- 一月 爲替料金ヲ改正ス
- 三月 貯金利子ヲ年四分ニ改ム
- 同 郵便受取所ニ於テ貯金ヲ取扱ハシメ之ヲ貯金預所ト稱ス
- 七月 府縣上納金繰替法ヲ設ケ上納金ヲ爲替資金ト共ニ運用スルコトトス
- 十二月 郵便爲替證書ノ有効期間ヲ三箇月ニ改ム

明治十年

- 一月 驛遞寮ヲ廢シ更ニ驛遞局ヲ置ク
- 同 貯金利子ヲ年五分ニ改ム
- 同 貯金預所ヲ驛遞局貯金預所ト改稱ス
- 九月 貯金預所ノ設ケナキ地ニ於テ貯金ヲ爲サムトスル者ノ爲ニ其ノ預入手續ヲ定ム
- 十二月 貯金預規則ヲ改正シテ最底預高ヲ參錢トシ小額貯金預入ニ便ス

明治十一年

- 一月 貯金利子ヲ年六分ニ改ム

明治十二年

- 十二月 英領香港郵政廳ト郵便爲替條約ヲ締結シ翌月一日ヨリ實施ス之ヲ外國郵便爲替條約締結ノ嚆矢トス

明治十三年

- 一月 驛遞局貯金(従前ハ單ニ貯金ト稱ス)ト改稱ス

- 一月 大阪外五局ニ貯金繰替拂ノ方法ヲ設ケ貯金拂戻ノ捷路ヲ開ク
十二月 一人一箇月ノ預金額ヲ拾錢以上參拾圓迄トシ同時ニ預金總額ニ對スル制限ヲ解キ翌年一月ヨリ實施ス

明治十四年

- 三月 京都外五市内ノ貯金預所ニ貯金拂戻ヲ取扱ハシム
四月 貯金利子ヲ年七分二厘ニ改ム
同 農商務省ヲ置カレ驛遞事務ハ同省ノ所管ニ移ル
八月 英國ト郵便爲替條約ヲ締結シ十月ヨリ實施ス

明治十五年

- 一月 爲替料金を改正ス
十月 出納局預金ト各府縣預爲替超過金トノ振替順序及送金法ヲ設ク
十一月 東京府防火線及屋上制限建物改修積立金ヲ貯金ニ預入ノ取扱ヲ開始ス
十二月 郵便條例ヲ制定シ其ノ一部タル爲替及貯金制度ニ改正ヲ加ヘ爲替證書ノ有効期間ヲ百二十日トナシ又貯金一人一度ノ預金額ヲ拾錢以上一日ノ預金額ヲ五拾圓迄トシ特ニ認可ヲ受ケタルモノハ五十圓以上ノ預入ヲ爲スコトヲ得セシメ翌年一月ヨリ實施ス

明治十六年

- 一月 英國ノ媒介ニヨリ日耳曼ト郵便爲替ヲ開始ス
二月 郵便切手、驛遞局經費等ノ爲ニ各局間振替爲替法ヲ定メ四月ヨリ實施ス
十一月 府縣上納金繰替法ヲ廢ス

明治十七年

- 四月 貯金利子ヲ千圓未満ハ年六分トシ翌年一月ヨリ、千圓以上ハ年四分トシテ七月ヨリ之ヲ施行ス
七月 貯金差繼拂規則ヲ修正シテ貯金即時拂規則ト改稱シ拂戻ノ利便ヲ進ム
同 大藏省ト預金ノ約定ヲ改正シ驛遞局ヨリ貯金預入ニ拂渡スヘキ利子、貯金事業經費ハ別ニ國庫ヨリ交付ヲ受ケ貯金運轉利殖ノコトハ舉テ大藏省ニ移ス
十二月 佛國ト郵便爲替條約ヲ締結シ翌年三月ヨリ實施ス

明治十八年

- 一月 貯金ノ業務ハ大藏、農商務兩省ノ共管ニ屬ス
二月 英國ノ媒介ニヨリ歐米諸國及英領各殖民地ト郵便爲替ヲ開始ス
三月 萬國聯合郵便爲替條約ニ加盟ス

- 五月 北米合衆國ト郵便爲替條約ヲ締結シ十月ヨリ實施ス
六月 東京、大阪、横濱、神戸、長崎及上海郵便局ニ銀貨貯金ヲ施行シ翌月前記各局ニ外國人貯金ノ取扱ヲナサシメ又九月金貨貯金ヲ開始ス
九月 電信爲替及小爲替法ヲ設ケ十月ヨリ施行ス
同 全國郵便局ニ於テ總テ貯金ノ取扱ヲナサシム
十二月 遞信省ヲ置カレ驛遞局ハ同省ノ所管トナル

明治十九年

- 二月 遞信省官制公布セラレ爲替貯金事務ハ驛遞局第四部（外國爲替事務ハ第三部外國爲替課）ニテ掌理ス
五月 千圓以下ニ付スヘキ貯金利子ヲ年五分四厘ニ改ム
九月 貯金利子ノ割合ヲ更メ預金千圓迄ハ年四分二厘、千圓以上ハ年三分トス
同 歐米諸國ニ對シ萬國郵便聯合郵便爲替約定ニヨリ郵便爲替又ハ電信爲替ヲ實施シ又郵便爲替條約ヲ締結シタルモノ多シ

明治二十年

- 三月 遞信省官制ヲ改正シ爲替貯金局ヲ置キ局中ニ第一課（爲替事務分掌）第二課（貯金事務分掌）ヲ設ク
同 驛遞局貯金ヲ郵便貯金ト改稱ス
十二月 兌換銀券ノ發行ニヨリ銀紙價格ノ差ナキニ至レルヲ以テ銀貨貯金預方法ヲ廢ス

明治二十一年

- 十二月 布哇本邦出稼人ノ爲同國日本領事館ニ貯金事務ヲ開始シ及其ノ内地ヘ送金スル郵便爲替法ヲ定ム

明治二十三年

- 二月 金貨貯金及外國人貯金取扱ヲ廢ス
六月 郵便爲替貯金局ヲ本省ヨリ分離シ、官制ヲ定メ郵便爲替貯金局ヲ置ク
八月 郵便貯金條例ヲ公布シ預金總額ニ對スル制限ヲ元利合セテ五百圓迄トシ翌年一月ヨリ實施ス

明治二十四年

- 一月 貯金預所ニテハ貯金預入ノ外其ノ拂戻請求ノミヲ取扱ハシムルコトトス
八月 官制ヲ改正シ郵便爲替貯金局ヲ廢シ郵便爲替貯金管理所ヲ置キ同所ニ於テハ主トシテ現業事務ヲ掌理シ規畫、監督事務ハ明治四十二年七月郵便貯金局設置ニ至ル迄郵務局

或ハ通信局ニ於テ掌理ス

明治二十六年

十月 天災其ノ他非常ノ場合ニ於テ貯金拂戻ノ手續ヲ簡單ニス

明治二十七年

八月 非常召集ニ應スヘキ軍人ニ對シ郵便爲替ノ振出、拂渡ノ特別扱ヲ爲スコトトス

同 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ布哇外數國ト郵便爲替交換ヲ開始ス

十二月 戦地郵便局ニ爲替振出事務ヲ開始ス

明治二十八年

四月 野戦郵便局ニ貯金預入事務ヲ開始ス

六月 外國宛郵便爲替料ヲ改正ス

明治二十九年

四月 郵便爲替、郵便貯金ニ關スル規定ヲ新領土臺灣ニ施行ス

十二月 郵便貯金非常拂ノ制ヲ定ム

明治三十一年

四月 貯金利子ヲ年四分八厘ニ改メ翌年四月ヨリ施行ス

五月 天災其ノ他非常ノ場合ニハ電報ヲ以テ貯金ノ拂戻ヲナシ得ル手續ヲ設ク

十二月 郵便爲替締盟國間ニ於ケル郵便爲替事務約定ヲ公布シ翌年一月ヨリ施行ス

明治三十二年

二月 郵便爲替證書一枚ノ金額制限參拾圓ヲ五拾圓ニ高メ次テ爲替料金(小爲替ヲ除ク)ヲ改メ四月ヨリ實施ス

五月 郵便貯金出張取扱ノ制ヲ設ク

十一月 郵便居宅拂ノ制ヲ設ケ翌年一月ヨリ施行ス

明治三十三年

三月 郵便切手貯金規則ヲ制定シ學童婦女子等ノ貯金ヲ獎勵ス

九月 始メテ本所ニ女子雇員ヲ採用シ次テ各支所ニモ亦之ヲ採用ス

同 爲替資金及過超金ハ從來通運會社又ハ小包郵便ニヨリタルヲ通常價格表記郵便ニヨリ取扱フコトトシ資金送金ノ敏活ヲ期セリ

十月 郵便爲替法、郵便爲替規則、郵便爲替取扱規程ヲ實施ス

明治三十四年

三月 郵便爲替證書線引讓渡ノ制ヲ設ケ爲替證書讓渡ノ途ヲ開キ且手形交換所ニ於テ爲替金

拂渡ノ便法ヲ設ケ四月一日ヨリ施行ス

三月 證券貯金規則ヲ設ケ國債、縣債、市債等ノ證券又ハ其ノ利札ハ郵便貯金ニ預入シ得ルコトトシ四月一日ヨリ施行ス

七月 在外本邦出稼人ノ爲郵便貯金預入ノ便利ヲ圖リ特別郵便貯金規則ヲ制定シ十月ヨリ施行ス

八月 郵便取立金取立濟通知書線引讓渡ノ途ヲ開キ郵便爲替證書讓渡ノ例ニ準シ取扱フコトトス

明治三十五年

五月 貯金即時拂戻ハ一箇月一回ナリシヲ二回トシ一回ノ金額貳拾圓迄ナリシヲ參拾圓迄ニ擴張シ同時ニ特別即時拂戻ニ關スル規定ヲ設ケ豫メ認可ヲ受ケタル預人ニ對シテ金額及回数ニ制限ナク即時拂ノ取扱ヲ爲シ得ルノ途ヲ開ク

明治三十六年

二月 高額郵便爲替振出ノ制ヲ設ケ特ニ逓信大臣ノ認可ヲ受ケタル者ニ限り高額ノ郵便爲替ヲ振出シ得ルコトトス

四月 通信官署ノ歳入金歳出金ハ爲替貯金等ノ現金ト共ニ一團トシテ取扱ヒ交互振替及繰替受拂ヲナスノ制ヲ實施ス

十二月 規約貯金ノ制ヲ設ケ多數團結シテ實行スル貯金ニ便ス

明治三十七年

二月 日露ノ開戦ニ伴ヒ軍事郵便爲替貯金規則ヲ制定シ野戦郵便局ニ於テ爲替金ノ受入及ヒ貯金預入ノ事務ヲ開始シ専ラ出征者ノ便利ヲ圖ル

三月 俘虏郵便爲替規則ヲ制定シ俘虏ノ爲無料特別送金ノ方法ヲ設ク

七月 郵便集配人取集郵便貯金ノ制ヲ設ケ八月ヨリ實施ス

九月 貯金利子ヲ年五分四毛ニ改ム

同 戦地特別郵便貯金規則ヲ制定シ出征者ヲシテ軍事爲替ニ依リ預入シ得ル途ヲ開ク

十月 貯金即時拂一箇月ノ回数制限ヲ廢シ一日一回金參拾圓以内一箇月總額六拾圓迄ヲ限り即時拂ノ取扱ヲ爲スコトトシ十一月ヨリ實施ス

十一月 郵便局國庫債券取扱規則ヲ制定シ國庫債券應募申込、應募金ノ拂込及債券交付ノ手續ヲ定ム

同 据置貯金ヲ實施ス

十二月 逓信省構内郵便局ノ設置ニ伴ヒ郵便貯金直接拂ノ法ヲ開始ス

十二月 貯蓄債券購買媒介ノ制ヲ設ク

明治三十八年

七月 郵便貯金法及郵便貯金規則並郵便貯金取扱規程ヲ實施ス、其ノ要旨ハ一人貯金總額ヲ千圓ニ高メ(公共團體等ニハ制限ヲ置カス)即時拂ヲ便ニシ、特別即時拂、非常拂、海外在留人特別貯金拂戻ノ方法ヲ擴メ、預入ノ所有スル證券ヲ保管スルコト等ナリ

明治三十九年

三月 郵便振替貯金規則ヲ創設シ其ノ加入者ノ口座ニ對スル拂込、口座相互ノ振替及口座ヨリ拂出ヲナシ其ノ口座現在金ニ對シテハ年三分六厘ノ利子ヲ付スルコトトス

五月 郵便振替貯金拂出證書線引讓渡ノ途ヲ開ク

七月 女子通信手ヲ任用ス之レ本邦ニ於ケル女子判任官ノ嚆矢トス

八月 明治三十七八年戰役ニ關スル行賞賜金ノ現金ハ郵便貯金トシ特別郵便貯金通帳ヲ以テ交付シ、又公債證書ハ郵便官署ニ保管シ特別證券保管通帳ヲ以テ交付スルノ制ヲ設ク

明治四十年

五月 勸業債券購買媒介郵便規則ヲ制定シ、貯蓄債券購買媒介郵便規則ヲ廢ス

九月 羅馬郵便爲替約定實施ニ伴ヒ外國郵便爲替規則等ヲ改正シ十月一日ヨリ施行ス

明治四十一年

四月 郵便局國庫債券償還及引換取扱規則ヲ制定シ無記名第一回國庫債券償還事務ノ取扱ヲナス

五月 郵便官署保管國庫債券引換規則ヲ制定シ引換公債證書ハ其ノ儘保管シ得ルノ途ヲ開ク

十月 振替貯金規則ヲ改正シ十二月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ二箇以上ノ口座ニ加入シ得ルコト及別名登記ノ制ヲ認メタルコト、拂出料金ヲ改正シ現金拂ノ場合ニ於テモ無料通信ヲ爲シ得ルモノトシタルコト等トス

十二月 郵便爲替規則ヲ改正シテ通常及電信爲替ノ金額制限ヲ百圓ニ高メ爲替料金ヲ改メ翌年一月ヨリ施行ス

明治四十二年

一月 日本勸業銀行賣出ノ勸業債券ヲ郵便貯金ヲ以テ購入保管シ得ル方法ヲ設ク

四月 市公金拂ノ爲ニスル郵便振替貯金特別取扱規則ヲ制定シ翌五月始テ大阪市内郵便局ニ於テ之カ取扱ヲ開始ス

同 從來郵便貯金預入ノ都度發送セル登記濟通知書ヲ廢止ス

七月 官制ヲ改正シ郵便爲替貯金管理所及同支所ヲ廢シ郵便貯金局及之カ支局ヲ置ク

十一月 居宅拂ハ在來一、二等局及主ナル三等局ニ限ラレタルヲ廣ク各局ニ及ホス

明治四十三年

一月 郵便振替貯金口座受拂事務ヲ朝鮮總督府通信管理局ニモ開始ス

二月 貯金利子ヲ年四分二厘ニ改メ四月一日ヨリ施行ス

三月 郵便貯金局官制ヲ改正シ郵便貯金局職員官名ヲ改ム

同 從來大藏省及各地方廳ニ於テ取扱ヒタル國庫支辨ニ屬スル年金恩給、遺族扶助料及退隱料支給事務ヲ遞信省管掌ニ移シ四月一日ヨリ施行ス

同 郵便振替貯金口座受拂事務ヲ臺灣總督府通信局ニ開始ス

六月 郵便貯金規則ヲ改正シテ即時拂ノ制限ヲ寬ニシ、通帳ニ現在高證明ヲ付スル場合ヲ制限シ七月一日ヨリ施行ス

七月 郵便振替貯金小切手拂込規則ヲ制定シ持參人拂ノ小切手ヲ以テ郵便振替貯金ノ拂込ニ充用スルヲ得セシメ東京外五市内各郵便局ニ於テ之カ取扱ヲ開始ス

同 郵便保險年金制度調査委員會ヲ設ケ小口保險ニ關スル調査ニ着手ス

十月 福岡市ニ郵便貯金支局ヲ設ケ十一月一日ヨリ振替貯金口座受拂事務ヲ開始ス

同 私立貯蓄銀行ノ預金者ヲ郵便貯金ニ引繼クノ先例ヲ拓ク

十一月 臺灣、樺太、朝鮮及清國相互間及同地方ト内地間ノ電信爲替料ヲ改正ス

同 郵便集金規則ヲ制定シ振替貯金制度ヲ利用シ石川縣下及鳥取市ニ於ケル日本赤十字社釀金ノ取集ニ對シテ之ヲ施行ス

明治四十四年

三月 郵便電信電話官署現金出納計算規程ヲ改正シ四十四年度分ヨリ施行ス

四月 從來郵便貯金ニ預入スルコトヲ得ル郵便切手ハ五厘、壹錢、貳錢ノ三種ナリシカ更ニ壹錢五厘、參錢ノ二種ヲ加ヘ又將來本省發行ノ切手貯金臺紙ニハ切手印面ヲ印刷セス預入ノ請求ニ依リ無料交付ノコトトシ四月一日ヨリ施行ス

同 滿洲ニ屬スル爲替貯金及取立金等ノ計算管理事務ハ四月一日ヨリ關東都督府通信管理局ニ於テ掌理スルコトトナレリ

九月 集金郵便振替金拂込規則ヲ制定ス

十一月 郵便貯金通帳ノ形式ヲ改メ冊子式ヲ折疊式トナシ且設欄ヲ半減シテ取扱ノ簡便ト用紙ノ經濟トヲ圖リ翌年一月ヨリ施行ス

十二月 府縣稅納入郵便振替貯金特別取扱規則ヲ制定シ翌年一月ヨリ施行ス

明治四十五年

大正元年

- 二月 振替貯金規則ヲ改正シ三月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ基本金ヲ半減シ、自己口座ニ對スル受拂料金ヲ減免シ、居宅拂及電報局待拂ヲ新設シタルコト等トス
- 同 電信爲替證書留置ノ制ヲ設ケ又直配達區内ニ在ル受取人ニ對シテハ證書ヲ受信電報ノ例ニヨリ配達スルコトトス
- 五月 郵便振替貯金ニ依ル債券募集元利金支拂並貸付事務特別取扱規則及同取扱規程ヲ制定シ、四十年五月發布ノ勸業債券購買媒介郵便規則ヲ廢止ス
- 十一月 線引郵便爲替證書便宜拂ノ制ヲ設ケ
- 十二月 朝鮮ニ於ケル一般金利ノ高率ニ鑑ミ同地郵便貯金ニ限リ利子ヲ年五分四毛ニ改ム

大正二年

- 一月 郵便貯金規則及郵便貯金取扱規程ヲ改正シ三月一日ヨリ施行ス、其ノ要點ハ即時拂ノ方法ヲ擴張シ現在高證明又ハ自局所預入レノモノノ金額制限ヲ撤廢シ、拂戻豫告ノ制ヲ設ケ、他局預入ニシテ現在高證明ナキモノハ一定額ヲ限リ確認即時拂ノ方法ヲ設ケタルコト等ナリ
- 三月 日英郵便爲替業務約定ノ追加條款ヲ締結シ二十一日ヨリ日英兩國間ニ電信爲替ノ交換ヲ開始ス
- 四月 日露郵便爲替交換約定ヲ締結シ本邦ト露國(芬蘭ヲ除ク)及在北滿洲露國郵便局トノ間ニ郵便爲替ノ直接交換ヲナスコトトシ五月一日ヨリ施行ス
- 六月 官制改正ノ結果郵便貯金局官制ハ廢止セラレ新ニ爲替貯金局官制ヲ制定シ十三日ヨリ施行ス、其ノ改定要點ハ郵便貯金局及同支局ノ事務ハ爲替貯金局及同支局ニ於テ之ヲ繼承シ、高等官、判任官ノ官名ヲ改メ本局ニ於ケル貯金部及爲替部ヲ併合シテ業務部トナシ、人事課ヲ廢シテ庶務課ヲ設ケ、大阪及下關ノ各支局ニ於ケル計理、原簿ノ二課ヲ合併シテ何レモ貯金課ヲ置キタルコト等トス
- 六月 土耳其ト郵便爲替ノ直接交換ヲ開始シ七月一日ヨリ實施ス

大正三年

- 八月 日獨及日澳間國交斷絶ト共ニ本邦ト兩國間ノ郵便爲替關係亦停止トナリタルモ翌九月以降瑞西郵政廳ノ媒介ニヨリ獨逸トハ通常郵便爲替ノ交換ヲ開始シ次テ十月ニ至リ之ヲ廢止セリ
- 同 日獨開戦ニ伴ヒ山東省方面野戰郵便局及艦船郵便所ニ於テ軍事爲替貯金事務ノ取扱ヲ開始ス
- 十二月 郵便爲替規則ヲ改正シ爲替證書一枚ノ制限金額ヲ擴張シ、爲替料金ヲ改定シ又爲替金

額改措防止ノ爲證書様式ヲ改メ翌年一月ヨリ施行ス

大正四年

- 一月 從來金庫及收入官吏ニ於テ取扱ヒタル國庫金受拂事務ヲ開始シ一定ノ金種目ニ對シテ其ノ取扱ヲ認メ三月一日ヨリ施行ス
- 三月 貯金利子ヲ年四分八厘ニ改ム、但シ臺灣總督府及關東都督府所管原簿ニ登記ノモノハ朝鮮總督府所管ノモノト等シク年五分四毛トシ四月一日ヨリ施行セリ
- 十一月 大禮紀念トシテ郵便切手貯金臺紙二種ヲ發行シ十日(御即位大禮當日)以降各郵便局ニ於テ貯金預入ノ請求ニ應シ之ヲ交付セシム

大正五年

- 一月 郵便爲替證書ノ有効期間ヲ統一シ四月一日ヨリ實施ス
- 同 香港郵政廳ノ媒介ニ依リ「サモア」英領「ソロモン」群島「ギルバート」及「エリス」群島並「トンガ」ノ各英領地ト通常爲替ノ交換ヲ開始ス
- 同 中米古西多利加及「サルヴァドール」トハ墨西哥郵政廳ノ媒介ニ依リ爲替ヲ交換スルコトトナリ居タルモ墨西哥ニ於テ國際爲替交換ヲ停止シタル結果英國ノ媒介ニヨルコトトシ施行ス
- 七月 小樽ニ爲替貯金支局ヲ設ケ八月一日ヨリ貯金及振替貯金ニ關スル事務ヲ開始ス
- 同 郵便取立金ハ郵便爲替金トシテ計理スルコトニ改メ八月ヨリ施行ス
- 九月 英國郵政廳ノ媒介ニ依リ南「エクアドール」共和國ト通常爲替ノ交換ヲ開始ス
- 同 西班牙ト通常及電信爲替ノ直接交換ヲ又同國郵政廳ノ媒介ニ依リ在「モロッコ」西班牙郵便局ト通常爲替ノ交換ヲ開始シ十月一日ヨリ施行ス

大正六年

- 十一月 帝國占領南洋諸島ニ於テ十二月一日ヨリ電信爲替事務ヲ開始ス
- 十二月 日米郵便爲替約定ニ依リ米領「サモア」ト郵便爲替ノ交換ヲ又羅馬約定ニヨリ澳門、葡萄牙殖民地ト通常及電信爲替ノ直接交換ヲ何レモ七年一月一日ヨリ開始ス

大正七年

- 四月 郵便爲替證書線引讓渡規則ヲ廢止シ、郵便官署手形交換所參加規則ヲ制定シ同時ニ郵便爲替規則及郵便振替貯金規則中手形交換所組合銀行トノ交換計算ニ關スル條項等ニ改正ヲ加ヘ五月一日ヨリ施行ス
- 八月 郵便官署國債募集取扱規則ヲ制定施行ス

大正八年

- 一月 埃及郵政廳ノ媒介ニ依リ在「パレスタイン」英國郵便局ト通常爲替ノ交換ヲ開始ス
- 五月 官制及分課規程ニ改正ヲ加ヘ監理、業務、保險ノ各部ヲ廢止シ庶務外十五課ヲ置キ又支局ノ庶務課ヲ廢止シ貯金、振替貯金ノ二課ヲ置キ十五日ヨリ實施ス
- 六月 平和紀念トシテ郵便切手貯金臺紙ヲ發行シ七月一日以降各郵便局ニ於テ貯金預ケ人ノ請求ニ依リ交付ス
- 同 金澤市ニ爲替貯金支局ヲ設置ス
- 八月 仙臺市ニ爲替貯金支局ヲ設置ス
- 同 國債募集、賣出及元利金支拂郵便振替貯金特別取扱規則及取扱規程ヲ制定施行スルト共ニ從來各種ノ國債證書及其ノ利札ハ證券貯金トシテ預入スルコトヲ得タルモ之ヲ廢止セリ

大 正 九 年

- 一月 郵便爲替、外國郵便爲替、郵便貯金、振替貯金等ニ關スル各種料金ヲ改正シ四月一日ヨリ實施ス
- 四月 樺太、青島地方、南洋群島又ハ支那ヲ表示セル記號ヲ付シタル原簿ニ登記ノモノハ貯金利子ヲ年五分四毛ニ改正ス
- 五月 獨逸ト爲替ノ交換ヲ再開ス
- 六月 貯金規則ヲ改正施行ス、其ノ要旨ハ通帳二冊以上ヲ所持シ得ル場合ヲ明示シ、切手貯金ノ種類ヲ制限シ、利子記入請求ヲ任意トシタルコト等トス
- 同 郵便爲替規則ヲ改正シ證書制限金額ヲ高メ八月一日ヨリ施行ス
- 同 郵便切手貯金臺紙ニシテ切手印面一枚ヲ印刷シタルモノハ十四日限り使用ヲ禁止ス
- 八月 郵便貯金法ヲ改正シ貯金總額ヲ貳千圓ニ高メ十月一日ヨリ實施ス
- 十月 遞信省官制ヲ改正シ貯金局ヲ置キ、爲替貯金局官制ヲ廢シ簡易保險事務ハ簡易保險局ノ所管ニ移ル而シテ貯金局ニ於ケル改正要點ハ高等官及判任官官名及分課規程等ノ改正ナリ
- 十一月 名古屋市ニ貯金支局ヲ設置ス

大 正 十 年

- 一月 本邦比律賓群島間郵便爲替ハ從來米本國郵政廳ノ媒介ニ依リ交換ヲ爲シ來リシモ本邦ト同群島兩郵政廳間ニ郵便爲替約定ヲ締結シ三月一日ヨリ兩國間ニ郵便爲替直接交換ヲ實施ス
- 六月 貯金局吏員養成ノ爲メ本支局ニ講習所ヲ設置シ七月一日ヨリ實施ス

- 八月 長野市ニ貯金支局ヲ設置ス
- 同 西班牙馬德里締結郵便爲替業務約定實施ニ伴ヒ外國郵便爲替規則同取扱規程ヲ改正シ翌年一月一日ヨリ施行ス

大 正 十 一 年

- 二月 馬德里締結郵便振替業務約定實施ニ伴ヒ外國郵便振替規則ヲ制定ス
- 三月 會計規則ノ改正ニ伴ヒ郵便官署ニ於ケル各歳入及歳出金取扱規則同取扱規程ヲ改正シ四月一日ヨリ實施ス
- 四月 會計法規ノ改正ニ伴ヒ關係諸法規ヲ改正シ四月一日ヨリ實施ス
- 六月 大正十一年法律第十八號ニ依ル增加恩給等ノ增加金額支給規則同取扱規程ヲ制定實施ス
- 七月 爲替貯金等ノ執務時間ヲ改正ス
- 八月 据置貯金利子ノ割合ヲ五分四毛ニ引上グ
- 十二月 在支那本邦郵便局撤廢ニ伴ヒ十二月二十日限り在支本邦郵便官署ヲ拂渡局所トスル郵便爲替ノ振出及外國郵便爲替ノ交換事務並郵便貯金拂戻證書、郵便振替貯金拂出證書及外國郵便爲替券ノ發行事務ヲ停止シ、在留邦人ニハ其ノ貯金ヲ海外貯金ニ組替ヲ爲スコトヲ得セシム

大 正 十 二 年

- 一月 日本帝國及支那共和國間郵便爲替交換ニ關スル約定締結ニ伴ヒ外國郵便爲替規則同取扱規程ヲ改正シ一月一日ヨリ實施ス
- 二月 郵便振替貯金ニ依ル債券募集、元利金支拂並貸付事務、集金郵便振替貯金拂込事務、外國郵便爲替事務ハ無集配三等郵便局ニ於テハ本月限り取扱ハサルコトトス
- 同 郵便取立金ニ對スル通常爲替ノ受取人ノナシタル居宅拂請求ノ制ヲ廢止シ三月一日ヨリ實施ス
- 同 産業組合中央金庫法實施ニ伴ヒ郵便貯金法ニ改正ヲ加ヘ産業組合中央金庫ニ對シ預入金ノ金額制限ヲ適用セサルコトトス
- 四月 大阪、下關、福岡、仙臺及名古屋ノ各支局ニ於ケル庶務會計ヲ庶務課ニ改ム
- 五月 皇后陛下行啓アラセラル
- 八月 日支條約締結ニ伴ヒ爲替課ヲ内國外國兩爲替課ニ分割ス
- 九月 震火災ノ爲局舎燒失セシニ付假事務所ヲ麻布區富士見町内閣統計局ニ設ク
- 同 震災ノ爲郵便切手在庫品燒失ニ付切手貯金ヲ當分ノ内停止ス

- 九月 恩給法改正ニ伴ヒ恩給法附則ニヨル増額恩給更正規則同取扱規程ヲ制定シ翌十月一日ヨリ實施ス
- 十月 郵便貯金、郵便振替貯金、保管證券又ハ郵便爲替ニ關スル大正十二年九月一日現在ノ權利ニシテ之ヲ證明スヘキ郵便貯金通帳其ノ他ノ證據書類ヲ亡失シタルモノニ對シ其ノ權利ヲ申告スルノ途ヲ開キ翌月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 震災ノ爲郵便貯金、郵便爲替等ノ權利ノ申告ニ關スル勅令公布ニ伴ヒ臨時郵便貯金及郵便爲替確認規則ヲ制定シ十一月一日ヨリ之ヲ實施ス
- 十一月 年金恩給支給規則ヲ改定シ、郵便貯金證券保管及振替貯金臨時取扱規則ヲ制定シ震災ノ爲停止シタル本局所管爲替貯金各種業務ハ十一月二十六日ヨリ其ノ取扱ヲ復舊セリ
- 十二月 臨時分課規程ヲ定メ臨時確認規則ニ依ル申告ノ確認、大正十二年九月一日以前交付ノ貯金通帳及證券保管通帳ニ對スル受拂高確認竝ニ大正十二年九月一日以前ノ各種業務ノ整理事務ヲ掌理セシム
- 同 上記臨時分課規程制定ニ伴ヒ貯金局及同支局分課規程ヲ改正シ本局經理課及原簿課ヲ貯金課ニ改ム
- 同 京橋區木挽町ニ建築中ナリシ假廳舎落成ニ付移轉ス

大正十三年

- 四月 行賞賜金事務取扱廢止ノ結果貯金局賜金課規程ヲ廢止ス
- 同 震災前發行ニ係ル貯金本局所管通帳中行賞賜金ニ屬スルモノ及貯金本局所管ノ貯金通帳ニ附屬スル證券保管通帳ニ對シ預ケ人ノ任意ニ依リ確認ノ爲ニスル通帳提出ノ受付ヲ開始ス
- 五月 東京及神奈川縣内ノ一、二等郵便局ヲシテ集團臨時住宅、簡易宿泊所及工場ニ貯金獎勵ノ爲メ郵便貯金ノ特別出張取扱ヲ爲サシメ六月十日ヨリ實施ス
- 同 五月十日ヨリ當分ノ内貯金局構内郵便局ニ於テ確認通帳ノ所持者及大正十二年九月二日以降ノ新規預入者ニ對シ其ノ貯金ノ全部又ハ一部ノ局待拂ヲ取扱フコトトス
- 七月 爲替貯金等ノ執務時間ヲ改正ス
- 同 震火災ノ爲停止中ナリシ額面二十圓以下ノ勸業債券ノ賣却事務ヲ復舊ス
- 九月 馬來半島「トレンガヌ」州ト香港郵政廳ノ媒介ニ依リ郵便爲替ノ交換ヲ開始ス
- 同 震火災ノ爲停止中ナリシ貯蓄債券ノ賣却事務ヲ復舊シ同時ニ復興貯蓄債券ノ購入保管交付賣却事務ヲ取扱フ
- 十月 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「チエツコ、スロヴアキア」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス

- 十一月 行政整理ノ爲メ在來ノ庶務課、規畫課、監督課ノ事務分合ヲ行ヒ之ヲ庶務課、業務課、經理課トナシ内國爲替課及外國爲替課、第一貯金整理課及第二貯金整理課ヲ各併合シ講習所ヲ廢止ス

- 同 南洋廳ニ於テ外國郵便爲替事務ノ取扱ヲ開始ス

大正十四年

- 一月 郵便爲替及振替貯金ノ居宅拂制度ヲ廢止ス
- 二月 外國郵便爲替居宅拂制度ヲ廢止ス
- 同 「チエツコ、スロヴアキア」國ニ於テ英國郵政廳ノ媒介ニヨリ日本宛郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 同 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「ブルガリヤ」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 三月 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ埃地利國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 四月 南洋廳所管郵便局ニ於テ年金恩給ノ支給事務ヲ開始ス
- 同 震災前ノ本局所管貯金通帳ニ對スル引上及即時拂等停止ノ件ヲ公布シ五月以降改印轉居等届出ノトキハ通帳ヲ提出スルコトトシ更ニ十月以降ハ之等ノ通帳ニ對スル特殊拂戻ヲ爲ササルコトトス
- 同 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ阿弗利加洲「タンガンイーカ」地方ト郵便爲替ノ交換ヲ開始ス
- 同 芬蘭國ト通常郵便爲替ノ直接交換ヲ開始ス
- 五月 物爾瓦利國ニ於テハ英國郵政廳ノ媒介ニヨリ日本向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 七月 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「ハンガリー」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 九月 震災ノ爲停止中ナリシ額面二十圓以下ノ勸業債券ノ購入保管事務ノ取扱ヲ開始ス
- 同 七十五回以後發行ノ額面二十圓以下ノ勸業債券ノ交付事務ヲ開始ス
- 同 「ストックホルム」締結郵便爲替約定及郵便振替約定並同約定施行規則ヲ公布ス
- 十月 復興貯蓄債券ノ募集事務ヲ無集配三等局ニ於テモ取扱ハシム

大正十五年

昭和元年

- 四月 資本利子税法制定ニ伴ヒ關係法規類ヲ改正シ資本利子税免税ニ關スル取扱方ヲ制定施行ス
- 同 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「エストニア」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 九月 郵便取扱所爲替貯金取扱規程ヲ制定ス

第三編 郵便爲替及貯金

Chapter 3. Postal money Order and Postal savings

第一章 郵便爲替業務ニ關スル施設

Section 1. Institutions for Postal Money Order

郵便爲替業務ニ關シ本年度中施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

「ストックホルム」締結郵便爲替約定及郵便振替約定ノ實施並之ニ伴フ諸法規ノ改正

一九二四年(大正十三年)八月「ストックホルム」ニ於テ締結ノ郵便爲替約定及郵便振替約定並各其ノ施行規則ハ大正十四年十月一日ヨリ實施セラレタルガ右約定ハ從來ノモノニ比シ根本的ニ改正セラレタル爲之ガ研究翻譯等ニ非常ノ手數ヲ要シ漸ク同年九月二十六日其ノ公布ヲ見ルニ至リ右約定類ノ實施ニ伴ヒ關係諸法規類ノ改正ヲ行ヒタルガ内其ノ主タルモノノ改正要點ヲ擧ゲレバ次ノ如シ

(郵便爲替約定ノ部)

1. 官用爲替ノ振出金額制限ヲ撤去セルコト
1. 料金徴收ノ爲設ケタル爲替金額階級ヲ廢シ一定料金ノ制ヲ設ケ料金ノ低減及徴收上ノ公平ヲ保持セルコト
1. 俘虜爲替ヲ發受スルモノノ資格ヲ抑留セラレタル交戦者及情報局ニ擴張セルコト
1. 爲替ノ轉送範圍ヲ約定非加入國ニモ及ホシタルコト

(郵便振替約定ノ部)

1. 加入者宛郵便振替口座受拂通知票ノ郵便料ヲ免除セシコト
1. 振替目録ヲ數日分取纏メ交換スルコトヲ得セシメタルコト
1. 振替請求ニ關スル取調料金ヲ徴收スルコトヲ得セシメタルコト

(外國郵便爲替規則)

1. 一等郵便局全部ニ外國電信爲替ヲ新設シ外國電信爲替ノ交換事務取扱ヲ開始セルコト
1. 振出最高額ヲ原則トシテ四百圓ニ一定セルコト
1. 通常爲替料金ヲ爲替一口毎ニ十錢及爲替金額十圓迄毎ニ五錢ニ改正セルコト
1. 換算上生ジタル端數金額ハ切捨ツルコト
1. 換算割合ニ急變ヲ生シタル場合特殊ノ局ニ於テ之ヲ局前ニ揭示セシムルコト
1. 郵便官署ニ於テ爲替相場ノ變動ノ爲必要ト認メル場合ハ爲替ノ振出口數ヲ制限スルコトヲ得ルコト
1. 留置爲替ノ制度ヲ認メシコト

芬蘭國ト通常郵便爲替ノ直接交換開始

從來芬蘭國トハ瑞典國ノ媒介ヲ經テ爲替ノ交換ヲナシ來リシカ大正十年十二月以來同國ニ於ケル爲替相場不安定ノ爲本邦向爲替ノ振出ヲ停止セリ然レトモ同國ニ於テハ本邦振出爲替ノ拂渡ハ依然繼續シ居リシカ這般同國ヨリ媒介ヲ經ルコトトナリ直接交換方希望シ來レルニ付協議ヲ重ネ大正十四年四月省令第二七號ヲ以テ同年五月一日ヨリ直接交換ヲ開始セリ

阿弗利加洲「タンカンイーカ」地方ト郵便爲替交換開始

英國郵政廳ノ媒介ニ依リ大正十四年四月十三日ヨリ「タンカンイーカ」地方ト郵便爲替ノ交換ヲ開始セリ

「ハンガリー」國向郵便爲替ノ振出開始

日本「ハンガリー」兩國間ニ郵便爲替交換ノ必要ヲ認メ之ガ開始方講究中ノ處偶々英國「ハンガリー」兩國間ニ郵便爲替交換開始ヲ見タルニ付一時英國ニ日本「ハンガリー」爲替媒介ヲ依頼ノ上大正十四年七月十六日ヨリ同國向郵便爲替ノ振出ヲ開始セリ

郵便爲替受拂高

Number and Amount of Postal Money Orders Issued and Paid

種別 Description	内國爲替 Domestic Money Order		外國爲替 International Money Order		合計 Total	
	振出 Issued	拂渡 Paid	振出 Issued	拂渡 Paid	振出 Issued	拂渡 Paid
大正十四年度 1925-26	口 No. 數 34,762,956	34,717,308	58,065	140,731	34,821,021	34,858,039
	金額 (円) Amount (Yen) 949,365,449	949,827,965	2,516,306	6,600,175	951,881,755	956,428,140
十三年度 1924-25	口 No. 數 30,207,107	31,501,604	27,754	124,830	30,234,861	31,626,434
	金額 (円) Amount (Yen) 790,183,385	825,096,729	1,631,472	7,768,767	791,814,857	832,865,496
十二年度 1923-24	口 No. 數 28,744,508	29,755,690	38,241	125,274	28,782,749	29,880,964
	金額 (円) Amount (Yen) 761,440,931	797,217,457	3,420,807	7,978,766	764,860,838	805,196,223
十一年度 1922-23	口 No. 數 27,649,026	28,844,293	24,648	87,262	27,673,674	28,931,555
	金額 (円) Amount (Yen) 741,823,356	780,331,688	971,201	6,643,959	742,794,557	786,975,647
十年度 1921-22	口 No. 數 27,449,957	28,918,315	23,650	97,535	27,473,107	29,015,850
	金額 (円) Amount (Yen) 703,299,940	753,669,568	870,847	7,247,502	704,170,787	760,917,070
九年度 1920-21	口 No. 數 27,031,616	28,948,256	22,273	130,936	27,053,889	29,079,192
	金額 (円) Amount (Yen) 656,461,864	695,919,854	785,630	10,784,163	657,247,494	706,704,017
八年度 1919-20	口 No. 數 28,552,498	29,961,077	17,851	150,390	28,570,349	30,111,467
	金額 (円) Amount (Yen) 644,358,714	685,827,994	695,390	11,929,116	645,054,104	697,757,110
七年度 1918-19	口 No. 數 25,861,704	27,495,318	15,736	163,879	25,877,440	27,659,197
	金額 (円) Amount (Yen) 486,255,202	515,281,247	589,866	11,198,747	486,845,068	526,479,994
六年度 1917-18	口 No. 數 23,594,819	25,026,947	16,908	183,096	23,611,727	25,210,043
	金額 (円) Amount (Yen) 379,319,823	399,635,581	551,142	11,871,712	379,870,965	411,507,293
五年度 1916-17	口 No. 數 20,174,985	21,416,103	17,936	174,490	20,192,921	21,590,593
	金額 (円) Amount (Yen) 282,995,820	298,162,790	679,005	10,410,077	283,674,825	308,572,867

備考 在支那本邦郵便局撤廢 = 付大正十一年度以降 = 同局取扱數ヲ含マズ
 Note * The figures relate only to the Inland Post offices, as the Japanese Post offices in China were closed up the 1st January, 11th year of Taisho.

第二章 郵便貯金業務ニ關スル施設

Section 2. Institutions for Postal Savings

郵便貯金業務ニ關シ本年度中施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

未確認貯金通帳ノ引上及即時拂等停止

未確認通帳ヲ以テ永ク預拂セシムルコトハ原簿ノ整理並事故防過上策ヲ得タルモノニアラサルニヨリ大正十四年四月省令第二一號ヲ以テ震災前發行ニ係ル本局所管ノ未確認通帳ニ依リ預拂ヲナシ又ハ改印、轉居届出等アリタルトキハ即時ニ通帳ヲ提出セシメ之カ確認ヲ受ケシムルコト而シテ未確認通帳ニ對シテハ大正十四年十月以降即時拂扱ヲ停止スルコト、シ同年五月一日ヨリ實施セリ

臨時郵便貯金及郵便爲替確認規則改正

震災後新規預入ノモノニ對スル證券利子記入並確認整理事務促進ノ關係上臨時確認規則ニ依ル檢閱停止ヲ解除スルノ必要上大正十四年十月省令第七六號ヲ以テ本規則中ヲ改正シ同月十日ヨリ貯金本局所管通帳ノ檢閱請求ヲ受理セリ

郵便貯金規則中改正

海外貯金預ケ人ノ便宜ヲ圖リ併セテ貯金獎勵ニ資スル爲大正十五年三月省令第六號ヲ以テ本規則中ヲ改正シ海外貯金ノ預ケ人ハ下記ノ場合貯金原簿登記濟ノ通知又ハ證券記番號ノ通知ヲ受クルコトヲ得ルノ途ヲ拓キ同年三月二十一日ヨリ實施セリ

1. 貯金ノ預入又ハ組替ヲ爲シタルトキ
2. 貯金ノ拂戻其ノ他ノ拂出ヲ爲シタルトキ
3. 貯金利子ヲ元加シタルトキ
4. 證券ノ償還金、證券利子又ハ年金恩給々與金ヲ貯金ニ組入レタルトキ
5. 證券ノ購入、保管、賣却、交付又ハ償還アリタル場合當該證券ノ記號番號ノ通知ヲ受ケムトスルトキ

郵便貯金

Postal Savings

種別 Description	内地局 Inland Offices	在支那局 Offices in China	合計 Total	大正十三年度十二年度	
				1924-25	1923-24
新規預入人員 No. of Accounts Opened	3,712,020	-	3,712,020	4,493,565	3,510,655
全額拂戻人員 No. of Accounts Closed	2,593,616	1,833	2,595,449	2,877,747	2,045,670
年度末現在預ケ人 No. of Accounts remaining open at the End of the Fiscal Year	27,105,530	20,739	27,126,269	25,770,651	20,749,587
預入度数 No. of Deposits	82,956,391	19,047	82,975,438	70,603,337	56,916,984
拂戻度数 No. of Withdrawals	20,541,765	9,025	20,550,790	20,629,354	16,492,018
預入金額 Amount of Deposits	815,733,738 ^円	122,289 ^円	815,856,027 ^円	841,963,342 ^円	780,161,641 ^円
拂戻金額 Amount of Withdrawals	783,930,358 ^円	596,369 ^円	784,526,727 ^円	846,456,312 ^円	698,955,179 ^円
預金元加利子、證券及拂戻利子 Capitalized interest on deposits, Interest of bonds and on the amounts of whole withdrawals	?	?	?	?	?
年度末現在貯金額 Amount standing to the credit of all open accounts at the End of the Fiscal Year	1,112,066,765	1,036,986	1,113,103,751	1,076,181,235	839,417,250
平均一人貯金額 Average amount one of depositor	41.03	50.00	41.03	41.76	40.45

備考 1. 表中△印ハ證券利子受入口数トス 2. 括弧内ノ数字ハ内課ナリ
 Note. 1. △denotes number of crediting depositors with interests on public bonds. 2. The figures in the

尙本年度中ニ於ケル預拂ノ状況ヲ地方別ニ依リ示セハ左ノ如シ

The Postal savings transaction in the present year is as follows according to prefectures.

預拂及現況

Transactions

大正十四年度
1925-26

十一年度 1922-23	十年度 1921-22	九年度 1920-21	八年度 1919-20	七年度 1918-19	六年度 1917-18	五年度 1916-17
2,695,976	3,167,716	3,444,701	4,380,214	4,120,387	3,783,779	3,056,687
1,834,022	2,047,538	1,985,025	1,920,127	1,801,350	1,775,948	1,862,925
18,674,068	23,108,741	22,139,586	20,679,910	18,219,805	15,900,650	13,893,367
46,317,464	61,204,002	66,705,742 (△ 2,846,388)	70,762,356 (△ 2,012,567)	62,568,591 (△ 1,709,236)	53,638,480 (△ 1,587,311)	45,211,311 (△ 1,613,718)
12,881,392	17,888,038	18,094,888	16,372,582	15,182,686	13,638,237	11,766,228
512,716,015 ^円	682,338,154 ^円	785,052,844 ^円	655,719,922 ^円	512,613,780 ^円	394,924,512 ^円	269,763,845 ^円
478,078,916	682,382,233	686,838,529	555,390,841	399,027,660	287,559,077	200,728,352
?	?	40,978,568	32,120,486	23,399,374	19,158,316	14,575,493
695,495,770	889,620,134	852,889,725	713,173,565	580,349,806	437,508,596	310,841,375
37.24	38.50	38.52	34.48	31.85	27.52	22.37

parenthesis are items.

郵便貯金地方別
Postal Savings Transactions by Prefectures

大正十四年度
1925-26

逕信局 Direction of Commu- nications	地 方 Prefectures under Jurisdiction	新規預入人員 No. of Accounts Opened	全額拂戻人員 No. of Accounts Closed	預入度數 No. of Deposits	拂戻度數 No. of Withdrawals	預入金額 Amount of Deposits	拂戻金額 Amount of Withdrawals
札幌 Sapporo	北海道 Hokkaido	204,006	103,432	3,800,090	1,039,421	47,643,416	45,435,519
	青森 Aomori	36,457	28,642	894,120	196,324	4,872,944	5,151,143
仙台 Sendai	岩手 Iwate	27,026	27,254	787,496	170,088	4,137,822	4,161,229
	宮城 Miyagi	51,940	69,592	1,275,146	324,194	8,805,892	9,043,931
	秋田 Akita	39,207	33,077	927,501	227,996	5,377,907	5,524,991
大板 Osaka	山形 Yamagata	48,521	33,319	1,471,928	216,962	6,345,296	6,023,734
	福島 Fukushima	69,208	46,878	1,539,552	370,925	11,741,897	11,299,306
	新潟 Niigata	60,611	46,750	1,599,915	340,343	12,294,283	12,143,808
	計 Total	332,976	285,512	8,495,658	1,846,832	53,576,041	53,348,142
東京 Tokyo	茨城 Ibaraki	69,456	38,504	1,580,913	337,089	12,685,577	12,133,418
	栃木 Tochigi	42,083	27,961	1,040,554	261,746	9,020,361	8,866,408
	群馬 Gunma	47,102	27,870	1,081,510	234,715	8,868,492	8,543,032
	埼玉 Saitama	41,311	24,575	1,006,314	254,022	13,638,192	12,783,100
	千葉 Chiba	69,029	40,678	1,661,579	412,362	19,364,404	18,769,937
	東京 Tokyo	447,231	242,333	6,997,304	3,440,630	157,384,209	156,693,188
	神奈川 Kanagawa	131,012	53,981	2,114,551	738,536	41,869,490	37,805,187
	山梨 Yamanashi	26,116	13,541	504,387	101,178	2,957,890	2,872,553
	静岡 Shizuoka	86,442	55,305	2,538,116	378,874	10,280,183	9,794,512
	計 Total	959,782	524,748	18,525,228	6,159,152	276,068,798	268,261,335
名古屋 Nagoya	富山 Toyama	42,739	33,022	838,244	130,452	3,577,410	3,272,508
	石川 Ishikawa	42,211	31,853	1,054,625	208,115	7,485,294	7,207,489
	福井 Fukui	43,533	32,604	1,051,348	186,606	10,380,214	9,845,092
	長野 Nagano	75,439	58,131	2,102,021	401,918	13,813,786	12,986,108
	岐阜 Gifu	59,673	45,593	1,596,554	263,930	9,472,026	8,905,806
三 Miye	愛知 Aichi	134,117	81,866	2,907,212	703,656	36,389,337	33,263,255
	三重 Miye	76,671	58,345	2,222,947	306,315	12,149,252	11,465,324
	計 Total	474,383	341,414	11,772,951	2,205,992	93,267,319	86,945,582

(續) 郵便貯金地方別
(Continued) Postal Savings Transactions by Prefectures

大正十四年度
1925-26

逕信局 Direction of Commu- nications	地 方 Prefectures under Jurisdiction	新規預入人員 No. of Accounts Opened	全額拂戻人員 No. of Accounts Closed	預入度數 No. of Deposits	拂戻度數 No. of Withdrawals	預入金額 Amount of Deposits	拂戻金額 Amount of Withdrawals	
大板 Osaka	滋賀 Shiga	26,231	49,538	1,078,380	178,559	5,727,526	6,055,887	
	京都 Kyoto	120,687	102,003	2,867,626	772,301	31,352,055	31,015,434	
	大阪 Osaka	271,486	221,666	4,727,045	1,571,561	60,327,018	58,341,654	
	兵庫 Hyogo	163,188	133,162	3,208,017	964,015	36,931,873	34,156,254	
	奈良 Nara	44,578	40,071	1,524,974	227,564	9,452,145	9,324,896	
	和歌山 Wakayama	42,418	42,024	1,280,808	238,495	8,644,757	8,325,105	
	徳島 Tokushima	42,386	47,735	925,358	225,431	11,532,552	11,040,610	
	高知 Kochi	41,396	31,045	1,221,318	198,363	9,384,133	8,579,761	
	計 Total	752,370	667,244	16,833,526	4,376,289	173,352,059	166,839,601	
	廣島 Hiroshima	鳥取 Tottori	21,035	16,799	533,073	85,624	2,555,708	2,318,972
		島根 Shimane	39,160	37,636	1,501,455	200,952	6,053,368	6,018,115
		岡山 Okayama	63,437	52,889	1,931,865	278,398	9,425,404	8,873,868
		廣島 Hiroshima	130,564	97,768	4,003,658	700,177	24,324,531	24,622,273
		山口 Yamaguchi	70,563	52,501	1,965,099	430,197	15,573,217	15,050,299
香川 Kagawa		56,032	44,584	1,226,403	225,221	8,753,294	8,370,382	
愛媛 Ehime		45,817	44,694	1,041,522	176,841	4,621,103	4,396,670	
計 Total		426,608	346,871	12,203,075	2,097,410	71,306,625	69,650,579	
熊本 Kumamoto		福岡 Fukuoka	186,937	109,349	4,088,261	1,069,558	40,308,971	37,768,543
		佐賀 Saga	40,590	31,485	956,149	199,373	4,765,960	4,645,651
	長崎 Nagasaki	74,543	43,662	1,456,286	391,129	12,306,559	11,512,051	
	熊本 Kumamoto	71,051	33,852	1,430,196	369,264	18,438,477	16,261,152	
	大分 Oita	43,903	23,840	884,263	232,362	11,423,834	10,909,586	
	宮崎 Miyazaki	29,154	17,801	603,045	135,504	3,423,348	3,162,605	
	鹿兒島 Kagoshima	85,194	51,759	1,645,980	349,067	8,411,856	7,922,769	
沖繩 Okinawa	沖繩 Okinawa	30,523	12,647	261,683	70,412	1,440,475	1,267,243	
	計 Total	561,895	324,395	11,325,863	2,816,669	100,519,480	93,449,600	
合 計 Total		3,712,020	2,593,616	82,956,391	20,541,765	815,733,738	783,930,358	
在支那 Offices in China		-	1,833	19,047	9,025	122,289	596,369	
總 計 Grand Total		3,712,020	2,595,449	82,975,438	20,550,790	815,856,027	784,526,727	

本表ノ外野戰郵便局ニ於テ交付シタル貯金通帳ニ對スルモノ及海外在留本邦人ノ貯金等ヲ示セバ次ノ如シ

In addition to the list, the savings entered in the pass bonds issued at the Field Post Office and those belonged of Japanese abroad are as follows :—

種別	新規預入人員 No. of Accounts opened	全額拂戻人員 No. of Accounts closed	預入度數 No. of Deposits	拂戻度數 No. of Withdrawals	預入金額 Amount of Deposits	拂戻金額 Amount of withdrawals
明治二十七八年戰役野戰郵便貯金 Field Post Office Savings in the war of 27th and 28th year of Meiji	-	-	-	-	-	-
同特別賜金郵便貯金 Special Postal Savings granted for rewards in connection with the said war	-	-	-	8	-	151
明治三十七八年戰役軍事郵便貯金 Field Post Office Savings in the war of 37th and 38th year of Meiji	-	4	37	15	162	592
同戰地特別郵便貯金 Special Postal Savings deposited at the front in the said war.	-	-	-	-	4	-
大正三四年戰役野戰郵便貯金 Field Post Office Savings in the war of 3rd and 4th year of Taisho	-	1,342	11,853	8,162	66,277	378,485
同戰地特別郵便貯金 Special Postal Savings deposited at the front in the said war.	-	-	8	1	10	1
同行賞賜金郵便貯金 Postal Savings granted for rewards in connection with the said war.	23	2,133	46,416	29,351	286,290	1,530,810
大正四年乃至九年西比利亞野戰郵便貯金 Field Post Office Savings in Siberia in the war of 4th-9th year of Taisho	302	1,777	2,869	10,962	72,168	536,860
同戰地特別郵便貯金 Special Postal Savings deposited at the front in the said war.	-	1	5	10	12	170
海外在留本邦人特別郵便貯金 Special postal Savings of Japanese abroad	4	36	582	92	16,832	21,369
雜種 miscellaneous	-	-	630,379	51,177	5,882,981	3,870,618
臺灣 Formosa	53,366	55,572	1,086,385	369,862	10,299,822	10,602,508
樺太 Saghalien	14,409	5,350	188,473	70,821	6,603,568	5,456,833
朝鮮 Chosen	292,828	193,434	3,957,251	1,088,710	51,522,224	53,110,011
關東廳管 The kwantung Province	32,941	20,563	754,966	215,175	10,802,280	10,342,654
南洋 South Seas	1,755	619	19,516	6,098	817,250	602,617
合計 Total	395,628	280,851	6,698,740	1,850,444	86,369,880	86,453,679

郵便貯金現在預ケ人及金額職業別
Number of Depositors and Amount of Deposits,
according to their Occupations

大正十四年度末
March 31, 1926

職業	業	人員 Number of Depositors	百分比 Percentage	金額 Amount	百分比 Percentage	一人當預金高 Per head
農	Agriculture	11,130,205	36	379,939,767	33	34.14
商	Commerce	3,292,872	10	172,552,428	15	52.40
工	Industry	1,527,335	5	63,963,199	5	41.88
雜	Miscellaneous	1,062,288	3	64,348,308	6	60.58
職	Workmen & Employees	2,376,030	8	72,972,429	6	30.71
官	Civil officials, Soldiers & Sailors	2,366,880	8	105,648,393	9	44.64
學	Students & Schoolboys	5,785,322	18	80,686,290	7	13.95
漁	Fisheries & Seamen	525,623	2	27,074,370	2	51.51
無	Without Occupation	1,138,324	4	57,136,257	5	50.19
社	Shrines, Temples & Other Corporations	253,346	1	37,927,458	3	149.70
職	Occupation Unknown	2,091,764	7	104,749,804	9	50.08
合計	Total	31,549,989	100	1,166,998,703	100	36.99

備考 本表中ニハ震災ノタメ燒失セル原簿ニシテ復舊未済ノモノヲモ含ム
Note. The data include the figures for the accounts which have been destroyed in the earthquake-fire and are not yet recognized by the post office

第三章 證券業務ニ關スル施設
Section 3. Institutions for Public Bonds

證券業務ニ關シ本年度中施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

證券購入、保管、交付事務開始

證券保管ニ關スル復舊事務漸次進捗シタルヲ以テ震災後停止中ナリシ額面金額二十圓以下ノ勸業債券ノ購入保管事務並七五回以後發行ニ係ル額面金額二十圓以下ノ勸業債券ノ交付事務ヲ大正十四年九月一日ヨリ開始セリ

無集配三等郵便局ニ於テ復興貯蓄債券賣出開始

無集配三等郵便局ニ於テハ大正十二年三月一般行政整理以來勸業債券等ノ社債券ニ對スル募集事務ノ特別取扱ヲ廢止セルカ公衆ノ利便ヲ計ラムカ爲大正十四年十月省令第七四號ヲ以テ復興

貯蓄債券法ニ依ル日本勸業銀行發行ニ係ル復興貯蓄債券ニ限リ其ノ募集事務ヲ取扱フコト、シ
同年十月五日ヨリ之ヲ施行セリ

保 管 證 券

Custody of Public Bonds

種 別	人 員	枚 數	金 額
Description	Number	No. of Bonds	Amount
大正十四年度末 March 31, 1926	1,079,330	6,121,729	115,093,325 ^円
十三年度末 March 31, 1925	905,873	5,566,198	105,919,665
十二年度末 March 31, 1924	1,269,465	7,681,620	153,772,155
十一年度末 March 31, 1923	1,257,988	7,478,485	153,047,870
十年度末 March 31, 1922	1,222,705	6,955,922	151,435,320
九年度末 March 31, 1921	1,037,368	6,067,093	120,457,475
八年度末 March 31, 1920	853,924	4,986,493	95,412,320
七年度末 March 31, 1919	729,683	4,188,779	76,840,090
六年度末 March 31, 1918	598,031	3,333,433	62,226,295
五年度末 March 31, 1917	550,466	3,061,077	58,573,515

備考 大正十三年度末及同十四年度末現在高中ニハ復舊未済ノモノヲ含マズ
Note. The figures for the end of 13th and 14th fiscal year of Taisho do not include those relating to operations not yet recognized by the post office.

第 四 章 郵便振替貯金ニ關スル施設

Section 4. Institutions for Postal Check and Transfer

郵便振替貯金業務ニ關シ本年度中施設シタル事項次ノ如シ

郵便振替貯金拂込書難形改正

私製郵便振替貯金拂込書用紙中ニハ紙質粗悪、寸法長短等不完全ナルモノアリテ加入者及拂込人ニ迷惑ヲ及ボスノミナラズ處理上ニモ支障不尠ニ鑑ミ大正十四年九月省令第五八號ヲ以テ之カ難形ヲ改正シ同年十月一日ヨリ施行セリ

郵便振替貯金口座加入者及受拂高

Number of Subscribers Receipts and Payments in connection with the Postal Check and Transfer

種 別	人 員			口 數		金 額		
	新規加入 No. of Accounts Opened	脱 退 No. of Accounts Closed	年度末現在 At the end of the fiscal year	受 入 Receipts	拂 出 Payments	受 入 Receipts	拂 出 Payments	年度末現在 At the end of the fiscal year
大正十四年度 1925-26	18,526	6,594	239,769	29,015,389	14,182,860	1,306,587,457 ^円	1,305,592,402 ^円	38,897,442 ^円
十三年度 1924-25	17,365	6,234	228,254	27,096,661	14,111,419	1,301,633,981 ^円	1,301,175,785 ^円	37,902,387 ^円
十二年度 1923-24	15,907	3,357	153,231	15,411,803	3,444,242	895,392,464 ^円	892,392,449 ^円	25,082,679 ^円
十一年度 1922-23	22,043	4,406	203,622	27,544,964	13,447,517	1,230,532,225 ^円	1,229,693,460 ^円	39,450,625 ^円
十年度 1921-22	26,169	4,697	185,985	25,118,941	12,416,764	1,225,773,701 ^円	1,222,334,674 ^円	38,611,860 ^円
九年度 1920-21	23,281	4,837	164,513	22,109,428	10,016,100	1,176,258,845 ^円	1,178,938,156 ^円	35,172,833 ^円
八年度 1919-20	28,023	3,901	146,069	22,576,807	4,017,495	1,282,185,351 ^円	1,271,332,612 ^円	37,852,145 ^円
七年度 1918-19	20,819	2,600	121,947	20,580,781	3,526,153	956,016,745 ^円	949,916,083 ^円	26,299,405 ^円
六年度 1917-18	17,846	2,297	103,737	18,597,274	3,175,722	722,366,732 ^円	717,802,387 ^円	20,198,743 ^円
五年度 1916-17	16,207	2,860	88,188	15,435,006	2,659,200	549,335,951 ^円	539,833,442 ^円	15,634,398 ^円

備考 1. 大正十二年度東京振替貯金口座加入者ハ震災ノ爲不明ニ付之ヲ含マズ
Note. This data excludes the subscribers in connection with Tokyo Postal transfer on from 1st April 1923 to 31st March 1924.
2. 大正十三年度末及同十四年度末現在人員中ニハ未確認ノモノ各15,747人、15,334人ヲ含ム
The number of Subscribers at the end of 13th or 14th fiscal year of Taisho includes 15,747 and 15,334 respectively, whose accounts as stood at time of the earthquake-fire are not yet recognised by the Post office

第 五 章 年金恩給業務ニ關スル施設

Section 5. Institutions for Annuity and Pension

年金恩給業務ニ關シ本年度中施設シタル事項次ノ如シ

年金恩給支給事務取扱区域ノ擴張

從來南洋廳管内ノ郵便局ニ於テハ年金恩給ノ支給事務ヲ取扱ハサリシモ同管内ニハ邦人ノ移住スル者漸次増加スルニ伴ヒ受給者ノ數モ亦逐年増加ノ趨勢ニ在ルニ鑑ミ之カ取扱開始ノ必要ヲ認メ大正十四年四月勅令第一二二號ヲ以テ南洋廳管内郵便局ニ於テモ年金恩給ノ支給事務ヲ開始スルコト、シ同月八日ヨリ之ヲ實施セリ

高 渡 拂 金 與 給 給 恩 金 年

Payments of Annuities, Pensions and Other Grants

種 別 Description	各 局 拂 渡 Payment		郵 便 貯 金 = 振 替 預 入 Transfer to Postal Savings Deposits		合 計 Total	
	口 數 No.	金 額 Amount	口 數 No.	金 額 Amount	口 數 No.	金 額 Amount
		円 Yen		円 Yen		円 Yen
大 正 十 四 年 度 1925-26	1,446,858	124,839,261	38,068	4,465,747	1,484,944	129,305,008
十 三 年 度 1924-25	1,393,121	119,086,357	40,888	4,638,729	1,434,009	123,725,086
十 二 年 度 1923-24	1,216,805	82,439,565	29,701	3,148,212	1,246,506	85,641,777
十 一 年 度 1922-23	1,234,007	66,366,053	30,733	3,089,981	1,264,740	69,456,034
十 年 度 1921-22	1,207,313	63,594,084	36,855	2,985,836	1,344,168	66,579,920
九 年 度 1920-21	1,309,835	51,019,135	35,429	2,206,562	1,345,314	53,225,697
八 年 度 1919-20	1,265,782	37,415,568	32,363	1,639,761	1,298,145	39,055,329
七 年 度 1918-19	1,205,442	35,037,278	27,035	1,378,628	1,232,477	36,415,906
六 年 度 1917-18	1,166,665	33,932,168	22,963	1,177,569	1,189,628	35,109,737
五 年 度 1916-17	1,158,074	33,368,627	21,415	1,090,175	1,179,489	34,458,802

簡 易 保 險
POST OFFICE LIFE INSURANCE

簡易保險局沿革略誌

我國簡易生命保險制度ハ其ノ端ヲ遠ク日清戰役終了後ニ發セリ即チ當時遞信省ニ小口保險創始ノ議起リ明治三十八年郵便貯金法制定ノ際其ノ中ニ郵便保險年金ニ關スル條項ヲ規定スルノ議アリシモ時期尙早ノ故ヲ以テ中止シ更ニ其ノ調査ヲ繼續スルコトナレリ、然ルニ其ノ後世態ノ變遷著シク殊ニ日露戰後産業ノ發展ニ伴ヒ小口保險實施ノ必要一層緊切ヲ加フルニ到リシヲ以テ明治四十三年七月郵便貯金局内ニ郵便保險年金制度調査委員會ヲ設ケ内外保險事業ノ調査ニ著手セリ然モ簡易保險制度施行ノ曉ニ於テハ社會各般ニ及ホス影響ノ大ナルハキハ明ニシテ其ノ調査ニ就テモ萬全ヲ期セサルヘカラサルヲ慮リ翌四十四年一月其ノ調査機關ヲ擴張シテ遞信省内ニ郵便保險年金制度調査會ヲ組織シ且之ニ關係アル學者、實業家ヲ加ヘテ討議研鑽スル所アリ、一方ニ於テハ大正三年時ノ內閣ハ小口保險ノ實施ヲ施政方針ノ一トナシ同年五月內閣ニ小口保險制度調査委員會ヲ設置シ委員長ニ法制局長官ヲ、內務、大藏、文部、農商務及遞信ノ各省ヨリ夫々委員ヲ選任シテ六月ヨリ十一月ニ亘リ數十回ノ委員總會及特別委員會ヲ開キ調査審議スル所アリ同年十二月其ノ決定要領及法律、勅令並規則草案ヲ公表スルト共ニ一面地方長官、商業會議所各種學會又ハ協會等各方面ニ諮問シ、且内外斯業ノ實況ヲ參酌シテ遂ニ簡易生命保險法案及簡易生命保險特別會計法ノ成案ヲ見ルニ至リ大正五年二月第三十七議會ニ提出セリ、議會ハ保險金額ノ最高限度參百圓ヲ貳百五拾圓ニ修正ノ上之ヲ協贊シ茲ニ簡易生命保險法案及簡易生命保險特別會計法案ノ成立ヲ見ルニ至レリ

以上ハ簡易生命保險制度調査ノ經過ヲ略述セルモノナルカ更ニ本法定後ノ重ナル事項ヲ摘録スレハ次ノ如シ

大 正 五 年

- 三 月 爲替貯金局内ニ簡易生命保險事業準備部ヲ置キ之カ實施ニ關スル諸般ノ調査ヲナシ其ノ草案成ル
- 四 月 遞信省内ニ簡易生命保險事務準備委員會ヲ設置シ各種規程ヲ其ノ審査ニ附ス
- 七 月 簡易生命保險法及簡易生命保險特別會計法ヲ公布ス
- 八 月 簡易生命保險法及簡易生命保險特別會計法ノ實施期日ヲ前者ハ大正五年十月一日後者ハ同年八月二十日ト定ム
- 九 月 爲替貯金局及地方遞信官署官制ヲ改正シ爲替貯金局内ニ保險部ヲ、遞信局内ニハ總務部ニ保險課ヲ、分掌局ニハ第四課ヲ設ケテ簡易生命保險ニ關スル事務ヲ掌理ス
- 同 簡易生命保險令、簡易生命保險審查會規程、簡易生命保險特別會計規則、簡易生命保

險規則、簡易生命保險特別會計事務規程等ヲ制定公布ス

九月 簡易生命保險取扱規程、簡易生命保險團體特別取扱規則、簡易生命保險團體特別取扱規程等ヲ制定ス

十月 一日ヨリ簡易生命保險事業ヲ開始ス

大 正 六 年

七月 簡易生命保險積立金運用規則ヲ公布ス

九月 簡易生命保險ノ保險契約者ニ對スル貸付ノ利率ヲ保險料振替貸付ニアリテハ年四分八厘、普通貸付ニアリテハ年六分ト定ム

大 正 七 年

四月 簡易生命保險審査會規程施行細則ヲ制定ス

同 簡易生命保險規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ保險料前拂方法ヲ設ケ、延滞料免除ノ場合ヲ規定シ、小額保險金ノ簡易支拂手續ヲ制定シ、殖民地等ヨリ保險料拂込並再度保險證書ノ無料交付ニ關スル規定ヲ制定シ、保險證書訂正料金ノ徵收ヲ廢止シタルコト等トス

九月 簡易生命保險規則中ヲ改正シ短期拂込養老保險ヲ設ケ、法域外住居者ニ對スル保險金及還付金支拂方法ヲ定ム

十二月 簡易生命保險團體特別取扱規程ヲ改正シ八年一月一日ヨリ施行ス

大 正 八 年

五月 爲替貯金局及地方遞信官署官制ヲ改正シ爲替貯金局ニ於ケル保險部ヲ廢止シ從來監理課及調度課ニ於テ取扱タル庶務、規畫、監督、經理ニ關スル事務ハ爲替貯金ニ關スル夫レ等ノ事務ト同一課ニ於テ取扱フコトトナリ外ニ保險契約、保險支拂、保險原簿、積立金運用、保險統計ノ五課ヲ置キ又從來ノ各遞信局及事務分掌局ヲ七遞信局トシ各遞信局ニ保險課ヲ設ク

六月 簡易生命保險審査會規程ヲ改正シ委員十人ヲ十二人ニ改ム

八月 簡易生命保險積立金貸付規則ヲ制定シ十九日ヨリ之ヲ施行ス

十一月 簡易生命保險規則ヲ改正シ現役軍人又ハ召集中ノ軍人ノ申込ニ對シ簡易手續ヲ制定ス

大 正 九 年

三月 簡易生命保險規則ヲ改正シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ契約ノ申込又ハ復活申込ニ際シ申込人ト被保險者ト所在地ヲ異ニスル場合ニ受付局以外ノ郵便局ニ於テ被保險者ノ面接ヲ爲シ得ルノ方法ヲ設ケ、保險料前拂ノ制度ヲ保險料豫納ノ形式ニ改メ、保險金還付金ノ局待拂及普通貸付金ノ局待貸付ノ途ヲ開キ、復活利息金ノ徵收ヲ廢止

シ、保險料振替貸付期間ヲ二箇年ニ延長シタルコト等トス

十月 簡易保險局官制制定セラレ新ニ簡易保險局ヲ設ケテ從來爲替貯金局ニ於テ掌理シタル簡易生命保險ニ關スル事務ヲ受繼キ庶務、監理、契約、支拂、原簿、醫務、積立金運用、統計ノ八課ヲ置キ其ノ事務ヲ管掌ス

十二月 簡易生命保險積立金貸付規則ヲ改正シ翌十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ借入申込書用紙ヲ正副二通トシ遞信局ヲ經由シテ遞信大臣ニ提出セシムルニ在リ

大 正 十 年

四月 簡易生命保險特別會計法ヲ改正シ支拂上ノ餘裕金ヲ大藏省預金部ニ預入スルコトヲ得セシム

九月 簡易保險局官制ヲ改正シ從來ノ八課ヲ改メテ庶務、規畫、監督、積立金運用、契約、支拂、第一原簿、第二原簿、醫務、統計ノ十課トシ別ニ講習所ヲ設ケテ吏員ノ養成ニ任ス

大 正 十 一 年

二月 一日ヨリ南洋廳管内ニ於テ簡易生命保險事務ノ取扱ヲ開始ス

四月 簡易生命保險法中ヲ改正シ保險金額二百五十圓ヲ三百五十圓ニ増額シ九月一日ヨリ實施ス

六月 團體特別取扱規則ヲ改正シ團體員ノ箇數十箇未滿トナリタルトキハ團體トシテノ取扱ヲ廢止セリ

八月 簡易生命保險規則中ヲ改正シ保險料ノ併合拂込ヲ認メ、長期繼續ノ契約者ニ對スル保險料還付ノ途ヲ開ク

九月 簡易保險健康相談所規則及簡易保險健康相談所取扱規程ヲ制定ス

十一月 關東廳管内郵便官署ニ於テ郵便振替貯金ノ特別取扱ノ方法ニヨリ簡易生命保險ノ保險料集金其ノ他ノ事務ノ取扱ヲ開始ス

十二月 新ニ計理課ヲ置キ從來第一原簿課及第二原簿課ニ於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ取扱フ

大 正 十 二 年

三月 簡易生命保險特別會計ニ於ケル土地建物ノ買入又ハ建物ノ建設ニ關スル法律ヲ公布シ大正十二年度ヨリ施行ス

九月 一日ニ於ケル關東地方ノ激震ト之ニ伴フ火災ノ爲災禍ヲ被リタル者多カリシヲ以テ五日ヨリ東京市芝區日出町簡易保險局構内、東京中央郵便局出張所ニ於テ保險金及還付金ノ非常局待拂並保險契約者ニ對スル貸付金ノ非常局待貸付ヲ取扱ヒ罹災者ニ對シテハ保險料ノ拂込ニ就キ特別拂込猶豫期間ヲ設定ス

十一月 非常局待扱ハ五日限リ之ヲ廢止シ六日ヨリ普通局待扱及局待貸付ヲ取扱フ

十一月 罹災契約者ニ對スル貸付利率ヲ振替貸付三分六厘、普通貸付四分八厘ニ低下ス

大正十三年

三月 大正十二年九月ニ於ケル罹災契約者ニ對シテハ保險料ノ拂込ニ付キ特別拂込猶豫期間一箇月ヲ追加設定ス

六月 監督課ヲ業務課ト改メ從來規畫課ニテ取扱ヒタル歳入歳出ノ豫算及決算ニ關スル事項並事業用物品ノ經理ニ關スル事項ヲ移管ス

同 簡易生命保險規則中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ廢疾被保險者ノ契約ニ對スル保險料免除ノ特例ヲ開キ、長期繼續契約者ニ對スル還付保險料ヲ増額シタルコト等トス

同 簡易保險健康相談所規則中ヲ改メ相談所ニ於ケル取扱事務範圍ヲ擴張シ、特殊ノ施設ヲ要スル診察検査又ハ試験ヲモ行ヒ又書面ニヨル健康相談ヲモ取扱フコトトス

十一月 行政整理ノ爲メ在來ノ庶務課、規畫課、監督課ノ事務ノ分合ヲ行ヒ之ヲ庶務課、業務課及經理課トナシ計理課ヲ司計課ト改メ醫務課及講習所ヲ廢止シ原簿事務膨脹ニ付第三原簿課ヲ特設ス

大正十四年

五月 二十三日但馬地方ニ於ケル震火災ノ爲メ兵庫縣豐岡、同城崎及京都府久美濱局ニ於テ保險金ノ局待拂及契約者ニ對スル貸付金ノ局待貸付ヲ取扱フ

九月 新ニ規畫課ヲ置キ業務課及經理課ニ於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ取扱フ

大正十五年

昭和元年

三月 簡易生命保險法中ヲ改正シ保險金額三百五十圓ヲ四百五十圓ニ増額シ五月一日ヨリ施行ス

四月 簡易保險局内ニ郵便年金事務準備部ヲ設ケ之カ實施ニ關スル諸般ノ調査ヲナシ其ノ草案成ル

同 郵便年金法及郵便年金特別會計法ヲ公布ス

五月 二十四日十勝岳ノ爆發ニヨル災禍ノ爲メ石狩國上富良野、同美瑛及同東中局ニ於テ保險金ノ局待拂及契約者ニ對スル貸付金ノ局待貸付ヲ取扱フ

六月 簡易生命保險積立金運用規則中ヲ改正シ年賦及半年賦償還貸付ノ貸付期間二十年内ヲ二十五年内ニ改ム

八月 第四原簿課ヲ新設ス

同 郵便年金令、郵便年金特別會計規則、郵便年金規則、郵便年金取扱規程ヲ公布ス

九月 郵便年金特別會計事務規程ヲ定ム

同 年金課ヲ新設シ年金事業ニ關スル事務ヲ掌理セシム

十月 一日ヨリ郵便年金事業ヲ開始ス

第四編 簡易生命保險

Chapter 4. Post office Life Insurance

第一章 簡易生命保險事務ニ關スル施設

Section 1. Institutions for post office Life Insurance services

簡易生命保險事務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

保險金最高制限額ノ引上

從來ノ保險金最高制限額三百五十圓ハ國民生活程度ノ向上、物價勞銀ノ騰貴、保險思想ノ普及等社會事情ノ變遷ニ伴フ公衆ノ需要ヲ充タスニ十分ナラサリシヲ以テ之ヲ四百五十圓トスルノ改正法律案ヲ第五十二議會ニ提出シ其ノ協賛ヲ經三月二十二日公布セラレ五月一日ヨリ之ヲ實施セリ

被保險者ニ對スル保健施設

被保險者ノ健康ノ保持ト増進トヲ計ラムカ爲大正十一年九月簡易保險健康相談所規則及同取扱規程ヲ制定以來全國主要都市ニ十六箇所ノ健康相談所ヲ設置シタルカ本年度中ニ於テハ更ニ金澤、大阪浪速、静岡、福岡、函館、富山及新潟ノ七箇所ニ之ヲ増設セリ

事業ノ普及宣傳

國力ノ充實ヲ計ラムカ爲大正十三年九月設ケラレタル勤儉貯蓄獎勵委員會ノ勤儉力行消費節約ノ運動ニ參加シテ事業ノ普及宣傳ヲ圖リ大正十四年六月、同九月、同十一月及同十五年二月ノ第二回乃至第六回勤儉強調運動ニ依リ七十萬件餘ノ保險申込ヲ受理セリ

第二章 保 險

Section 2. Summary of Post

簡 易 生 命 保

Summary of Post Office

種 別 Description	新 契 約 New Contracts			契 約 消 滅 Contracts Terminated						
	件 數 No.	保 險 料 Premium	保 險 金 額 Sum insured	死 亡 Death			解 約 Surrender			
				件 數 No.	保 險 料 Premium	保 險 金 額 Sum insured	件 數 No.	保 險 料 Premium	保 險 金 額 Sum insured	
終身保險 Whole Life Policies	個人契約 Individual Contracts	649,825	358,833.1	83,533,711.9	43,381	25,705.3	5,617,120.2	27,279	12,907.2	3,513,737.2
	團體契約 Collective Contracts	17,270	6,267.9	1,942,809.6	1,500	529.0	157,813.4	1,160	331.8	130,848.7
	計 Total	667,095	365,156.0	90,476,521.5	44,881	26,234.3	5,774,933.6	28,439	13,239.0	3,644,585.9
養老保險 Endowment Policies	個人契約 Individual Contracts	1,793,227	1,617,929.8	239,789,179.2	38,221	34,540.2	5,206,298.5	67,553	71,857.1	10,389,510.3
	團體契約 Collective Contracts	39,771	17,693.8	3,042,672.8	1,079	459.6	80,955.2	1,795	907.6	151,199.7
	計 Total	1,832,998	1,635,623.6	242,831,852.0	39,300	34,999.8	5,287,253.7	69,348	72,764.7	10,540,710.0
總 計 Grand total	個人契約 Individual Contracts	2,443,052	1,976,817.9	328,322,891.1	81,602	60,245.5	10,823,418.7	94,832	84,764.3	13,903,247.5
	團體契約 Collective Contracts	57,041	23,961.7	4,985,482.4	2,579	988.6	238,768.6	2,955	1,289.4	282,048.4
	計 Total	2,500,093	2,000,779.6	333,308,373.5	84,181	61,234.1	11,062,187.3	97,787	86,053.7	14,185,295.9
大 正	三 年 度	1,926,149	1,660,826.1	281,624,338.0	72,281	48,869.6	9,085,575.3	63,555	49,721.9	8,689,529.2
	1924-25									
	二 年 度	1,407,552	1,105,541.6	199,056,301.3	65,714	42,730.1	8,107,377.3	53,434	38,069.2	6,822,445.5
	1923-24									
	一 年 度	1,522,940	1,052,270.8	196,477,422.5	44,560	24,908.7	4,975,736.3	46,997	32,613.3	5,877,003.8
	1922-23									
	年 度	1,157,921	703,250.1	134,771,401.8	32,367	16,848.0	3,457,778.6	30,640	20,308.6	3,748,062.3
	1921-22									
	年 度	788,448	445,332.0	88,727,826.7	25,057	12,197.5	2,594,351.0	13,487	6,873.4	1,411,740.8
	1920-21									
	年 度	586,572	289,388.0	61,432,227.9	20,836	9,446.3	2,092,381.0	9,129	4,043.9	924,123.9
	1919-20									
	年 度	581,758	251,937.1	55,630,616.2	15,677	6,825.5	1,555,177.6	6,969	2,759.7	657,005.0
	1918-19									
	年 度	504,085	175,243.7	40,869,037.9	5,408	2,516.0	577,327.6	3,801	1,425.9	311,034.4
	1917-18									
	年 度	266,954	110,723.9	25,104,800.5	567	319.1	73,146.7	938	471.6	94,263.8
	1916-17									

備 考 「其ノ他ノ事由ニ由ル増減」ハ年齢及保險金額ノ更正、契約ノ解除、無効及取消等ニ因ルモノヲ掲載セリ
 Note. 「Increase or Decrease from other causes」 means the alteration of the age of the insured and the sum insured.

事 業 成 績

Office Life Insurance Business

險 事 業 成 績

Life Insurance Business

大正十四年度
1925-26

失 効 Lapse	件 數 No.	保 險 料 Premium	保 險 金 額 Sum insured	契 約 復 活 Revival of Contracts			其 他ノ事由ニ由ル増減 Increase or Decrease from other Causes			年 度 末 現 在 契 約 Contracts in force at the End of the Fiscal Year		
				件 數 No.	保 險 料 Premium	保 險 金 額 Sum insured	件 數 No.	保 險 料 Premium	保 險 金 額 Sum insured	件 數 No.	保 險 料 Premium	保 險 金 額 Sum insured
164,583	82,183.4	21,866,154.2	21,345	11,431.2	2,848,475.9	21,066	12,917.3	3,903,511.1	3,071,098	1,561,978.1	394,049,206.9	
6,863	2,093.7	742,865.9	668	247.0	80,079.5	660	259.4	96,450.6	121,110	40,709.7	13,114,381.0	
171,446	84,277.1	22,609,020.1	22,013	11,678.2	2,923,555.4	21,726	13,176.7	3,999,961.7	3,192,208	1,602,687.8	407,163,587.9	
393,565	373,677.9	55,000,188.5	28,932	23,152.8	3,643,252.5	18,050	494.5	141,684.7	4,994,630	4,193,071.6	637,239,645.5	
11,330	4,733.5	844,044.1	916	390.5	67,624.1	603	191.1	24,827.6	126,850	53,890.9	9,376,659.0	
404,895	378,411.4	55,844,232.6	29,848	23,543.3	3,710,876.6	18,653	303.4	116,857.1	5,121,480	4,246,962.5	646,616,304.5	
558,148	455,861.3	76,866,342.7	50,277	34,584.0	6,491,728.4	3,016	13,411.8	4,045,195.8	8,065,728	5,755,049.7	1,031,288,852.4	
18,193	6,827.2	1,586,910.0	1,584	637.5	147,703.6	57	68.3	71,623.0	247,960	94,600.6	22,491,040.0	
576,341	462,688.5	78,453,252.7	51,861	35,221.5	6,639,432.0	3,073	13,480.1	4,116,818.8	8,313,688	5,849,650.3	1,053,779,892.4	
477,039	368,240.8	65,278,764.9	54,852	35,443.4	6,867,421.0	2,016	6,874.0	2,425,562.7	6,523,116	4,437,105.6	821,649,641.6	
377,174	242,718.6	45,850,042.9	37,236	21,242.8	4,298,548.9	1,251	3,613.1	1,535,387.0	5,157,006	3,214,542.4	618,637,314.7	
334,848	191,230.0	36,953,427.2	29,764	16,312.0	3,328,091.3	1,118	2,226.9	1,162,874.7	4,209,791	2,414,889.0	477,597,717.2	
251,351	137,594.2	26,996,985.0	20,169	10,366.3	2,185,633.0	427	1,169.7	507,230.3	3,084,610	1,597,285.1	326,761,245.4	
143,534	69,341.4	14,652,387.8	15,584	7,161.8	1,582,767.0	364	770.5	307,750.8	2,221,305	1,059,589.2	224,514,316.8	
135,638	55,193.9	12,198,106.0	13,514	5,970.0	1,334,587.7	383	563.4	223,670.7	1,599,715	696,278.2	153,169,953.5	
107,014	37,628.8	8,701,425.6	5,169	2,138.7	484,286.2	210	435.4	159,268.6	1,165,615	470,167.7	105,841,419.5	
48,429	15,482.4	3,650,920.4	669	256.8	59,759.5	27	329.7	98,681.1	708,558	263,741.3	60,799,393.9	
3,990	1,793.4	388,816.6	10	5.3	1,354.1	-	156.3	41,367.5	261,469	107,993.8	24,508,560.0	

invalidity and the cancellation of contracts and others.

簡易生命保險

Classification of Post Office Life

Table with columns: 逕信局 (Direction of Communications), 地方 (Prefecture), 新契約 (New Contracts), 契約 (Contracts Terminated), 死亡 (Death), 解約 (Surrender). Rows include Hokkaido, Aomori, Iwate, Miyagi, Akita, Yamagata, Fukushima, Niigata, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Yamanashi, Shizuoka, Toyama, Ishikawa, Fukui, Nagano, Gifu, Aichi, Miye, and Total.

事業成績地方別

Insurance Business by Prefectures

大正十四年度 1925-26

Table with columns: 減失 (Lapse), 契約復活 (Revival of Contracts), 其他ノ事由ニ因ル減少 (Decrease from other Causes), 年度末現在 (Contracts in Force at the End of the Fiscal Year). Rows include Hokkaido, Aomori, Iwate, Miyagi, Akita, Yamagata, Fukushima, Niigata, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Yamanashi, Shizuoka, Toyama, Ishikawa, Fukui, Nagano, Gifu, Aichi, Miye, and Total.

(續) 簡易生命保險
Classification of Post Office

Table with columns: 遞信局 (Direction of Communications), 地方 (Prefecture), 新契約 (New Contracts), 契約 (Contracts Terminated), and sub-columns for件數 (No.), 保險料 (Premium), 保險金額 (Sum insured) under each category.

事業成績地方別
Insurance Business by Prefectures

大正十四年度
1921-26

Table with columns: 減失 (Lapse), 契約復活 (Revival of Contracts), 其他ノ事由ニ因ル減少 (Decrease from other Causes), 年度末現在 (Contracts in Force at the End of the Fiscal Year), and sub-columns for件數 (No.), 保險料 (Premium), 保險金額 (Sum insured) under each category.

被 保 險 者 職 業 別
Classification of Number of Policies by Occupations of the Insured

大正十二年度末
March 31, 1924

種 別 Classification	通 信 局 Direction of communications							
	東 京 Tokyo	名 古 屋 Nagoya	大 阪 Osaka	廣 島 Hiroshima	熊 本 Kumamoto	仙 臺 Sendai	札 幌 Sapporo	計 Total
農 業 Agriculture	220,500	230,000	102,500	127,000	183,500	167,500	32,500	1,063,500
水 産 業 Aquatic Products Industry	11,000	15,000	3,500	11,000	14,000	13,500	18,500	86,500
鑛 業 Mining Industry	4,500	1,500	-	1,500	27,000	7,500	14,000	59,000
工 業 Manufacturing Industry	346,500	264,000	247,500	116,000	155,500	125,500	44,500	1,299,500
商 業 Commerce	329,500	255,000	251,000	152,500	154,500	124,500	70,000	1,355,000
交 通 業 Transport & Communication Services	83,000	66,500	61,500	61,500	54,500	49,000	45,500	421,500
公 務 及 自 由 業 Civil Services & Professional Occupations	127,000	108,000	78,000	75,000	96,500	79,000	29,500	593,000
其 他 有 業 者 Other Occupations	10,500	21,000	7,500	4,000	7,500	13,500	10,000	73,500
家 事 使 用 人 Domestic Employees	4,000	1,000	1,500	500	-	-	-	7,000
無 職 No Occupation	17,500	6,000	13,000	5,500	12,000	7,000	1,000	62,000
不 明 Occupation Unknown	33,500	4,500	28,500	1,500	12,500	13,500	5,000	99,000
計 Total	1,187,500	972,500	794,000	559,000	717,500	618,500	270,500	5,119,500

備 考 一、本表ノ職業分類ハ大正九年内閣訓令第一號ニ基キタリ
二、本表ハ正式ノ調査ニ依ラス次ノ簡便法(Method of Sampling)ニ依リタリ即チ大正十二年度末現在契約ノ保
險證書番號末尾ニ二百五十一番又ハ七百五十一番ノ端數ヲ要スル契約ノ被保險者又ハ其扶養者ノ職業ヲ當
該契約受持局ニ於テ實地調査シタルモノニ基キ各通信局別ニ職業別割合ヲ求メ之ヲ現在契約數ニ乘シ算出
シタリ
三、南洋及ヒ關東州ハ契約件數僅少ナルト調査困難ノタメ掲記セズ

第 三 章 審 査 會
Section 3. Meeting of Investigation

審査會ノ審査

保險契約者及保險金受取人ガ簡易生命保險ニ關スル事項ニ付政府ニ對シ民事訴訟ヲ提起スルニ
ハ簡易生命保險審査會ノ審査ヲ請求スルコトヲ要スルモノトス

審査會ノ審査狀況

本年度中ニ於テ審査會ノ審査ヲ請求シ來リタル數ハ總數二件ニシテ内一件ハ審査ヲ了シ一件ハ
審査未了ナリ

第 四 章 積 立 金 ノ 運 用
Section 4. Investment of the Fund

積立金ノ運用範圍

積立金ハ保險契約者ニ貸付ヲナス場合ヲ除クノ外運用委員會ニ諮問シ公共ノ利益ノ爲ニ之ヲ運
用スルモノトス

積立金ノ運用狀況

本年度ニ於テハ社會公共事業ニ對スル貸付トシテ新ニ公立結核療養所、公立病院、下水道ヲ加
ヘタルノ外漁民ノ福祉増進上漁業共同施設ニ對シテモ貸付ヲ行フコトハナレリ、公立結核療養
所ハ簡易保險被保險者死亡總數ノ中結核ニ因ル死亡ハ約其ノ二割ニ上リ事業上國民保健上遺憾
尠シトセス又公立病院及下水道施設ノ如キモ同様ノ事由ニ依リ其ノ普及ヲ圖ルヲ最モ必要ト認
メラレタルニ依ルモノトス而シテ積立金ノ貸付狀況及本年度末現在ニ於ケル運用狀況ヲ示セハ
次表ノ如シ

積立金貸付狀況

Statement for the Loans of the Insurance Fund

貸付種別 Classification.	年度末 At the 31st March of:-	十四年度	十三年度	十二年度	十一年度	十年度	九年度	八年度
		1926	1925	1924	1923	1922	1921	1920
共同宿泊所資金貸付 Loans for Establishment of Free Lodging Houses.	410,000	50,000	50,000	-	-	-	-	-
簡易食堂資金貸付 Loans for Establishment of Popular Restaurants.	146,050	82,485	106,709	110,851	115,000	-	-	-
市場資金貸付 Loans for Establishment of Public Retail Markets.	2,608,832	2,301,618	1,625,710	1,143,193	1,071,676	1,075,000	500,000	
廉價供給事業資金貸付 Loans for Services for Lowering Cost of Living.	18,200	37,538	46,800	47,800	13,000	-	-	-
實費診療事業資金貸付 Loans for Establishment of Dispensaries.	638,748	511,054	569,528	523,000	-	-	-	-
產院資金貸付 Loans for Establishment of Maternity Hospitals.	67,400	67,400	67,400	-	-	-	-	-
職業紹介所資金貸付 Loans for Establishment of Labour Exchanges.	271,838	221,025	279,934	313,342	336,700	-	-	-
質屋資金貸付 Loans for Public Pawn-Shop Funds.	265,530	271,593	38,630	38,965	29,300	20,000	-	-
託兒所資金貸付 Loans for Day Nurseries.	214,739	229,351	275,419	71,960	72,500	-	-	-
公益浴場資金貸付 Loans for Establishment of Public Utility Bathing Houses.	101,986	127,158	116,000	101,000	-	-	-	-
自作農創設維持資金貸付 Loans for Creation and Maintenance, of Peasant Proprietorship.	8,932,415	6,003,076	1,842,700	550,000	-	-	-	-
地方改善地區整理費貸付 Loans for Local Districts Improvement and Boundary Adjustment Services.	154,000	57,000	-	-	-	-	-	-
住宅資金貸付 Loans for Supply of Public Dwelling Houses.	10,501,152	9,843,694	9,262,138	7,515,154	5,178,512	2,412,783	1,008,500	
傳染病院資金貸付 Loans for Establishment of Isolation Hospitals.	561,012	274,323	71,000	42,000	-	-	-	-
農業倉庫資金貸付 Loans for Establishment of Agricultural Products Reserve Granary.	616,596	375,052	22,000	-	-	-	-	-
下水道資金貸付 Loans for Construction, of Sewage Works	364,000	-	-	-	-	-	-	-
同上舊債償還資金貸付 Loans for the Redemption Fund of old Debts of the above Enterprise.	1,260,000	-	-	-	-	-	-	-
小學校建築資金貸付 Loans for Building of Primary Schools.	14,586,585	9,574,955	7,232,092	4,656,602	1,933,979	494,700	-	
同上舊債ノ償還資金貸付 Loans for the Redemption Fund of old Debts of the above Enterprise.	1,222,400	-	-	-	-	-	-	-
實業補習學校資金貸付 Loans for Establishment of Technical Continuation Schools.	8,233	9,000	-	-	-	-	-	-
公立病院資金貸付 Loans for Establishment of Public Hospitals.	50,000	-	-	-	-	-	-	-
上水道貸付資金 Loans for Service Water-Supply Works.	6,197,333	2,089,718	80,000	-	-	-	-	-
同上舊債ノ償還資金貸付 Loans for the Redemption Fund of old Debts of the above Enterprise.	500,000	-	-	-	-	-	-	-
計 Total.	49,697,049	32,126,040	21,686,110	15,113,867	8,750,667	4,002,483	1,508,500	
契約者貸付 Loans on Policies.	3,032,422	1,307,584	788,556	233,577	52,994	20,402	10,670	
合 Total.	52,729,471	33,433,624	22,474,666	15,347,444	8,803,661	4,022,885	1,519,170	

積立金運用狀況

Investment of the Fund

大正十四年度末
March 31, 1926

運用種別 Kind of Investments	金額 Amount
運用貸付濟額 Statement Showing condition for the Sum of Loans	49,697,049
帝國政府公債證券購入額 Purchasement for the Sum of Imperial Japanese Government Securities	11,483,777
地方債證券購入額 Purchasement for the Sum of Local Districts Securities	5,352,598
契約者 = 對スル貸付濟額 Sum of the Loans for the Contractors	3,032,422
預金部預入額 Sum of the Deposits	23,134,504
現金 Cash	501,499
計 Total	93,201,849

積立金府縣別貸付狀況

Loans of the Insurance Fund, Specifying Prefectures

大正十四年度末現在
As at March 31, 1926

逕信局 Direction of Communi- cation	府 縣 Prefectures	貸 付 金 額 Amt. of Loans Given	逕信局 Direction of Communi- cation	府 縣 Prefectures	貸 付 金 額 Amt. of Loans Given
札 Sapporo	幌 [北 海 道 Hokkaido	1,869,771	大 Osaka	滋 賀 Si Iga	515,946
	青 森 Aomori	695,410		京 郡 Kyoto	1,937,853
	岩 手 Iwate	436,810		大 阪 Osaka	4,028,787
	宮 城 Miyagi	1,181,426		兵 庫 Hyogo	2,446,533
	秋 田 Akita	500,357		奈 良 Nara	375,281
	山 形 Yamagata	270,113		和 歌 山 Wakayama	390,866
	福 島 Fukushima	1,448,815		德 島 Tokushima	810,740
	新 潟 Niigata	1,428,506		高 知 Kochi	321,709
	計 Total	5,961,437		計 Total	10,827,715
	仙 臺 Sendai	茨 城 Ibaraki		366,764	鳥 取 Tottori
栃 木 Tochigi		396,634	島 根 Shimane	374,399	
群 馬 Gunma		834,517	岡 山 Okayama	1,261,694	
埼 玉 Saitama		549,679	廣 島 Hiroshima	875,225	
千 葉 Chiba		935,808	山 口 Yamaguchi	691,928	
東 京 Tokyo		6,166,406	香 川 Kagawa	345,547	
神 奈 川 Kanagawa		1,808,604	愛 媛 Ehime	1,071,618	
山 梨 Yamanashi		207,937	計 Total	5,059,803	
靜 岡 Shizuoka		608,943	福 岡 Fukuoka	1,274,381	
計 Total		11,875,292	佐 賀 Saga	262,339	
東 京 Tokyo	富 山 Toyama	505,692	長 崎 Nagasaki	802,778	
	石 川 Ishikawa	384,810	熊 本 Kumamoto	596,927	
	福 井 Fukui	746,359	大 分 Oita	931,419	
	長 野 Nagano	1,693,331	宮 崎 Miyazaki	612,575	
	岐 阜 Gifu	1,096,090	鹿 兒 島 Kagoshima	875,975	
	愛 知 Aichi	2,828,172	沖 繩 Okinawa	53,769	
	三 重 Miye	1,229,528	計 Total	5,410,163	
	計 Total	8,483,982	關 東 廳 Government of Kwantung	208,886	
	名 古 屋 Nagoya	計 Total	8,483,982	關 東 州 及 滿 洲 附 屬 地 Kwantung and the attached zone of the Man- churian Railway	208,886
				合 計 Grand Total	49,697,049

電 氣

ELECTRICAL UNDERTAKINGS

電氣局沿革略誌

明治二十四年

- 七月 遞信省官制改正ニ依リ電氣事業ノ監督ハ遞信省ノ所管ニ屬シ電務局ニ於テ其ノ事務ヲ取扱フ
- 八月 各地方廳ニ對シ管下ニ於テ電氣事業ヲ營マムトスル者アルトキハ豫メ遞信大臣ノ認可ヲ得タル取締法ニ依リ之ヲ許可スヘク又現ニ其ノ事業ヲ營ム者ニ就テハ現在實行スル取締方法ヲ詳具シ之ヲ遞信大臣ニ報告スヘキ旨訓令ス

明治二十六年

- 十月 各地方廳ニ於ケル取締規則ニ依リ電氣事業ヲ出願スル者ハ其ノ都度遞信大臣ニ稟伺ノ上許否スヘキ旨訓令ス

明治二十八年

- 十一月 電氣事業取調委員會ヲ設ケ遞信部内竝帝國大學及警視廳等ヨリ委員ヲ選任シテ電氣事業ニ關スル調査ヲ爲サシム、委員會ハ翌二十九年二月電氣事業取締事項調査案ヲ具シ且ツ電氣單本位ノ制定、單線式電氣鐵道ノ敷設、主任技術者ノ任用等ニ關シ答申スル所アリタリ

明治二十九年

- 五月 電氣事業取締規則ヲ制定公布シ六月一日ヨリ實施ス
- 同 私設鐵道條例ニ依ル電氣鐵道電氣取締規則ヲ制定施行ス
- 十一月 電氣事業取調委員會ヲ設ケ朝野ノ電氣技術者中ヨリ委員ヲ選任シ專ラ技術ニ關スル事項ニ就キ審案調査セシム、委員會ハ電氣事業取締規則改正案ヲ具シ且電氣主任技術者試験規則ノ制定、電氣事業取締規則適用ノ範圍、電氣單位ノ制定等ニ關シ答申スル所アリ

明治三十年

- 六月 電氣事業取締規則ヲ改正シ低壓、高壓及特別高壓ノ標準ヲ改メ、工事施行認可ニ關スル事項ヲ規定シ、其ノ他工作物施設方法ニ關シテ改定ス
- 七月 私設鐵道條例ニ據ル電氣鐵道電氣取締規則ヲ改正ス

明治三十一年

- 六月 電氣ニ關スル注意心得ヲ定ム

明治三十二年

- 七月 電氣事業監督事務講習ヲ開催シ各地方廳吏員ヲシテ之ヲ講習セシム

明治三十三年

七月 第二回電氣事業監督事務講習ヲ開催ス

明治三十四年

七月 朝野ノ技術者中ヨリ電氣事業調査委員ヲ選任シ主トシテ技術ニ關スル事項ヲ調査セシム

明治三十五年

八月 電氣事業取締規則ヲ改正シ技術ノ進歩ニ隨伴シ且在來規則施行上ノ實績ニ鑑ミ諸般ノ事項ヲ根本的ニ改メ十月一日ヨリ實施ス

十一月 官廳施設電氣事業取締規程ヲ制定ス

同 各電氣鐵道事業者ニ對シ電氣鐵道電氣工作物特別施設方ニ關シ命令ス

明治三十八年

十一月 電氣事業取締規則ヲ改正シ工場抵當法ニ依ル工場財團ノ競落人ニ對スル事業讓受經營權ヲ認め及工事施設制限ニ關スル二、三ノ條項ヲ追加ス

明治三十九年

五月 電氣事業經營許可ニ際シ命令書ヲ下付スルコトハス

八月 電氣事業取締規則ヲ改正シ會社ノ合併認可ニ關スル規定ヲ追加ス

明治四十年

九月 第三回電氣事業監督事務講習ヲ開催ス

十一月 特別高壓電氣工作物施設準則ヲ制定ス

同 地中電線路施設準則ヲ制定ス

同 電氣事業概況報告様式ヲ制定ス

十二月 特別高壓電線路取締規則ヲ制定施行ス

明治四十一年

七月 特別高壓電氣工作物施設規程及電氣事業用地中電線路施設規程ヲ制定施行ス

十一月 電氣事業概況報告様式ヲ改定ス

明治四十二年

七月 逓信省官制改正ノ結果電氣局ヲ新設シ電氣事業監督ニ關スル事務ヲ專掌ス

八月 發電水力ニ關スル處分ニ付各地方長官ニ訓令シ百馬力未滿ノモノハ外逓信大臣ニ稟伺セシムルコトハス

十月 電氣事業取締規則ヲ改正シ工事落成届出方法ヲ簡易ニス

明治四十三年

三月 電氣測定法ヲ制定シ翌年一月ヨリ施行シ同時ニ諸般電氣單位ニ關スル事項ヲ定ム

四月 臨時發電水力調査局官制ヲ發布シ東京外十一ヶ所ニ支局又ハ出張所ヲ置キ各管内ニ測量班ヲ設ケ發電水力調査作業ニ從事セシム

明治四十四年

三月 電氣事業法ヲ發布シ十月一日ヨリ施行ス

八月 電氣事業法準用ニ關スル件ヲ定メ十月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 官廳ニ於ケル電氣供給又ハ使用ニ關スル件ヲ定メ十月一日ヨリ之ヲ施行ス

九月 電氣事業法公布ニ伴ヒ下記規則類ヲ制定シ十月一日ヨリ施行ス

電氣事業法施行規則

電氣事業法ニ依ル河川、橋梁、堤防等使用許可並使用料決定申請規則

官廳施設電氣事業規則

自家用電氣工作物施設規則

電氣事業主任技術者資格檢定規則

電氣工事規程

電氣事故届出規程

十二月 電氣計器ノ公差、檢定及檢定手数料ニ關スル件ヲ公布シ翌年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 電氣計器檢定規則ヲ制定シ翌年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十五年

大正元年

七月 電氣事業主任技術者資格檢定規則ヲ改正シ早稻田大學大學部ニ關スル事項ヲ加フ

同 指示電力計ノ型式承認及檢定申請手数料ヲ定ム

十月 電線番號稱調査委員會ヲ設ケ朝野ノ技術者ヨリ委員ヲ選任シ之ヲ調査セシム

大正二年

六月 電氣事業法施行規則及自家用電氣工作物施設規則ヲ改正シ申請届出書類ノ提出先等ヲ定ム

同 電氣工事規程ヲ改正シ電線路施設方法ニ關スル事項等ヲ定ム

同 電氣ニ關スル注意心得ヲ改定ス

同 臨時發電水力調査局ヲ廢止ス

八月 電氣事業主任技術者資格檢定規則ヲ改正シ東北帝國大學工學專門部及私立明治專門學

校ニ關スル事項ヲ加フ

- 十月 電氣事業法施行規則ヲ改正シ地方長官ノ事業監査、主任技術者ノ兼務等ニ關スル事項ヲ加ヘ其ノ他手續簡捷ニ關スル事項等ヲ改ム
- 同 自家用電氣工作物施設規則ヲ改正シ第一種電氣工作物ノ範圍ヲ擴メ第二種電氣工作物ノ一部ヲ逓信局長ノ監督ニ移シ其ノ他申請手續等ニ關スル事項ヲ改ム
- 同 電氣事業主任技術者資格檢定規則ヲ改正シ新ニ第六級ノ資格ヲ設ケ之ニ關聯シ條項ヲ改ム
- 十二月 電氣事業主任技術者資格檢定規則ヲ改正シ旅順工科學堂ニ關スル事項ヲ加フ

大 正 三 年

- 一月 電氣工事規程ヲ改正シ規程實施後ノ實況ニ依リ規程ノ趣旨ヲ一層明瞭ニシ一面手續ノ簡約ヲ期シ且一、二不備事項ヲ補正ス
- 三月 規定電流三千「アンペア」ヲ超過スル積算電氣計器檢定申請手数料ヲ定ム
- 同 電氣局大阪出張所ヲ設ケ四月一日ヨリ電氣計器ノ檢定ヲ開始ス
- 同 電氣計器檢定規則ヲ改正シ電氣局大阪出張所設置ニ關聯スル事項ヲ加フ
- 四月 周波數及配電電壓調査委員會ヲ設ケ朝野ノ技術者ヨリ委員ヲ選任シ調査セシム
- 五月 發電水力調査圖表類交付規則ヲ定ム
- 同 電氣事業檢査及監査吏員ノ證票並其ノ取扱規程ヲ定ム
- 十月 電氣事故届出規程ヲ改正シ届出方ヲ變更ス
- 十一月 電氣事業主任技術者資格檢定規則ヲ改正シ試験科目ノ分類等ヲ變更ス

大 正 四 年

- 一月 電氣事業報告書様式中一部ヲ改正ス
- 二月 電氣供給規程届出規則ヲ制定シ電氣供給規程ニ規定スヘキ事項ヲ明ニス
- 同 電氣事業法施行規則ヲ改正シ周波數及配電電壓統一ニ關聯スル事項、工場財團ノ競落人ニ對スル事業讓受、臨時電力補給ニ關スル條項ヲ加ヘ其ノ他手續簡捷ニ關スル事項等ヲ改ム
- 同 自家用電氣工作物施設規則ヲ改正シ電壓統一ニ關聯スル事項、臨時電力補給ニ關スル事項及手續簡捷ニ關スル事項ヲ改ム
- 同 官廳施設電氣事業規則ヲ改正シ臨時電力補給ニ關スル事項ヲ加フ
- 同 電氣工事規程ヲ改正シ變電所及開閉所ノ定義ノ變更、支持物ノ供用、特別高壓電柱ノ表示方法、保安通信設備、既設弱電流電線路ニ對スル障害豫防工事義務者ニ明示等ニ

關スル事項ヲ改ム

- 二月 電氣計器檢定規則ヲ改正シ再封印、誤差、試験方法ニ關スル事項ヲ加フ
- 四月 電氣事業準用ニ關スル規則ヲ定ム

大 正 五 年

- 一月 電氣計器ノ公差、檢定及檢定手数料ニ關スル件ヲ改正シ假封印ニ關スル規定ヲ加フ
- 同 電氣計器檢定規則ヲ改正シ、假封印、再檢定及再封印ニ關スル申請手續ヲ加フ
- 同 電氣計器型式承認及檢定申請手数料ヲ定メ在來省令所定ノ事項ヲ合一シ二月一日ヨリ施行ス
- 二月 電氣事業法ヲ改正シ電氣流用ニ關スル規定ヲ加フ
- 同 電氣事業法施行規則ヲ改正シ電氣ノ流用及之ニ關聯スル事項ヲ規定ス
- 九月 電氣用品試験規則ヲ制定ス
- 十月 電氣事業法施行規則ヲ改正シ發電所出力ヲ最大、平均ニ區別シ得ルコト、シ之ニ關聯スル條項ヲ改メ又臨時檢査ニ關スル規定ヲ加フ
- 同 自家用電氣工作物施設規則ヲ改正シ發電水力地點流量調表ニ關スル規程ヲ加フ
- 同 電氣事業報告書様式ヲ改正シ發電水力地點流量調表ニ關スル事項ヲ加フ

大 正 六 年

- 二月 逓信省臨時調査局ヲ設置シ電氣及海事ニ關スル事務ヲ掌ル爲電氣、海事ノ二部ニ分チ電氣部ニハ第一、第二、第三ノ三課ヲ設ク

大 正 七 年

- 六月 電氣試験所官制發布ニヨリ同所ハ電氣局ヨリ分離ス
- 同 發電水力調査事務ヲ開始シ主トシテ工業用發電水力ニ就キ調査スルコト、シ全國ヲ六區ニ分チ東京外五逓信局ニ水力課ヲ置キ各管下ヲ通シ二十二ノ測量班ヲ設置シ調査作業ニ從事セシム
- 十二月 電氣事業主任技術者資格檢定規則ヲ改正シ兵庫縣立工業學校外七校及外國ノ大學又ハ工業學校ニ於テ修業セル者ニ關スル事項ヲ加フ

大 正 八 年

- 六月 電氣事業主任技術者資格檢定規則ヲ改正シ試験方法及檢定手数料等ヲ改メ九年四月ヨリ施行ス
- 十月 電氣工作物規程ヲ制定シテ在來ノ電氣工事規程ニ代ヘ電氣工作物及工事方法等ヲ改定ス

十一月 電氣事業法第十五條ニ依ル障害防止ノ施設ニ關スル件ヲ定メ同建屋内ニ設置スル電線ト瓦斯管トノ施設方法ヲ定ム

大 正 九 年

三月 電氣事業主任技術者資格檢定規則ヲ改正シ佐賀縣立工業學校ニ關スル事項ヲ加フ
五月 遞信省臨時調査局官制ヲ廢止ス
同 電氣供給規程届出規則ヲ改正シ届出時期、特種料金、卸賣料金等届出方等ニ關スル事項ヲ加フ

大 正 十 年

五月 電氣事業主任技術者資格檢定規則中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ從來ノ級別ヲ種別トシ試験方法及檢定手数料ヲ改メタルコト等トス
同 電氣事業法施行規則並自家用電氣工作物施設規則ヲ改正ス其ノ要旨ハ前記主任技術者資格變更ニ伴フ事業ノ種類ニ依リ從事セシムヘキ主任技術者ノ資格ヲ明定セルニアリ
八月 家庭電氣調査會規程ヲ制定シ國民生活ノ利便ヲ増進スル爲家庭ニ電氣ヲ應用スヘキ施設及方法ニ關スル諸般ノ事項ヲ調査ス
十二月 流速計係數試驗規則ヲ制定ス

大 正 十 一 年

五月 公共團體及公益法人ノ試験スル電氣計器ニ關スル件ヲ制定ス
十一月 發電水力調査事務ニ關スル遞信局ノ管轄區域ヲ十五日限廢止ス
同 行政整理ノ爲メ水力課ヲ廢止ス

大 正 十 三 年

三月 電氣工作物規程ヲ改正セシガ其ノ要旨ハ主トシテ需要家ノ屋内ニ於ケル工作物ニ關スルモノナリ
同 家庭用電熱器標準仕様書ヲ制定ス

大 正 十 四 年

二月 電力調節協議會ヲ開催シ渴水ニヨル不便除去ニツトム

大 正 十 五 年

昭 和 元 年

九月 互變壓器標準仕様書ヲ制定ス

電氣試驗所沿革略誌

電氣試驗所ハ明治二十四年八月始メテ遞信省電務局ニ設置セラレ爾來三十有餘年其ノ間或ハ電氣事業ノ監督、電報ノ調査、電信電話用品仕様書ノ制定或ハ海底電線ノ鎧裝作業等各種ノ事務ヲ分掌セルコトアリシモ主トシテ電氣ニ關スル試験研究並電氣計器ノ檢定ニ關スル事務ヲ掌理シテ今日ニ至レリ今置所後ニ於ケル重ナル事項ヲ摘録スレハ次ノ如シ

明 治 二 十 四 年

八月 遞信省官制改正ノ結果電務局内ニ電氣試驗所ヲ設置セラル（明治十八年置省當時ハ電信局、明治二十三年官制改正後ハ電務局ノ一部ニ屬シタルニ過キサリキ）之レ官制上本所所掌事務ニ屬スル置所ノ嚆矢ニシテ當時ニ於ケル分掌事務ハ次ノ如シ

- 1 電氣試験ニ關スルコト
- 2 電氣事業監督ニ關スルコト
- 3 研究及試験ニ要スル機械器具ノ修繕及新調ニ關スルコト
- 4 電報送受ノ正否及電報料收納ノ當否調査ニ關スルコト

明 治 二 十 六 年

十一月 官制改正電務局ヲ廢シ通信局設置ニ伴ヒ電氣試驗所ハ通信局工務課ニ、電報調査事務ハ通信局總務課ニ隸屬セリ而シテ電氣事業ノ行政監督ニ關スル事務ハ通信局總務課ニ於テ掌理シ電氣事業監督上ノ技術ニ關スル事務ハ電氣試驗所ニ於テ掌理ス

明 治 二 十 九 年

三月 本省官制各局分課章程改正ニ伴ヒ電氣試驗所ハ工務課ヨリ分離シテ通信局ノ一分課トナル

明 治 三 十 年

八月 官制改正ノ結果通信局ヲ廢シ再ヒ電務局ヲ設置セラルルニ及ヒ電氣試驗所ハ電務局ノ一分課トナリ且始メテ監督係ヲ設置ス

十一月 電話係ヲ設置ス

明 治 三 十 一 年

五月 電信係ヲ設置ス

十月 材料係ヲ設置ス

十一月 官制改正再ヒ電務局ヲ廢シ通信局設置ニ伴ヒ電氣試驗所ハ通信局ニ屬シ監督、電信、電話、材料、調査ノ五係ヲ置キ各係ハ夫々數部ニ分テテ事務ヲ分擔シ特ニ材料係ニ於